

業績目録 令和5年度

微生物感染症学分野	2
生体組織再生工学分野	4
予防歯科学分野	7
う蝕学分野	10
小児歯科学分野	12
生体歯科補綴学分野	14
顎顔面口腔外科学分野	18
口腔解剖学分野	22
口腔生理学分野	23
口腔生化学分野	24
歯周診断・再建学分野	26
歯科矯正学分野	31
摂食嚥下リハビリテーション学分野	34
硬組織形態学分野	42
口腔病理学分野	45
歯科薬理学分野	46
包括歯科補綴学分野	47
組織再建口腔外科学分野	52
顎顔面放射線学分野	56
歯科麻酔学分野	59
高度口腔機能教育研究センター・歯学教育開発室	64
口腔生命福祉学科	69
歯科臨床教育学/歯科総合診療科	74
顎口腔インプラント治療部	75
医療連携口腔管理治療部	77

微生物感染症学分野

【著 書】

- 1) 寺尾 豊：編集・3 章執筆. 口腔微生物学・免疫学 第 5 版第 3 刷 (川端重忠, 小松澤均, 大原直也, 寺尾 豊 編), 医歯薬出版, 東京, 2024.
- 2) 寺尾 豊：執筆. 4 章. 標準微生物学 第 15 版 (錫谷達夫, 松本哲哉 編), 医学書院, 東京, 2024.
- 3) 寺尾 豊：監修・執筆. 歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 2 微生物学 第 2 版. 医歯薬出版, 東京, 2024.
- 4) 寺尾 豊：微生物学執筆. 歯科衛生士書き込み式学習ノート① 専門基礎科目編 2023 年度. 医歯薬出版, 東京, 2023.
- 5) 土門久哲：執筆. II 編 4 章歯周病の細菌学, IV 編 3 章免疫に関連する疾患. 歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 2 微生物学 第 2 版. 91-100, 190-191 頁, 医歯薬出版, 東京, 2024.
- 6) 土門久哲：執筆. 第 3 章レトロウイルス科. 口腔微生物学・免疫学 第 5 版第 3 刷 (川端重忠, 小松澤均, 大原直也, 寺尾 豊 編), 202-208 頁, 医歯薬出版, 東京, 2024.

【論 文】

- 1) Domon, H., Hirayama, S., Isono, T., Saito, R., Yanagihara, K., and Terao, Y.: Lipoprotein signal peptidase-deficient *Streptococcus pneumoniae* exhibits impaired Toll-like receptor 2-stimulatory activity. *Microbiol Immunol*, 68(4):155-159, 2024.
- 2) Sirisereephap, K., Tamura, H., Lim, JH., Surboy, MDC., Isono, T., Hiyoshi, T., Rosenkranz, AL., Sato-Yamada, Y., Domon, H., Ikeda, A., Hirose, T., Sunazuka, T., Yoshida, N., Okada, H., Terao, Y., Maeda, T., Tabeta, K., Chavakis, T., Hajishengallis, G., and Maekawa, T.: A novel macrolide-Del-1 axis to regenerate bone in old age. *iScience* 27(2): 108798, 2024.
- 3) Isono, T., Hirayama, S., Domon, H., Terao, Y.: Pneumococcus downregulates the molecular weight of the extracellular domain of the epidermal growth factor receptor of alveolar epithelial cells. *Microbiol Immunol* 68(1): 23-26, 2024.
- 4) Yasui, Y., Hirayama, S., Hiyoshi, T., Isono, T., Domon, H., Maekawa, T., Tabeta, K., and Terao, Y.: The pneumococcal protein SufC binds to host plasminogen and promotes its conversion to plasmin. *Microorganisms* 11(12): 2969, 2023.
- 5) Nirei, J., Kobayashi, A., Habuka, R., Domon, H., Terao, Y., Saitoh A.: Cord blood granulocyte Colony-

Stimulating factor level as an optimal predictor of umbilical cord arteritis associated with brain injury at term equivalent age in preterm neonates. *Cytokine* 171(11): 156369, 2023.

- 6) Takenaka, S., Moro, H., Shimizu, U., Koizumi, T., Nagano, K., Edanami, N., Ohkura, N., Domon, H., Terao, Y., Noiri, Y.: Preparing of point-of-care reagents for risk assessment in the elderly at home by a home-visit nurse and verification of their analytical accuracy. *Diagnostics* 13(14): 2407, 2023.
- 7) Nakao, R., Hirayama, S., Yamaguchi, T., Senpuku, H., Hasegawa, H., Suzuki, T., Akeda, Y., Ohnishi, M. (†Contributed equally): A bivalent outer membrane vesicle-based intranasal vaccine to prevent infection of periodontopathic bacteria. *Vaccine* 41(30): 4369-4383, 2023.
- 8) Domon, H., Hirayama, S., Isono, T., Sasagawa, K., Takizawa, F., Maekawa, T., Yanagihara, K., Terao, Y.: Macrolides decrease the proinflammatory activity of macrolide-resistant *Streptococcus pneumoniae*. *Microbiol Spectr* 11(3): e00148-23, 2023.
- 9) Isono, T., Hirayama, S., Domon, H., Maekawa, T., Tamura, H., Hiyoshi, T., Sirisereephap, K., Takenaka, S., Noiri, Y., Terao, Y.: Degradation of EGFR on lung epithelial cells by neutrophil elastase contributes to the aggravation of pneumococcal pneumonia. *J Biol Chem* 299(6): 104760, 2023.
- 10) Hirayama, S., Hiyoshi, T., Yasui, Y., Domon, H., Terao, Y.: C-terminal lysine residue of pneumococcal triosephosphate isomerase contributes to its binding to host plasminogen. *Microorganisms*, 11(5): 1198, 2023.

【商業誌】

- 1) 滝澤史雄, 土門久哲, 寺尾 豊：水と空気から消毒液を生成するナノ技術. *JETI* 72(2) : 42-44, 2024.
- 2) 平井嵩人, 牛田晃臣, 土門久哲, 寺尾 豊：芽胞形成細菌に対するオゾンウルトラファインバブル混合液の殺菌効果. *混相流* 37(1): 65-72, 2023.

【研究費獲得】

- 1) 寺尾 豊(代表)：肺炎球菌性肺炎の統合的な検査/予防/治療に向けた開発研究. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(A), 新規.
- 2) 寺尾 豊(代表)：ナノバブル化ネオマクロライドを用いたワクチン副反応の予防薬の開発研究. 日本学術振興会研究費基金 挑戦的研究(萌芽), 継続.
- 3) 寺尾 豊(代表)：食の安全と安心に向けた消毒用ナノ・オゾン水の開発研究. テルモ生命科学振興財団

Ⅲ研究助成金(予防医療), 継続.

- 4) 寺尾 豊(分担):細菌の潜在的病原性をつかさどる分子基盤の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B), 継続.
- 5) 寺尾 豊(分担): AI 技術を用いた膜透過性アプタマーの機能最適化と網羅的薬効評価法の確立. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 継続.
- 6) 前川知樹(代表):口腔幹細胞ニッチに着目した口腔老化メカニズム解明研究課題. 日本学術振興会科学研究費国際共同研究加速基金(海外連携研究), 新規.
- 7) 前川知樹(分担):マクロファージの表現型に影響する細胞外基質ラミニンの機能解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 新規.
- 8) 前川知樹(代表):DEL-1による口腔組織修復および再生機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B), 継続.
- 9) 前川知樹(代表):DEL-1による口腔の組織修復と再生機構解明. 内藤記念科学振興財団 次世代育成支援研究助成金, 継続.
- 10) 土門久哲(代表):好中球老化マーカーの同定と抗加齢研究への挑戦. 日本学術振興会研究費基金 挑戦的研究(萌芽), 新規.
- 11) 平山 悟(代表):iTRAQ 解析を基盤とする肺炎球菌侵襲化機構の解明. 公益財団法人発酵研究所 2023 年度若手研究者助成, 新規.
- 12) 平山 悟(代表):iTRAQ-MS/MS 解析を基盤とする新規肺炎球菌ワクチンの開発研究. 日本学術振興会研究費基金 基盤研究(C), 継続.
- 13) 日吉 巧(代表):プロテオーム解析法を用いたエラストラーゼによる歯周炎重症化メカニズムの網羅的解析. 日本学術振興会研究費基金 若手研究, 継続.
- 14) 田村 光:非抗菌性マクロライド誘導体を用いた新たなサイトカインストーム制御法の開発. 日本学術振興会 海外特別研究員研究費, 継続.
- 15) 磯野俊仁:組織修復の遅延を仮説とする肺炎/誤嚥性肺炎の重症化因子の検索. 日本学術振興会 特別研究員 PD 研究費, 継続.
- 16) 笹川花梨:肺炎球菌感染症による肺組織傷害機構の分子解析と新規治療法の探索. 新潟大学フェロシップ第 1 期生(未来健康科学高度人材育成フェロシップ)研究費, 継続.
- 17) 滝澤史雄:オゾンウルトラファインバブル水の臨床応用に向けた基盤研究. 新潟大学フェロシップ第 2 期生(未来健康科学高度人材育成フェロシップ)研究費, 継続.
- 18) 齋藤瑠郁:エコ・リサイクルな創薬イノベーション研究 - 新発想の感染症治療薬の開発研究 -, 新潟大

学未来のライフ・イノベーションを創出するフロンティア育成プロジェクト第 2 期生(未来健康科学高度人材育成フェロシップ)研究費, 継続.

- 19) 安井惟人:“やさしい創薬研究”イノベーション(AIM に着目した肺炎の創薬研究). 新潟大学フェロシップ第 3 期生(未来健康科学高度人材育成フェロシップ)研究費, 新規.

【学会発表】

- 1) 笹川花梨, 土門久哲, 平山 悟, 前川知樹, 寺尾 豊, 多部田康一:分泌型白血球プロテアーゼ阻害因子による歯周組織破壊抑制作用の解析. 第 66 回秋季日本歯周病学会学術大会, 長崎市, 2023 年 10 月 13~14 日.
- 2) 笹川花梨, 土門久哲, 平山 悟, 前川知樹, 磯野俊仁, 滝澤史雄, 齋藤瑠郁, 安井惟人, 寺尾 豊:分泌型白血球プロテアーゼインヒビターによる歯周組織破壊抑制作用の解析. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023 年 9 月 16~18 日, 同学術大会プログラム集:P1-2-19, 2023.
- 3) 安井惟人, 平山 悟, 磯野俊仁, 日吉 巧, 土門久哲, 寺尾 豊:肺炎球菌タンパク SufC は宿主プラスミノゲンと結合しプラスミンへの変換を促進する. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023 年 9 月 16~18 日, 同学術大会プログラム集:P1-2-20, 2023.
- 4) 齋藤瑠郁, 土門久哲, 日吉 巧, 寺尾 豊:免疫調節作用を有するエリスロマイシン誘導体の検索. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023 年 9 月 16~18 日, 同学術大会プログラム集:P1-2-21, 2023.
- 5) 滝澤史雄, 土門久哲, 前川知樹, 日吉 巧, 田村 光, 三好智博, 吉田明弘, 寺尾 豊:オゾンウルトラファインバブル水の口腔細菌に対する殺菌作用の解析. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023 年 9 月 16~18 日, 同学術大会プログラム集:P1-2-22, 2023.
- 6) 土門久哲, 平山 悟, 磯野俊仁, 笹川花梨, 滝澤史雄, 前川知樹, 寺尾 豊:マクロライド系薬はマクロライド耐性肺炎球菌の炎症誘導能を減弱させる. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023 年 9 月 16~18 日, 同学術大会プログラム集:P2-2-20, 2023.
- 7) 平山 悟, 日吉 巧, 安井惟人, 土門久哲, 寺尾 豊:肺炎球菌トリオースリン酸イソメラーゼの感染関連機能の解析. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023 年 9 月 16~18 日, 同学術大会プログラム集:P2-2-22, 2023.
- 8) 磯野俊仁, 平山 悟, 土門久哲, 前川知樹, 寺尾 豊:

好中球エラスターゼは上皮成長因子受容体を分解し、肺組織の修復を阻害する。第 65 回歯科基礎医学学会学術大会，東京，2023 年 9 月 16～18 日，同学術大会プログラム集：P2-2-23，2023。

- 9) 菌部一貴，岩村衣花，土門久哲，寺尾 豊，中野 優，大谷真広：肺炎球菌の抗原タンパク質 EF-Tu を産生するタバコ形質転換体の作出および形質調査。第 40 回日本植物バイオテクノロジー学会大会，千葉市，2023 年 9 月 10～13 日。
- 10) 笹川花梨，土門久哲，平山 悟，前川知樹，多部田康一，寺尾 豊：口腔関連感染症の新たな予防・治療法の探索。令和 5 年度新潟歯学会第 1 回例会，新潟市，2023 年 7 月 8 日，同会プログラム集：1 頁，2023。

【研究会発表】

- 1) 笹川花梨，土門久哲，平山 悟，前川知樹，寺尾 豊：歯周組織の炎症制御における分泌型白血球プロテアーゼ阻害因子の作用解析。第 8 回口腔微生物研究会，東京，2023 年 9 月 19 日，2023。
- 2) 磯野俊仁，平山 悟，土門久哲，前川知樹，寺尾 豊：好中球エラスターゼは上皮成長因子受容体を分解し，肺胞上皮細胞の細胞増殖シグナルを阻害する。第 8 回口腔微生物研究会，東京，2023 年 9 月 19 日，2023。
- 3) 平山 悟，日吉 巧，安井惟人，土門久哲，寺尾 豊：感染時に発現する肺炎球菌タンパク質の感染関連機能の解析。第 53 回レンサ球菌研究会，前橋，2023 年 7 月 22～23 日，同研究会プログラム集：10 頁，2023。
- 4) 磯野俊仁，平山 悟，土門久哲，前川知樹，寺尾 豊：好中球エラスターゼによる上皮成長因子受容体の分解は，肺胞上皮の修復を阻害する。第 53 回レンサ球菌研究会，前橋，2023 年 7 月 22～23 日，同研究会プログラム集：8 頁，2023。

【受賞】

- 1) 寺尾 豊：新潟大学 学長賞，2024 年 3 月 18 日。
- 2) 滝澤史雄：オゾンウルトラファインバブル水の消毒液応用に向けた基盤研究。一般社団法人ファインバブル産業会 学生奨励賞，2023 年 11 月 7 日。
- 3) 笹川花梨：分泌型白血球プロテアーゼインヒビターによる歯周組織破壊抑制作用の解析。第 65 回歯科基礎医学学会学術大会 モリタ優秀発表賞，2023 年 9 月 18 日。

【奨学金等】

- 1) 安井惟人：“やさしい創薬研究”イノベーション

(AIM に着目した肺炎の創薬研究)。新潟大学フェローシップ第 3 期生(未来健康科学高度人材育成フェローシップ)，新規。

- 2) 田村 光：非抗菌性マクロライド誘導体を用いた新たなサイトカインストーム制御法の開発。日本学術振興会 海外特別研究員，継続。
- 3) 磯野俊仁：組織修復の遅延を仮説とする肺炎/誤嚥性肺炎の重症化因子の検索。日本学術振興会 特別研究員 PD，継続。
- 4) 笹川花梨：肺炎球菌感染症による肺組織傷害機構の分子解析と新規治療法の探索。新潟大学フェローシップ第 1 期生(未来健康科学高度人材育成フェローシップ)，継続。
- 5) 滝澤史雄：オゾンウルトラファインバブル水の臨床応用に向けた基盤研究。新潟大学フェローシップ第 2 期生(未来健康科学高度人材育成フェローシップ)，継続。
- 6) 齋藤瑠郁：エコ・リサイクルな創薬イノベーション研究 - 新発想の感染症治療薬の開発研究 - ，新潟大学未来のライフ・イノベーションを創出するフロンティアナー育成プロジェクト第 2 期生，継続。

【公的研究費の審査員（省庁公開済みのみ記載）】

- 1) 寺尾 豊：日本医療研究開発機構(AMED) プログラムオフィサーおよび課題審査委員。
- 2) 寺尾 豊：科学技術振興機構(JST) 創発的研究支援事業 審査委員。
- 3) 寺尾 豊：科学技術振興機構(JST) 国際展開プログラム D-Global 審査委員。
- 4) 寺尾 豊：科学技術振興機構(JST) 大学発新産業創出プログラム START 審査委員。
- 5) 寺尾 豊：科学技術振興機構(JST) 大学発新産業創出プログラム SBIR フェーズ 1 審査委員。
- 6) 寺尾 豊：科学技術振興機構(JST) 大学発新産業創出プログラム ビジネスモデル検証 審査委員。
- 7) 寺尾 豊：科学技術振興機構(JST) 大学発新産業創出基金事業 プロジェクト推進型 審査委員。
- 8) 寺尾 豊：日本学術振興会(JSPS) 特別研究員 審査委員。
- 9) 寺尾 豊：日本学術振興会(JSPS) 卓越研究員 審査委員。
- 10) 寺尾 豊：日本学術振興会(JSPS) 海外研究員 審査委員。

生体組織再生工学分野

【著書】

- 1) 泉 健次：第 9 章 口腔の軟組織 VI 臨床的考察
1. 口腔粘膜. 口腔組織・発生学 第 3 版. 210-212
頁, 医歯薬出版, 東京, 2024.
- 2) 泉 健次：4 生体材料の安全性と適合性. スタンダ
ード歯科理工学 第 8 版. 53-60 頁, 学建書院, 東
京, 2024.

【論文】

- 1) Kobayashi R, Hoshikawa E, Saito T, Suebsamarn O, Naito E, Suzuki A, Ishihara S, Haga H, Tomihara K, Izumi K: The EGF/EGFR axis and its downstream signaling pathways regulate the motility and proliferation of cultured oral keratinocytes. *FEBS Open Bio.* 2023 Aug;13(8):1469-1484. doi: 10.1002/2211-5463.13653.
- 2) Kobayashi E, Ling Y, Kobayashi R, Hoshikawa E, Itai E, Sakata O, Okuda S, Naru E, Izumi K. Development of a lip vermilion epithelium reconstruction model using keratinocytes from skin and oral mucosa. *Histochem Cell Biol.* 2023 Oct;160(4):349-359. doi: 10.1007/s00418-023-02206-4.
- 3) Izumi K, Yortchan W, Aizawa Y, Kobayashi R, Hoshikawa E, Ling Y, Suzuki A. Recent trends and perspectives in reconstruction and regeneration of intra/extra-oral wounds using tissue-engineered oral mucosa equivalents. *Japanese Dental Science Review.* 59:365-374, 2023.
- 4) Taka N, Aoyagi Y, Miida K, Kanatani M, Ogawa H: Effect of Silicon Carbide Fiber Length on the Flexural Strength and Flexural Modulus of Short Silicon Carbide Fiber-Reinforced Resin. *J. Funct. Biomater.* 15(2): 30, doi.org/10.3390/jfb15020030. 2024.
- 5) Igawa K, Izumi K, Sakurai Y. Development of the follow-up human 3D oral cancer model in cancer treatment. *BioTech.* 12:35, 2023. doi: 10.3390/biotech12020035
- 6) Sercombe L, Igawa K, Izumi K. Radiation evaluation assay using a human three-dimensional oral cancer model for clinical radiation therapy. *Talanta Open.* 9, 2024. https://doi.org/10.1016/j.talo.2024.100297
- 7) 金谷 貢, 青柳裕仁, 高 昇将, 三井田慶斗, 泉 健次: コンピュータシステム活用法としての戦略的情報システムの事例. 日歯連合誌 (日本歯科医学会連合雑誌), 2(なし): 58-63 頁, doi.org/10.57468/jjdsf.23-006, 2023-12-25.
- りうるか? 令和 5 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 22K10310, 2023.
- 2) 齋藤タ子 (原 タ子) (研究代表者), 泉 健次: 口腔粘膜上皮細胞と線維芽細胞から成る 2 層性自家培養口腔粘膜の開発. 令和 5 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 22K10016, 2023.
- 3) 金谷 貢 (研究代表者): 低エネルギー電子線照射は歯科切削加工(CAD/CAM)用レジン破折を防止する. 令和 5 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 18K09657, 2023.
- 4) 青柳裕仁 (研究代表者), 金谷 貢: メタライズを応用した新規ジルコニア表面改質法の開発. 令和 5 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 21K09975, 2023.
- 5) 佐田亜衣子 (研究代表者), 泉 健次: 上皮幹細胞コンパートメントを規定する分子機構と生物学的意義の解明. 令和 5 年度 (継続) 日本学術振興会補助金 基盤研究(B) 20H03266, 2023.
- 6) 秋葉陽介 (研究代表者), 泉 健次: 規格化ナノ構造チタンによる接着蛋白質を介した組織制御可能な生体材料開発. 令和 5 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 21K09976, 2023.
- 7) 山崎 学 (研究代表者), 泉 健次: 死細胞貪食による口腔がん細胞活性化: 脂質クオリティが果たす役割を探る. 令和 5 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 21K09856, 2023.
- 8) 田沼順一 (研究代表者), 泉 健次: シングルセル RNA-Seq 解析を利用した口腔癌微小環境の分子機構の解明. 令和 5 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 23K09150, 2023.
- 9) 飯田佑輔 (研究代表者), 泉 健次: ライブセルイメージ解析による上皮細胞シートの非破壊品質評価法の確立. 令和 5 年度 新潟大学 U-go グラント, 2023.
- 10) 飯田佑輔 (研究代表者), 泉 健次: ライブイメージ解析による上皮細胞シート非破壊品質評価法の確立. テルモ財団研究助成. 2023 年
- 11) 相澤有香: 口腔癌と正常口腔粘膜共存モデルを用いた, 癌放射線/化学療法における抗癌治療効果ならびに口腔粘膜炎症の発症機序の解明. 未来のライフ・イノベーションを創出するフロンティア育成プロジェクト, 令和 5 年度補充採用, 2023.
- 12) 井川和代 (研究代表者), 泉 健次: 血管網を有する口腔がん三次元培養モデルを用いた治療効果評価法の検証. 令和 5 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 23K11918,

【研究費獲得】

- 1) 伊藤加代子 (研究代表者), 泉 健次: エクオールは口腔乾燥症, 味覚障害, 舌痛症の新たな治療法とな

2023.

- 13) 鈴木絢子(研究代表者):足場材コラーゲン分子フッ素化により基底膜成分を付与した高機能化培養口腔粘膜の開発. 令和5年度(新規)日本学術振興会補助金(若手研究), 23K16038, 2023.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 泉 健次:口腔粘膜細胞のティッシュエンジニアリングにおける現状の課題と今後の展望. 第23回日本再生医療学会総会, 新潟, 2024年3月22日. 第23回日本再生医療学会総会プログラム・抄録集, 155頁, 2024.
- 2) 金谷 貢:コンピュータシステム活用法としての戦略的情報システムの事例. 日本歯科技工学会第45回学術大会, 福岡, 2023年11月3日, 日歯技工誌44(Special Issue), 26頁, 2023.
- 3) 泉 健次:口腔粘膜細胞を用いた再生医療の現状と今後の展望. 第65回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023年9月17日, 第65回日歯科基礎医学会学術大会プログラム・抄録集, 254頁, 2023.

【学会発表】

- 1) Suebsamarn O, Kamimura Y, Kodama Y, Haga K, Izumi K: Monitoring the development of a tissue-engineered oral mucosa on a micropatterned collagen scaffold: using optical coherence tomography. Tokyo, 2024年1月31日, Asian Network of Dental Materials Societies (ANDeMS) Kickoff Meeting.
- 2) 高田 翔, 井川和代, 内藤絵里子, 相澤有香, YORTCHAN Witsanu, 田中凜太郎, 鈴木絢子, 荒井良明, 泉 健次:3次元インビトロモデルを用いた化学療法誘発性口内炎の組織学的検討. 第23回日本再生医療学会総会, 新潟, 2024年3月23日, 第23回日本再生医療学会総会プログラム抄録集, 798頁, 2024.
- 3) 相澤有香, 凌 一輩, 高田 翔, Yortchan Witsanu, 田中凜太郎, 鈴木絢子, 奥田修二郎, 富原 圭, 泉 健次:培養基盤の物性の違いによる培養口腔粘膜上皮細胞シートの遺伝子発現の比較解析. 第23回日本再生医療学会総会, 新潟, 2024年3月21日, 第23回日本再生医療学会総会プログラム抄録集, 543頁, 2024.
- 4) 高 昇将, 青柳裕仁, 木村龍弥, 三井田慶斗, 金谷貢, 魚島勝美:化学変性 CNF の添加がアルジネート印象材に及ぼす影響. 日本歯科理工学会中部地方会夏期セミナー, 新潟, 2023年8月25日, 令和5年度日本歯科理工学会中部地方会夏期セミナープログラム, 9頁, 2023.

- 5) 青柳裕仁, 木村龍弥, 高 昇将, 三井田慶斗, 金谷貢, 魚島勝美:SDGs の達成を目標としたアルジネート印象材の開発. 第33回日本医用歯科機器学会研究発表大会, 岐阜, 2023年7月29日, 日本医用歯科機器学会誌 28(2), 94頁, 2023.
- 6) 泉 健次, 内藤絵里子, 井川和代, 羽賀健太, 小林亮太, 齋藤夕子, 山崎 学, 田沼順一, 富原 圭:口腔癌と口腔粘膜に対する重粒子線照射の影響に関する3次元 in vitro モデルを用いた研究. 第77回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 岡山, 2023年5月12日, 第77回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会プログラム抄録集, 165頁, 2023.
- 7) 小林亮太, 相澤有香, 内藤絵里子, 富原 圭, 泉 健次:口腔粘膜角化細胞の運動と増殖に関する分子生物学的メカニズムの解明. 第77回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 岡山, 2023年5月2023年5月12日, 第77回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会プログラム抄録集, 186頁, 2023.
- 8) 金谷 貢, 泉 健次, 青柳裕仁, 高 昇将, 三井田慶斗:石こうの硬化膨張圧におよぼす硬化促進剤および硬化遅延剤の影響. 日本歯科理工学会第81回学術講演会, 東京, 2023年4月15-16日, 日歯理工誌 42(Special Issue 81), 48頁, 2023.

【研究会発表】

- 1) 高田 翔, 内藤絵里子, 井川和代, 泉 健次:口腔がん3次元 in vitro モデルを用いた放射線感受性評価システムの構築. 2022年度 HIMAC 共同利用成果発表会, Online, 2023年5月31日

【その他-特許出願・特許取得】

- 1) 泉 健次, 鈴木絢子, 水野 潤, 岸本一真:マイクロパターン化転写用鋳型、転写用鋳型の製造方法及び医療基材の製造方法. 国内特許取得出願中(出願人:新潟大学, 早稲田大学), 特願 2022-051501. 2022年3月28日.
- 2) 泉 健次, 水野 潤, 岸本一真, 小松隆史, 水野綾介:転写用金型および転写用金型の製造方法. 国内特許取得出願中(出願人:新潟大学, 早稲田大学, 小松精機工作所), 特願 2022-151188. 2022年.
- 3) 小林エリ, 中矢恵理子, 成 英次, 泉 健次, 干川絵美, 小林亮太:In vitro 口唇モデル及びその製造方法. 国内特許出願中(出願人:株式会社コーセー, 新潟大学), 特願 2023-007663. 2023年.
- 4) 井川和代, 泉 健次, 羽賀健太, 内藤絵里子:がん治療法の有効性を評価するための方法、キット、構造物及び使用. 国内特許取得出願中(出願人:岡山大学, 新潟大学), 特願 2022-118584. 2022年.

- 5) 泉 健次, 羽賀健太, 相澤有香, 高田 翔: 立体細胞培養体および立体細胞培養体の製造方法. 国内特許取得出願中 (出願人: 新潟大学) 特願 2024-040964, 2024 年 3 月 15 日.

【受 賞】

- 1) 小林亮太, 相澤有香, 内藤絵里子, 富原 圭, 泉 健次: 口腔粘膜角化細胞の運動と増殖に関する分子生物学的メカニズムの解明. 第 77 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会 Rising Scientist 賞, 2023 年 5 月 13 日, 2023.
- 2) 青柳裕仁, 木村龍弥, 高 昇将, 三井田慶斗, 金谷 貢, 魚島勝美: SDGs の達成を目標としたアルジネート印象材の開発. 日本医用歯科機器学会第 33 回道具大賞アイディア賞, 2023 年 7 月 29 日, 2023.
- 3) 相澤有香: 口腔癌と正常口腔粘膜共存モデルを用いた, 癌放射線/化学療法における抗癌治療効果ならびに口腔粘膜炎の発症機序の解明. 令和 5 年度博士学生支援プログラムシンポジウム. 最優秀プレゼンテーション賞, 2024 年 3 月 14 日, 2024.

予防歯科学分野

【著 書】

- 1) 高野綾子, 小川祐司: Q13 タバコ以外の歯肉の着色の原因は? チェアサイド Q&A 予防歯科編 Part2 (予防歯科臨床教育協議会編), 34-35 頁, クインテッセンス出版, 東京, 2023.
- 2) 小川友里奈, 小川祐司: Q27 加熱式タバコの身体への影響はどのくらいわかっている? チェアサイド Q&A 予防歯科編 Part2 (予防歯科臨床教育協議会編), 64-65 頁, クインテッセンス出版, 東京, 2023.
- 3) 植木麻有子, 小川祐司: Q42 口臭のにおいの違いは何が原因? チェアサイド Q&A 予防歯科編 Part2 (予防歯科臨床教育協議会編), 96-97 頁, クインテッセンス出版, 東京, 2023.

【論 文】

- 1) Taka N, Aoyagi Y, Miida K, Kanatani M, Ogawa H. Effect of Silicon Carbide Fiber Length on the Flexural Strength and Flexural Modulus of Short Silicon Carbide Fiber-Reinforced Resin. J. Funct. Biomater 15(2): 30, 2024.
- 2) Thwin KM, Ogawa H, Phantumvanit P, Songpaisan Y, Miyazaki H: Periodontal status and potential risk factors in the Myanmar population: Data from the first national

oral health survey in 2016-2017. WHO South-East Asia J Public Health 12: 110-115, 2024.

- 3) Thwin KM, Kaneko N, Okubo H, Yamaga T, Suwama K, Yoshihara A, Iwasaki M, Ito Y, Tanaka J, Narita I, Ogawa H: Association between dry eye and periodontal disease in community-dwelling Japanese adults: data from the Uonoma cohort study. BMC Oral Health 24(1): 47, 2024.
- 4) Sarmet M, Takehara S, de Campos PS, Kagiya K, Borges LS, Kumei Y, Zeredo JLL: Salivary alpha-amylase stress reactivity in advanced-aged marmosets (*Callithrix jacchus*): Impacts of cognitive function and oral health status. Am J Primatol e23596, 2024.
- 5) Chan AKY, Chu CH, Ogawa H, Lai EH: Improving oral health of older adults for healthy ageing. J Dent Sci 19(1): 1-7, 2024.
- 6) Thwin KM, Ogawa H, Phantumvanit P, Miyazaki H, Songpaisan Y, Maung K: Dental caries in the Myanmar population: Findings from the first national oral health survey in 2016-2017. Community Dent Oral Epidemiol 51(6): 1266-1275, 2023.
- 7) Hoshino T, Kaneko N, Yoshihara A, Iwasaki M, Suwama K, Ito Y, Tanaka J, Narita I, Ogawa H: Associations between Plasma Antibody Levels against *Porphyromonas gingivalis* and Atrial Fibrillation among Community-Dwelling Older Individuals in Japan: A Cross-Sectional Study. Oral Health Prev Dent 21(1): 339-346, 2023.
- 8) Thwin KM, Takehara S, Kawaguchi Y, Ogawa H: Maternal factors in relation to early childhood caries among preschool children in Myanmar. Asia Pac J Public Health 35(6-7): 437-440, 2023.
- 9) Thwin KM, Lin WT, Takehara S, Ogawa H: Socioeconomic, behavioral, and psychological factors related to oral health in Myanmar: A cross-sectional study. J Public Health Dent 83(4): 340-346, 2023.
- 10) 皆川久美子, 葭原明弘, 宮本 茜, 諏訪間加奈, 岩崎正則, 竹原祥子, 小川祐司: 腎機能と自己申告による現在歯数との関連(魚沼コホート調査ベースラインデータより). 口腔衛生会誌.
- 11) 金谷 貢, 青柳裕仁, 高 昇将, 三井田慶斗, 泉 健次: コンピュータシステム活用法としての戦略的情報システムの事例. 日歯連合誌 2(1): 61-66, 2023.
- 12) 濃野 要, 永島和裕: 思春期における口臭の問題. 日本思春期学会誌 41(2): 280-285, 2023.

【商業誌】

- 1) 小川祐司: WHO 世界口腔保健レポートについて. 日本歯科医師会雑誌 76(3): 50-51. 2023.

- 2) 小川祐司：WHO 世界保健レポート「西太平洋地域（WPRO）サマリー」.日本歯科評論 83(8): 142-143. 2023.
- 3) 小川祐司、岩崎万喜子：FDI 2023 Mid-year meeting ～ 4 年ぶりに対面で開催～. 日本歯科医師会雑誌 76(5): 56-57. 2023.
- 4) 小川祐司：2023 年 FDI 世界歯科会議報告. 日本歯科評論 83(12): 144-145. 2023.
- 5) 小川祐司：FDI 公衆衛生委員会と FDI 会員連絡・支援委員会の活動について. 日本歯科医師会雑誌 76(7): 51-52. 2023.
- 6) 小川祐司：FDI 政策声明について. 日本歯科医師会雑誌 76(9): 56-57. 2023.
- 7) 竹原祥子：8020 運動の政策分析 – 保健政策概念モデル Health Policy Triangle を用いて. 8020 推進財団会誌「8020」第 23 号: 141-143, 2024.
- 8) 植木麻有子、小川祐司：社会が見えるキーワード；糖類過剰摂取のリスクを伝えることで、全身の健康にも寄与する歯科保健指導に. 歯科衛生士 558: 94-95. 2023.

【研究費獲得】

- 1) 小川祐司：糖尿病の心筋梗塞リスクに対する抗菌的歯周治療の有用性に関するランダム化比較試験. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C),23K09478, 2023.
- 2) Hanindriyo L, 小川祐司（分担）他：A Pilot Project for Health Promoting School Initiative in Indonesia using a Multidimensional Approach. THE BORROW FOUNDATION GRANT, 2023.
- 3) 竹原祥子：新潟大学アジア連携研究センター共同プロジェクト支援経費, 2023.
- 4) 金子 昇, 濃野 要：口腔細菌叢のメタゲノム解析による口臭症の病態解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 22K10338, 2023.
- 5) 金子 昇, 濃野 要：口腔細菌叢のメタゲノム解析によるドライマウスの病態解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 19K10421, 2023.
- 6) 山賀孝之, 金子 昇（分担）他：歯周病進行予知のための口腔内 VSC 濃度測定による基準値の確立. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 20K10283, 2023.
- 7) Thwin KM: Effects of psychological distress on oral health outcomes in Community-dwelling Myanmar adults. 富徳会研究助成, J23G0156, 2023.
- 8) 高 昇将：SiC 長繊維と短繊維を組み合わせた力学的等方性を持つ新規繊維強化型レジンの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究,

21K17019, 2023.

- 9) 星野剛志：高齢者に対するモバイル端末のテキストメッセージを活用した口腔衛生指導の有効性検証. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 23K16218, 2023.
- 10) 星野剛志：血漿中抗 *Porphyromonas gingivalis* 抗体価は高血圧症の予測因子となりうるか？ 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 22K21009, 2023.
- 11) 田中 梓：新潟大学フェローシップ研究費, 文部科学省 科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業, 2023.
- 12) 大久保 光：新潟大学フェローシップ研究費, 文部科学省 科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業, 2023.
- 13) 永島和裕：新潟大学未来のライフ・イノベーションを創出するフロンティア育成プロジェクト, 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 次世代研究者挑戦的研究プログラム, 2023.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Ogawa H: Global Application of Population-Based Pit and Fissure Sealant Program. 102th IADR General Session, USA, March 15, 2024.
- 2) Takehara S: The Study of Japan's 8020 Campaign – Results from Literature review & Health Policy Analysis: Brown bag session on oral health programme. WHO WPRO, online conference, November 30, 2023.
- 3) Ogawa H: Optimal oral health for older people: toward healthy ageing in Asia. 15th International Conference of the Asian Academy of Preventive Dentistry (AAPD), Tung Chung, Hong Kong, November 10, 2023.
- 4) Ogawa H: FDI Tobacco Cessation Project. FDI world congress, Australia, September 24, 2023.
- 5) Ogawa H: Oral health for older people case from Japan. Asian Summit on Global Health, online conference, May 18, 2023.
- 6) 小川祐司：国際保健における口腔保健 オーラルヘルスのグローバルな展開. 2023 グローバルヘルス合同学会, 東京, 2023 年 11 月 26 日.
- 7) 竹原祥子：健康寿命の延伸から Healthy Ageing を達成するために - 8020 運動の経験をアジアに- 8020 運動の政策分析 保健政策概念モデル Health Policy Triangle を用いて. 第 72 回日本口腔衛生学会学術大会, 大阪, 2023 年 5 月 20 日, 口腔衛生学会雑誌 73(増刊): 82 頁, 2023.

【学会発表】

- 1) Chairunisa F, Takehara S, Nohno N, Ogawa H: Periodontal Condition and Liver Serum Marker Levels Among Japanese Population Older Adults. 15th International Conference of the Asian Academy of Preventive Dentistry (AAPD), Tung Chung, Hong Kong, November 8–11, 2023.
- 2) Hoshino T, Kaneko N, Yoshihara A, Iwasaki M, Suwama K, Ito Y, Tanaka J, Narita I, Ogawa H: Antibody Levels against *Porphyromonas gingivalis* and Isolated Systolic Hypertension in Japanese Older Adults. 15th International Conference of the Asian Academy of Preventive Dentistry (AAPD), Tung Chung, Hong Kong, November 8–11, 2023.
- 3) Tamura K, Ueki M, Kimura D, Kimura M, Sone H, Ogawa H: Impact of Online Dental Education on Health Literacy and Behavior Change among Company Employees. 15th International Conference of the Asian Academy of Preventive Dentistry (AAPD), Tung Chung, Hong Kong, November 8–11, 2023.
- 4) Thwin KM, Lin WT, Takehara S, Ogawa H: Psychosocial Impact on Oral Health-Related Quality of Life in Myanmar. 15th International Conference of the Asian Academy of Preventive Dentistry (AAPD), Tung Chung, Hong Kong, November 8–11, 2023.
- 5) Tun TZ, Thwin KM, Takehara S, Ogawa H: Oral Function Status and Associated Factors in Japanese Older Adults Receiving Outpatient Dental Care. 15th International Conference of the Asian Academy of Preventive Dentistry (AAPD), Tung Chung, Hong Kong, November 8–11, 2023.
- 6) Ramadhani A, Tanaka A, Minagawa K, Okubo H, Takehara S, Ogawa H: Antibiotic Periodontal Treatment Effects on Mild Cognitive Impairment-Blood-based Biomarkers in Type 2 Diabetic Patients. 15th International Conference of the Asian Academy of Preventive Dentistry (AAPD), Tung Chung, Hong Kong, November 8–11, 2023.
- 7) Yoshimoto T, Hasegawa Y, Furihata M, Yoshihara A, Kaneko N, Nohno K, Hori K, Nose H, Masuki S, Ono T: Effects of Interval walking Training on Oral Function: A Case-Control Study. IAGG Asia/Oceania Regional Congress 2023, Yokohama, Japan, June 12–14, 2023.
- 8) 永島和裕, 高 昇将, 濃野 要, 小川祐司: シクロデキストリンと活性炭によるアセトン濃度の減少. 第 34 回甲信越北陸口腔保健研究会総会・学術大会, 富山市, 2023 年 11 月 18 日.
- 9) 田中 梓, 皆川久美子, 濃野 要, 竹原祥子, 小川祐司: 2 型糖尿病患者における脳梗塞危険因子に対する歯周治療の効果. 令和 5 年度新潟歯学会第 2 回例会, 2023 年 11 月 4 日.
- 10) 高 昇将, 青柳裕仁, 木村龍弥, 三井田慶斗, 金谷 貢, 魚島勝美: 化学変性 CNF の添加がアルジネート印象材に及ぼす影響. 日本歯科理工学会中部地方会 夏期セミナー, 新潟, 2023 年 8 月 24–25 日.
- 11) 青柳裕仁, 木村龍弥, 高 昇将, 三井田慶斗, 金谷 貢, 魚島勝美: SDGs の達成を目標としたアルジネート印象材の開発. 第 33 回日本医用歯科機器学会, 岐阜, 2023 年 7 月 29 日.
- 12) 石山茉佑佳, 濃野 要, 伊藤加代子, 船山さおり, 米澤大輔, 小川祐司, 葭原明弘: 地域在住超高齢期における舌圧と低栄養リスクの関連. 令和 5 年度新潟歯学会第 1 回例会, 2023 年 7 月 8 日.
- 13) 石山茉佑佳, 伊藤加代子, 船山さおり, 濃野 要, 小川祐司: 地域在住超高齢者における舌圧と栄養状態の関連. 第 72 回日本口腔衛生学会総会, 大阪, 2023 年 5 月 19 日.
- 14) 小林彩加, 米澤大輔, 小川祐司, 濃野 要: 地域在住高齢者における歯周疾患の進行に対する TNF α 遺伝子多型と唾液量減少の関連. 第 72 回日本口腔衛生学会総会, 大阪, 2023 年 5 月 19 日.

【受賞】

- 1) Thwin KM: Psychosocial impact on oral health-related quality of life in Myanmar. The 15th International Conference of the Asian Academy of Preventive Dentistry Outstanding Research Award (Senior Category), November 10, 2023.

【その他】

- 1) Thwin KM: Evidence-based training; How to appraise a scientific paper. MFU School of Anti-aging and Regenerative Medicine, Online Lecture for a MSc student, January 26, 2024.
- 2) Hoshino T: Lecture on “Questionnaire survey of oral functional status in Malaysia, the Philippines, and Vietnam”. Internship program for the MSc students from Universitas Gadjah Mada (Indonesia), Niigata, December 4, 2023.
- 3) Tun TZ: Lecture on “Evidence-based Teledentistry Usage”. Internship program for the MSc students from Universitas Gadjah Mada (Indonesia), Niigata, December 1, 2023.
- 4) Taka N: Lecture on “Development of new denture adhesives containing cellulose nano fibers”. Internship

program for the MSc students from Universitas Gadjah Mada (Indonesia), Niigata, November 30, 2023.

- 5) Minagawa K, Tanaka A, Ramadhani A: Lecture on “Relationship between periodontal disease and diabetes”. Internship program for the MSc students from Universitas Gadjah Mada (Indonesia), Niigata, November 30, 2023.
- 6) Takehara S: Lecture on “Promotive and Preventive Programs in Japan (eg. the 8020 Campaign). Internship program for the MSc students from Universitas Gadjah Mada (Indonesia), Niigata, November 29, 2023.
- 7) Thwin KM: Lecture on “International Oral Health”. Internship program for the MSc students from Universitas Gadjah Mada (Indonesia), Niigata, November 28, 2023.
- 8) Ogawa H: Overview for FDI Tobacco Cessation. FDI Tobacco Cessation Workshop. Jordan. October 12, 2023.
- 9) Hoshino T, Ogawa H: Questionnaire survey of oral functional status in Asia – Results from cross-sectional online survey in Malaysia, the Philippines, and Vietnam. Seminar "GERIATRIC ORAL HEALTH ASSESSMENT IN ASIA", Lectures and discussion, Bangkok, August 31 to September 1, 2023.
- 10) Ogawa H: Overview of the oral health for aged population and problem identification in Asia. Seminar "GERIATRIC ORAL HEALTH ASSESSMENT IN ASIA", Lectures and discussion, Bangkok, August 31, 2023.
- 11) Ogawa H: Overview for FDI Tobacco Cessation. FDI Tobacco Cessation Workshop, Indonesia, August 16, 2023.
- 12) Thwin KM: Global Oral Health. Undergraduate Student Exchange Program from Mahidol University (Thailand), Niigata. May 12, 2023.
- 13) 小川祐司: あなたの食生活 むし歯になりやすいかも. 令和のむし歯治療講演会, 新潟, 2023 年 12 月 3 日.
- 14) 小川祐司: UHC と歯科 国際的潮流と課題. 深井保健科学研究所 第 22 回コロキウム, 東京, 2023 年 10 月 9 日.
- 15) 小川祐司: 2030 年に向けての口腔保健の潮流 -オーラルヘルスプロモーションとは-. 令和 5 年地域医療講演会日本大学東京都歯科同窓会, 東京, 2023 年 7 月 1 日.

【著 書】

- 1) 歯科衛生士講座 保存修復学・歯内療法学: 古澤成博他編, 分担執筆 野村由一郎, 竹中彰治, 89-104 永末書店, 京都, 2023 年 4 月, 教科書
- 2) バイオフィルム革新的制御戦略: 監修: 野村暢彦, 尾花望, 豊福雅典, 久能樹, 分担執筆 野村由一郎, 外園真規, 第 2 編 4 章 6 節: 250-258 (株) エヌ・ディー・エス, 東京, 2023 年 6 月.

【論 文】

- 1) Asahi Y, Naito K, Kanda H, Niwano K, Takegawa D, Yumoto H, Noiri Y, Hayashi M: Clinical investigation of the inhibitory effects of tooth-Coating materials on initial active root caries: A pilot randomized controlled trial. *Medicina* 60, 150, 2024.
- 2) Yahata Y, Handa K, Ohkura N, Okamoto M, Ohshima J, Itoh S, Kawashima N, Tanaka T, Sato N, Noiri Y, Hayashi M, Okiji T, Saito M: Autologous concentrated growth factor mediated accelerated bone healing in root-end microsurgery: A multicenter randomized clinical trial. *Regenerative Therapy* 24: 377-384, 2023.
- 3) Isono T, Hirayama S, Domon H, Maekawa T, Tamura H, Hiyoshi T, Sirisereephap K, Takenaka S, Noiri Y, Terao Y: Degradation of EGFR on lung epithelial cells by neutrophil elastase contributes to the aggravation of pneumococcal pneumonia. *Journal of Biological Chemistry* 14: 2023.
- 4) Naoto O, Hwa KN, Fei L, Nan H: Cranial neural crest specific deletion of TNAP causes abnormal chondrocyte maturation and deficient cranial vase growth. *Int J Mol Sci* 24(20): 15401, 2023
- 5) Joy EG, Jessica DHS, Nicole AP, Matthew DC, Naoto O, Caroline W, Nan EH, Chad MN: Commensal microbiota effects on craniofacial skeletal growth and morphology. *JBMR Plus* 7(8): e10775, 2023
- 6) Naoto O, Kunihiko Y, Nagako Y, Naoki E, Hayato Oh, Shoji T, Yuichiro N: SVCT-GLUT1-mediated ascorbic acid transport pathway in rat dental pulp and its effects during wound healing. *Sci Rep* 13(1): 1251, 2023
- 7) Naoto O, Kunihiko Y, Nagako Y, Yohei O, Naoki E, Hayato O, Shoji T, Takashi O, Yuichiro N: Prostaglandin E2-transporting pathway and its roles via EP2/EP4 in cultured human dental pulp. *J Endod* 49(4): 410-418, 2023
- 8) Rosa BG, Naoto O, Kunihiko Y, Nagako Y, Aiko T, Ryosuke T, Razi Saifullah IB, Naoki E, Shintaro T, Susan GK, Takako I, Yuichiro N: Wound-healing processes after pulpotomy in the pulp tissue of type 1 diabetes

- mellitus model rats. J Endod 50(2): 196-204, 2024
- 9) Yoshio Y, Keisuke H, Naoto O, Motoki O, Jun O, Shusaku I, Nobuyuki K, Toshinori T, Nobuyo S, Yuichiro N, Mikako H, Takashi O, Masahiro S: Autologous concentrated growth factor mediated accelerated bone healing in root-end microsurgery: a multicenter randomized clinical trial. Regen Ther 24: 377-384, 2023
 - 10) Edanami N, Takenaka S, Belal RSI, Yoshiba K, Takahara S, Yoshiba N, Ohkura N, Noiri Y: In vivo assessment of the apatite-forming ability of new-generation hydraulic calcium silicate cements using a rat subcutaneous implantation model. J Funct Biomater 14 (4) :213, 2023
 - 11) Naoki Edanami 1, Razi Saifullah Ibn Belal 1, Shoji Takenaka 1, Kunihiko Yoshiba 2, Rosa Edith Baldeon Gutierrez, Takahara S, Yoshiba N, Ohkura N, Noiri Y: In Vivo Assessment of the Calcium Salt-Forming Ability of a New Calcium Silicate-Based Intracanal Medicament: Bio-C Temp. Dent J (Basel). 2023 Mar 30;11(4):91.
 - 12) Takenaka, S; Moro, H; Shimizu, U; Koizumi, T; Nagano, K; Edanami, N; Ohkura, N; Domon, H; Terao, Y; Noiri, Y: Preparing of Point-of-Care Reagents for Risk Assessment in the Elderly at Home by a Home-Visit Nurse and Verification of Their Analytical Accuracy. Diagnostics (Basel). 2023 Jul 19;13(14):2407.
 - 13) Kornsobut, N; Takenaka, S; Sotozono, M; Nagata, R; Ida, T; Manuschai, J; Saito, R; Takahashi, R; Noiri, Y: Antibiofilm Properties and Demineralization Suppression in Early Enamel Lesions Using Dental Coating Materials. Antibiotics (Basel). 2024 Jan 22;13(1):106.
 - 14) Kawanishi Y, Maezono H, Shimaoka T, Kitatani T, Naito K, Sotozono M, Klanliang K, Takahashi Y, Hayashi M: Morphological Analyses of Effects of Endodontic Irrigant Solutions Using a Root Canal Model and an Immersion Model. Int J Dent. 2023 Jul 26;2023:3938522.
 - 15) Sirisereephap K, Tamura H, Lim J-H, Surboy MD, Isono T, Hiyoshi T, Rosenkranz AL, Sato-Yamada Y, Domon H, Ikeda A, Hirose T, Sunazuka T, Yoshiba N, Okada H, Terao Y, Maeda T, Tabeta K, Chavakis T, Hajishengallis G, Maekawa T: A novel macrolide-Del-1 axis to regenerate bone in old age. iScience: 108798.
 - 16) 竹中彰治、野杵由一郎. 口腔細菌の血清抗体価を指標とした誤嚥性肺炎のリスク上昇と老化を予測する試み. アンチエイジング医学-日本抗加齢医学会雑誌 2024; 20: 12-16.

【Proceeding】

- 1) 高橋竜平, 外園真規, 井田貴子, 永田量子, Niraya

Kornsobut, 齋藤 瑠郁, 竹中彰治, 野杵由一郎 : in situ デンタルバイオフィルムモデルを用いた宿主-バイオフィルム間相互作用の解明. BACTERIAL ADHERENCE & BIOFILM, 33, 2023.

【研究費獲得】

- 1) 大倉直人 : アスコルビン酸輸送担体を介した象牙芽細胞分化を促進させる歯髄再生メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C) , 19K10147, 2022-2025.
- 2) 野杵由一郎, 松崎英津子, 枝並直樹, 竹中彰治, 朝日陽子 : 科学的根拠に基づいた永久歯の歯髄復元療法・”歯の不死化”の確立をめざす包括的研究, 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B) , 21H03117B, 2023.
- 3) 外園真規: in situ モデルを用いたデンタルバイオフィルムと歯肉上皮の共生機構の解明 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 21K16990, 2022
- 4) 竹中彰治: 認知症に対応し在宅医療を支援する血中抗体価を指標とした誤嚥性肺炎診断キットの開発. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 挑戦的研究(萌芽) , 22K19667, 2022-2023.
- 5) 吉羽永子: マクロファージの表現型に影響する細胞外基質ラミニンの機能解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B) , 22H03259C, 2023.
- 6) 井田貴子 (研究代表者), 枝並直樹, 外園真規, 竹中彰治, 野杵由一郎: 緑茶由来成分を用いた炎症制御と口腔バイオフィルム接着阻害によるう蝕進行制御の検索 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 22K09997, 2022
- 7) 枝並直樹 (研究代表者), 野杵由一郎 (研究分担者): ラット実験モデルを用いた各種歯内療法後の新生セメント質形成メカニズムの解明 . 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09164 , 2023
- 8) 永田量子 : 磁気ビーズによる口腔ピロリ菌の検出と乳酸菌, 多価不飽和脂肪酸による感染予防の検索. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 23K15997, 2023.
- 9) 野杵由一郎, 竹中彰治, 永田量子 : 口腔や胃のピロリ菌感染経路や感染機序を包括的に解明する為の磁気ビーズを用いた MLST 解析法の確立 , 大分大学グローバル感染症研究センター共同研究費, 2023B05, 2023.
- 10) 齋藤瑠郁 : エコ・リサイクルな創薬イノベーション研究 - 新発想の感染症治療薬の開発研究 -, 新潟大学未来のライフ・イノベーションを創出するフロンランナー育成プロジェクト第 2 期生(未来健康科学高度人材育成フェローシップ)研究費, 継続.

- 11) 竹中彰治: 認知症に対応し在宅医療を支援する誤嚥性肺炎の発症リスクを感知する科学的評価法の開発. なな一訪問看護研究助成. 2023-2024.
- 12) 外園真規: 免疫細胞を含む新規歯肉上皮モデルを用いた, 宿主免疫機構とデンタルバイオフィーム細菌叢の相互作用の解明. 公益財団法人 MSD 生命科学財団 感染症領域 研究助成. 2023

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 1. 野杵由一郎, 新潟大学歯学部 卒前臨床教育におけるう蝕予防管理システムの実践: ACFF 日本支部 e-learning 研修会, 東京, 2023.12.10.

【講演会発表】

- 1) 野杵由一郎, 口腔ピロリ菌感染の機序と現状: 第 20 回大分大学グローバル研究センター研究セミナー, 大分市, 2023.11.22.
- 2) 野杵由一郎, 変遷が進むう蝕治療と AI 時代の歯内療法: 2023 年度 徳島大学歯学部同窓会北陸支部特別講演会, 2023.10.15.
- 3) 野杵由一郎, 変遷が進むう蝕治療と AI 時代の歯内療法: 2023 年度新潟大学歯学部同窓会学術講演会, 新潟市, 2023.04.23.

【学会発表】

- 1) Kornsobut Niraya, Shoji Takenaka, Manuschai Jutharat, Maki Sotozono, Ryoko Nagata, Takako Ida, Yuichiro Noiri. Antibiofilm effect of dental coating materials to reduce and prevent enamel demineralization. The 2nd General meeting of the Asian-Oceanian Federation of Conservative Dentistry Conference (ConsAsia 2023), Taipei, Taiwan, September 1, 2023.
- 2) 高原信太郎, 大倉直人, 吉羽永子, 竹中彰治, 枝並直樹, 吉羽邦彦, 野杵由一郎: 再生歯内療法後の治癒過程初期における各種間葉系幹細胞マーカー陽性細胞の局在性, 日本歯科保存学会 2023 年度秋季大会 (第 159 回), 浜松, 2023 年 11 月 11 日~11 月 12 日, 2023 年度秋季大会 (第 159 回) プログラムおよび講演抄録集: 47 頁, 2023.
- 3) 佐藤莉沙子, 竹中彰治, 野杵由一郎: 上顎両側中切歯歯冠修復物の審美的不満に対し保存的なブラックトライアングル閉鎖により改善を認めた 1 症例. 第 59 回日本歯科保存学会 2023 年秋季学術大会, 浜松, 2023 年 11 月 11 日, 特定非営利活動法人日本歯科保存学会学術大会プログラムおよび講演抄録集 159 回: 83 頁, 2023.
- 4) 大倉直人, 吉羽永子, 高原信太郎, Rosa Edith Baldeon Gutierrez, Susan Gomez Kasimoto, 井田貴子,

枝並直樹, 竹中彰治, 吉羽邦彦, 野杵由一郎: 歯根形成時における Tissue nonspecific alkaline phosphatase の機能解析. 日本歯科保存学会 2023 年度秋季学術大会 (第 159 回), 浜松, 2023 年 11 月 11, 12 日, 日本歯科保存学会学術大会プログラムおよび講演抄録集: 92 頁, 2023.

- 5) 齋藤瑠郁, 土門久哲, 日吉 巧, 寺尾 豊: 免疫調節作用を有するエリスロマイシン誘導体の検索. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023 年 9 月 16~18 日, 同学術大会プログラム集: P1-2-21, 2023.
- 6) 高橋竜平, 外園真規, 井田貴子, 永田量子, Niraya Kornsobut, 齋藤 瑠郁, 竹中彰治, 野杵由一郎: in situ デンタルバイオフィームモデルを用いた宿主-バイオフィーム間相互作用の解明. 第 37 回日本バイオフィーム学会学術集会, 千葉, 2023 年 8 月 26 日, 第 37 回日本バイオフィーム学会学術集会講演抄録集 28 頁, 2023
- 7) 高原信太郎, 大倉直人, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 竹中彰治, 枝並直樹, 庭野和明, 野杵由一郎: 歯髄再生療法モデルラットを用いた歯根成長段階による治癒形態の比較解析, 日本歯科保存学会 2023 年度春季大会 (第 158 回), 松江, 2023 年 6 月 22 日~6 月 23 日, 2023 年度春季大会 (第 158 回) プログラムおよび講演抄録集: 31 頁, 2023.

【受賞】

- 1) 高橋竜平: in situ デンタルバイオフィームモデルを用いた宿主-バイオフィーム間相互作用の解明. 第 4 回日本バイオフィーム学会トラベルアワード, 第 37 回日本バイオフィーム学会学術集会, 2023 年 8 月 26 日.

小児歯科学分野

【著書】

- 1) 大島邦子: 発達期における障害児者の摂食機能療法の手引き, (日本障害者歯科学会 診療ガイドライン作成委員会), 16-17, 39-42 頁, 東京, 2024.
- 2) 大島邦子: 障害者歯科診療における行動調整ガイドライン (日本障害者歯科学会 診療ガイドライン作成委員会), 49-76 頁, 東京, 2024.

【論文】

- 1) Sano H, Nakakura-Ohshima K, Quispe-Salcedo A, Okada Y, Sato T, Ohshima H: Early revascularization activates quiescent dental pulp stem cells following tooth replantation in mice. Regenerative Therapy 24:582-591,

2023.

- 2) Hozawa M, Nakamura Y, Sotome T, Nakajima T, Hanasaki M, Sasakawa Y, Tsukuno S, Yonemoto Y, Hayasaki H: Evaluation of oral function using a composite sensor during maximum lip closure and swallowing in normal children and adults. J Oral Rehabil Online ahead of print, 2024.
- 3) 吉田歩未, 中村由紀, 大島邦子, 中島 努, 笹川祐輝, 濃野 要, 早崎 治明: 定期的歯科介入が行われている施設利用知的障害者の支援必要度と口腔保健支援状況との関連性. 口腔衛生会誌 73(4), 260-269 頁, 2023.
- 4) 野上有紀子, 中村由紀, 五月女哲也, 清川裕貴, 朴沢美生, 築野沙絵子, 笹川祐輝, 鈴木絢子, 花崎美華, 中島 努, 大島邦子, 齊藤一誠, 岩瀬陽子, 早崎治明: 一時保護所に保護中の虐待児童の歯種別う蝕罹患状況に関する報告. 障歯誌 44:10-18 頁, 2023.

【商業誌】

- 1) 中村由紀: 第1章 患児・保護者とのコミュニケーション Q&A Q2. デンタルダイヤモンド増刊号 子どものお口の発達段階別で答える小児歯科のQ&A27 (浜野美幸 他編), 16-19 頁, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2023.

【研究費獲得】

- 1) 松原まなみ, 早崎治明, 中村由紀: 早産児の口腔発達支援プログラムの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K10901, 2023.
- 2) 笹川祐輝: 摂食指導・支援の客観的指標確立に向けた小児捕食機能の特徴解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 22K17226, 2023.
- 3) 大島邦子, 早崎治明, 大島勇人: 再植歯の人為的髄床底穿孔と神経伝達シグナル調節による歯髄再生療法. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09411, 2023.
- 4) 中村由紀: 離乳期以降の摂食機能発達プロセスを口腔の圧形成メカニズムの変移から解明する. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 22K10267, 2023.
- 5) 朴沢美生: 複合センサを用いた口腔内圧のコントロールと口唇の発達変化の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 23K19683, 2023.

【学会発表】

- 1) Mio Hozawa, Hanasaki Mika, Nakamura Yuki, Nakajima Tsutomu, Sotome Tetsuya, Yonemoto Yuki, Sasakawa

Yuki, Tsukuno Saeko, Hayasaki Haruaki: Three-dimensional analysis of ingestion with the spoon and head in children. KAPD 2023, Seoul, the Republic of Korea, April 29-30, Abstracts of the 64th Annual Meeting of the Korean Academy of Pediatric Dentistry: 46, 2023.

- 2) Nakamura Y, Nogami Y, Iwase Y, Saitoh I, Hayasaki H: Prevalence of dental caries in children during temporary custody according to types of abuse. IAPD 2023 June 14-17, Maastricht, the Netherlands, International Journal of Paediatric Dentistry 33(S1): 106-107, 2023.
- 3) Sotome T, Nakajima T, Nakamura Y, Hanasaki M, Sasakawa Y, Tsukuno S, Hozawa M, Yonemoto Y, Sano T, Hayasaki H: Spoon movements during ingestion differ from the children and adults. IAPD 2023 June 14-17, Maastricht, the Netherlands, International Journal of Paediatric Dentistry 33(S1): 149, 2023.
- 4) 腰越佐和子, 中島 努, 花崎美華, 中村由紀, 五月女哲也, 米本裕貴, 笹川祐輝, 朴沢美生, 築野沙絵子, 早崎治明: 小児と成人の捕食は異なる - スプーンと頭部の協調 -. 第 61 回日本小児歯科学会大会, 長崎, 2023 年 5 月 18-19 日, 小児歯誌, 61(大会抄録号): 117 頁, 2023.
- 5) 中島 努, 米本裕貴, 花崎美華, 五月女哲也, 中村由紀, 笹川祐輝, 朴沢美生, 築野沙絵子, 早崎治明: 摂食先行期に関する研究 小児と成人における食具操作と開口動作. 第 61 回日本小児歯科学会大会, 長崎, 2023 年 5 月 18-19 日, 小児歯誌, 61(大会抄録号): 122 頁, 2023.
- 6) 中村由紀, 朴沢美生, 五月女哲也, 中島 努, 花崎美華, 笹川祐輝, 築野沙絵子, 米本裕貴, 早崎治明: 複合センサーを用いた嚥下時の小児口唇閉鎖機能の評価. 第 61 回日本小児歯科学会大会, 長崎, 2023 年 5 月 18-19 日, 小児歯誌, 61(大会抄録号): 149 頁, 2023.
- 7) Yuki Yonemoto, Tsutomu Nakajima, Yuki Namkamura, Haruaki Hayasaki: Characteristic of children scooping rice from a rice bowl. 第 61 回日本小児歯科学会大会, 長崎, 2023 年 5 月 18-19 日, 小児歯誌, 61(大会抄録号): 270 頁, 2023.
- 8) 中島 努, 中村由紀, 花崎美華, 笹川祐輝, 五月女哲也, 朴沢美生, 築野沙絵子, 早崎治明: 「食べる」を科学する-小児歯科医の視点から-. 第 11 回日本食育学会, 北海道, 2023 年 6 月 10-11 日. 2023.
- 9) 佐野拓人, 大島邦子, Angela Quispe-Salcedo, 岡田康男, 佐藤拓一, 大島勇人: マウス臼歯再植後の早期血行回復は歯髄静的幹細胞を賦活化する. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023 年 9 月 16-

18 日, Journal of Oral Biosciences Supplement 2022 : 239-239, 2023.

- 10) 築野沙絵子, 中村由紀, 中島 努, 花崎美華, 笹川祐輝, 朴沢美生, 五月女哲也, 米本裕貴, 早崎治明: 捕食時の呼吸相および呼吸サイクル時間の検討. 第 42 回日本小児歯科学会中部地方会, 岐阜, 2023 年 9 月 17 日, 小児歯科学雑誌 62(地方会抄録号): 33 頁, 2024.
- 11) 草塩奈央, 中村由紀, 高野聖真, 米本裕貴, 早崎治明: 一時保護中の児童の口腔内状況と虐待種別との関連. 第 41 回日本小児歯科学会北日本地方会, 郡山, 2023 年 10 月 8 日, 小児歯科学雑誌 62(地方会抄録号): 10-11 頁, 2024.

生体歯科補綴学分野

【著 書】

- 1) 魚島勝美, 加来賢: 歯根膜のメカノバイオロジー. 新・力を診る 臨床と研究の接点, 70-75 頁, 医歯薬出版, 東京, 2024.

【論 文】

- 1) Iwama H, Kaku M, Thant L, Mizukoshi M, Arai M, Ono Y, Kitami K, Saito I, Uoshima K: Acellular Extrinsic Fiber Cementum Is Invariably Present in the Superficial Layer of Apical Cementum in Mouse Molar. J Histochem Cytochem. 2024 Feb; 72(2): 109-120, 2024.
- 2) Liang L, Nagasawa M, Ha V, Lin A, Akiba Y, Akiba N, Yamakami SA, Uoshima K, Ohya H: Association between gender and self-assessment skills amongst Japanese dental students. Journal of Dental Sciences. 2024 Jan 29, 1-7, 2024.
- 3) Norimasa T, Yujin A, Keito M, Mitsugu K, Hiroshi O: Effect of Silicon Carbide Fiber Length on the Flexural Strength and Flexural Modulus of Short Silicon Carbide Fiber-Reinforced Resin. Journal of functional biomaterials. 2024 Jan 26, 15(2): 30, 2024.
- 4) Kaku M, Thant L, Dobashi A, Ono Y, Kitami M, Mizukoshi M, Arai M, Iwama H, Kitami K, Kakiyama Y, Matsumoto M, Saito I, Uoshima K: Multiomics analysis of cultured mouse periodontal ligament cell-derived extracellular matrix. Sci Rep. 2024 Jan 3; 14(1): 354, 2024.
- 5) Hashimoto M, Takahashi H, Tabata-Okubo K, Nagaoka N, Tokunaga K, Matsumori H, Ishihara Y, Kaku M, Iimura T, Hara T, Kamioka H: Bundling of collagen fibrils influences osteocyte network formation during bone

modeling. Sci Rep. 2023 Dec 12; 13(1): 22028, 2023.

- 6) Arai M, Kaku M, Thant L, Kitami M, Ono Y, Dobashi A, Iwama H, Mizukoshi M, Kitami K, Matsumoto M, Saito I, Uoshima K: Effect of Sparc knockout on the extracellular matrix of mouse periodontal ligament cells. Biochem Biophys Res Commun. 2023 Dec 6; 692: 149364, 2023.
- 7) Suliman M, Nagasawa M, Al-Omari FA, Uoshima K: The effects of collagen cross-link deficiency on osseointegration process of pure titanium implants. J Prosthodont Res. 2023 Oct 5; 1-7, 2023.
- 8) 秋葉奈美: 缺状咬合を伴う過蓋咬合に対して可撤性部分床義歯により咬合再構成を行った症例. 日本補綴歯科学会誌 16(1): 115-118, 2024.
- 9) 江口香里: 異常絞扼反射の患者に対して大連結子の位置に配慮して上顎部分床義歯を適用した症例. 日本補綴歯科学会誌 16(1): 75-78, 2024.
- 10) 金谷貢, 青柳裕仁, 高昇将, 三井田慶斗, 泉健次: コンピュータシステム活用法としての戦略的情報システムの事例. 日本歯科医学会連合雑誌 2: 58-63, 2023.
- 11) 秋葉陽介, 魚島勝美: 規格化ナノ構造チタンによる生物学的反応制御—特集 バイオマテリアル研究を担う若手研究者たち(3). バイオマテリアル-生体材料- 41(2): 158-161, 2023.

【商業誌】

- 1) 加来賢, 魚島勝美: 歯根膜由来細胞シートにおける細胞外マトリックス. 歯根膜由来細胞シートによる歯周組織再生治療. Precision Medicine. 2024 年 1 月号: 第 7 巻 1 号, 51-54, 2024.

【研究費獲得】

- 1) 魚島勝美, 加来賢, 秋葉陽介, 長澤麻沙子: 移植骨の骨細胞ネットワーク再構築と骨質に着目した自家骨移植の至適条件探索. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 20H03876, 2023.
- 2) 加来賢, 魚島勝美, 北見公平, 柿原嘉人, 松本雅記: 定量プロテオミクスによる歯根膜マトリックスの網羅的解析と再生基材の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 21H03127, 2023.
- 3) 加来賢, 奥田修二郎: 細胞追跡法と遺伝子ネットワーク解析による幹細胞の分化制御メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽), 21K19895, 2023.
- 4) 秋葉陽介, 魚島勝美, 照沼美穂, 水野潤, 泉健次: 規格化ナノ構造チタンによる接着蛋白質を介した組織形成制御可能な生体材料開発. 日本学術振興会科

- 学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09976, 2023.
- 5) 秋葉奈美, 魚島勝美, 照沼美穂, 秋葉陽介: 抗酸化物質による移植細胞の長期生存, 長期機能発現を可能にする新規骨増生法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09272, 2023.
 - 6) 秋葉奈美, 魚島勝美, 秋葉陽介, 泉健次: 生理機能亢進細胞混合移植とレドックス制御による長期骨量維持可能な骨増生法開. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 20K10051, 2023.
 - 7) 秋葉奈美 (分担者): 歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究. 厚生労働省科学研究費補助金, 22AC1001, 2022-2024.
 - 8) 長澤麻沙子, 魚島勝美: 生物学的視点から見たアバットメントスクリュー締付けトルク値の科学的根拠探索. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09271, 2023.
 - 9) 青柳裕仁, 金谷貢: メタライズを応用した新規ジルコニア表面改質法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09975, 2023.
 - 10) JM Rosales Marcelo, 加来賢, 魚島勝美: Trans-omics analysis of the difference between Cortical and Trabecular bone. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09998, 2023.
 - 11) 江口香里, 秋葉陽介, 魚島勝美, 照沼美穂: チタン結晶構造制御と VUV 照射による骨結合促進可能なインプラント表面開発. 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09292, 2023.
 - 12) 江口香里: 免疫寛容破綻を起点とした歯科金属アレルギー発症機序の可能性探索. 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究, 20K18627, 2023.
 - 13) 小野喜樹: Wnt/ β -catenin シグナルによるセメント質再生と歯根膜インプラントの開発. 日本学術振興会 科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 23K19685, 2023.
 - 14) 土橋梓: マルチオミックス解析による咬合性外傷発症メカニズムの解明. 新潟大学フェローシップ事業, JPMJFS2114, 2023.
 - 15) 小林水輝: 人工材料と細胞外マトリックスによるハイブリッド再生歯の開発. 新潟大学フェローシップ事業, JPMJFS2114, 2023.
 - 16) 高岡由梨那: アトピー性皮膚炎悪化に対する歯科金属アレルギーの関連機序解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 23K16062, 2023.
 - 17) 高岡由梨那: 歯科金属アレルギーと乾癬の免疫学的共通因子の探索. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 21K17061, 2023.
 - 18) 浜谷桂佑: 表面での歯根膜再生を可能とする歯根破

折歯修復用接着材料の新規適用法開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 21K21006, 2023.

- 19) 柿原嘉人, 加来賢, 三上剛和: 骨芽細胞の I 型コラーゲンと基質小胞の分泌経路における Rab タンパク質の機能解明. 基盤研究(C), 23K09117, 2023.
- 20) 北見恩美, 加来賢: 歯根膜恒常性維持メカニズムの理解にもとづく予知性の高い自家歯牙移植術の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09293, 2023.
- 21) 北見公平, 加来賢, 齋藤功: 加齢マウス歯根膜組織の深層プロテオーム解析: 組織応答を担う細胞外環境の変化. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09412, 2023.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 秋葉陽介: シングルセル解析とバイオインフォマティクスで拓く補綴歯科研究～単一細胞から組織発生・再生のメカニズムを理解する～. 公益社団法人日本補綴歯科学会第 132 回学術大会 -設立 90 周年記念大会-, 横浜, 2023 年 5 月 19-21 日, 同学術大会プログラム・抄録集:92 頁, 2023.
- 2) 秋葉陽介: 歯科金属アレルギー診療指針に向かう道標. 歯科金属アレルギー患者への対応. 公益社団法人日本補綴歯科学会第 132 回学術大会 -設立 90 周年記念大会-, 横浜, 2023 年 5 月 19-21 日, 同学術大会プログラム・抄録集:96 頁, 2023.
- 3) 長澤麻沙子: 垂直歯根破折歯の治療実績と今後の方向性. 令和 5 年度 公益社団法人 日本補綴歯科学会 関越支部学術大会 生涯学習公開セミナー, 新潟, 2023 年 11 月 5 日, 同学術大会プログラム・抄録集:13 頁, 2023.

【学会発表】

- 1) Nguyen Van Quang, Akiba Y, Eguchi K, Akiba N, Uoshima K. Enhancing Bone Regeneration by Redox Control: An In Vivo Study. 2024 IADR/AADOCR/CADR General Session & Exhibition. New Orleans, LA, USA, Mar 13-16, online program, 2024.
- 2) Lin A, Ha V, Liang L, Sedky R, Dor RB, Nagasawa M, Kornmehl D, Uoshima K, Ohyama H. Impact of Gender on Students' Self-Assessment Skills Across Three Countries: United States, Egypt, and Japan. American Dental Education Association 2024, New Orleans, LA, USA, Mar 9-12, 2024.
- 3) Uoshima K, Nagasawa M. The Treatments of Vertical Root Fractures: An Option to Prevent Occlusal Collapse. Academy of Osseointegration's 2024 Annual Scientific

- Meeting. Charlotte, NC, USA, Mar 7-9, Abstract & Program book Page 95, 2024.
- 4) Nagasawa M, Uoshima K. Effects of Preload on Bone Tissue Around Implant: An In Vivo Study. Academy of Osseointegration's 2024 Annual Scientific Meeting. Charlotte, NC, USA, Mar 7-9, Abstract & Program book Page 113, 2024.
 - 5) Nguyen Van Quang: Osteogenesis promotion by redox control in bone augmentation method with cell transplantation. 13th International Scientific and Education Conference in Dentistry. Hanoi, Bac Ninh, Vietnam, Nov 22-24, 同学術大会プログラム・抄録集:9 頁, 2023.
 - 6) Lay Thant, Masaru Kaku, Hlaing Pwint Phyu, Azusa Dobashi, Yoshito Kakiyama, Isao Saito, Katsumi Uoshima: Chemical digestion-assisted extracellular matrix profiling of differentiating osteoblasts. 33rd Australian and New Zealand Bone and Mineral Society annual scientific meeting. Newcastle, Australia, Oct 22-25, 2023.
 - 7) 小野喜樹, 加来賢, 土橋梓, 小林水輝, Hlaing Pwint Phyu, 魚島勝美: Wnt/ β -catenin シグナルの抑制によるセメント質過形成の制御. 第 23 回日本再生医療学会総会, 新潟, 2024 年 3 月 21-23 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 538 頁, 2024.
 - 8) 小林水輝, 加来賢, Lay Thant, 土橋梓, 小野喜樹, Hlaing Pwint Phyu, 魚島勝美: 脱細胞化培養歯根膜細胞マトリックスが歯根膜細胞の遺伝子発現に及ぼす影響の網羅的解析. 第 23 回日本再生医療学会総会, 新潟, 2024 年 3 月 21-23 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 688 頁, 2024.
 - 9) Hlaing Pwint Phyu, 加来賢, Lay Thant, 土橋梓, 小林水輝, 小野喜樹, 魚島勝美: 骨芽細胞の分化過程における細胞外マトリックスの組成変化 -プロテオームによる網羅的定量解析-. 令和 5 年度 日本補綴歯科学会 関越支部学術大会, 新潟, 2023 年 11 月 5 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 20 頁, 2023.
 - 10) 土橋梓, 加来賢, Lay Thant, 小野喜樹, 小林水輝, 魚島勝美: Periostin knockout 歯根膜細胞における細胞外マトリックスの解析. 令和 5 年度 新潟歯学会 第 2 回例会, 新潟, 2023 年 11 月 4 日, 新潟歯学会雑誌 53(2): 47 頁, 2023.
 - 11) グエン クアン, 秋葉陽介, 江口香里, 秋葉奈美, 魚島勝美: 移植細胞の生存率向上と機能維持を目的とした酸化還元制御による骨増生法の開発. 令和 5 年度 新潟歯学会 第 2 回例会, 新潟, 2023 年 11 月 4 日, 新潟歯学会雑誌 53(2): 45 頁, 2023.
 - 12) 小出耀, 長澤麻沙子, Kooanantkul Chuta, 魚島勝美: 繰り返し締結がアバットメントスクリューの形態および除去トルクに及ぼす影響-異なるアバットメント/フィクスチャー結合様式における比較-. 令和 5 年度 新潟歯学会 第 2 回例会, 新潟, 2023 年 11 月 4 日, 新潟歯学会雑誌 53(2): 47 頁, 2023.
 - 13) 岩間基, 加来賢, Lay Thant, 新井萌生, 水越優, 北見公平, 魚島勝美, 齋藤功: マウス臼歯根尖側の最表層には外部性線維性セメント質が存在する. 令和 5 年度 新潟歯学会 第 2 回例会, 新潟, 2023 年 11 月 4 日, 新潟歯学会雑誌 53(2): 45 頁, 2023.
 - 14) 新井萌生, 加来賢, Lay Thant, 岩間基, 水越 優, 北見公平, 魚島勝美, 齋藤功: SPARC 欠失歯根膜細胞における細胞外マトリックスの網羅的解析. 第 82 回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023 年 11 月 1-3 日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 38 頁, 155 頁, 2023.
 - 15) 岩間基, 加来賢, Lay Thant, 新井萌生, 水越優, 北見公平, 魚島勝美, 齋藤功: マウス臼歯セメント質における外部性線維の定量解析. 第 82 回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023 年 11 月 1-3 日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 182 頁, 2023.
 - 16) Zhang TongTong, 長澤麻沙子, 山本悠, 小出耀, Kooanantkul Chuta, 魚島勝美: 埋入直後に遠隔骨髄からインプラント表面に遊走する骨髄由来細胞の組織学的観察. 第 53 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会, 札幌, 2023 年 9 月 15-17 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 60 頁, 2023.
 - 17) Nguyen Van Quang, 秋葉陽介, 江口香里, 秋葉奈美, 魚島勝美: 抗酸化物質による移植細胞の生存率向上と機能維持を応用した骨増生法開発. 第 53 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会, 札幌, 2023 年 9 月 15-17 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 163 頁, 2023.
 - 18) 小出耀, 長澤麻沙子, Kooanantkul Chuta, 魚島勝美: 異なるジョイント様式におけるアバットメントの繰り返し締結がスクリュー形態に及ぼす影響. 第 53 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会, 札幌, 2023 年 9 月 15-17 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 61 頁, 2023.
 - 19) 高昇将, 青柳裕仁, 木村龍弥, 三井田慶斗, 金谷貢, 魚島勝美: 化学変性 CNF の添加がアルジネート印象材に及ぼす影響. 令和 5 年度 日本歯科理工学会中部地方会夏期セミナー, 新潟, 2023 年 8 月 25 日, 同セミナープログラム: 9 頁, 2023.
 - 20) 青柳裕仁, 木村龍弥, 高昇将, 三井田慶斗, 金谷貢, 魚島勝美: SDGs の達成を目標としたアルジネート印象材の開発. 第 33 回日本医用歯科機器学会研究発表大会, 岐阜, 2023 年 7 月 29 日, 日本医用歯科機器学会誌 28(2): 94 頁, 2023.

- 21) Lay Thant, Masaru Kaku, Azusa Dobashi, Yoshito Kakihara, Masaki Matsumoto, Isao Saito, Katsumi Uoshima: Chemical digestion-assisted extracellular matrix profiling of human periodontal ligament. 日本プロテオーム学会, 新潟, 2023 年 7 月 24-26 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 78 頁, 2023.
- 22) 土橋梓, 加来賢, Lay Thant, 小野喜樹, 小林水輝, 魚島勝美: 化学的消化法により ECM の可溶化効率を向上させた培養歯根膜細胞と歯根膜組織のプロテオーム解析. 第 55 回日本結合組織学会学術大会, 岡山, 2023 年 6 月 24-25 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 130 頁, 2023.
- 23) 小林水輝, 加来賢, 土橋梓, Lay Thant, 小野喜樹, 魚島勝美: マウス歯根膜細胞における主要な Laminin の同定とその機能解析. 第 55 回日本結合組織学会学術大会, 岡山, 2023 年 6 月 24-25 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 127 頁, 2023.
- 24) Lay Thant, Masaru Kaku, Azusa Dobashi, Yoshito Kakihara, Isao Saito, Katsumi Uoshima: Chemical digestion-assisted extracellular matrix profiling of cultured periodontal ligament cells. 第 55 回日本結合組織学会学術大会, 岡山, 2023 年 6 月 24-25 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 129 頁, 2023.
- 25) 長澤麻沙子, 小野喜樹, 小出耀, 魚島勝美: 新潟大学医歯学総合病院歯根破折外来における垂直歯根破折歯の予後調査. 公益社団法人日本補綴歯科学会第 132 回学術大会 -設立 90 周年記念大会-, 横浜, 2023 年 5 月 19-21 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 238 頁, 2023.
- 26) 山本悠, 長澤麻沙子, 張桐桐, 魚島勝美: 骨移植におけるコラーゲンクロスリンクの影響. 公益社団法人日本補綴歯科学会第 132 回学術大会 -設立 90 周年記念大会-, 横浜, 2023 年 5 月 19-21 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 257 頁, 2023.
- 27) 小野喜樹, 加来賢, 土橋梓, 小林水輝, 魚島勝美: Wnt/ β -catenin シグナルは歯周組織再生に寄与する. 公益社団法人日本補綴歯科学会第 132 回学術大会 -設立 90 周年記念大会-, 横浜, 2023 年 5 月 19-21 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 268 頁, 2023.
- 28) 土橋梓, 加来賢, Lay Thant, 小林水輝, 小野喜樹, 魚島勝美: 培養歯根膜細胞における細胞外マトリックスのマルチオミックス解析. 公益社団法人日本補綴歯科学会第 132 回学術大会 -設立 90 周年記念大会-, 横浜, 2023 年 5 月 19-21 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 263 頁, 2023.
- 29) 小林水輝, 加来賢, 土橋梓, Lay Thant, 小野喜樹, 魚島勝美: マウス歯根膜細胞の主要 Laminin である Laminin-411 は細胞接着を促進させる. 公益社団法人日本補綴歯科学会第 132 回学術大会 -設立 90 周年記念大会-, 横浜, 2023 年 5 月 19-21 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 264 頁, 2023.
- 30) Quang Nguyen Van, 秋葉陽介, 江口香里, 高岡由梨那, 秋葉奈美, 魚島勝美: 抗酸化物質エダラボンによる移植細胞の生存率向上と機能維持を応用した骨増生法開発. 公益社団法人日本補綴歯科学会第 132 回学術大会 -設立 90 周年記念大会-, 横浜, 2023 年 5 月 19-21 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 255 頁, 2023.
- 31) 金谷貢, 泉健次, 青柳裕仁, 高昇将, 三井田慶斗: 石こうの硬化膨張圧におよぼす硬化促進剤および硬化遅延剤の影響. 第 81 回日本歯科理工学会学術講演会, 東京, 2023 年 4 月 15-16 日, 同学術講演会プログラム: 48 頁, 2023.

【研究会発表】

- 1) 加来賢: 細胞外マトリックスの定量的プロテオーム解析. 第 5 回オーラルサイエンス研究会, 新潟, 2023 年 11 月 19-20 日, 同研究会開催プログラム・抄録集: 12 頁, 2023.
- 2) 秋葉陽介: 無構造超平滑チタン基板によるチタン接着タンパク質探索を基点としたオッセオインテグレーション機構解明. 第 5 回オーラルサイエンス研究会, 新潟, 2023 年 11 月 19-20 日, 同研究会開催プログラム・抄録集: 14 頁, 2023.

【受賞】

- 1) 小野喜樹: Wnt/ β -catenin シグナルの抑制によるセメント質過形成の制御. 第 23 回日本再生医療学会総会 優秀演題賞, 2024 年 3 月 23 日.
- 2) 小林水輝: 脱細胞化培養歯根膜細胞マトリックスが歯根膜細胞の遺伝子発現に及ぼす影響の網羅的解析. 第 23 回日本再生医療学会総会 優秀演題賞, 2024 年 3 月 23 日.
- 3) Nguyen Van Quang: Enhancing Bone Regeneration by Redox Control: An In Vivo Study. International Association for Dental Research Prosthodontics Group Arthur Frechette 2024 New Investigator Award 1st place, Mar 16, 2024.
- 4) Nguyen Van Quang: 抗酸化物質による移植細胞の生存率向上と機能維持を応用した骨増生法開発. 第 53 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会, 優秀研究賞, 2023 年 9 月 17 日.
- 5) 小出耀: 異なるジョイント様式におけるアバットメントの繰り返し締結がスクリュー形態に及ぼす影響. 第 53 回公益社団法人日本口腔インプラント学

- 会学術大会, 優秀ポスター賞, 2023 年 9 月 17 日.
- 6) 青柳裕仁: SDGs の達成を目標としたアルジネート印象材の開発. 2023 年度 第 33 回日本医用歯科機器学会研究発表大会, アイディア賞, 2023 年 7 月 29 日.
 - 7) 土橋梓: 化学的消化法により ECM の可溶化効率を向上させたヒト培養歯根膜細胞のプロテオーム解析. 第 55 回日本結合組織学会学術大会 Young Investigator Award, 2023 年 6 月 25 日.
 - 8) 福井智子 (指導教員: 魚島勝美・江口香里): (公社)日本補綴歯科学会主催 第 5 回 JPS student clinical skills competition, 最終選考優秀賞, 2023 年 6 月 4 日.
 - 9) 土橋梓: 培養歯根膜細胞における細胞外マトリックスの定量プロテオーム解析. 第 132 回日本補綴歯科学会学術大会 デンツプライシロナ賞, 2023 年 5 月 21 日.

【その他】

- 1) 山本悠: アバットメント締付けトルクによるプレロードが動的荷重付与後のインプラント周囲骨組織に与える影響. 新潟歯学会雑誌 53(1): 39, 2023.

顎顔面口腔外科学分野

【著 書】

- 1) 富原 圭: 小児歯科臨床 2023 年 4 月 第 28 巻第 4 号, 症例から学ぶ小児や障害者の口腔疾患. 東京臨床出版株式会社

【論 文】

- 1) Kensuke Yoshida, Shinichi Watanabe, Naoto Hoshino, Kyongsun Pak, Noriaki Hidaka, Noboru Konno, Masaki Nakai, Chinami Ando, Tsuyoshi Yabuki, Naoto Suzuki, Kouji Katsura, Kei Tomihara, and Akira Toyama. Hospital pharmacist interventions for the management of oral mucositis in patients with head and neck cancer receiving chemoradiotherapy: A multicenter, prospective cohort study. Supportive care in cancer 31:316, 2023 doi: 10.1007/s00520-023-07784-6.
- 2) Tachinami H, Tomihara K, Yamada SI, Ikeda A, Imaue S, Hirai H, Nakai H, Sonoda T, Kurohara K, Yoshioka Y, Hasegawa T, Naruse T, Niiyama T, Shimane T, Ueda M, Yanamoto S, Akashi M, Umeda M, Kurita H, Miyazaki A, Arai N, Hayashi R, Noguchi M : Neutrophil-to-lymphocyte ratio as an early marker of outcomes in patients with recurrent oral squamous cell

carcinoma treated with nivolumab. Br J Oral Maxillofac Surg 61:320-326, 2023. Doi: 10.1016/j.bjoms.2023.03.012.

- 3) Hirai H, Nishii N, Oikawa Y, Ohsako T, Kugimoto T, Kuroshima T, Tomioka H, Michi Y, Kayamori K, Ikeda T, Harada H : Buccinator muscle invasion is a risk factor for cervical lymph node metastasis in squamous cell carcinoma of the buccal mucosa: A retrospective study. Oncol Lett 25:226, 2023. doi:10.3892/ol.2023.13812.
- 4) Kensuke Yoshida, Yasumitsu Kodama, Anna Kiyomi, Kyongsun Pak, Takahiro Nagai, Chie Saito, Kyosuke Yamazaki, Munetoshi Sugiura, Akira Toyama, Kei Tomihara. Effect of Yokukansan on Preoperative Anxiety and Postoperative Pain in Mandibular Third Molar Extraction: A Pilot Study. Oral sci. int 20:1-7, 2023.
- 5) Imaue S, Osada R, Heshiki W, Sekido K, Zukawa M, Fujiwara K, Tomihara K, Noguchi M. Presurgical imaging of the subscapular artery with three-dimensional-computed tomography angiography: Application to harvesting subscapular system free-flaps. Clin Anat. 2023 May 9. doi: 10.1002/ca.24053.
- 6) Kurita H, Umeda M, Ueno T, Uzawa N, Shibuya Y, Nakamura N, Nagatsuka H, Takafumi H, Mizoguchi I, Tomihara K, Ikegami Y, Noguchi K, Takiguchi Y, Yamamoto N, Sakai H. Management of odontogenic foci of infection (dental caries, periodontal disease and odontogenic infections) in the oral functional management of patients receiving cancer treatments: Guidelines based on a systematic review. Oral Science International. 2023 July 18. 1-20. <https://doi.org/10.1002/osi2.1209>
- 7) 相澤有香, 池田順行, 齋藤夕子, 隅田賢正, 西山秀昌, 阿部達也, 富原 圭: 多数の過剰歯と集合型歯牙腫を同時に認めた 1 例. 新潟歯学会誌 2023 6. 53(1): 25-29
- 8) Kenji Izumi, Witsanu Yortchan, Yuka Aizawa, Ryota Kobayashi, Emi Hoshikawa, Yiwei Ling, Ayako Suzuki. Recent trends and perspectives in reconstruction and regeneration of intra/extra-oral wounds using tissue-engineered oral mucosa equivalents. Japanese Dental Science Review. 59:365-374, 2023.
- 9) Kayamori K, Katsube K, Hirai H, Harada H, Ikeda T : Role of stromal fibroblast-induced WNT7A associated with cancer cell migration through AKT/CLDN1 signaling axis in oral squamous cell carcinoma. Lab

Invest 103: 100228, 2023.

doi: 10.1016/j.labinv.2023.100228

- 10) 林 孝文, 高村真貴, 小林太一, 新國 農, 勝良剛詞, 富原 圭, 田沼順一: 口腔癌深達度における画像と病理の discrepancy をどう読むか. 口腔腫瘍学会誌 34 巻 4 号 151-158 頁 2022
- 11) 今上修一, 仲盛健治, 富原 圭, 石戸克尚, 立浪秀剛, 櫻井航太郎, 藤原久美子, 山田慎一, 野口誠: 下唇へ進展した下顎歯肉癌を長掌筋腱付き前腕皮弁で再建した 1 例. 口腔腫瘍学会誌 34 巻 4 号 197-202 頁 2022
- 12) Sekido K, Imaue S, Tachinami H, Tomihara K, Naruto N, Yamagishi K, Ikeda A, Fujiwara K, Noguchi M. Successful treatment by nivolumab in patient with unresectable oral squamous cell carcinoma after responding poorly to chemoradiotherapy: a case report and review of the review. Clin Case Rep. 2023 Nov 28;11(12):e8219. doi: 10.1002/ccr3.8219.
- 13) 高木律男, 上野山敦士, 池田順行. 小児期における顎関節症. 日顎誌 35 (2) : 61-68, 2023. Takagi R, Uenoyama A, Ikeda, N. Temporomandibular joint disorder in childhood. J Jpn Soc TMJ 35(2) : 61-68, 2023.
- 14) Kobayashi E, Ling Y, Kobayashi R, Hoshikawa E, Itai E, Sakata O, Okuda S, Naru E, Izumi K. Development of a lip vermilion epithelium reconstruction model using keratinocytes from skin and oral mucosa. Histochem Cell Biol. 2023 Oct;160(4):349-359. doi: 10.1007/s00418-023-02206-4.
- 15) Kobayashi R, Hoshikawa E, Saito T, Suebsamarn O, Naito E, Suzuki A, Ishihara S, Haga H, Tomihara K, Izumi K: The EGF/EGFR axis and its downstream signaling pathways regulate the motility and proliferation of cultured oral keratinocytes. FEBS Open Bio. 2023 Aug;13(8):1469-1484. doi: 10.1002/2211-5463.13653.
- 16) 金井爽海, 木口哲郎, 鶴巻 浩: 人工関節置換術患者の周術期口腔機能管理における抜歯症例についての実態調査. 新潟歯学会誌
- 17) 齋藤夕子, 黒川 亮, 永井孝宏, 上野山敦士, 池田順行, 児玉泰光, 濃野 要, 富原 圭: 当科における入院加療を要した歯科領域の重症炎症症例の臨床的検討. 有病者歯医療 32 (2) :66-71, 2023. Saito Y, Kurokawa A, Nagai T, Uenoyama A, Ikeda N, Kodama Y, Nohno K, Tomihara K. Analysis of oral and maxillofacial region infection cases at our department

that required hospitalization during the past 10 years.

JJMCP 32 (2) :66-71, 2023.

- 18) Hirai H, Nishii N, Oikawa Y, Ohsako T, Kugimoto T, Kuroshima T, Tomioka H, Michi Y, Kayamori K, Ikeda T, Harada H : Buccinator muscle invasion is a risk factor for cervical lymph node metastasis in squamous cell carcinoma of the buccal mucosa: A retrospective study. Oncol Lett 25:226, 2023. doi: 10.3892/ol.2023.13812.
- 19) Tomioka H, Nishii N, Oikawa Y, Kugimoto T, Kuroshima T, Hirai H, Kayamori K, Kaida A, Miura M, Harada H : Clinicopathological analysis of 134 patients with squamous cell carcinoma of the mandibular gingiva. Heliyon 10:e23120, 2024. doi: https://doi.org/10.1016/j.heliyon.2023.e23120

【研究費獲得】

(継続)

- 1) 新垣元基: 超音波エラストグラフィとドプラ画像による舌癌進展範囲の評価法の確立. 令和 3-6 年度 日本科学振興会科学研究費補助金, 若手研究, 計 2,600 千円. 21K17110.
- 2) 平井秀明: ゲノム検査を用いた口腔多発癌症例の特異的遺伝子変異の解析. 令和 3-5 年度 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 計 3,900 千円, 21K10134.
- 3) 永井孝宏: 顔面形成における細胞増殖活性の制御機構の解明. 令和 4-5 年度 日本科学振興会科学研究費補助金, 若手研究, 計 3,600 千円. 22K17153.
- 4) 齋藤夕子: 口腔粘膜上皮細胞と線維芽細胞から成る 2 層性自家培養口腔粘膜の開発. 令和 4-6 年度 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 計 3,200 千円. 22K10016
- 5) 上野山敦士: 角膜疾患治療に用いる口腔粘膜上皮細胞シートの特性解析と品質評価への応用展開. 令和 4-5 年度 日本学術振興会科学研究補助金. 若手研究, 計 3,500 千円.
- 6) 富原 圭: 腫瘍関連免疫抑制性細胞を標的とした口腔癌に対する新たな免疫学的アプローチの研究. 令和 4-6 年度 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 計 4,950 千円.
- 7) 永田昌毅: 培養骨膜細胞の機能性移植基材としての RGD ペプチドおよび DBM の有効性解析. 令和 4-6 年度 日本学術振興会科学研究補助金. 基盤研究(C), 計 4,160 千円 22K10033

(新規)

- 1) 隅田賢正: 若年性口腔扁平上皮癌組織の mRNA シーケンシングによるドライバー遺伝子の探索. 令和 5-

7 年度 日本学術振興会科学研究補助金. 若手, 計 3,500 千円.

- 2) 小林亮太: 骨格筋芽細胞層と結合組織をハイブリッドしたヒト赤唇 3 次元 *in vitro* モデルの開発 令和 5-6 年度 骨格筋芽細胞層と結合組織をハイブリッドしたヒト赤唇 3 次元 *in vitro* モデルの開発 研究活動スタート支援, 計 2,220 千円. 23K19684

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Tomihara K: Immunotherapy in oral cancer: Current state of future perspective of immune checkpoint inhibitors. The 12th International Scientific Meeting in Dentistry (TIKIG) in conjunction with the 8th International Conference on Biophysical Technology in Dentistry (ICoBTD). 2023 March 17. Indonesia.

【学会発表】

- 1) 黒川 亮, 金丸博子, 曾我麻里恵, 山下 萌, 新美奏恵, 佐藤由美子, 田中恵子, 石山茉佑佳, 高野 綾子, 植木麻有子, 井川 愛, 沖津佳子, 倉又七海, 勝良剛詞, 富原 圭, 上野山敦士, 齋藤夕子, 佐久間英伸, 小林正治: 当院の心臓弁膜手術における周術期口腔機能管理中の術前抜歯に関する検討. 第 20 回日本口腔ケア学会総会・学術大会, 2023 年 4 月 20-21 日. 東京都, プログラム・抄録集 202 頁, 2023.
- 2) 木口哲郎, 隅田賢正, 新垣元基, 児玉泰光, 平井秀明, 富原 圭: 内側腓腹動脈穿通枝皮弁 (MSAP flap) による舌口底再建術を行った舌癌の 2 例. 第 77 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 岡山市, 2023 年 5 月 11 日-13 日. 第 77 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会プログラム抄録集 245 頁, 2023.
- 3) 泉 健次, 内藤絵里子, 井川和代, 羽賀健太, 小林亮太, 齋藤夕子, 山崎 学, 田沼順一, 富原 圭: 口腔癌と口腔粘膜に対する重粒子線照射の影響に関する 3 次元 *in vitro* モデルを用いた研究. 第 77 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 岡山市, 2023 年 5 月 11 日-13 日. 第 77 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会プログラム抄録集 165 頁, 2023.
- 4) 小林亮太, 相澤有香, 内藤絵里子, 富原圭, 泉健次: 口腔粘膜角化細胞の運動と増殖に関する分子生物学的メカニズムの解明, 第 77 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 2023 年 5 月 11,12,13 日, 岡山.
- 5) Yonesi Amirmozz, 富原 圭, 高塚団貴, 立浪秀剛, 山崎 学, 高市真由, Younesi Amirreza, 山田慎一, 田沼順一, 野口 誠: Rapamycin induces phenotypic alterations of oral cancer cells that facilitate antitumor T

cell response 第 77 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 岡山市, 2023 年 5 月 11 日-13 日. 第 77 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会プログラム抄録集 270 頁, 2023.

- 6) 永井孝宏, 相澤有香, 大石章寛, 隅田賢正, 齋藤夕子, 上野山敦士, 池田順行, 平井秀明, 富原圭: MTX 内服患者の下顎歯肉と口蓋扁桃に併発した EBV 陽性粘膜皮膚潰瘍の 1 例. 第 61 回日本口腔科学会北日本地方会部会・第 49 回日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 2023 年 5 月 20-21 日. 第 61 回日本口腔科学会北日本地方会部会・第 49 回日本口腔外科学会北日本支部学術集会プログラム抄録集 69 頁, 2023.
- 7) 永井孝宏, 園辺 悠, 祁 君容, 小林亮太, 笠原映, 木口哲朗, 山田 葵, 永田昌毅, 富原 圭: 当科における培養自家骨膜細胞移植を用いた上顎洞底挙上術. 第 61 回日本口腔科学会北日本地方会部会・第 49 回日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 2023 年 5 月 20-21 日. 第 61 回日本口腔科学会北日本地方会部会・第 49 回日本口腔外科学会北日本支部学術集会プログラム抄録集 50 頁, 2023.
- 8) 笠原 映, 飯田明彦, 小林孝憲, 成松花弥: 上顎小白歯と埋伏過剰歯の癒合歯の 2 例. 第 61 回日本口腔科学会北日本地方会部会・第 49 回日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 2023 年 5 月 20-21 日. 第 61 回日本口腔科学会北日本地方会部会・第 49 回日本口腔外科学会北日本支部学術集会プログラム抄録集 75 頁, 2023.
- 9) 池田順行, 野山敦士, 高木律男, 小林孝憲, 西山秀昌, 富原 圭. 下顎頭切除を行った陳旧性両側関節脱臼の 1 例. 第 36 回日本顎関節学会総会・学術大会. 東京都, 2023 年 7 月 8-9 日. 第 36 回日本顎関節学会総会学術大会プログラム抄録集 123 頁, 2023.
- 10) 園辺悠, 伊藤元貴, 照沼美穂: アセチル-CoA カルボキシラーゼ阻害剤 TOFA による口腔扁平上皮癌細胞死のメカニズム, 新潟市, 2023 年 7 月 22 日. 第 63 回新潟生化学懇話会プログラム集 34 頁, 2023 年
- 11) 立浪秀剛, 富原 圭, 山田慎一, 鳴瀬智史, 新山 崇, 柳本惣市, 宮崎晃亘, 林 龍二, 野口 誠: Neutrophil-to-lymphocyte ratio as an early marker of outcomes in patients with oral cancer treated with nivolumab, 第 82 回日本癌学会学術総会, 2023 年 9 月 21-23 日, 横浜
- 12) 吉田謙介, 渡邊真一, 星野直人, 朴 慶純, 飛鷹範明, 金野 昇, 中井昌紀, 安藤智七美, 矢吹 剛, 鈴木直人, 勝良剛詞, 富原 圭, 外山 聡: 化学放射線療法を受ける頭頸部癌患者に対する口腔粘膜

- 炎対策における病院薬剤師介入の効果—多施設共同前向きコホート研究—, 第 33 回日本医療薬学会, 仙台, 2023 年 11 月 3 日
- 13) 星野直人, 吉田謙介, 矢吹剛, 多川洋史, 古賀雅良, 鈴木直人, 貝瀬眞由美, 外山聡: がん化学療法における薬剤師の口腔粘膜炎に関する知識や意識の向上に対する歯科医師による e-Learning の有用性の検討, 第 33 回日本医療薬学会, 仙台, 2023 年 11 月 4 日
 - 14) 曾我麻里恵, 金丸博子, 黒川亮, 山下萌, 新美奏恵, 田中裕, 山野井敬彦, 長谷川健二, 田中恵子, 石山茉佑佳, 小林正治: 当院の周術期口腔機能管理における口腔内装置の有効性に関連する報告, 新潟市, 2023 年 11 月 4 日. 令和 5 年度新潟歯学会第 2 回例会・抄録集 14 頁, 2023 年.
 - 15) 山田 葵, 都野隆博, 多部田康一, 永田昌毅: ヒト脱灰骨基質の骨再生足場材としての有用性, 2023 年 11 月 4 日, 新潟歯学会第 2 回例会プログラム抄録集 15 頁, 2023 年
 - 16) 相澤有香, 齊藤夕子, 木口哲郎, 山田 葵, 富原圭: 90 歳以上の超高齢者に対し外科的消炎術を行った重症菌性感染症の 2 例, 大阪市, 2023 年 11 月 10-12 日. 第 68 回日本口腔外科学会総会・学術集会プログラム抄録集 674 頁, 2023 年.
 - 17) 隅田賢正, 児玉泰光, 山崎学, 田沼順一, 林孝文, 富原圭: 上唇に発生した好酸球増多を伴う硬化性粘表皮癌の一例, 第 68 回日本口腔外科学会総会・学術集会, 大阪市, 2023 年 11 月 10-12 日. 第 68 回日本口腔外科学会総会・学術集会プログラム抄録集 658 頁, 2023 年.
 - 18) 齋藤夕子, 隅田賢正, 木口哲郎, 上野山敦士, 池田順行, 平井秀明, 富原圭: BSC の方針となった頭頸部悪性腫瘍の一次症例の臨床的検討, 大阪市, 2023 年 11 月 10-12 日. 第 68 回日本口腔外科学会総会・学術集会プログラム抄録集 649 頁, 2023 年.
 - 19) 小林亮太, 池田順行, 丸山智, 田沼順一, 富原圭: 舌に生じた Oral Focal Mucinosi s の 1 例, 第 68 回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術集会, 2023 年 11 月 10,11,12 日, 大阪.
 - 20) 児玉 泰光, 林 孝文, 小林 亮太, 上野山 敦士, 高村 真貴, 新國 農, 山崎 学, 田沼 順一, 富原 圭, 鶴巻 浩, 超音波診断法を用いて周術期画像精査を行った 咀嚼筋腱・腱膜過形成症の 1 例, 大阪市, 2023 年 11 月 10-12 日. 第 68 回日本口腔外科学会総会・学術集会プログラム抄録集 607 頁, 2023 年.
 - 21) 高塚 団貴, 立浪 秀剛, 櫻井 航太郎, 高市 真由, 富原 圭, 山田 慎一, 野口 誠: 口腔癌における PAK4 阻害による免疫学的修飾作用, 第 68 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 2023 年 11 月 10-12 日, 大阪
 - 22) 山口百々穂, 立浪 秀剛, 高塚 団貴, 高市 真由, 富原 圭, 野口 誠: 癌化学療法での口腔粘膜炎治療の基礎的研究—線維芽細胞へのアスタキサンチンの効果—, 第 68 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 2023 年 11 月 10-12 日, 大阪
 - 23) 園辺悠, 木口哲郎, 永井孝宏, 新國農, 山崎学, 富原圭: 多発性顎骨嚢胞を契機に診断に至った高齢者の基底細胞母斑症候群の 1 例, 新潟市, 2023 年 11 月 24 日. 第 115 回関東形成地方会新潟地方会プログラム抄録集 69 頁, 2023 年.
 - 24) 今上修一, 立浪秀剛, 櫻井航太郎, 高塚団貴, 石戸克尚, 高市真由, 藤原久美子, 富原 圭, 池田篤司, 山田慎一, 野口 誠: 頬脂肪体移植とミリングバーを応用したインプラントオーバーデンチャーを用いて機能回復を行った高齢上顎肉肉癌患者の 4 例, 第 27 回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 2023 年 12 月 2, 3 日, 東京
 - 25) 今上修一, 立浪秀剛, 櫻井航太郎, 高塚団貴, 石戸克尚, 高市真由, 藤原久美子, 富原 圭, 池田篤司, 山田慎一, 野口 誠: 広範囲顎骨切除後の機能回復に用いたデンタルインプラントの予後に関する臨床的検討, 第 27 回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 2023 年 12 月 2, 3 日, 東京
 - 26) 笠原 映, 富原 圭, 永田昌毅: 3 次元画像解析システムを用いた層別化 CT 値分布の経時的解析による骨再生の質的評価—培養自家骨膜細胞による上顎洞底挙上術症例—, 第 27 回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 2023 年 12 月 2, 3 日, 東京
 - 27) 木口哲郎, 隅田賢正, 齋藤夕子, 上野山敦士, 平井秀明, 富原 圭: 舌扁平上皮癌 N0 症例における頸部リンパ節後発転移の予測因子の検討. 第 42 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 札幌市, 2024 年 1 月 25, 26 日. 第 42 回日本口腔腫瘍学会学術大会プログラム抄録集 229 頁, 2024 年.
 - 28) 古賀雅良, 吉田謙介, 黒川 亮, 星野直人, 齋藤千愛, 田中恵子, 石山茉佑佳, 曾我麻里恵, 山下萌, 金丸博子, 朴 慶純, 富原 圭, 外山 聡: 後ろ向き研究によるがん化学療法患者の口腔粘膜炎発症及び重症度と血液検査値との関連性の調査, 日本臨床腫瘍薬学会, 神戸, 2024 年 3 月 2,3 日
 - 29) 齋藤夕子, 黒川 亮, 木口哲郎, 上野山敦士, 池田順行, 富原 圭: 舌の異常出血を契機にアルコール性肝硬変と診断された 1 例. 第 33 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 新潟, 2024 年 3 月 8-10 日. 第 33 回日本有病者歯科医療学会学術大会プログラム抄録集 108 頁, 2024 年.

- 30) 黒川亮, 金丸博子, 曾我麻里恵, 山下 萌, 新美奏恵, 田中恵子, 石山茉佑佳, 富原 圭, 吉田謙介, 佐久間英伸, 小林正治: ステロイド療法中に象牙質知覚過敏様疼痛が出現した 20 例についての臨床的検討, 第 33 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 新潟, 2024 年 3 月 8-10 日. 第 33 回日本有病者歯科医療学会学術大会プログラム抄録集 32 頁, 2024 年.
- 31) 山田 葵, 都野隆博, 永田昌毅: ヒト脱灰骨基質の骨再生足場材としての有用性, 新潟市, 2024 年 3 月 21 日-23 日, 第 23 回日本再生医療学会総会プログラム抄録集●頁, 2024 年
- 32) 相澤 有香, 凌 一葦, 高田 翔, Yortchan Witsanu, 田中凜太郎, 鈴木絢子, 奥田修二郎, 富原 圭, 泉健次: 培養基盤の物性の違いによる培養口腔粘膜上皮細胞シートの遺伝子発現の比較解析, 新潟市, 2024 年 3 月 21 日-23 日. 第 23 回日本再生医療学会総会プログラム抄録集 548 頁, 2024 年.

【その他】

- 1) 吉田謙介: マウスモニタリングを始めよう～がん患者に必要な口腔ケア～, 日本臨床腫瘍薬学会学術大会2023 シンポジウム, 2023年3月4日, ハイブリッド開催.
- 2) 吉田謙介: 多施設共同で取り組むがん化学療法患者の口腔粘膜炎対策～TAKT 研究の成果～, 関東ブロック学術大会 2023 シンポジウム, 2023 年 8 月 26-27 日, 新潟

口腔解剖学分野

【論 文】

- 1) Kudo T, Kawasaki M, Kawasaki K, Meguro F, Nihara J, Honda I, Kitamura M, Fujita A, Osawa K, Ichikawa K, Nagai T, Ishida Y, Sharpe PT, Maeda T, Saito I, Ohazama A: Ift88 regulates enamel formation via involving Shh signaling. Oral Dis May;29(4):1622-1631, 2023.
- 2) Ida-Yonemochi H, Otsu K, Irié T, Ohazama A, Harada H, Ohshima H: Loss of autophagy disrupts stemness of ameloblast-lineage cells in aging. J Dent Res. 103(2):156-166, 2024.

【著 書】

- 1) 大峽 淳: 歯と口腔の発生. 第 3 版口腔組織・発生学 (前田健康・網塚憲生・中村浩彰編).12-21 頁, 医歯薬出版, 東京, 2023
- 2) 大峽 淳: 歯胚の発生. 第 3 版口腔組織・発生学 (前田健康・網塚憲生・中村浩彰編).22-28 頁, 医歯薬出

版, 東京, 2023

【研究費獲得】

- 1) 大峽 淳, 川崎真依子, 川崎勝盛: 口蓋形成における X 染色体の不活性化の検索. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽), 23K18354, 2023.
- 2) 大峽 淳, 川崎真依子: 皮膚の付属器官発生における老化活性の機能解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(B), 課題番号 21H03122, 2023.
- 3) 川崎 真依子, 大峽 淳, 川崎勝盛: 歯の形成における DNA 損傷/修復のメカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 23K09434, 2023.
- 4) 川崎勝盛, 大峽 淳: 上顎正中過剰歯の発生メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 21K10182, 2023.
- 5) 石田陽子, 川崎勝盛, 大峽 淳: 下顎骨形成メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 21K10088, 2023.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 川崎真依子: 顔面発生における X 染色体不活性化. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会アップデートシンポジウム, 新潟, 2023 年 9 月 16～18 日
- 2) 大峽 淳. MicroRNA は中顔面形成において老化シグナルを抑制している. 第 5 回オーラルサイエンス研究会. 新潟, 2023 年 11 月 19～20 日
- 3) 川崎 真依子. 顎顔面発生における X 染色体不活性化. 第 5 回オーラルサイエンス研究会. 新潟, 2023 年 11 月 19～20 日

【学会発表】

- 1) 目黒史也, 川崎勝盛, 川崎真依子, 北村円, Jean Rosenbaum, 大峽淳. 胎児酸素環境に依存した重層扁平上皮の発生機序, 第 5 回口腔医科学フロンティア研究会, 新潟 2023 年 4 月 16～17 日
- 2) 川崎勝盛, 川崎真依子, 大峽 淳: 耳小骨形成における Shh の時間的量的重要性の解明, 第 111 回日本解剖学会関東支部学術集会, 新潟, 2023 年 9 月 2～3 日
- 3) 川崎勝盛, 川崎真依子, Finsa Tisana Sari, Vanessa Utama, 大峽 淳. 第 13 回繊毛研究会. 東京, 2023 年 10 月 23、24 日
- 4) Finsa Tisana Sari, Vanessa Utama, Katsushige Kawasaki, Maiko Kawasaki, Jun Nihara, Kazuaki Oosawa, Takehisa Kudo, Madoka Kitamura, Takeyasu Maeda, Atsushi Ohazama. MicroRNAs inhibit senescence in craniofacial

development. 新潟歯学会. 第2回例会. 新潟, 2023年11月4日

【受賞】

- 1) 目黒史也, 川崎勝盛, 川崎真依子, 北村円, Jean Rosenbaum, 大峽淳. 胎児酸素環境に依存した重層扁平上皮の発生機序, 第5回口腔医科学フロンティア研究会, 新潟, 奨励賞, 2023年4月16~17日

【その他】

- 1) 第5回口腔医科学フロンティア研究会 主催, 2023年4月16~17日, 新潟
- 2) 西村隆之, 小暮 悠杏; Canonical Wnt signaling in pre-migratory cranial neural crest cells determine their post-migratory cell proliferation in orofacial development; 令和5年度スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム (SCRIP) 大会; 川崎真依子 (ファカルティー アドバイザー)

口腔生理学分野

【著書】

- 1) 岡本 圭一郎, 長谷川 真奈: 口腔顔面痛の診断と療ガイドブック 第3版. 第2部 7.ストレスと痛み 第4部 6.運動療法-4)全身運動と痛み. 75-8, 177-8 頁, 医歯薬出版, 東京, 2023年.
- 2) 岡本圭一郎 他: 人体の構造と機能・歯・口腔の構造と機能・疾病の成り立ち及び回復過程の促進 (担当:共著, 範囲:I編 SECTION14-26, II編 SECTION 4-5)医歯薬出版, 東京 2023年.

【論文】

- 1) Piriyastrasath K, Kakiara Y, Kurahashi A, Taiyoji M, Kodaira K, Aihara K, Hasegawa M, Yamamura K, Okamoto K: Preventive Roles of Rice-koji Extracts and Ergothioneine on Anxiety- and Pain-like Responses under Psychophysical Stress Conditions in Male Mice. *Nutrients* 15(18): Doi: 10.3390/nu15183989, 2023.
- 2) Piriyastrasath K, Hasegawa M, Kakiara Y, Iwamoto Y, Kamimura R, Saito I, Fujii N, Yamamura K, Okamoto K: Effects of stress contagion on anxiogenic- and orofacial inflammatory pain-like behaviors with brain activation in mice. *Eur J Oral Sci* : e12942, Doi: 10.1111/eos.12942, 2023.

【研究費獲得】

- 1) 岡本 圭一郎: トレッドミル走がストレス誘発性の

顔面痛を軽減する脳メカニズム. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 23K09391 2023年

- 2) 山村健介, 黒瀬雅之, 内山美枝子, 佐藤大祐, 岡本圭一郎, 新井映子, 小林琢也: 認知症高齢者の包括的な食支援モデルの構築. 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (B) , 22H03375, 2022-2025.

【学会発表】

- 1) 岩本 佑耶, Kajita Piriyastrasath, 長谷川 真奈, 柿原嘉人, 藤井 規孝, 山村 健介, 岡本 圭一郎: 雄マウスの咬筋持続的炎症モデルにおける不安および後肢痛様反応に対するアグマチンの予防的役割. 第101回日本生理学会大会, 小倉, 2024年3月28-30日.
- 2) Kajita Piriyastrasath, Yuya Iwamoto, Mana hasegawa, Yoshihito Kakiara, Noritaka Fujii, Kensuke Yamamura, Keiichiro Okamoto: Effects of Rice-koji extracts and ergothioneine on anxiety- and pain-like responses under psychophysical stress conditions in mice. 第101回日本生理学会大会, 小倉, 2024年3月28-30日.
- 3) 長谷川 真奈, 岡本 圭一郎: ストレス伝染による咬筋侵害応答の増大と下行性疼痛制御系の変調について. 第28回日本口腔顔面痛学会総会・学術大会, 筑紫野, 2023年11月17-19日.
- 4) 松尾小百合, 森川和政, 熊谷美保, 加藤哲也, 山村健介, 黒瀬雅之: 小型6軸センサを活用した簡易粘度計の実用化に向けた検討. 特定非営利活動法人日本咀嚼学会 第34回学術大会, 大阪, 2023年10月29日.
- 5) 宮崎透奈, 竹原遼, 鈴木達也, 長谷川陽子, 吉村将悟, サンタマリア マリアテリース, 堀一浩, 山村健介, 小野高裕, 小野弓絵: 咀嚼行動の変容を促した時の若年者と高齢者のガムチューイング中脳活動の変化. 第62回日本生体医工学会大会, 名古屋, 2023年5月18日.
- 6) Kajita Piriyastrasath, 長谷川 真奈, 柿原 嘉人, 藤井 規孝, 山村 健介, 岡本 圭一郎: ストレス伝染は吻側延髄腹側部を変調させる. 第65回歯科基礎医学学会学術大会, 東京, 2023年9月16-18日.
- 7) サンタマリア マリアテリース, 長谷川 陽子, 吉村将悟, 堀 一浩, 山村 健介, 小野 高裕: Cognitive function-related changes due to masticatory behavior modification: Two randomized controlled studies by age. 一般社団法人日本老年歯科医学会第34会学術大会. 横浜, 2023年6月16日.
- 8) 吉岡 望, 黒瀬 雅之, 佐野 裕美, 知見 聡美, 山村 健介, 南部 篤, 竹林 浩秀: Dystonia musculorum マウスが示す運動異常における感覚運

動回路の役割. 第 66 回日本神経化学会, 神戸, 2023 年 7 月 6 日.

- 9) Yukina Miyazaki, Tatsuya Suzuki, Yoko Hasegawa, Shogo Yoshimura, Ma. Therese Sta. Maria, Kazuhiro Hori, Kensuke Yamamura, Takahiro Ono, Yumie Ono : Effect of habituating intentional chewing on brain activity in older adults. Neuroscience2023, Washington, D.C., 2023 年 11 月 14 日.
- 10) Y. Tsutsui, T. Tsujimura, K. Piriyaprasath, T. Chotirungsan, J. Magara, K. Okamoto, K. Yamamura, M. Inoue : Activation of motor neurons of posterior belly of digastric muscle during swallowing. Neuroscience2023, Washington, D.C., 2023 年 11 月 13 日.
- 11) Kajita Piriyaprasath, Mana Hasegawa, Yoshito Kakiyama, Keiichiro Okamoto, Noritaka Fujii, Kensuke Yamamura. Effects of stress contagion on anxiety- and orofacial pain-like responses with brain activation in mice. 第 56 回新潟歯学会 2023 年 4 月 15 日.

【その他】

- 1) 岡本圭一郎 : 食から目指す健康寿命の延伸ー「食べる力」は「生きる力」米発酵食品でストレスを解消する 新潟大学 令和 5 年度後期 新潟大学公開講座 (新潟市) 2023 年 10 月 21 日
- 2) 山村健介 咀嚼をつかさどる脳と身体のおもしろさ 日本咀嚼学会 第 23 回健康咀嚼指導士認定研修会 2023 年 7 月 19 日～8 月 2 日 (Web 開催)
- 3) 山村健介 食を楽しむために必要な身体のおもしろさ 令和 5 年度にいがた市民大学 大学コンソーシアム連携講座 (新潟市) 2023 年 7 月 29 日
- 4) 山村健介 人生 100 年時代を健やかに過ごすための口役 生きがいづくりセミナー2023 (新潟市) 2023 年 9 月 30 日
- 5) 岡本圭一郎 米麴にストレス軽減効果 新潟日報 社会面 2023 年 11 月 13 日
- 6) 岡本圭一郎 米麴にストレス軽減効果あり JST 科学新聞 2023 年 11 月 10 日
- 7) 岡本圭一郎 米麴がストレス軽減につながる？米発酵食品の健康効果について聞いたメディアエンジン株式会社 Wellulu <https://wellulu.com/balanced-diet/12241/> 2023 年 12 月 20 日

口腔生化学分野

【論文】

- 1) Iida I., Konno K., Natsume R., Abe M., Watanabe M.,

Sakimura K., Terunuma M. Behavioral analysis of kainate receptor KO mice and the role of GluK3 subunit in anxiety. *Scientific Reports*. 2024 Feb 24; 14(1):4521.

- 2) Akiyama H., Kawano F., Terunuma M., Hirata S., Hasagawa T., Tsuruta J., Taguchi N., Oto T., Noritake K., Satomura K., Ueda T., Onizuka C., Morita H. The Journal of Japanese Dental Education Association. Special Issue, 2024 Mar; p1-40.

【商業誌】

- 1) 市木貴子: 神経系による飲水制御～消化管における浸透圧センシング機構～. 実験医学 41(20) (増刊) 3310-3316 頁, 羊土社, 2023 年 12 月
- 2) 照沼美穂: 研究者のキャリアパス～海外留学から PI になるまで～. 生理学女性研究者の会ニュースレター, 2024 年 2 月

【研究費獲得】

- 1) 照沼美穂: 歯周病原細菌としての精神疾患発症機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤 (B), 21H03109.
- 2) 照沼美穂: 新たな不安発症の分子基盤解明のための日丁共同研究. 日本学術振興会科学研究費基金 国際共同研究強化 (B), 22KK0140.
- 3) 市木貴子: 迷走神経による低浸透圧感知メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費基金 若手研究, 22K15223.
- 4) 市木貴子: 革新的イメージング技術による脳腸相関メカニズムの解明. JST 戦略的創造研究推進事業 さきがけ「生体多感覚システム」領域, 23829130.
- 5) 那須優介: 歯周病原細菌感染症による脳内・脳機能変化の解析. 新潟大学 未来のライフ・イノベーションを創出するフロンティア育成プロジェクト. J21H0032.
- 6) 那須優介: 歯周病原細菌感染症によるうつ様行動発症機序の解明. 新潟大学令和 5 年度 Ugo グラント支援研究費. J21H0032.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 照沼美穂: タンパク質代謝不全が脳機能に与える影響, 第 64 回日本神経病理学会総会学術研究会/第 66 回日本神経化学会大会 合同大会, 兵庫県神戸市, 2023 年 7 月 6 日～8 日.
- 2) 照沼美穂: Regulatory mechanism of astroglial glutamate synthetase and its role in CNS health and diseases., 第 64 回日本神経病理学会総会学術研究会/第 66 回日本神経化学会大会 合同大会, 兵庫県神戸市, 2023 年 7 月 6 日～8 日.

- 3) Miho Terunuma. Induction of astrocyte senescence by ammonia. 第 97 回日本薬理学会年会/第 44 回日本臨床薬理学会学術総会, 神戸市, 2023 年 12 月 14 日-16 日.
- 4) 照沼美穂: 文部科学省委託研究事業「歯学教育モデルコアカリキュラム」調査研究シンポジウム. 資質・能力「科学的探究」. 2024 年 1 月 29 日.
- 5) 市木貴子: 消化管における飲水感知メカニズム. 第 5 回口腔医科学フロンティア研究会, 新潟, 2023 年 4 月 16 日
- 6) 市木貴子: 消化管における飲水感知メカニズムの解明. 第 70 回実験動物学会総会, 茨城県つくば市, 2023 年 5 月 26 日
- 7) 市木貴子: 消化管における飲水感知メカニズムの解明. 第 46 回日本神経科学会, 宮城県仙台市, 2023 年 8 月 2 日.
- 8) 市木貴子: 神経系による体液恒常性維持メカニズム. 第 76 回日本自律神経学会総会, 埼玉県さいたま市, 2023 年 10 月 29 日.
- 9) 市木貴子: 消化管支配神経の in vivo イメージングを用いた飲水感知機構の解明, 第 101 回日本生理学会大会, 福岡県北九州市, 2024 年 3 月 28 日.
- 6) Vittani M. Knak P.A.G., Hiraoka Y., Lee A.B., Wang L.X., Konno A., Kusk P., Kagao M., Asiminas A., Mishima T., Kjaerby C., Terunuma M., Fukuda M., Hirai H., Nedergaard M., Tanaka K., Hirase H., Visualization of murine cerebral circulation by fluorescent protein knock-in to the albumin locus. *Neuroscience 2023*, Washington DC, USA, November 11-15, 2023.
- 7) Vittani M. Knak P.A.G., Hiraoka Y., Lee A.B., Wang L.X., Konno A., Kusk P., Kagao M., Asiminas A., Mishima T., Kjaerby C., Terunuma M., Fukuda M., Hirai H., Nedergaard M., Tanaka K., Hirase H., Visualization of murine cerebral circulation by fluorescent protein knock-in to the albumin locus. 4th Nordic Neuroscience Meeting, Copenhagen, Denmark, January 15-17, 2024.

【研究会発表】

- 1) 照沼美穂. 脳内グルタミン酸とてんかん. オルガネラ研究会, 新潟 (オンライン形式) 2023 年 6 月 1 日.
- 2) 那須優介、多部田康一、照沼美穂: 歯周病原細菌性菌血症による脳内・脳機能変化の解析. 第 63 回新潟生化学懇話会, 新潟県新潟市, 2023 年 7 月 22 日.
- 3) 那須優介、多部田康一、照沼美穂: てんかん治療のターゲットとしてのアストロサイトの可能性. 第 5 回オーラルサイエンス研究会, 新潟県新潟市, 2023 年 11 月 19 日.
- 4) 園辺悠、伊藤元貴、照沼美穂: アセチル-CoA カルボキシラーゼ阻害剤 TOFA による口腔扁平上皮癌細胞死のメカニズム. 第 63 回新潟生化学懇話会, 新潟県新潟市, 2023 年 7 月 22 日.
- 5) Muhammad Fadhli Putranto, Genki Ito, Miho Terunuma: ACC2 regulates Fatty Acid Synthesis through SREBP-1/FASN pathway in Oral Squamous Cell Carcinoma. 第 63 回新潟生化学懇話会, 新潟県新潟市, 2023 年 7 月 22 日.

【授 賞】

- 1) 市木貴子: 令和 5 年度新潟大学優秀論文表彰, 新潟大学, 2023 年 10 月 27 日.
- 2) 市木貴子: 令和 5 年度新年俸制教員特別報奨, 新潟大学, 2024 年 3 月 18 日.
- 3) 那須優介: てんかん治療のターゲットとしてのアストロサイトの可能性. 優秀発表賞, 第 5 回オーラルサイエンス研究会, 2023 年 11 月 19 日.

【その他】

- 1) 照沼美穂: 脳機能に重要なアミノ酸代謝～疾患との関連性～. 新潟大学自然科学系附置ユビキタスグ

【学会発表】

- 1) Yusuke Nasu, Ayaka Komatsu, Izumi Iida, Koichi Tabeta, Miho Terunuma: Ammonia induces amyloidogenesis in astrocytes by promoting amyloid precursor protein translocation into the endoplasmic reticulum, *The 34th CINP World Congress of Neuropsychopharmacology*, Montreal, Canada, May 9, 2023.
- 2) 那須優介、小松彩夏、照沼美穂: アンモニアによる新規脳内アミロイド形成機構. 2023 年度日本生化学会関東支部例会, 山梨県中央市 2023 年 6 月 10 日.
- 3) 那須優介、岸川咲史、照沼美穂: てんかん誘導性神経炎症における YAP を介したグルタミン合成酵素発現機構の役割. 第 64 回日本神経病理学会総会学術研究会/第 66 回日本神経化学会大会合同大会, 兵庫県神戸市, 2023 年 7 月 7 日.
- 4) 那須優介、多部田康一、照沼美穂: てんかんにおける YAP を介したグルタミン合成酵素発現機構の役割. 令和 5 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟県新潟市, 2023 年 11 月 4 日.
- 5) Emi Sawada, Kosei Takeuchi, Yurie Sato-Yamada, Miho Terunuma, Hiroyuki Sasakura, Yuki Morioka, Takeyasu Maeda, Kenji Seo. Possible involvement of synthetic synapse organizer protein in the restoration of sensory function of injured trigeminal nerve. *Neuroscience 2023*, Washington DC, USA, November 11-15, 2023.

リーケミカルエネルギー連携教育研究センター (UGCE) シンポジウム. 2023 年 12 月 1 日.

- 2) 照沼美穂：脳健康と食生活. 新潟大学公開講座 人生 100 年時代に考える「食べることは元気のもと」. 2024 年 1 月 13 日.

歯周診断・再建学分野

【著 書】

- 1) 小松康高, 多部田康一：2 章 歯周基本治療 1 歯周病の検査と診断. 「歯周病の新分類対応 アップデート・ザ・ペリオー超高齢社会へのアプローチ」 (岩田隆紀, 多部田康一, 土岡弘明 編), 44-51 頁, デンタルダイヤモンド社, 京都, 2023.
- 2) 野中由香莉：2 章 歯周基本治療 2 治療計画立案. 「歯周病の新分類対応 アップデート・ザ・ペリオー超高齢社会へのアプローチ」 (岩田隆紀, 多部田康一, 土岡弘明 編), 52-57 頁, デンタルダイヤモンド社, 京都, 2023.
- 3) 杉田典子：2 章 歯周基本治療 TOPICS 1 糖尿病と歯周病の関係. 「歯周病の新分類対応 アップデート・ザ・ペリオー超高齢社会へのアプローチ」 (岩田隆紀, 多部田康一, 土岡弘明 編), 58-59 頁, デンタルダイヤモンド社, 京都, 2023.
- 4) 高橋直紀：2 章 歯周基本治療 TOPICS 3 超高齢社会における高齢者・有病者への対応. 「歯周病の新分類対応 アップデート・ザ・ペリオー超高齢社会へのアプローチ」 (岩田隆紀, 多部田康一, 土岡弘明 編), 84-85 頁, デンタルダイヤモンド社, 京都, 2023.
- 5) 佐藤圭祐：2 章 歯周基本治療 TOPICS 4 予防的抗菌薬の適正使用. 「歯周病の新分類対応 アップデート・ザ・ペリオー超高齢社会へのアプローチ」 (岩田隆紀, 多部田康一, 土岡弘明 編), 86-87 頁, デンタルダイヤモンド社, 京都, 2023.

【論 文】

- 1) Deandra FA, Ketherin K, Rachmasari R, Sulijaya B, Takahashi N: Probiotics and metabolites regulate the oral and gut microbiome composition as host modulation agents in periodontitis: A narrative review. *Heliyon* 9(2): e13475, 2023.
- 2) Tamura H, Maekawa T, Domon H, Sirisereephap K, Isono T, Hirayama S, Hiyoshi T, Sasagawa K, Takizawa F, Maeda T, Terao Y, Tabeta K: Erythromycin restores osteoblast differentiation and osteogenesis suppressed by *Porphyromonas gingivalis* lipopolysaccharide.

Pharmaceuticals (Basel) 16(2): 303, 2023.

- 3) Takizawa F, Domon H, Hiyoshi T, Tamura H, Shimizu K, Maekawa T, Tabeta K, Ushida A, Terao Y: Ozone ultrafine bubble water exhibits bactericidal activity against pathogenic bacteria in the oral cavity and upper airway and disinfects contaminated healthcare equipment. *PLOS ONE* 18(4): e0284115, 2023.
- 4) Isono T, Hirayama S, Domon H, Maekawa T, Tamura H, Hiyoshi T, Sirisereephap K, Takenaka S, Noiri Y, Terao Y: Degradation of EGFR on lung epithelial cells by neutrophil elastase contributes to the aggravation of pneumococcal pneumonia. *J Biol Chem* 99(6): 104760, 2023.
- 5) Domon H, Hirayama S, Isono T, Sasagawa K, Takizawa F, Maekawa T, Yanagihara K, Terao Y: Macrolides decrease the proinflammatory activity of macrolide-resistant *Streptococcus pneumoniae*. *Microbiol Spectr* 11(3): e0014823, 2023.
- 6) Hirayama S, Hiyoshi T, Yasui Y, Domon H, Terao Y: C-terminal lysine residue of pneumococcal triosephosphate isomerase contributes to its binding to host plasminogen. *Microorganisms* 11(5): 1198, 2023.
- 7) Kobayashi R, Hoshikawa E, Saito T, Suebsamam O, Naito E, Suzuki A, Ishihara S, Haga H, Tomihara K, Izumi K: The EGF/EGFR axis and its downstream signaling pathways regulate the motility and proliferation of cultured oral keratinocytes. *FEBS Open Bio* 13(8): 1469-1484, 2023.
- 8) Kobayashi E, Ling Y, Kobayashi R, Hoshikawa E, Itai E, Sakata O, Okuda S, Naru E, Izumi K: Development of a lip vermilion epithelium reconstruction model using keratinocytes from skin and oral mucosa. *Histochem Cell Biol* 160(4): 349-359, 2023.
- 9) Aoki-Nonaka Y, Hokari T, Matsukawa Y, Sato K, Hara M, Takeuchi M, Takamisawa K, Yamazaki K, Tsuzuno T, Tamura H, Hiyoshi T, Meguro F, Hoshikawa E, Matsugishi A, Kaneko C, Mineo S, Yamashita M, Tabeta K: Five-year prognosis and risk factor analysis of open flap debridement for older people. *Operative Dentistry, Endodontology and Periodontology* 3(1): 154-164, 2023.
- 10) Kobayashi T, Ito S, Murasawa A, Ishikawa H, Tabeta K: The serum immunoglobulin G titres against *Porphyromonas gingivalis* as a predictor of clinical response to 1-year treatment with biological disease-modifying antirheumatic drugs in rheumatoid arthritis patients: A retrospective cohort study. *Mod Rheumatol* 33(5): 918-927, 2023.
- 11) Dwiputri E, Lestari KD, Tan GHK, Sulijaya B, Soeroso Y,

Masulili SLC, Takahashi N, Tabeta K: Osteoclastogenesis inhibitor and antioxidant properties of konjac glucomannan in a periodontitis mice model: an in vivo study. *Int J Dent* 2023; 7400421, 2023.

- 12) Lestari KD, Dwiputri E, Tan GHK, Sulijaya B, Soeroso Y, Natalina N, Harsas NA, Takahashi N: Exploring the antibacterial potential of konjac glucomannan in periodontitis: animal and in vitro studies. *Medicina* 59(10): 1778, 2023.
- 13) Kobayashi T, Bartold PM: Periodontitis and periodontopathic bacteria as risk factors for rheumatoid arthritis: a review of the last 10 years. *Jpn Dent Sci Rev* 59: 263-272, 2023.
- 14) Tsuzuno T, Takahashi N, Nagata M, Ueda Y, Motosugi S, Yamada A, Mizuguchi M, Tran D Thi Thuy, Aoki-Nonaka Y, Nakata K, Tabeta K: Characterization of cellular heterogeneity and bone regenerative potential of cultured human periosteal cells. *Regen Ther* 24: 642-650, 2023.
- 15) Izumi K, Yortchan W, Aizawa Y, Kobayashi R, Hoshikawa E, Ling Y, Suzuki A: Recent trends and perspectives in reconstruction and regeneration of intra/extra-oral wounds using tissue-engineered oral mucosa equivalents. *Jpn Dent Sci Rev* 59: 365-374, 2023.
- 16) Yasui Y, Hirayama S, Hiyoshi T, Isono T, Domon H, Maekawa T, Tabeta K, Terao Y: The pneumococcal protein SufC binds to host plasminogen and promotes its conversion to plasmin. *Microorganisms* 11(12): 2969, 2023.

【研究費獲得】

- 1) 多部田康一 (研究代表者): MPN 武装細菌による口腔マイクロバイオームの再構築. 日本学術振興会科学研究費基金 挑戦的萌芽研究, 23K18357, 2023.
- 2) 多部田康一 (研究代表者): Backpack を応用したセルバインディング DDS の開発—新規歯周治療モダリティ. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 23H03079, 2023.
- 3) 多部田康一 (研究分担者): DEL-1 による口腔組織修復および再生機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 研究代表者: 前川知樹, 22H03267, 2023.
- 4) 多部田康一 (研究分担者): 歯周病原細菌感染症としての精神疾患発症機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 研究代表者: 照沼美穂, 21H03109, 2023.
- 5) 多部田康一 (研究分担者): ウェアラブルデバイスを用いた咀嚼行動変容と歯周病改善による糖尿病コントロール. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 研究代表者: 堀 一浩, 21H03129, 2023.
- 6) 多部田康一 (研究分担者): 培養自家骨膜細胞移植による広範囲顎骨再建の第 I 相医師主導治験. 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 日本医療研究開発機構研究費, 研究代表者: 永田昌毅, 2023.
- 7) 高橋直紀 (研究代表者): 嚥下された歯周病原細菌による腸管恒常性破綻機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 22K09961, 2023.
- 8) 高橋直紀 (研究代表者): TRP チャネルタンパクによる自然免疫チューニング機構の解明と歯周炎治療への応用. 日本学術振興会科学研究費基金 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A)), 18KK0434, 2023.
- 9) 高橋直紀 (研究分担者): DEL-1 による口腔組織修復および再生機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 研究代表者: 前川知樹, 22H03267, 2023.
- 10) 高橋直紀 (研究分担者): ウェアラブルデバイスを用いた咀嚼行動変容と歯周病改善による糖尿病コントロール. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 研究代表者: 堀 一浩, 21H03129, 2023.
- 11) 小林哲夫 (研究代表者): 歯周炎による関節リウマチ発症・悪化機序の解明—自己抗体の機能的糖鎖修飾の関与—. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09891, 2023.
- 12) 野中由香莉 (研究代表者): ジペプチジルペプチダーゼを標的とした新規歯周病医薬開発. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究(C), 21K09913, 2023.
- 13) 杉田典子 (研究代表者): エネルギー代謝調節遺伝子 UCP は握力と歯周炎および全身疾患の関連性に関与する. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09871, 2023.
- 14) 杉田典子 (研究分担者): 口腔および口蓋扁桃マイクロバイオーマが慢性腎臓病に及ぼす包括的メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 研究代表者: 葭原 明弘, 22K10337, 2023.
- 15) 中島麻由佳 (研究代表者): 唾液腺への特異的な IgA 産生細胞の誘導メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 19K18993, 2023.
- 16) 中島麻由佳 (研究代表者): Metal-Phenolic Network (MPN) 細菌操作による口腔マイクロバイオーマ創薬研究への助成. 武田科学振興財団, 2023 年度医学系研究助成 (臨床), 2023.
- 17) 中島麻由佳 (研究代表者): MPN 細菌操作による作為的口腔 Symbiotic マイクロバイオーマ再構築. テルモ生命科学振興財団, III 研究助成金, 2023.
- 18) 佐藤圭祐 (研究代表者): 唾液エクソソームを応用し

た新規 miRNA による歯周病進行リスク診断. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 23K16019, 2023.

- 19) 保苅崇大 (研究代表者): 呼吸器マイクロバイオームの動態に着目した歯周病による COPD 増悪メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 23K15185, 2023.
- 20) 松岸葵 (研究代表者): 天然由来の菌特異的抗菌物質の応用による次世代型口腔ケアアプリケーションの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 22K17034, 2023.
- 21) 都野隆博 (研究代表者): 新規足場材と培養骨膜細胞の併用による低侵襲かつ高効率な歯槽骨再生療法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 22K17072, 2023.
- 22) 日吉 巧 (研究代表者): プロテオーム解析法を用いたエラスターゼによる歯周炎重症化メカニズムの網羅的解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 22K17053, 2023.
- 23) 干川絵美 (研究代表者): 培養骨膜シートの厚さと骨分化能の相関解析による非侵襲的骨膜シート品質管理法の確立. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 22K17073, 2023.
- 24) 峯尾修平 (研究代表者): 歯肉上皮細胞由来エクソソームを介した歯周炎制御機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 23K15996, 2023.
- 25) 峯尾修平 (研究代表者): 3 次元腸管オルガノイドを用いた歯周病原細菌-腸管上皮相互作用の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 22K21057, 2023.
- 26) 田村 光 (研究代表者): 非抗菌性マクロライド誘導体を用いた新たなサイトカインストーム制御法の開発. 日本学術振興会 海外特別研究員, 2023.
- 27) 笹川花梨 (研究代表者): 肺炎球菌感染症による肺組織傷害機構の分子解析と新規治療法の探索. 新潟大学フェローシップ第 1 期生(未来健康科学高度人材育成フェローシップ)研究費, 2023.
- 28) 那須優介 (研究代表者): 歯周病原細菌感染症による脳内・脳機能変化の解析. 新潟大学未来のライフ・イノベーションを創出するフロンティア育成プロジェクト第 1 期生(次世代プロジェクト) 研究費, 2023.
- 29) 那須優介 (研究代表者): 歯周病原細菌性菌血症によるうつ様行動発症機序の解明. 新潟大学 U-go グラント(次世代枠), 2023.
- 30) 滝澤史雄 (研究代表者): オゾンウルトラファインバブル水の臨床応用に向けた基盤研究. 新潟大学フェローシップ第 2 期生(未来健康科学高度人材育成フ

ェローシップ)研究費, 2023.

- 31) 安井惟人 (研究代表者): “やさしい創薬研究” イノベーション (AIM に着目した肺炎の創薬研究). 新潟大学フェローシップ第 3 期生(未来健康科学高度人材育成フェローシップ)研究費, 2023.
- 32) 湊裕佳子 (研究代表者): ワサビ由来成分による歯周病抑制効果の検討. 令和 4 年度新潟大学フェローシップ支援事業研究費, J22F0036, 2023.
- 33) 柳川万由子 (研究代表者): イオン液体 (IL) を用いた歯周塗布薬の開発研究. 令和 5 年度新潟大学フェローシップ支援事業研究費, J23H0004, 2023.
- 34) 閻 春陽 (研究代表者): イオン液体を用いた歯周塗布薬の開発研究. 公益財団法人 富徳会, 2023 年度海外留学研究者助成, 2023.9-2024.3

【講演・シンポジウム】

- 1) Tabeta K: The present and future of periodontics. Joint online symposium. Kathmandu, Nepal, virtual meeting, November 6, 2023.

【学会発表】

- 1) Nasu Y, Komatsu A, Iida I, Tabeta K, Terunuma M: Ammonia induces amyloidogenesis in astrocytes by promoting amyloid precursor protein translocation into the endoplasmic reticulum. The 34th cinp world congress of neuropsychopharmacology, Montreal, Canada, May 9, 2023.
- 2) Tran D, Takahashi N, Tsuzuno T, Nagata M, Tabeta K: Biological effects of recombinant collagen peptide on cultured human periosteal cells. The 71st annual meeting of the JADR, Sendai, Japan, November 25-26, 2023.^[1]
- 3) Minato Y, Aoki-Nonaka Y, Hiyoshi T, Matsugishi A, Hnin Yu Lwin, Ando D, Warita Y, Tabeta K: Allyl isothiocyanate inhibits alveolar bone loss in experimental periodontitis, The 102nd general session & exhibition of the IADR, New Orleans, USA, March 14, 2024.
- 4) Tsuzuno T, Takahashi N, Nagata M, Motosugi S, Ueda Y, Nakata K, Tabeta K: Cellular heterogeneity and osteogenic capacity of cultured human periosteal cells, The 102nd general session & exhibition of the IADR, New Orleans, USA, March 14, 2024.
- 5) Nakajima M, Yan C, Yanagawa M, Tabeta K: Engineering symbiotic oral microbiota through the nanocoating of metal-phenolic networks, The 102nd general session & exhibition of the IADR, New Orleans, USA, March 14, 2024.
- 6) Yan C, Nakajima M, Yanagawa M, Tabeta K: Anti-bacterial/biofilm activities of choline geranate-ionic

- liquid for periodontal therapy, The 102nd general session & exhibition of the IADR, New Orleans, USA, March 14, 2024.
- 7) Tran D, Takahashi N, Tsuzuno T, Motosugi S, Ueda Y, Nagata M, Tabeta K: The role of recombinant collagen peptide in periosteal cell-derived osteoregeneration, The 102nd general session & exhibition of the IADR, New Orleans, USA, March 14, 2024.
 - 8) Hnin Yu Lwin, 野中由香莉, 松岸 葵, 高橋直紀, 日吉 巧, 多部田康一: 大豆由来ペプチドの歯周病原細菌に対する抗バイオフィルム効果の解析. 令和 4 年度新潟歯学会総会, 新潟, 2022 年 4 月 16 日, プログラムおよび講演抄録集: 37 頁, 2022.
 - 9) Hnin Yu Lwin, 野中由香莉, 松岸 葵, 日吉 巧, 湊裕佳子, 多部田康一: フェルラ酸の歯周病原細菌に対する抗菌活性の検討. 第 156 回日本歯科保存学会 2022 年度春季学術大会, 群馬, 2022 年 6 月 16 日, プログラムおよび講演抄録集: 83 頁, 2022.
 - 10) 保莉崇大, 野中由香莉, 松川由実, 佐藤圭祐, 原 実生, 竹内麻衣, 高見澤圭, 山崎恭子, 都野隆博, 田村 光, 日吉 巧, 目黒史也, 干川絵美, 松岸 葵, 金子千尋, 峯尾修平, 山下 萌, 多部田康一: 高齢者に対する歯肉剥離搔爬術の有効性についての後ろ向き研究. 第 66 回春季日本歯周病学会学術大会, 高松, 2023 年 5 月 26 日, プログラムおよび講演抄録集: 134 頁, 2023.
 - 11) 呂晗, 杉田典子, 葭原明弘, 小林哲夫, 多部田康一: 佐渡総合病院外来患者における死亡率と UCP2 遺伝子多型, 歯数および歩数の関連性. 第 66 回春季日本歯周病学会学術大会, 高松, 2023 年 5 月 26 日, プログラムおよび講演抄録集: 135 頁, 2023.
 - 12) 湊裕佳子, 野中由香莉, 日吉 巧, 松岸 葵, Hnin Yu Lwin, 多部田康一: 歯周病原細菌 LPS 由来炎症応答に対するアリルイソチオシアネートの抑制作用. 第 66 回春季日本歯周病学会学術大会, 高松, 2023 年 5 月 26 日, プログラムおよび講演抄録集: 137 頁, 2023.
 - 13) 水口舞依, 高橋直紀, 本杉駿弥, 峯尾修平, 都野隆博, 多部田康一: ヒト歯周炎組織における TRPV1 発現とその制御機構の解析. 第 66 回春季日本歯周病学会学術大会, 高松, 2023 年 5 月 26 日, プログラムおよび講演抄録集: 139 頁, 2023.
 - 14) 小林哲夫: 歯周炎と関節リウマチの併発患者に歯周組織再生療法を行った一症例. 第 66 回春季日本歯周病学会学術大会, 高松, 2023 年 5 月 27 日, プログラムおよび講演抄録集: 150 頁, 2023.
 - 15) 那須優介, 小松彩夏, 照沼美穂: アンモニアによる新規脳内アミロイド形成機構. 2023 年度日本生化学会関東支部例会, 山梨, 2023 年 6 月 10 日, プログラムおよび講演抄録集: 60 頁, 2023.
 - 16) 那須優介, 岸川咲吏, 照沼美穂: てんかん誘導性神経炎症における YAP を介したグルタミン合成酵素発現機構の役割. 第 64 回日本神経病理学会総会学術研究会/第 66 回日本神経化学会大会合同大会, 神戸, 2023 年 7 月 7 日, プログラムおよび講演抄録集: 41 頁, 2023.
 - 17) 笹川花梨, 土門久哲, 平山 悟, 前川知樹, 多部田康一, 寺尾 豊: 口腔関連感染症の新たな予防・治療法の探索. 令和 5 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2023 年 7 月 8 日, プログラムおよび講演抄録集: 10 頁, 2023.
 - 18) 呂晗, 杉田典子, 葭原明弘, 小林哲夫, 多部田康一: エネルギー代謝調節遺伝子 UCP2 が歯数および歩数と死亡率の関連性に及ぼす影響の解析. 令和 5 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2023 年 7 月 8 日, プログラムおよび講演抄録集: 10 頁, 2023.
 - 19) 那須優介, 多部田康一, 照沼美穂: 歯周病原細菌性菌血症による脳内・脳機能変化の解析. 第 63 回新潟生化学懇話会, 新潟, 2023 年 7 月 22 日, プログラムおよび講演抄録集: 33 頁, 2023.
 - 20) 土門久哲, 平山 悟, 磯野俊仁, 笹川花梨, 滝澤史雄, 前川知樹, 寺尾 豊: マクロライド系薬はマクロライド耐性肺炎球菌の炎症誘導能を減弱させる. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023 年 9 月 17 日, プログラムおよび講演抄録集: 83 頁, 2023.
 - 21) 平山 悟, 日吉 巧, 安井惟人, 土門久哲, 寺尾 豊: 肺炎球菌トリオースリン酸イソメラーゼの感染関連機能の解析. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023 年 9 月 17 日, プログラムおよび講演抄録集: 96 頁, 2023.
 - 22) 磯野俊仁, 平山 悟, 土門久哲, 前川知樹, 寺尾 豊: 好中球エラスターゼは上皮成長因子受容体を分解し、肺組織の修復を阻害する. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023 年 9 月 17 日, プログラムおよび講演抄録集: 96 頁, 2023.
 - 23) 笹川花梨, 土門久哲, 平山 悟, 前川知樹, 磯野俊仁, 滝澤史雄, 齋藤瑠郁, 安井惟人, 寺尾 豊: 分泌型白血球プロテアーゼインヒビターによる歯周組織破壊抑制作用の解析. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023 年 9 月 16 日, プログラムおよび講演抄録集: 186 頁, 2023.
 - 24) 安井惟人, 平山 悟, 磯野俊仁, 日吉 巧, 土門久哲, 寺尾 豊: 肺炎球菌タンパク SufC は宿主プラスミノーゲンと結合しプラスミンへの変換を促進する. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023 年 9 月 16 日, プログラムおよび講演抄録集: 186 頁, 2023.

- 25) 齋藤瑠郁, 土門久哲, 日吉 巧, 寺尾 豊: 免疫調節作用を有するエリスロマイシン誘導体の検索. 第65回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023年9月16日, プログラムおよび講演抄録集: 187頁, 2023.
- 26) 滝澤史雄, 土門久哲, 前川知樹, 日吉 巧, 田村 光, 三好智博, 吉田明弘, 寺尾 豊: オゾンウルトラファインバブル水の口腔細菌に対する殺菌作用の解析, 第65回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023年9月16日, プログラムおよび講演抄録集: 187頁, 2023.
- 27) 笹川花梨, 土門久哲, 平山 悟, 前川知樹, 寺尾 豊, 多部田康一: 第66回秋季日本歯周病学会学術大会, 2023年10月13日, プログラムおよび講演抄録集: 130頁, 2023.
- 28) 閻 春陽, 中島麻由佳, 柳川万由子, 多部田康一: Anti-bacterial/biofilm activities of choline geranate-ionic liquid as a novel topical periodontal agent. 第66回秋季日本歯周病学会学術大会, 長崎, 2023年10月13日, プログラムおよび講演抄録集: 142頁, 2023.
- 29) 都野隆博, 高橋直紀, 本杉駿弥, 中田 光, 永田昌毅, 多部田康一: シングルセル遺伝子発現解析によるヒト培養骨膜細胞シートの骨形成評価. 第66回秋季日本歯周病学会学術大会, 長崎, 2023年10月13日, プログラムおよび講演抄録集: 143頁, 2023.
- 30) Tran Diep, 高橋直紀, 都野隆博, 永田昌毅, 多部田康一: コラーゲン様リコンビナントペプチドがヒト培養骨膜細胞に与える影響の解析. 第66回秋季日本歯周病学会学術大会, 長崎, 2023年10月13日, プログラムおよび講演抄録集: 146頁, 2023.
- 31) 那須優介, 多部田康一, 照沼美穂: てんかんにおける YAP を介したグルタミン合成酵素発現機構の役割. 令和5年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2023年11月4日, プログラムおよび講演抄録集: 9頁, 2023.
- 32) 湊裕佳子, 野中由香莉, 日吉 巧, 松岸 葵, Hnin Yu Lwin, 安藤大樹, 割田悠子, 多部田康一: アリルイソチオシアネートは歯周炎マウスモデルにおいて歯槽骨吸収を抑制する. 第159回日本歯科保存学会2023年度秋季学術大会, 浜松, 2023年11月12日, プログラムおよび講演抄録集: 136頁, 2023.
- 33) 那須優介, 多部田康一, 照沼美穂: てんかん治療のターゲットとしてのアストロサイトの可能性. 第5回オーラルサイエンス研究会, 新潟, 2023年11月19日, プログラムおよび講演抄録集: 12頁, 2023.
- 34) 両角俊哉, 保苅崇大, 鎗田将史, 小松康高: スケーリング時の生体侵襲反応および光治療応用の効果. 第35回日本レーザー歯学会学術大会, 東京, 2023年11月26日, プログラムおよび講演抄録集: 288頁, 2023.
- 35) 高橋直紀, 都野隆博, 永田昌毅, 植田優太, 本杉駿弥, 山田 葵, Tran Diep, 中田 光, 多部田康一: 顎骨由来培養骨膜細胞の heterogeneity 解析と骨形成能への関与. 第23回日本再生医療学会総会, 新潟, 2024年3月22日, プログラムおよび講演抄録集: 689頁, 2024.

【受賞】

- 1) 中島麻由佳: Topical treatment of periodontitis using an iongel. 保存学会奨励賞, 第158回日本歯科保存学会2023年度春季学術大会, 2023年6月22日.
- 2) 笹川花梨: 分泌型白血球プロテアーゼインヒビターによる歯周組織破壊抑制作用の解析. モリタ優秀発表賞(微生物学部門), 第65回歯科基礎医学会学術大会, 2023年9月18日.
- 3) 高橋直紀: 歯肉上皮バリア機能制御を基軸とした新規抗歯周病薬開発の基礎的研究. 日本歯周病学会学術賞, 第66回秋季日本歯周病学会学術大会, 2023年10月13日.
- 4) 滝澤史雄: オゾンウルトラファインバブル水の臨床応用に向けた基盤研究. 学生奨励賞, ファインバブル産業会, 2023年11月7日.
- 5) 那須優介: てんかん治療のターゲットとしてのアストロサイトの可能性. 優秀発表賞, 第5回オーラルサイエンス研究会, 2023年11月19日.
- 6) 笹川花梨: エラスターゼを標的とした細菌感染症に対する新規予防法の探索. 歯学会賞, 2023年度新潟歯学会, 2024年2月7日.

【その他】

- 1) 多部田康一: 歯周病と歯周治療における近年の理解. 新窓会 Web セミナー, web 開催, 2023年1月18日.
- 2) 多部田康一: 歯周病と全身の関わり. 令和4年度愛知県糖尿病対策推進会議学術講演会, 名古屋, 2023年3月11日.
- 3) 小林哲夫: 歯周病・口腔細菌叢と関節リウマチ. アステラス製薬株式会社主催 関節リウマチ Web シンポジウム～関節リウマチと歯科衛生を考える～, web 開催, 2023年5月17日.
- 4) 多部田康一, 三谷章雄, 新井英雄, 北後光信, 勢島典, 土岡弘明, 竹内康雄, 野口和行, 野中由香莉: 歯周治療を適切・安全に行うためのポイントー全身状態への配慮ー. 日本歯周病学会臨床研修委員会, 2023年8月1日.
- 5) 笹川花梨: 歯周組織の炎症制御における分泌型白血球プロテアーゼ阻害因子の作用解析. 第8回口腔微

生物研究会, 東京, 2023 年 9 月 19 日.

- 6) 多部田康一: 歯周治療の基礎と関連背景についての最近の理解. 第 3 回 日本歯周病学会関東地区臨床研修会, 高崎, 2023 年 11 月 5 日.
- 7) 多部田康一: 歯周病における感染制御を目指したモダリティ開発. 東京歯科大学学術セミナー, 東京, 2023 年 12 月 8 日.
- 8) 多部田康一: 歯周治療の基本と関連背景のアップデート. 第 5 回信越・北陸地区臨床研修会, 福井, 2024 年 3 月 24 日.

歯科矯正学分野

【著 書】

- 1) 齋藤 功, 大森裕子: 4 章 検査と診断; 1. 矯正歯科治療のプロセス. 全国歯科衛生士教育協議会監修; 歯科衛生学シリーズ「歯科矯正学 2 版」, 1-4, 医歯薬出版 (株), 東京, 2023.
- 2) 齋藤 功, 大森裕子: 4 章 検査と診断; 2. 形態的検査・分析. 全国歯科衛生士教育協議会監修; 歯科衛生学シリーズ「歯科矯正学 2 版」, 4-14, 医歯薬出版 (株), 東京, 2023.
- 3) 丹原 惇: 7 章 矯正歯科治療の実際; 8. 口唇裂・口蓋裂. 全国歯科衛生士教育協議会監修; 歯科衛生学シリーズ「歯科矯正学 2 版」, 124-127, 医歯薬出版 (株), 東京, 2023.
- 4) 齋藤 功, 大森裕子: 7 章 矯正歯科治療の実際; 10. 顎変形症と外科的矯正治療. 全国歯科衛生士教育協議会監修; 歯科衛生学シリーズ「歯科矯正学 2 版」, 130-133, 医歯薬出版 (株), 東京, 2023.

【論 文】

- 1) Kurihara-Okawa K, Okawa J, Nihara J, Takahashi K, Hori K, Nagasaki T, Fukui T, Ono T, Saito I: Tongue pressure production and orofacial muscle activities during swallowing are related to palatal morphology in individuals with normal occlusion. Clin Invest Orthod ??(?): ???-???, 2024.
- 2) Arai M, Kaku M, Thant L, Kitami M, Ono Y, Dobashi A, Iwama H, Mizukoshi M, Kitami K, Matsumoto M, Saito I, Uoshima K: Effect of Sparc knockout on the extracellular matrix of mouse periodontal ligament cells. BBRC 15:692:149364, 2024.
- 3) Iwama H, Kaku M, Thant Lay, Mizukoshi M, Arai M, Ono Y, Kitami K, Saito I, Uoshima K: Acellular extrinsic fiber cementum is invariably present in the superficial

layer of apical cementum in mouse molar. J Histochem Cytochem 72(2):109-120, 2024.

- 4) Zheng Z, Hasebe D, Suda D, Saito N, Saito D, Maung MM, Nihara J, Nohno K, Saito I, Kobayashi T: Surgical orthodontic treatment indicators in combination with Index of Orthognathic Functional Treatment Need (IOFTN) and maxillofacial morphometric analysis. Int J Oral Maxillofac Surg. ??(?): ???-???, 2024.
- 5) Kaku M, Thant L, Dobashi A, Ono Y, Kitami M, Mizukoshi M, Arai M, Iwama H, Kitami K, Kakiyama Y, Matsumoto M, Saito I, Uoshima K: Multiomics analysis of cultured mouse periodontal ligament cell-derived extracellular matrix. Sci Rep 14(1): 354, 2024.
- 6) Piriayprasath K, Hasegawa M, Kakiyama Y, Iwamoto Y, Kamimura R, Saito I, Fujii N, Yamamura K, Okamoto K: Effects of stress contagion on anxiogenic- and orofacial inflammatory pain-like behaviors with brain activation in mice. Eur J Oral Sci. 131(4), 2023.
- 7) 齋藤 功: 「矯正歯科治療とは? マウスピース型矯正装置を用いた治療の留意点に触れながら」. 日歯医師会誌 76(5): 16-17 頁, 2023.
- 8) 吉田智美, 竹山雅規, 網谷季莉子, 工藤武久, 長谷部大地, 小林正治, 齋藤 功: 口腔内装置 (OA) の長期使用によって閉塞性睡眠時無呼吸 (OSA) 患者で生じる形態学的副作用とその予測についての側面頭部エックス線規格写真を用いた研究. 睡眠口腔医学 10(1): 1-9 頁, 2023.
- 9) 須佐美隆史, 佐藤嘉晃, 奥本隆行, 齋藤 功: 世界における口唇口蓋裂患者の治療に関する多施設共同研究の流れ ―咬合評価を中心に―. 日口蓋誌 48(1):1-11 頁, 2023.

【研究費獲得】

- 1) 齋藤 功, 丹原 惇, 藤田 瑛: 生体力学的観点から顎変形症の治療基準を探る. 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金), 基盤研究(C) (一般), 22K10266, 2023.
- 2) 高橋 功次朗: 口腔機能発達不全の"定量化": エラストグラフィによる咀嚼機能評価法の確立. 若手研究, 21K17180, 2021.
- 3) 上村藍太郎: 内因性カンナビノイド機構によるグリア機能の調節が関わる痛みの脳内制御機構の解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 23K16110, 2023.
- 4) 北見公平, 加来 賢, 齋藤 功: 加齢マウス歯根膜組織の深層プロテオーム解析: 組織応答を担う細胞外環境の変化. 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金), 基盤研究(C), 23K09412, 2023.

- 5) 水越 優：力学的刺激により歯根膜全域に誘導される増殖期細胞は幹細胞か. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 23K16199, 2023.
- 6) (延長分) 北見公平：力学的刺激による歯根膜の階層的細胞応答メカニズムの解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 21K17179, 2023.
- 7) (延長分) 栗原加奈子：舌圧と口唇・頬圧の同時測定による骨格性開咬症の新たな機能的解析法の確立. 学術研究助成基金助成金 若手研究, 20K18662, 2020.
- 8) (延長分) 水越 優：矯正力に誘導される破歯細胞の供給ならびに分化成熟動態の解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 21K17155, 2021.
- 9) (延長分) 工藤武久：エナメル形成におけるライオンゼーションの解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 22K17249, 2022.
- 7) 大森裕子：新潟大学における外科的矯正治療の臨床と研究. 第 38 回甲北信越矯正歯科学会大会, 塩尻市, 2023 年 6 月 25 日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 22 頁, 2023.
- 8) 丹原 惇：口唇裂・口蓋裂治療における咬合の安定性と顎発育の重要性. 第 47 回日本口蓋裂学会総会・学術集会 シンポジウム 5「長期管理症例から咬合の安定性を考察する」, 東京, 2023 年 5 月 26 日. 日口蓋誌(2): 113 頁, 2023.

【学会発表】

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Saito I: Changes in CLP management at Niigata University Hospital and introduction of intercenter studies in Japan. CLEFT SEOUL 2023 (15th World Congress of International Cleft Lip and Plate Foundation), Seoul, 16th-18th June, abstract book: p33, 2023.
- 2) 齋藤 功他：スペシャルセッション「審美歯科の Q&A『こんな時どうする?』」でのパネリスト. 日本歯科審美学会第 34 回学術大会スペシャルセッション企画, 鹿児島, 2023 年 12 月 10 日.
- 3) 丹原 惇：矯正歯科医というプロフェッショナルの育成—新潟大学での取り組み—. 第 82 回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023 年 11 月 1 日～3 日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 99 頁, 2023.
- 4) 高橋 功次朗：新潟大学医歯学総合病院における連携医療の現況. 第 82 回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023 年 11 月 1 日～3 日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 110 頁, 2023.
- 5) 大川 加奈子：顎顔面形態と咀嚼および嚥下機能との連関. 第 82 回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023 年 11 月 1 日～3 日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 87 頁, 2023.
- 6) 齋藤 功：矯正歯科の役割を再考しよう—過去から現在、そして未来に向けて—. 第 66 回中四国矯正歯科学会学術大会特別講演 I, 徳島, 2023 年 7 月 1 日～2 日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 8-9 頁, 2023.
- 1) Yamada T, Nihara J, Nishiyama H, Saito I: Morphological changes in the temporomandibular joint after orthognathic surgery in mandibular prognathism with deviation. TAO (Taiwan Association of Orthodontics) 36th Annual Meeting & 12th Residents' Meeting, Taichung, Taiwan, December 1-4, 2023.
- 2) Thant L, Kaku M, Hlaing PP, Dobashi A, Kakihara Y, Saito I, Uoshima K: Chemical digestion-assisted extracellular matrix profiling of differentiating osteoblasts. The 33rd Australian and New Zealand Bone and Mineral Society Annual Scientific Meeting, New Castle City, Australia, October 22-25, 2023.
- 3) Kobayashi J, Takemoto R, Takahashi K, Oomori Y, Saito I, Kawai M, Mitsumata T: Accurate Measurements for the Elasticity of Perioral Skin Tissues. 第 33 回日本 MRS 年次大会, 横浜, 2023 年 11 月 14 日～16 日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 67 頁, 2023.
- 4) 鄭 琢揚, 齋藤大輔, 長谷部大地, 丹原 惇, 齋藤 功, 小林正治：非対称を伴う顎変形症患者の顎矯正手術による顎顔面形態の三次元的評価. 第 68 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 大阪, 2023 年 11 月 10 日～12 日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 87 頁, 2023.
- 5) Myo Maung Maung, 竹内涼子, 羽賀健太, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 長谷部大地, 丹原 惇, 齋藤 功, 小林正治：骨格性下顎前突症患者におけるウェアラブルデバイスをを用いた咀嚼行動の定量的評価. 第 68 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 大阪, 2023 年 11 月 10 日～12 日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 104 頁, 2023.
- 6) 岩間 基, 加来 賢, Lay Thant, 新井萌生, 水越 優, 北見公平, 魚島勝美, 齋藤 功: マウス臼歯根尖側の最表層には外部性線維性セメント質が存在する. 令和 5 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2023 年 11 月 4 日, 新潟歯学会雑誌 53(2): 45 頁, 2023.

- 7) 山田 貴大, 丹原 惇, 西山 秀昌, 小林 正治, 齋藤 功: 下顎偏位を伴う骨格性下顎前突症の顎矯正手術後における顎関節形態と顔面形態との関連. 令和5年度第回新潟歯学会例会, 新潟, 2023年11月4日, 新潟歯学会雑誌 53(2): 48 頁, 2023.
- 8) 大川 加奈子, 大川 純平, 丹原 惇, 高橋 功次朗, 堀 一浩, 長崎 司, 福井忠雄, 小野高裕, 齋藤 功: 嚥下時の舌圧発現様相および顎顔面筋群筋活動と口蓋形態との関係性. 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023年11月1日～3日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 168 頁, 2023.
- 9) 新井 萌生, 加来 賢, Lay THANT, 岩間 基, 水越 優, 北見 公平, 魚島 勝美, 齋藤 功: SPARC 欠失歯根膜細胞における細胞外マトリックスの網羅的解析. 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023年11月1日～3日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 38 頁, 155 頁, 2023.
- 10) 岩間 基, 加来 賢, Lay Thant, 新井萌生, 水越 優, 北見公平, 魚島勝美, 齋藤 功: マウス臼歯セメント質における外部性線維の定量解析. 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023年11月1日～3日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 182 頁, 2023.
- 11) 山田 貴大, 丹原 惇, 西山 秀昌, 小林 正治, 齋藤 功: 下顎偏位を伴う骨格性下顎前突症の顎矯正手術後における顎関節形態と顔面形態の関連. 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023年11月1日-11月3日. 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 同学術大会プログラム・抄録集: 232 頁, 2023.
- 12) 竹元 涼, 高橋功次朗, 小林潤矢, 大森裕子, 三俣 哲, 齋藤 功: 口唇周囲軟組織の硬さ測定方法の開発. 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023年11月1日～3日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 176 頁, 2023.
- 13) 吉田智美, 竹山雅規, 網谷季莉子, 工藤武久, 長谷部大地, 小林正治, 齋藤 功: 口腔内装置(OA)を長期間用いた閉塞性睡眠時無呼吸(OSA)患者における形態学的変化とその予測について. 第22回日本睡眠歯科学会総会学術集会, 京都, 2023年10月7日～8日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 92 頁, 2023.
- 14) 須田大亮, 長谷部大地, 齋藤大輔, 竹山雅規, 齋藤 功, 小林正治: 上下顎骨形成術と二次的オトガイ形成術を併用して重度 OSA の改善に至った顎変形症患者の1例. 第22回日本睡眠歯科学会総会学術集会, 京都, 2023年10月7日～8日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 91 頁, 2023.
- 15) Thant L, Kaku M, Dobashi A, Kakihara Y, Matsumoto M, Saito I, Uoshima K: Chemical digestion-assisted extracellular matrix profiling of human periodontal ligament. 日本プロテオーム学会 2023 年大会, 新潟, 2023 年 7 月 24 日～26 日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 78 頁, 2023.
- 16) 寺田愛希, 市川佳弥, 丹原 惇, 宮田昌幸, 若月華子, 児玉泰光, 小林正治, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院において PNAM 治療を行った片側性口唇口蓋裂児における外鼻形態変化の長期的評価と治療効果に影響を与える因子. 令和5年度第1回新潟歯学会例会, 新潟, 2023年7月8日, 新潟歯学会雑誌 53(2): 39, 2023.
- 17) 大森裕子, 齋藤 功: 右側唇顎口蓋裂および第二大臼歯の缺状咬合を伴う Angle Class II 叢生症例. 第38回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 塩尻, 2023年6月25日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 53 頁, 2023.
- 18) 大澤知朗, 高橋功次朗, 齋藤 功: 叢生を伴う Angle Class I 上顎前突症例. 第38回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 塩尻, 2023年6月25日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 44 頁, 2023.
- 19) 寺田愛希, 市川佳弥, 丹原 惇, 宮田昌幸, 若月華子, 児玉泰光, 小林正治, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院において PNAM 治療を行った片側性唇顎口蓋裂児の治療効果に影響する因子の検討. 第38回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 塩尻, 2023年6月25日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 37 頁, 2023.
- 20) 山田貴大, 丹原 惇, 西山秀昌, 小林正治, 齋藤 功: 下顎骨偏位を伴う下顎前突症者の外科的矯正治療後の顎関節形態の変化. 第38回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 塩尻, 2023年6月25日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 35 頁, 2023.
- 21) 三村俊平, 大川加奈子, 深町直哉, 長崎 司, 堀 一浩, 大川純平, 竹山雅規, 小野高裕, 齋藤 功: ウェアラブルデバイスをを用いた骨格性下顎前突症患者の性別による咀嚼行動の違い. 第33回日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2023年6月8日～9日, 日顎変形誌 33(2): 190 頁, 2023.
- 22) Maung MM, Kasahara M, Takeuchi R, Skuma H, Hasebe D, Saito D, Saito I, Kobayashi T: Stability after Maxillary Setback by the horseshoe Le Fort I Osteotomy in Skeletal Class II Cases. 第33回日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2023年6月8日～9日, 日顎変形誌 33(2): 235 頁, 2023.

- 23) 市川佳弥, 丹原 惇, 寺田愛希, 宮田昌幸, 若槻華子, 児玉泰光, 小林正治, 齋藤 功: 片側性唇顎口蓋裂患者の顎顔面形態に対する術前顎矯正治療の影響—5歳時における側面セファログラム分析—。第47回日本口蓋裂学会総会・学術総会, 東京, 2023年5月25日～26日, 日口蓋誌 48(2):168頁, 2023.
- 24) 寺田愛希, 市川佳弥, 丹原 惇, 宮田昌幸, 若槻華子, 児玉泰光, 小林正治, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院においてPNAM治療を行った片側性唇顎口蓋裂児の治療効果に影響する因子の検討。第47回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2023年5月25日～26日, 日口蓋誌 48(2):169頁, 2023.

【受賞】

- 1) 大川 加奈子, 大川 純平, 丹原 惇, 高橋 功次朗, 堀 一浩, 長崎 司, 福井忠雄, 小野高裕, 齋藤 功: 嚥下時の舌圧発現様相および顎顔面筋群筋活動と口蓋形態との関係性。第82回日本矯正歯科学会学術大会 優秀演題賞, 2023年11月1日～11月3日.
- 2) 山田 貴大, 丹原 惇, 西山 秀昌, 小林 正治, 齋藤 功: 下顎偏位を伴う骨格性下顎前突症の顎矯正手術後における顎関節形態と顔面形態の関連。第82回日本矯正歯科学会学術大会 優秀演題賞, 2023年11月1日～11月3日.
- 3) 三村俊平, 大川加奈子, 深町直哉, 長崎 司, 堀 一浩, 大川純平, 竹山雅規, 小野高裕, 齋藤 功: ウェアラブルデバイスを用いた骨格性下顎前突症患者の性別による咀嚼行動の違い。第33回日本顎変形症学会総会・学術大会 優秀ポスター賞, 2023年6月8～6月9日.

【その他】

- 1) 齋藤 功, 友成 博: 矯正歯科専門医(仮称)。令和5年度厚生労働省委託事業「歯科医療の専門性に関する協議・検証事業報告書」令和6年3月、日本歯科専門医機構.
- 2) 齋藤 功: 教授職として19年の歩みと日本矯正歯科学会の今。東京医科歯科大学 顎顔面矯正学分野同門会 講演会、2024年1月25日、東京.
- 3) 齋藤 功: 顎変形症に対する臨床と研究。2023年度鹿児島大学大学院特別講義(9:00～10:30; リモート講義)、2023年7月24日実施.

- 4) 三村俊平: ウェアラブルデバイスを用いた骨格性下顎前突症患者および個性正常咬合患者の咀嚼行動の比較検討。新潟歯学会雑誌 53(1):39頁, 2023.

摂食嚥下リハビリテーション学分野

【著書】

- 1) 井上 誠: 咀嚼と嚥下の関係。最新言語聴覚講座 摂食嚥下障害, 医歯薬出版株式会社.
- 2) 井上 誠: 口腔機能低下症と摂食嚥下障害。今日の治療指針はこう治療している 2024 (福井次矢, 高木 誠, 小室一成総編集), 1655-1656頁, 2024.
- 3) 井上 誠: 5. 摂食嚥下リハビリテーション。脳神経疾患最新の治療 2024-2026 (北川一夫, 青木正志, 小林俊輔編), 332-335頁, 株式会社南江堂, 東京, 2023.
- 4) 井上 誠: 第4章災害食の栄養・機能 口腔ケアと誤嚥性肺炎。災害食の事典 (一般社団法人 日本災害食学会監修), 株式会社朝倉書店, 86-87頁, 東京, 2023.

【論文】

- 1) Akira Okubo, Takanori Tsujimura, Rumi Ueha, Taku Suzuki, Yuhei Tsutsui, Yuta Nakajima, Nobuaki Saka, Anna Sasa, Eri Takei, Jin Magara, Makoto Inoue: Chewing well modulates pharyngeal bolus transit during swallowing in healthy participants. Dysphagia, in press.
- 2) Jin Magara, Reiko Ita, Yuhei Tsutsui, Haruka Sakai, Mengjie Zhang, Makoto Inoue: A case of dysphagia rehabilitation in the chronic stage of lateral medullary syndrome. Dysphagia, in press, 2024.
- 3) Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Nobuaki Saka, Satomi Kawada, Nozomi Dewa, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Short-term and long-term effects of unilateral external carotid artery ligation on orofacial functions in rats. Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol, 1;326(3):G318-G329, doi: 10.1152/ajpgi.00226.2023,2024.3.
- 4) Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Nobuaki Saka, Satomi Kawada, Nozomi Dewa, Taku Suzuki, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Modulation of reflex responses of the anterior and posterior bellies of the digastric muscle in freely moving rats. J Oral Rehabil, Online ahead of print, doi: 10.1111/joor.13537. 2024.
- 5) Yuta Nakajima, Takanori Tsujimura, Kojun Tsuji, Jin Magara, Makoto Inoue: Continuous electrical stimulation of superior laryngeal nerve inhibits initiation

- of swallowing in anesthetized rats. *Neurosci Lett*, 825:137672, doi: 10.1016/j.neulet.2024.137672. 2024.3.
- 6) Reiko Ita, Jin Magara, Yuto Ochiai, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue : Use of suction electrodes for measurement of intrinsic tongue muscular endurance during lingual pressure generation. *J Oral Rehabil*, 51(3):566-573, doi: 10.1111/joor.13612. 2024.3.
 - 7) Taku Suzuki, Haruka Hino, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Kayoko Ito, Makoto Inoue: Effects of head and neck alignment and pharyngeal anatomy on epiglottic inversion during swallowing in dysphagic patients . *Dysphagia*, 38(6):1519-1527, doi: 10.1007/s00455-023-10579-w. 2023.12.
 - 8) Yuta Nakajima, Takanori Tsujimura, Yuhei Tsutsui, Titi Chotirungsan, Satomi Kawada, Nozomi Dewa, Jin Magara, Makoto Inoue: Atropine facilitates water-evoked swallows via central muscarinic receptors in anesthetized rats. *Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol*, 325(2):G109-G121. doi: 10.1152/ajpgi.00039. 2023.8.
 - 9) Maaya Takeda, Yutaka Watanabe, Kenshu Taira, Kazuhito Miura, Yuki Ohara, Masanori Iwasaki, Kayoko Ito, Junko Nakajima, Yasuyuki Iwasa, Masataka Itoda, Yasuhiro Nishi, Yoshihiko Watanabe, Masako Kishima, Hirohiko Hirano, Maki Shirobe, Shunsuke Minakuchi, Mitsuyoshi Yoshida, Yutaka Yamazaki : Association between Death or Hospitalization and Observable Variables of Eating and Swallowing Function among Elderly Residents in Long-Term Care Facilities: A Multicenter Prospective Cohort Study. *Healthcare (Basel)*, 22;11(13):1827, doi:10.3390/healthcare11131827. 2023.6.
 - 10) 菊池裕子, 坂井さゆり, 横野知江, 井上 誠, 小川祐司, 小山 諭 : 口腔アセスメントシート The Oral Assessment Tool for the Elderly (OATE) を用いた看護師による高齢者口腔アセスメントの信頼性. 妥当性の検討. 北関東医学.
 - 11) 富田洋介, 鈴木善貴, 田中佑人, 真柄 仁 : 顎口腔機能と姿勢・運動制御との関連性 : 歯科と理学療法 の協働によるエビデンス創出に向けて. 日顎口腔機能会誌.
 - 12) Kayoko Ito, Yuto Ochiai, Hirokazu Ashiga, Hirokazu Hayashi, Tomoko Iizumi, Taku Suzuki, Noboru Michimi, Tetsuo Hanagata, Sirima Kulvanich, Kouta Nagoya, Masahiro Watanabe, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue : Effect of COVID-19-related interruption of visiting dental services on pneumonia in nursing home residents. *新潟歯学会誌*, 53(2):21-28, 2023.
 - 13) 井上 誠 : 摂食嚥下障害における口腔機能の重要性. *全国大学歯科衛生士教育協議会雑誌*, 12 : 3-6, 2023.
- 【商業誌】**
- 1) 伊藤加代子, 井上 誠 : 唾液量に男女差はあるのでしょうか?. *歯科衛生士*, 47 : 23, 2023.5.
 - 2) 伊藤加代子, 井上 誠 : 更年期に起こりやすい口腔 の症状. *歯科衛生士*, 47 : 41-42, 2023.5.
- 【研究費獲得】**
- 1) 井上 誠 (研究代表者), 辻村恭憲 (分担研究者), 真柄 仁 (分担研究者), 那小屋公太 (分担研究者) : モデル動物を用いた多面的アプローチによる嚥下 障害の病態解明. 2022 年度文部科学省科学研究費 補助金研究, 国際共同研究加速基金(国際共同研究 強化(B)), 課題番号 22KK0139, 5,900 千円, 2023.
 - 2) 井上 誠 (研究代表者), 辻村恭憲 (分担研究者), 真柄 仁 (分担研究者), 那小屋公太 (分担研究者), 吉原 翠 (分担研究者) : 摂食嚥下機能に関わる前 帯状皮質の役割. 2022 年度文部科学省科学研究費 補助金研究, 挑戦的研究(萌芽), 課題番号 22K19616, 1,800 千円, 2023.
 - 3) 井上 誠 (研究代表者), 辻村恭憲 (分担研究者), 真柄 仁 (分担研究者), 那小屋公太 (分担研究者) : 脳梗塞における摂食嚥下障害の病態解明とその回 復に顎口腔機能がもたらす効果. 2022 年度文部科 学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (B), 課題番 号 21H03128, 4,500 千円, 2023.
 - 4) 井上 誠 (分担研究者) : 転写因子 Nrf2 の細胞保護・ 抗炎症作用に着目した、嚥下障害新規治療法の研究 (研究代表者 香取幸夫). 2022 年度文部科学省科 学研究費補助金研究, 基盤研究 (B), 課題番号 22H03232, 600 千円, 2023.
 - 5) 井上 誠 (分担研究者), 真柄 仁 (分担研究者), 伊藤加代子 (分担研究者) : 生体と食品の併行アプ ローチによる新たな咀嚼嚥下機能の理解 (研究代表 者 小野和宏). 2022 年度文部科学省科学研究費補 助金, 基盤研究(C), 課題番号 22K10073, 800 千 円, 2023.
 - 6) 井上 誠 (分担研究者), 真柄 仁 (分担研究者) : 顎・舌の運動と筋量・筋質から咀嚼機能を評価する. 令和 5 年度文部科学省科学研究費補助金 (研究代表 者 渡邊賢礼). 2023 年度文部科学省科学研究費補 助金, 基盤研究(C), 課題番号 23K09513, 150 千 円, 2023.
 - 7) 井上 誠 (分担研究者), 辻村恭憲 (分担研究者) : 拡散テンソル画像を応用した口腔機能改善の神経 生理学的解析. 2023 年度文部科学省科学研究費補

- 助金(研究代表者 白石 成), 基盤研究(C), 課題番号 23K09291, 200 千円, 2023.
- 8) 辻村恭憲(研究代表者), 井上 誠(分担研究者), 那小屋公太(分担研究者): 嚥下障害における anatomical diagnostic protocol 基盤形成の試み. 2023 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 挑戦的研究(萌芽), 課題番号 23K18356, 1,960 千円, 2023.
 - 9) 辻村恭憲: 令和 5 年度科研費応募支援プログラム経費 600 千円, 2023.
 - 10) 真柄 仁(研究代表者), 井上 誠(分担研究者): 舌機能改善プロセスから考える感覚運動統合-アクティブタッチの探索-. 2022 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究(C), 課題番号 22K10053, 1,000 千円, 2023.
 - 11) 真柄 仁(研究分担者): 脳可塑性変化に基づく口腔リハビリテーション効果の解析. 2022 年度文部科学省科学研究費補助金研究(研究代表者 島田明子), 基盤研究(B), 課題番号 21H03284C, 151 千円, 2023.
 - 12) 真柄 仁(研究分担者): レオロジーの異なる炭酸飲料による嚥下機能への刺激効果の解明. 2023 年度文部科学省科学研究費補助金研究(研究代表者 岩森 大), 基盤研究(C), 課題番号 23K01992, 100 千円, 2023.
 - 13) 伊藤加代子(研究代表者), 井上 誠(分担研究者), 船山さおり(分担研究者): エクオールは口腔乾燥症, 味覚障害, 舌痛症の新たな治療法となりうるか?. 202 年度文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C), 課題番号 22K10310, 900 千円, 2023.
 - 14) 伊藤加代子(分担研究者): サルコペニア嚥下機能低下高齢者口腔栄養双方向プログラムの実証研究(研究代表者 永井 徹). 2021 年度文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号 21K11687, 50 千円, 2023.
 - 15) 船山さおり(研究代表者), 伊藤加代子(分担研究者), 井上 誠(分担研究者): 自発性異常味覚の苦味の正体にせまる. 令和 2 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究(C), 課題番号 20K10264, 2023.
 - 16) 那小屋公太(研究代表者): 疾患モデル動物を用いた「サルコペニアの摂食嚥下障害」の生理学的検証. 令和 3 年度文部科学省科学研究費補助金 若手研究, 課題番号 21K17034, 1,690 千円, 2023.
 - 17) 井上 誠: 油脂粉末を摂食嚥下した際に知覚する冷涼感の評価とメカニズム解明に関する共同研究(共同研究). 日清オイリオ株式会社, 1,162 千円, 2022-2023.
 - 18) 井上 誠: 摂食嚥下障害者用介護用品・食具等の開発に関する研究(共同研究). にいがた摂食嚥下障害サポート研究会, 233 千円, 2023.
 - 19) 井上 誠: 菓子の咀嚼性差の要因検証(共同研究). 亀田製菓株式会社, 900 千円, 2023.
 - 20) 井上 誠: 舌ブラシのブラシ材による除去能力の違い(共同研究). SHIKIEN 株式会社, 250 千円, 2022-2023.
 - 21) 井上 誠: オトガイ下部への筋電気刺激が摂食嚥下関連に与える影響(共同研究). 株式会社 MTG, 2,766 千円, 2023.
 - 22) 井上 誠: キレート剤を用いて製造した介護食用野菜(共同研究). 東洋食品研究所, 833 千円, 2023.
 - 23) 井上 誠: 摂食嚥下治療登録医等養成研修に関する受託事業費(受託事業). 新潟県歯科医師会, 3,180 千円, 2023.
 - 24) 井上 誠: 口腔機能低下症における口唇閉鎖機能検査(受託事業). 松風, 300 千円, 2022-2023.
 - 25) 井上 誠: 高齢者に適した食品要件を生体機能から考える(研究助成). 東洋食品研究所, 2,000 千円, 2022-2025.
 - 26) 井上 誠: 唾液分泌低下が魚肉練製品摂食にもたらす影響(研究助成). 一正蒲鉾, 384 千円, 2023.
 - 27) 真柄 仁: 咀嚼嚥下の生体記録からオーラルフレイルの気づきを促進する(助成研究). 第 10 回奨励研究助成, ロッテ財団, 3,000 千円, 2023-2025.
 - 28) 真柄 仁: 口腔機能低下症の管理実施効果を身体機能と栄養状態から評価する縦断的研究(研究助成). 令和 5 年度 8020 財団研究事業, 720 千円, 2023.
 - 29) 落合勇人(研究代表者), 真柄 仁(共同研究者), 辻村恭憲(共同研究者), 井上 誠(共同研究者): 唾液分泌低下が高齢者の摂食・嚥下運動に与える影響-高齢者向け食品の開発に向けた予備的調査-(研究助成). 公益財団法人総合健康推進財団, 800 千円, 2023.
 - 30) 板 離子(研究代表者), 井上 誠(分担研究者), 佐々木 誠(分担研究者), 杉本大輔(分担研究者), 真柄 仁(分担研究者): 舌筋活動と焦電素子呼吸シグナルの解析から読み解く嚥下と呼吸の協調機構の分析. 令和 5 年度新潟大学 U-go グラント(次世代枠), 450 千円, 2023.
 - 31) 伊藤加代子: 女性研究者開花プラン継続事業(助成金). 1,800 千円, 2023.
 - 32) 井上 誠: 摂食嚥下機能回復部における臨床研究助成(寄付金). とやの中央病院他, 1,749 千円, 2023.
 - 33) 那小屋公太: 果実酸を用いた嚥下研究に対する研究助成(寄付金). 株式会社扶桑化学工業, 1,000 千円, 2023.
 - 34) 井上 誠: クラウドファンディング障がい児童生徒

さんが、家族とともに外食を楽しむための輪を広げよう（寄付金）. 6,938 千円, 2023.

- 35) 井上 誠: 摂食嚥下リハビリ研究助成（寄付金）. 一般社団法人日本食品機械工業会, 70 千円, 2023.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Makoto Inoue: Relationship between oral function and swallowing function in patients with dysphagia. The 1st International Conference of Asian Dysphagia Society, Suwon Convention Center (Suwon, Korea), 2023.11.9-11.
- 2) 辻村恭憲, 井上 誠: 嚥下誘発における P2X 受容体の関与. 第 47 回日本嚥下医学会学術講演会, りゅーとびあ(新潟県・新潟市), 2024 年 2 月 9-10 日, 第 47 回日本嚥下医学会学術講演会抄録集 69 頁, 2024.
- 3) 井上 誠: そしゃく・嚥下障害の治療. 令和 6 年成人老年委員会全国会議「耳鼻咽喉科成人領域の福祉医療」, TKP 品川カンファレンスセンター(東京都・品川区), 2024 年 1 月 27 日.
- 4) 伊藤加代子: 老年期のシェーグレン症候群患者における口腔症状への対応. 第 31 回日本シェーグレン症候群学会学術集会, アクトシティ浜松(静岡県・浜松市), 2023 年 9 月 22-23 日.
- 5) 井上 誠: モデル動物を用いた摂食嚥下運動の観察. 歯科イノベーション・ロードマップシンポジウム, 第 65 回歯科基礎医学会学術大会, 日本大学歯学部(東京都・千代田区), 2023 年 9 月 16-18 日, Journal of Oral Biosciences Supplement(2187-2333)2023 巻 Page [IRS-03](2023.09).
- 6) 河野 茜, 井上 誠: 睡眠中の嚥下. 日本睡眠学会第 45 回定期学術集会・第 30 回日本時間生物学会学術大会合同大会, パシフィコ横浜 ノース(神奈川県・横浜市), 2023 年 9 月 16 日, 日本睡眠学会定期学術集会・日本時間生物学会学術大会合同大会プログラム・抄録集 45 回・30 回 Page237(2023.09).
- 7) 井上 誠: 口腔咽頭筋の機能—咀嚼嚥下運動における口腔と咽頭の機能連関を考える—. 日本睡眠学会第 45 回定期学術集会・第 30 回日本時間生物学会学術大会合同大会, パシフィコ横浜 ノース(神奈川県・横浜市), 2023 年 9 月 16 日, 日本睡眠学会定期学術集会・日本時間生物学会学術大会合同大会プログラム・抄録集 45 回・30 回 Page215(2023.09).
- 8) 真柄 仁, 井上 誠: やってみよう! 表面筋電図記録—摂食嚥下機能の定量化—. ステップアップセミナー 1, 第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜 ノース(神奈川県・横浜市), 2023 年 9 月 2-3 日, 第 29 回日本摂食嚥

下リハビリテーション学会学術大会抄録集 160 頁, 2023.

- 9) Makoto Inoue: Recent findings about swallowing initiation and movements. 海外招待講演 3 基礎研究の最先端を知る, 第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜 ノース(神奈川県・横浜市), 2023 年 9 月 2-3 日.
- 10) 辻村恭憲, 井上 誠: 小動物を用いた嚥下神経機構の解明. 第 33 回日本老年学会総会, パシフィコ横浜(神奈川県・横浜市), 2023 年 6 月 16-18 日.

【講演・シンポジウム（その他）】

- 1) Makoto Inoue: Role of Oral Function in Swallowing. MoU Signing Ceremony & Mini Symposium, Kaohsiung Medical University, Kaohsiung, Taiwan, 2023.10.18.
- 2) 井上 誠: 高齢者における摂食嚥下障害の過去・今・未来. 令和 5 年度在宅歯科医療支援事業「基本研修」講演会, 新潟県歯科医師会館(リモート), 2024 年 2 月 28 日.
- 3) 真柄 仁: とろみと炭酸がもたらす食べる意欲への影響—おいしさと栄養と食べる楽しさを支える取組—. 第 47 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会 ランチョンセミナー 1, りゅーとびあ(新潟県・新潟市), 2024 年 2 月 9-10 日, 第 47 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会抄録集 85-86 頁, 2024.
- 4) 井上 誠: 機能を知って摂食嚥下障害を学ぶ. 昭和大学学士会後援セミナー, 昭和大学歯学部(東京都・品川区), 2023 年 12 月 18 日.
- 5) 井上 誠: 摂食嚥下障害児童に外食の機会を提供するために. にいがた摂食嚥下障害サポート研究会 2023 年度第 2 回講演会, 新潟大学(新潟県・新潟市)/ハイブリット開催, 2023 年 12 月 16 日.
- 6) 井上 誠: 歯科がかかわる摂食嚥下障害治療と管理のこれから. 村上市岩船郡歯科医師会学術講演会, リモート, 2023 年 11 月 18 日.
- 7) 真柄 仁: 摂食嚥下障害の臨床を支える基礎研究. 第 19 回長野摂食嚥下リハビリテーション研究会 松本歯科大学(長野県・塩尻市), 2023 年 10 月 22 日.
- 8) 井上 誠: 地域における要介護高齢者の摂食嚥下障害と歯科的対応. 第 15 回山陰摂食嚥下研究会, 米子ワシントンホテルプラザ(鳥取県・米子市), 2023 年 9 月 10 日.
- 9) 落合勇人: 言語聴覚士が目指す摂食嚥下リハビリテーション: あなたのやりたいことを聴かせてください. 交流集会 2 (言語聴覚士), 第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横

浜ノース (神奈川県・横浜市), 2023 年 9 月 2-3 日,
第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術
大会抄録集 214 頁, 2023.

- 10) 井上 誠: 摂食嚥下のメカニズム. 明海大学・朝日
大学歯学部生涯研修部クリニカルスキルアップセ
ミナー, 2023 年 7 月 16 日.
- 11) 井上 誠: 在宅・施設入居摂食嚥下障害患者の支援
と歯科医療の可能性. 食べる支援の未来予想図～さ
あ食べよう!～NPO 法人口から食べる幸せを守る
会 第 11 回全国大会, 岡谷市テクノプラザおかや
(リモート参加), 2023 年 6 月 4 日.
- 12) 杉本大輔, 板 離子: デバイスの融合から再考する
嚥下機能～岩手大×新潟大の共同研究から見えた
“歯工連携”の可能性～(第 67 回学術大会優秀賞
受賞者企画シンポジウム). 日本顎口腔機能学会第
69 回学術大会, 日本大学松戸歯学部 (千葉県, 松戸
市), 2023 年 4 月 22-23 日, 日本顎口腔機能学会第
69 回学術大会プログラム・事前抄録集 18-19 頁,
2023.

【学会発表】

- 1) Reiko Ita, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto
Inoue: Evaluation of the effect of tongue pressure
resistance training on electromyographic properties and
corticomotor excitability in intrinsic tongue and
suprahyoid muscle area. European Society for
Swallowing Disorders 2023 13th Annual Congress,
Toulouse, France, 2023.11.30-12.2.
- 2) Yuta Nakajima, Takanori Tsujimura, Jin Magara,
Makoto Inoue: Atropine regulates initiation of
swallowing evoked by distilled water in anesthetized
rats. European Society for Swallowing Disorders
2023 13th Annual Congress, Toulouse, France,
2023.11.30-12.2.
- 3) Jin Magara, Haruka Sakai, Kouta Nagoya, Takanori
Tsujimura, Makoto Inoue; Preoperative and
postoperative outcomes in patients with dysphagia after
esophagectomy for esophageal cancer. European Society
of Swallowing Disorder, 13th annual congress, Toulouse,
France, 2023.11.29-12.2.
- 4) Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Satomi Kawada,
Nozomi Dewa, Jin Magara, Takanori Tsujimura,
Makoto Inoue: Transection of Facial Nerve's Digastric
Branch as a Model for Inducing Denervation Related
Atrophy in the Posterior Digastric Muscle of Rats.
Neuroscience 2023, Washington DC, USA,
2023.11.11-15.
- 5) Yuhei Tsutsui, Takanori Tsujimura, Kajita Piriyaprasath,
Titi Chotirungsan, Jin Magara, Keiichiro Okamoto,
Kensuke Yamamura, Makoto Inoue: Activation of motor
neurons of posterior belly of digastric muscle during
swallowing. Neuroscience 2023, Washington DC,
USA, 2023.11.11-15.
- 6) Takanori Tsujimura, Satomi Kawada, Nozomi Dewa, Jin
Magara, Makoto Inoue: Role of P2X receptor on the
initiation of swallows in anesthetized rats. The 1st
international conference of asian dysphagia society,
Suwon Convention Center, Suwon, Korea, 2023.11.9-11.
- 7) Satomi Kawada, Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui,
Midori Yoshihara, Kouta Nagoya, Jin Magara, Takanori
Tsujimura, Makoto Inoue: Effects of topical application
of potassium ion on swallowing initiation in rats. The
1st International Conference of Asian Dysphagia
Society, Suwon Convention Center, Suwon, Korea,
2023.11.9-11.
- 8) Chisato Aizawa, Jin Magara, Makoto Inoue: Potential of
the crystalline oil and fat in swallowing initiation.
The 1st International Conference of Asian Dysphagia
Society, Suwon Convention Center, Suwon, Korea,
2023.11.9-11.
- 9) Kayoko Ito, Hiroshi Iwabuchi, Seiji Nakamura, Haruka
Tohara, Shuji Toya, Kazuhiro Yamamoto, Tomohiro
Yamauchi, Shigeru Watanabe: Japanese new
classification for xerostomia. IAGG Asia/Oceania
Regional Congress 2023, Pacifico Yokohama,
Yokohama, Japan, 2023.6.12-14, IAGG2023 Abstract
Book, 953, 2023.
- 10) 川田里美, Titi Chotirungsan, 筒井雄平, 吉原
翠, 那小屋公太, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上
誠: カリウム溶液の嚥下惹起促進メカニズム. 第 47
回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, りゅ
ーとびあ 新潟市民芸術文化会館 (新潟県・新潟
市), 2024 年 2 月 9-10 日, 第 47 回日本嚥下医学会総
会ならびに学術講演会プログラム・抄録集 133 頁,
2024.
- 11) 新開瑞希, 真柄 仁, 板 離子, 落合勇人, 相澤知
里, 井上 誠, 鈴木善貴, 柴垣あかり, 松香芳三:
唾液分泌増加がもたらす固形食品摂取時の咀嚼嚥
下運動への影響. 第 47 回日本嚥下医学会総会なら
びに学術講演会, りゅーとびあ 新潟市民芸術文化
会館 (新潟県・新潟市), 2024 年 2 月 9-10 日, 第 47
回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会プログ
ラム・抄録集 123 頁, 2024.
- 12) 中嶋優太, 辻村恭憲, 真柄 仁, 井上 誠: 水嚥
下誘発に関わるムスカリン受容体のメカニズム. 第
47 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, り

- ゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館（新潟県・新潟市），2024 年 2 月 9-10 日，第 47 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会プログラム・抄録集 133 頁，2024.
- 13) 鈴木 拓，秋本哲男，長谷川 博，真柄 仁，辻村恭憲，井上 誠：中咽頭腔の狭小に起因した食塊の咽頭流入経路の障害が上下総義歯装着により改善を認めた一例．第 47 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会，りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館（新潟県・新潟市），2024 年 2 月 9-10 日，第 47 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会プログラム・抄録集 151 頁，2024.
 - 14) 落合勇人，板 離子，小貫和佳奈，前川和也，相澤知里，真柄 仁，辻村恭憲，井上 誠：唾液分泌低下及び油脂添加がパンの咀嚼運動と食塊特性の経時的変化にもたらす影響．第 47 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会，りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館（新潟県・新潟市），2024 年 2 月 9-10 日，第 47 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会プログラム・抄録集 130 頁，2024.
 - 15) 伊藤加代子，辻村恭憲，真柄 仁，井上 誠：にいがた摂食嚥下障害サポート研究会による食支援の取り組みについて．第 47 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会，りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館（新潟県・新潟市），2024 年 2 月 9-10 日，第 47 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会プログラム・抄録集 150 頁，2024.
 - 16) 小貫和佳奈，真柄 仁，坂井 遥，井上 誠：退院後に誤嚥性肺炎を繰り返した傍腫瘍性神経症候群患者に対し，胃瘻と経口摂取の併用が有効であった一例．第 47 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会，りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館（新潟県・新潟市），2024 年 2 月 9-10 日，第 47 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会プログラム・抄録集 160 頁，2024.
 - 17) 鈴木 拓，秋本哲男，長谷川 博，真柄 仁，辻村恭憲，井上 誠：舌根沈下に起因すると思われる食塊の咽頭流入経路障害が上下総義歯の装着により改善を認めた一例．第 76 回東北地区歯科医学会，福島県歯科医師会館（福島県・福島市），2023 年 11 月 25-26 日，第 76 回東北地区歯科医学会プログラム 40 頁，2023.
 - 18) 伊藤加代子，古野芳毅，辻村恭憲，真柄 仁，井上 誠：摂食嚥下障害児に外食を楽しんでもらう「ばりあふりーお食事会」の紹介．第 24 回新潟栄養・食生活学会，新潟テルサ（新潟県・新潟市），2023 年 12 月 9 日，講演集 5 頁，2023.
 - 19) 板 離子，相澤知里，真柄 仁，辻村恭憲，井上 誠：反復的舌圧発揮時の筋活動様式と大脳皮質活動の評価．日本顎口腔機能学会第 70 回学術大会，北海道大学学術交流館（北海道，札幌市），2023 年 11 月 4-5 日，日本顎口腔機能学会第 70 回学術大会プログラム・事前抄録集 32-33 頁，2023.
 - 20) 杉本大輔，板 離子，佐々木 誠，真柄 仁，鈴木拓，井上 誠：ストロー摂取時の舌運動と呼吸の協調の分析．日本顎口腔機能学会第 70 回学術大会，北海道大学学術交流館（北海道，札幌市），2023 年 11 月 4-5 日，日本顎口腔機能学会第 70 回学術大会プログラム・事前抄録集 30-31 頁，2023.
 - 21) 小貫和佳奈，真柄 仁，辻村恭憲，伊藤加代子，井上 誠：口腔機能低下症の改善に関連する因子の検討．第 37 回日本口腔リハビリテーション学会学術大会，兵庫県歯科医師会館（兵庫県，神戸市），2023 年 10 月 21-22 日，日本口腔リハビリテーション学会雑誌第 36 巻第 1 号 70 頁，2023.
 - 22) 板 離子，落合勇人，真柄 仁，辻村恭憲，井上 誠：舌圧発揮時の舌筋ならびに舌骨上筋群活動の経時変化．第 9 回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会，りゅーとぴあ（新潟県・新潟市），2023 年 9 月 17-18 日，第 9 回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会抄録集 17 頁，2023.
 - 23) 那小屋公太，辻村恭憲，真柄 仁，井上 誠：COPD モデルラットを用いた嚥下機能の生理学的検証．第 9 回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会，りゅーとぴあ（新潟県・新潟市），2023 年 9 月 17-18 日，第 9 回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会抄録集 21 頁，2023.
 - 24) Yuto Ochiai, Reiko Ita, Wakana Onuki, Kazuya Maekawa, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue : Effects of hyposalivation and fat spread topping for bread on chewing behavior and bolus characteristics. 第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会，パシフィコ横浜ノース（神奈川県・横浜市），2023 年 9 月 2-3 日，第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 234 頁，2023.
 - 25) Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Satomi Kawada, Nozomi Dewa, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Digastric Branch of Facial Nerve Transection-Model for Denervation-induced post-Dig Muscle Atrophy in Rats. 第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会，パシフィコ横浜ノース（神奈川県・横浜市），2023 年 9 月 2-3 日，第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 235 頁，2023.
 - 26) Mengjie Zhang, Jin Magara, Reiko Ita, Chisato Aizawa,

- Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effect of hyposalivation on swallowing behavior in various oil materials. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2023年9月2-3日, 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集236頁, 2023.
- 27) Yuta Nakajima, Takanori Tsujimura, Jin Magara, Makoto Inoue: Atropine modulates initiation of swallowing reflex evoked by distilled water in anesthetized rats. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2023年9月2-3日, 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集244頁, 2023.
- 28) Satomi Kawada, Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Midori Yoshihara, Kouta Nagoya, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Topical application of potassium ion facilitates swallowing initiation in rats. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2023年9月2-3日, 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集244頁, 2023.
- 29) Yuhei Tsutsui, Takanori Tsujimura, Kajita Piriyaprasath, Titi Chotirungsan, Jin Magara, Keiichiro Okamoto, Kensuke Yamamura, Makoto Inoue: Activation of possible motor neurons of posterior belly of digastric muscle during swallowing. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2023年9月2-3日, 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集245頁, 2023.
- 30) 板 離子, 鈴木 拓, 吉原 翠, 落合勇人, 山田真子, 真柄 仁, 井上 誠: 舌癌術後患者に対し, 摂食嚥下機能における義歯装着の有効性について検討した一例. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2023年9月2-3日, 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集291頁, 2023.
- 31) 小貫和佳奈, 真柄仁, 辻村恭憲, 伊藤加代子, 板 離子, 川田里美, 筒井雄平, 井上 誠: 歯科外来患者における口腔機能低下症の改善に関連する因子の検討. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2023年9月2-3日, 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集380頁, 2023.
- 32) 伊藤加代子, 前川知樹, 坂井 遥, 井上 誠: 舌ブラシの植毛部の違いによる除去能および洗浄後のブラシ内残留細菌数. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2023年9月2-3日, 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集381頁, 2023.
- 33) 落合勇人, 板 離子, 那小屋公太, 吉原 翠, 山田真子, 鈴木 拓, 井上 誠: 口底癌術後遊離皮弁再建術後に重度嚥下障害, 構音障害を呈した一例. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2023年9月2-3日, 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集398頁, 2023.
- 34) 山田真子, 落合勇人, 真柄 仁, 那小屋公太, 小貫和佳奈, 坂井 遥, 辻村恭憲, 井上 誠: 当院の摂食嚥下機能回復支援チーム体制の構築. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2023年9月2-3日, 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集415頁, 2023.
- 35) 石山茉佑佳, 濃野 要, 伊藤加代子, 船山さおり, 米澤大輔, 小川祐司, 葭原明弘: 地域在住超高齢期における舌圧と低栄養リスクの関連. 令和5年度新潟歯学会第1回例会, 新潟大学歯学部講堂 (新潟県・新潟市), 2023年7月8日.
- 36) 小貫和佳奈, 真柄 仁, 伊藤加代子, 辻村恭憲, 井上 誠: 口唇閉鎖力低下と口腔機能低下の関連性. 日本老年歯科医学会第34回学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2023年6月16-18日, 日本老年歯科医学会第34回学術大会抄録集152頁, 2023.
- 37) 伊藤加代子, 船山さおり, 濃野 要, 金子 昇, 井上 誠: 口腔乾燥症の臨床統計および自覚症状改善に関する因子探索. 日本老年歯科医学会第34回学術大会, パシフィコ横浜 (神奈川県・横浜市), 2023年6月16-18日, 日本老年歯科医学会第34回学術大会抄録集200頁, 2023.
- 38) 板 離子, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: とりもと炭酸がもたらす溶液嚥下時の変調. 日本顎口腔機能学会第69回学術大会, 日本大学松戸歯学部 (千葉県, 松戸市), 2023年4月22-23日, 日本顎口腔機能学会第69回学術大会プログラム・事前抄録集36-37頁, 2023.

【受賞】

- 1) にいがた摂食嚥下障害サポート研究会：第1回「未来をつくる こどもまんなかアワード」内閣府特命担当大臣表彰 未来へつなぐ「応援団」部門。2023.
- 2) 相澤知里：令和5年度新潟大学博士学生支援プログラムシンポジウム フェローシップ・次世代事業報告会。「新潟大学博士デザイン」優秀研究ポスター賞。
- 3) Satomi Kawada: Effects of topical application of potassium ion on swallowing initiation in rats. The 1st international conference of asian dysphagia society, Suwon Convention Center, Korea, Poster Presentation Award.
- 4) Yuhei Tsutsui: Activation of possible motor neurons of posterior belly of digastric muscle during swallowing. The 29th Annual Meeting of the Japanese Society of Dysphagia Rehabilitation, Excellent English Presentation Award 2023.
- 5) Kayoko Ito, Hiroshi Iwabuchi, Seiji Nakamura, Haruka Tohara, Shuji Toya, Kazuhiro Yamamoto, Tomohiro Yamauchi, Shigeru Watanabe: Japanese new classification for xerostomia. IAGG Asia/Oceania Regional Congress 2023, Outstanding Poster Presentation Award.
- 6) 小貫和佳奈：口腔機能低下症の改善に関連する因子の検討。第37回日本口腔リハビリテーション学会学術大会，優秀口演発表賞。
- 7) 杉本大輔，板 離子，佐々木 誠，真柄 仁，鈴木 拓，井上 誠；ストロー摂取時の舌運動と呼吸の協調の分析。日本顎口腔機能学会第70回学術大会，学術大会優秀賞。
- 8) 真柄 仁：2023年度 顎口腔機能学会賞。

【その他】

- 1) 井上 誠：ゆうなび 新潟ケンジュプロジェクト，BSN，2024年3月22日。
- 2) 第47回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会，りゅーとびあ，2024年2月9-10日。
- 3) 未来へつなぐ「応援団」部門 ～内閣府特命担当大臣表彰～にいがた摂食嚥下障害サポート研究会（新潟県新潟市）。令和5年度第1回「未来をつくる こどもまんなかアワード活動事例紹介集」，P33-34。
- 4) 伊藤加代子，井上 誠：「ばりあふりーお食事会」の取り組み～摂食嚥下障害の子供と家族に外食の機会を～。新ノーマライゼーション，43(12)：4-5，2023年12月25日
- 5) 伊藤加代子：女性のライフステージに応じた口腔疾

- 患。福岡県歯科医師会機関誌「歯界時報」，2023。
- 6) 辻村恭憲：噛むこと・飲み込むこと。新潟大学公開講座，新潟大学，ときめいと（新潟県・新潟市）/ハイブリット開催，2024年1月27日。
- 7) 真柄 仁：お口の機能低下，オーラルフレイルを知ろう！令和5年度第4回新潟気軽に省エネくらぶ企画講座，新潟市亀田市民会館（新潟県・新潟市），2024年1月26日。
- 8) 伊藤加代子：教養としての「更年期障害」。1D オンラインセミナー，2024年1月18日。
- 9) にいがた摂食嚥下障害サポート研究会 2023年度第2回講演会，新潟大学（新潟県・新潟市）/ハイブリット開催，2023年12月16日。
- 10) Yuta Nakajima：Sumiko Okada Fellowship for JS DR Members；ESSD。
- 11) 辻村恭憲，前川和也：摂食嚥下スクリーニング検査。江南区口腔ケアと摂食嚥下を考える会，きらとびあ（新潟県・新潟市），2023年11月28日。
- 12) にいがた摂食嚥下サポート研究会：こどもまんなかアワード 特命担当大臣表彰を受賞。新潟日報日刊，2023年11月28日。
- 13) 井上 誠：摂食嚥下障害ある子どもと家族 一緒に外食楽しんで。新潟日報朝刊，2023年11月3日。
- 14) 井上 誠：NST News タッチ，誰もが外食を楽しめる環境を，2023年11月1日。
- 15) 井上 誠：新潟ニュース 610，摂食嚥下障害でも「家族で外食」食事会，2023年11月1日。
- 16) 井上 誠：一流フレンチ障害者家族ら堪能。朝日新聞朝刊，2023年10月23日。デジタル版 <https://www.asahi.com/articles/ASRBQ73J5RBQUOH B007.html>
- 17) 井上 誠：NST タ方ライブニュース，2023年10月22日。 <https://youtu.be/eXsK7aTP-Ds?si=6WoelrizeyBMpOlhB>
- 18) ばりあふりーお食事会。ホテルオークラ新潟（新潟県・新潟市），2023年10月22日。
- 19) 井上 誠：全ての親子にフルコースを。新潟日報夕刊，2023年10月17日。
- 20) 真柄 仁：病棟で実践する摂食嚥下障害への対応。栄養サポートチーム勉強会，WEB 開催，2023年10月16日。
- 21) 伊藤加代子：唾液と味覚の役割。新潟大学公開講座，新潟大学，Web 開催，2023年10月14日。
- 22) 井上 誠：一流ホテルでフレンチのフルコースを障害児と一緒に楽しめる食事会。朝日新聞朝刊，2023年10月3日。
- 23) 井上 誠：かんでのみ込むのが困難な子に外食を楽しむ機会を。新潟日報朝刊，2023年9月21日。

- 24) 伊藤加代子：ラインケア～職場における上司と部下のコミュニケーション～. 2023 年度 管理者メンタルヘルス研修会, 東芝テクノ株式会社, 2023 年 9 月 5 日, 14 日.
- 25) 辻村恭憲：摂食嚥下機能のメカニズム. 令和 5 年度定歯科衛生士セミナー「摂食嚥下リハビリテーションコース」, 日本歯科衛生士会, オンデマンド配信 令和 5 年 9 月 1 日-11 月 4 日.
- 26) 井上 誠：障害で食事困難な子供と家族に外食を. BSN ニュース, 2023 年 8 月 25 日.
- 27) 伊藤加代子：口腔ケアの実際と食事介助の基本. 2022 年度口腔ケア研修会, 新潟県社会福祉協議会, Web 開催, 2023 年 8 月 1 日.
- 28) 相澤知里：お仕事紹介 File02 歯科医師 高校生・中学生の進路選択に役立つ医療介護栄養のお仕事まるわかり事典. P20-21, 株式会社日本医療企画北信越支社, 2023 年 7 月 7 日.
- 29) 真柄 仁：摂食嚥下障害の臨床と基礎 ―理工学的アプローチで摂食嚥下障害患者を支援しよう！―. 理工学部機械科学コース 生体工学講義, SPERC 摂食嚥下リハビリテーション研究グループ講演会併催, 岩手大学理工学部 (岩手県・盛岡市), 2023 年 7 月 12 日.
- 30) 辻村恭憲：口腔・摂食嚥下機能低下がもたらす弊害と改善へのアプローチ. にいがた市民大学 大学コンソーシアム連携講座, 新潟市 新潟市生涯学習センター, 2023 年 6 月 24 日.
- 31) 井上 誠：歯科医療が直面する課題と期待. 巻頭言, 新潟市医師会報第 627 号, P1, 2023 年 6 月.
- 32) 中嶋優太：WITH コロナ×AFTER コロナの時代の私たち. 歯界展望 141(6):1255, 2023 年 6 月.
- 33) にいがた摂食嚥下障害サポート研究会 2023 年度第 1 回講演会, 新潟大学 (新潟県・新潟市) /ハイブリット開催, 2023 年 5 月 27 日.
- 34) 真柄 仁：嚥下関連筋の筋電図評価を摂食嚥下の臨床へ活かす！2023 年度 スタディグループツナゲルド会勉強会, Zoom オンライン, 2023 年 5 月 11 日.
- 35) 井上 誠：1 日 3 食の習慣重要 舌の鍛錬話するときの比でなく. 新潟日報夕刊, 2023 年 4 月 22 日.
- 36) 中嶋優太：令和 5 年度新潟大学フェローシップ支援, 2023.
- 37) 川田里美：令和 5 年度新潟大学フェローシップ支援, 2023.
- 38) 筒井雄平：令和 5 年度新潟大学フェローシップ支援, 2023.
- 39) 板 離子：令和 5 年度未来のライフ・イノベーションを創出するフロンランナー育成プロジェクト,

2023.

- 40) 出羽 希：令和 5 年度未来のライフ・イノベーションを創出するフロンランナー育成プロジェクト, 2023.
- 41) 相澤知里：令和 5 年度未来のライフ・イノベーションを創出するフロンランナー育成プロジェクト, 2023.

硬組織形態学分野

【著 書】

- 1) 大島勇人：ご機嫌な人生を送るために必要な 6 つの大切なこと. 幻冬舎, 東京, 2023 年 8 月 31 日.

【論 文】

- 1) Tsuneki M, Zhang Y: Novel applications of artificial intelligence in cancer research. *Technol Cancer Res Treat.* 2023 Jan-Dec;22:15330338231195025. doi: 10.1177/15330338231195025.
- 2) Ohshima H, Mishima K: Oral biosciences: The annual review 2023. *J Oral Biosci* 66(1): 1-4, 2024.
- 3) Ohkura N, Yoshida K, Yoshida N, Oda Y, Edanami N, Ohshima H, Takenaka S, Okiji T, Noiri Y: Prostaglandin E2-transporting pathway and its roles via EP2/EP4 in cultured human dental pulp. *J Endod* 49(4): 410-418, 2023.
- 4) Shin M, Matsushima A, Kajiyama H, Okamoto F, Ogata K, Oka K, Ohshima H, Bartlett JD, Okabe K: Conditional knockout of transient receptor potential melastatin 7 in the enamel epithelium: Effects on enamel formation. *Eur J Oral Sci* 131(2): e12920, 2023.
- 5) Kim EJ, Kim HY, Li L, Tang Q, Kim KH, Ohshima H, Jung HS: Cuspal shape alterations by Bmp4 directing cell proliferation and apoptosis. *J Dent Res* 102(7):825-834, 2023.
- 6) Ohshima S, Takami H, Katsumi Y, Ueki Y, Horii A, Ohshima H: Distribution patterns of infraorbital nerve branches and risk for injury. *Ann Anat* 250:152118, 2023.
- 7) Ikarashi A, Sano H, Tanaka M, Ohshima H: The accuracy of quantifying the degree of hard tissue calcification using an electron probe micro analyzer, micro-focus X-ray computed tomography, and tissue sectioning methods. *J Oral Biosci* 65(3):226-232, 2023.
- 8) Yamazaki S, Hayashi R, Mutoh N, Ohshima H, Tani-Ishii N: Effects of rheumatoid arthritis on the

progression of pulpitis and apical periodontitis in SKG mice. J Endod 2023 Aug 17:S0099-2399(23)00497-1. doi: 10.1016/j.joen.2023.08.003.

- 9) Hayashi R, Yamazaki S, Muto N, Hashimoto T, Ohshima H, Tani-Ishii N: Influence of IgA nephropathy on the progression of pulpitis and apical periodontitis in HIGA mice. J Oral Biosci. 66(1):98-104, 2024.
- 10) Sano H, Nakakura-Ohshima K, Quispe-Salcedo A, Okada Y, Sato T, Ohshima H: Early revascularization activates quiescent dental pulp stem cells following tooth replantation in mice. Regen Ther 24:582-591, 2023.
- 11) Ida-Yonemochi H, Otsu K, Irie T, Ohazama A, Harada H, Ohshima H: Loss of autophagy disrupts stemness of ameloblast-lineage cells in aging. J Dent Res 103(2):156-166, 2024.

【商業誌】

- 1) 常木雅之: 病理領域における深層学習型数理モデルの開発と実装. Precis Med 6(7): 549-554, 2023.
- 2) 大島勇人: 接合上皮の構造と発生. 歯界展望 142(3): 454-461, 2023.
- 3) 福嶋敬宜, 常木雅之, 飯塚 統: AIによる病理画像評価—基礎・応用と将来展望. 細胞, 55(13): 1023-1026, 2023.

【研究費獲得】

- 1) 大島勇人, Quispe Salcedo Angela, 常木雅之, 依田浩子, 山崎智彦: 樹状細胞・マクロファージ制御による歯髄静的幹細胞／前駆細胞の恒常性維持と活性化. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 23H03078, 2023.
- 2) 依田浩子, 入江太郎, 大島勇人: 歯の形成過程における糖代謝リプログラミングの制御機構. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09826, 2023.
- 3) Angela Quispe Salcedo: Cross-talk among odontoblasts, dental pulp stem cells, and immune cells after exogenous injuries, . 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 22K21011, 2023.
- 4) 大島邦子, 大島勇人, 早崎治明, 佐野拓人: 再植歯の人為的髄床底穿孔と神経伝達シグナル調節による歯髄再生療法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09411, 2023.
- 5) 下村淳子, 森田貴雄, 大島勇人: プロテオミクスによるタンパク質選定と歯の発生段階における発現機能の新解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09424, 2023.

- 6) 武藤徳子, 石井信之, 大島勇人: 歯髄治癒過程における神経伝達物質と自然免疫制御による象牙質再生機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09883, 2023.
- 7) 興地隆史, 川島伸之, 大島勇人, 野田園子, 藤井真由子: 低酸素特異的転写調節因子 HIF1 α が誘導する歯髄組織特異的硬組織誘導のメカニズム. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 22K09960, 2023.
- 8) 大島勇人, 佐藤雅彦, 高見寿子: 解剖学模型の開発. 共同研究, 2023

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 大島勇人: 歯の外的損傷後の歯髄治癒過程に関与する生体分子の役割解明と歯科再生医療への展開. 第65回歯科基礎医学会学術大会 日本歯科理工学会共催シンポジウム「組織発生と再生、その理解と活用に向けた取り組み」, 東京, 2023年9月16-18日. J Oral Biosci Suppl 2023, p.253, 2023.
- 2) 大島勇人: 若手研究者がストレスなく効率的に英語学術論文を作成するコツについて. 第65回歯科基礎医学会学術大会 教育講演, 東京, 2023年9月16-18日. J Oral Biosci Suppl 2023, p.308, 2023.

【学会発表】

- 1) 大島勇人, 勝見祐二: 舌神経の三次元的走向と筋間隙との関係から予測する神経損傷リスク評価. 日本解剖学会関東支部学術集会, 新潟, 2023年9月3日.
- 2) Angela Quispe-Salcedo, Mauricio Zapata-Sifuentes, Taisuke Watanabe, Tomoyuki Kawase, Hayato Ohshima: Effectiveness of Leukocyte- and Platelet-Rich Plasma (L-PRP) on the pulpal healing process following tooth replantation in mice. 第65回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023年9月16-18日. J Oral Biosci Suppl 2023, p.47-48, 2023.
- 3) 依田浩子, 大島勇人: 糖代謝調節による歯髄細胞分化制御. 第65回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023年9月16-18日. J Oral Biosci Suppl 2023, p.48, 2023.
- 4) 佐野拓人, 大島邦子, Quispe-Salcedo Angela, 岡田康男, 佐藤拓一, 大島勇人: マウス臼歯再植後の早期血行回復は歯髄静的幹細胞を賦活化する. 第65回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023年9月16-18日. J Oral Biosci Suppl 2023, p.213, 2023.
- 5) Mauricio Zapata-Sifuentes, Angela Quispe-Salcedo, Taisuke Watanabe, Tomoyuki Kawase, Hayato Ohshima: The positive effects of leukocyte- and platelet-rich

plasma (L-PRP) on osseointegration after implant placement in mouse maxilla. 第 65 回歯科基礎医学学会学術大会, 東京, 2023 年 9 月 16-18 日. J Oral Biosci Suppl 2023, p.214-215, 2023.

- 6) Mauricio Zapata-Sifuentes, Angela Quispe-Salcedo, Taisuke Watanabe, Tomoyuki Kawase, Hayato Ohshima: Effect of leukocyte platelet-rich plasma on osseointegration after implant Placement in the mouse maxilla. 第 23 回日本再生医療学会総会, 新潟, 2024 年 3 月 21-23 日.
- 7) 大島秀介, Angela Quispe-Salcedo, 依田浩子, 植木雄志, 堀井 新. 大島勇人: TetOP-H2B-GFP システムと EdU パルス追跡実験を用いた唾液腺幹/前駆細胞の発生および再生時の動態解析. 第 129 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 沖縄, 2024 年 3 月 21-23 日. 第 129 回日本解剖学会総会・全国学術集会講演プログラム・抄録集, 2023 p192.
- 8) Angela Quispe-Salcedo, Tomohiko Yamazaki, Hayato Ohshima: Effects of synthetic toll-like receptor 9 ligand molecules on the pulpal immunomodulatory responses and repair after injuries. 第 129 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 沖縄, 2024 年 3 月 21-23 日. 第 129 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, 2023 p192.
- 9) 大津圭史, 池崎晶二郎, 中西 (松井) 真弓, 依田浩子, 大島勇人, 原田英光: エナメル質石灰化における V-ATPase a3 アイソフォームの機能. 第 129 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 沖縄, 2024 年 3 月 21-23 日. 第 129 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, 2023 p192.

【受賞】

- 1) 真喜志佐奈子 (高野佐奈子): Osteopontin on the dental implant surface promotes direct osteogenesis in osseointegration. International Journal of Molecular Sciences. 10.3390/ijms23031039. 令和 5 年度新潟大学博士育成のための論文投稿支援プログラム 学生優秀論文賞.

【その他】

- 1) Ohshima H : Vice Editor-in-Chief, Journal of Oral Biosciences
- 2) Ohshima H: Section Editor, Regenerative Therapy
- 3) Ohshima H: Managing Editor, Anatomical Science International
- 4) Ida-Yonemochi H: Editorial Board, Frontiers in Dental Medicine
- 5) Ida-Yonemochi H: Managing Editor, Anatomical

Science International

- 6) Tsuneki M: Associate Editor, Technology in Cancer Research & Treatment
- 7) Tsuneki M: Guest Editor, Diagnostics (Basel)
- 8) Tsuneki M: Editorial Board, BMC Cancer
- 9) Hayato Ohshima: Anatomy of the Floor of the Oral Cavity: Assessment of Relative Hemorrhage Risk during Surgery, 9th IFAA FIPAR Webinar, 2023 年 6 月 20 日.
- 10) 大島勇人: ご機嫌な人生を送るために必要な 6 つの大切なこと, 日本橋インプラントセンター研修会, 東京, 2023 年 10 月 26 日.
- 11) 大島勇人: 研究者としての在り方とジャーナル・エディターの価値. 2023 年度自然科学研究機構 OPEN MIX LAB (OML)公募研究プログラム主催セミナー「研究者キャリア形成における学術雑誌エディターの価値～大型共同研究の提案・推進との連携～」, Web 開催 (金沢), 2023 年 11 月 9 日.
- 12) 大島勇人: 生命科学研究における EPMA の有用性. 「なるほど! 研究支援セミナー【EPMA セミナー】」, Web 開催, 2023 年 11 月 13 日.
- 13) 大島勇人: 歯科の再生医療. 令和 5 年度日本医師会生涯教育講座【新潟会場】「再生医療の現状と将来」, ハイブリッド開催 (新潟), 2023 年 11 月 18 日.
- 14) 依田浩子: 令和 5 年度 新潟大学「女性研究者開花プラン」支援事業報告会. Web 開催, 2024 年 2 月 29 日.
- 15) 大島勇人: ご機嫌な人生を送るために必要なお口の健康, 日本歯科医学会連合イノベーションフォーラム, Web 開催, 2024 年 3 月 7 日.
- 16) 大島勇人: (企画) 第 31 回産学連携フォーラム (歯科再生医療産学連携会議主催), 大阪, 2024 年 2 月 8 日.
- 17) 大島勇人: (企画) 第 23 回日本再生医療学会総会, シンポジウム 歯科再生医療推進ネットワーク協議会主催: 歯科再生医療を推進する基礎研究の進展, 1. 大島正充, 辻 孝: 歯周組織の解剖学的構造と生理機能を有する次世代型バイオインプラントの開発; 2. 美島健二: 唾液腺オルガノイドから唾液腺再生への展開; 3. 原田英光: エナメル上皮由来基底膜成分を応用した歯科再生医療への展開; 4. 福本 敏: GPR111 および GPR115 によって制御されるエナメル質石灰化機構の解明; 5. Han-Sung Jung : Recapitulation of hard tissue regeneration by diverse stem cells, 第 23 回日本再生医療学会総会, 新潟, 2024 年 3 月 21-23 日.

口腔病理学分野

【著 書】

- 1) 阿部達也：Clinical Question 16-25. 口腔癌診療ガイドライン2023年版 口腔癌診療ガイドライン改訂合同委員会編, 112-131 頁, 金原出版株式会社, 東京、2023.

【論 文】

- 1) 齋藤直朗,丸山 智,加藤祐介, 竹内涼子,田沼順一,小林正治：口底部に生じた異所性胃腸管嚢胞の1例. 日本口腔外科学会雑誌,69 (1): 27-31, 2023.
- 2) Maruyama S, Yamazaki M, Abé T, Cheng J, Saku T, Tanuma J: Hypoxia-Induced Biosynthesis of the Extracellular Matrix Molecules, Perlecan and Fibronectin, Promotes the Growth of Pleomorphic Adenoma Cells In Vitro Models. Biomedicines, 11(11): 2981, 2023.
- 3) Akimori T, Yamazaki M, Abé T, Maruyama S, Tomihara K, Maeda T, Tanuma J: Searching for new early detection markers of oral epithelial dysplasia and oral squamous cell carcinoma using oral liquid-based cytology. J Oral Maxillofac Surg Med Pathol, November 25, 2023. (in press)
- 4) Takamura M, Nikkuni Y, Hayashi T, Katsura K, Nishiyama H, Yamazaki M, Maruyama S, Tanuma J: Comparing the Diagnostic Accuracy of Ultrasonography, CT, MRI, and PET/CT in Cervical Lymph Node Metastasis of Oral Squamous Cell Carcinoma. Biomedicines, 11(12): 3119, 2023.
- 5) Katagiri W, Saito D, Maruyama S, Ike M, Nishiyama H, Hayashi T, Tanuma J, Kobayashi T: Masticatory muscle tendon-aponeurosis hyperplasia that was initially misdiagnosed for polymyositis: a case report and review of the literature. Plast. Reconstr. Surg, 45(1): 18, 2023.
- 6) 山崎 学：細胞内細胞構造“Cell-in-cell structures”の多様性と生物学的意義. 新潟歯学会雑誌, 53(2):1-4, 2023.
- 7) Takahashi K, Yachida N, Tamura R, Adachi S, Kondo A, Abé T, Umezu H, Nyuzuki H, Nakaoka H, Yoshihara K: Clonal origin and genomic diversity in Lynch syndrome-associated endometrial cancer with multiple synchronous tumors: Identification of the pathogenicity of MLH1 p.L582H. Genes Chromosomes Cancer, 63 (3): e23231, 2024.

【研究費獲得】

- 1) 田沼順一, 阿部達也, 丸山 智, 山崎 学, 林 孝

文, 富原 圭, 前田健康: 口腔がんに対する地域医療体制の基盤の構築. 新潟大学 令和 4 年度 新大学改革プロジェクト事業計画. 2022 年 4 月-2024 年 3 月.

- 2) 田沼順一, 阿部達也：バーチャルスライドと e-learning システムを利用した従来型実習形式のデジタルフレームワークへの転換. 新潟大学 令和 5 年度 学長教育助成制度. 2023 年 4 月-2024 年 3 月.
- 3) 田沼順一：シングルセル RNA-Seq 解析を利用した口腔癌微小環境の分子機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C), 23K09150, 2023 年 4 月-2025 年 3 月.
- 4) 丸山 智：細胞外基質環境下における腫瘍特異的な CD73 誘導低酸素応答性増殖機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C), 21K10109, 2021 年 4 月-2024 年 3 月.
- 5) 山崎 学：死細胞貪食による口腔がん細胞活性化：脂質クオリティが果たす役割を探る. 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C), 21K09856, 2021 年 4 月-2024 年 3 月.
- 6) 阿部達也：口腔扁平上皮癌の間質浸潤と側方上皮進展：その相対的制御と分子基盤. 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C), 21K09841, 2021 年 4 月-2024 年 3 月.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 田沼順一：臨床講演 I 日常生活に役立つ口腔粘膜疾患と対処法. 第 38 回日本小児歯科学会 関東地方会, 2023 年 10 月 1 日, 川口市.
- 2) 田沼順一：GP が知っておくべき「小児の口腔粘膜疾患」頻出疾患の分類・原因から鑑別、適切な対応法. 2024 年 3 月 12 日.
- 3) Yamazaki M: Keynote Speech 7 Dead tumor cells: Driving for progression of oral squamous cell carcinoma. The 21st International congress of oral pathology and medicine, Aug 17-21, 2023, Taiwan. Program & Abstract Book, 40-41, 2023.

【学会発表】

- 1) 阿部達也, 山崎 学, 丸山 智, ニエイン ニエイン チャン, 田沼順一：口腔扁平上皮癌における ladinin-1 と細胞極性・上皮性格制御. 第 112 回日本病理学会総会, 2023 年 4 月 13-15 日, 下関市. 日本病理学会会誌, 112(1): 289 頁, 2023.
- 2) 阿部達也, 山崎 学, 丸山 智, ニエイン ニエイン チャン, 田沼順一：頭頸部癌特異的スプライシングイベントの探索. 第 112 回日本病理学会総会, 2023 年 4 月 13-15 日, 下関市. 日本病理学会会誌,

112(1): 291 頁, 2023.

- 3) 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, 田沼順一: 唾液腺多形腺腫由来細胞は低酸素環境下にて CD73 による増殖及び遊走能を亢進する. 第 112 回日本病理学会総会, 2023 年 4 月 13-15 日, 下関市. 日本病理学会会誌, 112(1): 292 頁, 2023.
- 4) 泉 健次, 内藤絵里子, 井川和代, 羽賀健太, 小林亮太, 齋藤タ子, 山崎 学, 田沼順一, 富原 圭: 口腔癌および口腔粘膜 3 次元インビトロモデルに対する重粒子線照射の影響に関する研究. 第 77 回日本口腔科学会学術集会, 2023 年 5 月 11-13 日, 岡山市. 同学会総会プログラム・抄録集: 47 頁, 2023.
- 5) 船山昭典, 羽賀健太, 齋藤大輔, 新國 農, 西山秀昌, 林 孝文, 丸山 智, 山崎 学, 田沼順一, 小林正治: 舌下腺に生じたアミロイドーシスの 1 例. 第 77 回日本口腔科学会学術集会, 2023 年 5 月 11-13 日, 岡山市. 同学会総会プログラム・抄録集: 68 頁, 2023.
- 6) 阿部達也, 山崎 学, 丸山 智, 隅田賢正, 西山秀昌, 富原 圭, 林 孝文, 田沼順一: 頬部・下顎骨腫瘍の一例. 第 34 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 2023 年 8 月 24-26 日, 吹田市. 同学会総会プログラム・抄録集: 49 頁, 2023.
- 7) 山崎 学, 阿部達也, 丸山 智, 田沼順一: 同種死細胞により誘導される口腔扁平上皮癌細胞の活性化メカニズム. 第 82 回日本癌学会学術総会, 2023 年 9 月 21-23 日, 横浜市. 同学会総会プログラム・抄録集: 108 頁, 2023.
- 8) 羽賀健太, 山崎 学, 丸山 智, 阿部達也, 小林正治, 田沼順一: 光干渉断層撮影を用いた 3 次元口腔癌モデルにおける癌浸潤の定量解析. 第 82 回日本癌学会学術総会, 2023 年 9 月 21-23 日, 横浜市. 同学会総会プログラム・抄録集: 173 頁, 2023.
- 9) 阿部達也, 凌 一葦, 奥田修二郎, 山崎 学, 丸山智, 田沼順一: 頭頸部扁平上皮癌における特異的選択的スプライシングの探索: データベース解析とロングリードシーケンシング. 第 82 回日本癌学会学術総会, 2023 年 9 月 21-23 日, 横浜市. 同学会総会プログラム・抄録集: 190 頁, 2023.
- 10) 児玉泰光, 林 孝文, 小林亮太, 上野山敦士, 高村真貴, 新國 農, 山崎 学, 田沼順一, 富原 圭, 鶴巻浩: 超音波診断法を用いて周術期画像精査を行った咀嚼筋腱・腱膜過形成症の 1 例. 第 68 回日本口腔外科学会総会学術大会, 2023 年 11 月 10-12 日, 大阪市. 同学会総会抄録 2023.
- 11) 隅田賢正, 児玉泰光, 山崎 学, 田沼順一, 林 孝文, 富原 圭: 上唇に発生した好酸球増多を伴う硬化性粘表皮癌の一例. 第 68 回日本口腔外科学会総会学術

大会, 2023 年 11 月 10-12 日, 大阪市. 同学会総会抄録 2023.

- 12) 阿部達也, 凌 一葦, 奥田修二郎, 山崎 学, 丸山智, 田沼順一: 頭頸部扁平上皮癌における選択的スプライシングシグネチャーによる予後予測. 第 113 回日本病理学会総会, 2023 年 3 月 28-30 日, 名古屋市. 日本病理学会会誌, 113(1): 296 頁, 2024.
- 13) 山崎 学, 阿部達也, 丸山 智, 田沼順一: 口腔扁平上皮癌における異所性核酸受容分子の発現解析. 第 113 回日本病理学会総会, 2023 年 3 月 28-30 日, 名古屋市. 日本病理学会会誌, 113(1): 350 頁, 2024.
- 14) 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, 田沼順一: 良性および悪性唾液腺腫瘍の診断における CD73 免疫組織化学的検索. 第 113 回日本病理学会総会, 2023 年 3 月 28-30 日, 名古屋市. 日本病理学会会誌, 113(1): 351 頁, 2024.

【その他】

- 1) 田沼順一: お口に気になるものがあれば、口腔細胞診（歯科検診）はいかがでしょうか? Niigata University Web Magazine 教員コラム（六花）, 2023 年 5 月 23 日.

歯科薬理分野

【原著論文】

- 1) Ueda D, Matsuda N, Takaba Y, Hirai N, Inoue M, Kameya T, Abe T, Tagaya N, Isogai Y, Kakihara Y, Bartels F, Christmann M, Shinada T, Yasuda K, Sato T: Analysis of vitamin D receptor binding affinities of enzymatically synthesized triterpenes including ambrein and unnatural onocerooids. Sci Rep.14(1):1419,2024.
- 2) Kaku M, Thant L, Dobashi A, Ono Y, Kitami M, Mizukoshi M, Arai M, Iwama H, Kitami K, Kakihara Y, Matsumoto M, Saito I, Uoshima K: Multiomics analysis of cultured mouse periodontal ligament cell-derived extracellular matrix. Sci Rep. 14(1):354,2024
- 3) Piriyaprasath K, Kakihara Y, Kurahashi A, Taiyoji M, Kodaira K, Aihara K, Hasegawa M, Yamamura K, Okamoto K: Preventive Roles of Rice-koji Extracts and Ergothioneine on Anxiety- and Pain-like Responses under Psychophysical Stress Conditions in Male Mice. Nutrients.15(18):3989,2023
- 4) Piriyaprasath K, Hasegawa M, Kakihara Y, Iwamoto Y, Kamimura R, Saito I, Fujii N, Yamamura K, Okamoto K: Effects of stress contagion on anxiogenic- and orofacial

inflammatory pain-like behaviors with brain activation in mice. Eur J Oral Sci.131(4):e12942,2023

【研究費獲得】

- 1) 柿原嘉人(代表): 骨芽細胞のI型コラーゲンと基質小胞の分泌経路における Rab タンパク質の機能解明.日本学術振興会科学研究費補助金,基盤研究(C),23K09117,2023.
- 2) 岡本圭一郎, 柿原嘉人(分担)他: トレッドミル走がストレス誘発性の顔面痛を軽減する脳メカニズム.日本学術振興会科学研究費補助金,基盤研究(C),23K09391,2023.
- 3) 船山昭典, 柿原嘉人(分担)他: 口腔癌進展における癌関連線維芽細胞(CAFs)のTGF- β シグナルの解明.日本学術振興会科学研究費補助金,基盤研究(C),22K10143,2023.(継続)
- 4) 加来賢, 柿原嘉人(分担)他: 定量プロテオミクスによる歯根膜マトリックスの網羅的解析と再生基材の開発.日本学術振興会科学研究費補助金,基盤研究(B),21H03127,2023.(継続)

【学会発表】

- 1) Yoshito Kakihara, Keiichiro Okamoto, Kensuke Yamamura:The cellular basis analysis for the regulatory roles of Sake Lees on bone metabolism.第65回歯科基礎医学会,東京,2023年9月18日.
- 2) Lay Thant, Masaru Kaku, Azusa Dobashi, Yoshito Kakihara, Isao Saito, Katsumi Uoshima:Chemical digestion-assisted extracellular matrix profiling of cultured periodontal ligament cells.第55回日本結合組織学会,岡山市,2023年6月24日.
- 3) 三宅康隆, 松田夏, 平井奈実, 鷹羽優香, 井上真緒, 亀谷太一, 安田佳織, 柿原嘉人, 原崇, 品田哲郎, 上田大次郎, 佐藤努:非天然型トリテルペンの生合成およびアンブレインのビタミンD受容体結合能・構造活性相関.日本農芸化学会 2023 年度大会,オンライン開催,2023年3月14日.
- 4) Jorge Saez Chandia, Keiichiro Okamoto, Mayumi Taiyoji, Kotaro Aihara, Atsushi Kurahashi, Kazuya Kodaira, Kensuke Yamamura, Takafumi Hayashi, Yoshito Kakihara:Effect of Sake lees (Sake-kasu) on osteoblastic differentiation and bone metabolism.日本農芸化学会 2023 年度大会,オンライン開催,2023年3月17日.

【研究会発表】

- 1) 柿原嘉人:米発酵食品の健康機能性研究.にいがたフードテック研究会,新潟市,2024年3月7日.

- 2) 柿原嘉人:酒粕の健康機能の探索.第6回日本酒学シンポジウム,新潟市,2023年11月28日.

包括歯科補綴学分野

【論文】

- 1) Togawa H, Gonda T, Karino T, Maeda Y, Ono T, Ikebe K: Force exerted on maxillary anterior teeth in mandibular unilateral and bilateral distal extension partial edentulous situation. Odontology.111(2):451-460, 2023 Apr.
- 2) Sta Maria MT, Hasegawa Y, Marito P, Yoshimoto T, Salazar S, Hori K, Ono T: The impact of residual ridge morphology on the masticatory performance of complete denture wearers. Heliyon. 13;9(5):e16238, 2023 May.
- 3) Okawa J, Hori K, Izuno H, Fukuda M, Ujihashi T, Kodama S, Yoshimoto T, Sato R, Ono T: Developing tongue coating status assessment using image recognition with deep learning. J Prosthodont Res. 2023 Sep. Online ahead of print.
- 4) Yoshimoto T, Hasegawa Y, Sta Maria MT, Marito P, Salazar S, Hori K, Ono T: Effect of mandibular bilateral distal extension denture design on masticatory performance. J Prosthodont Res. 13;67(4):539-547, 2023 Oct.
- 5) Murakami K, Kasakawa N, Hori K, Kosaka T, Nakano K, Ishihara S, Nakauma M, Funami T, Ikebe K, Ono T: Relationship between maximal isometric tongue pressure and limit of fracture force of gels in tongue squeezing. J Oral Rehabil.51(3):574-580, 2024 Mar.
- 6) Sta Maria MT, Hasegawa Y, Khaing M M Aye, Salazar S, Ono T: The Relationships between Mastication and Cognitive Function: A Systematic Review and Meta-Analysis. Jpn Dent Sci Rev.59:375-388, 2023 Dec
- 7) Kakimoto N, Wongratwanich P, Shimamoto H, Kitisubkanchana J, Tsujimoto T, Shimabukuro K, Verdonshot G Rinus, Hasegawa Y, Murakami S: Comparison of T2 values of the displaced unilateral disc and retrodiscal tissue of temporomandibular joints and their implications. Sci Rep. 19;14(1):1705, 2024 Jan.
- 8) Ishimaru T, Yamaguchi T, Saito T, Hattori Y, Ono T, Arai Y, Hasegawa Y, Shiga H, Tamaki K, Tanaka J, Tsuga K, Abekura H, Miyawaki S, Maeda-lino A, Mikami S, Gotouda A, Satoh K, Shimizu K, Kato Y, Namita T: Actual State of the Diurnal Masseteric

Electromyogram: Differences between Awareness and Non-Awareness of Awake Bruxism. J Prosthodont Res. 2024 Jan.

- 9) Hasegawa Y, Minakuchi H, Nishimura M, Nishio K, Yoshioka Fi, Ishii T, Watanabe T, Nishiyama Y, Sato Y, Yoshida K, Sta Maria MT, Iinuma T, Matsuka Y : Effect of soft denture liner on complete denture treatments: A systematic review. J Prosthodont Res. 2024 Feb. Online ahead of print.
- 10) Fukuoka T, Hori K, Ono T. Quantitative evaluation of swallowing function in Parkinson's disease using tongue pressure measurement: a mini-review. Front Neurol. 13:15:1355627, 2024 Feb
- 11) Togawa H, Gonda T, Karino T, Maeda Y, Ono T, Ikebe K: Clinical Measurements of Force Exerted on Anterior Teeth in Partial Edentulous Distal Extension. Int J Prosthodont. 21;37(1):27-33, 2024 Feb.
- 12) 楠博, 糸田昌隆, 元根正晴, 長谷川陽子, 岸本裕充, 新村健, 志水秀郎: オーラルフレイルの新規スクリーニング法の確立 医科からのアプローチ. 日本歯科医学学会誌(0286-164X). 42: 76. 2023Mar.
- 13) 堀 一浩, 小野 高裕: 外来診療に役立つ 機器・材料・薬剤 口腔内圧の測定 舌圧測定器. JOHNS. 39(4): 441-444,2023Apr.
- 14) 坂ノ下 典正, 堀 一浩, 谷村 基樹, 菅野 範, 上原文子, 吉村 将悟, 堀 頌子, 松井 美咲, 遠藤 歩樹, 大澤 謙二, 清水 和正, 岡林 一登, 小野 高裕: 家族を単位とした咀嚼行動変容の試み. 福岡市における「bitescan とガムを活用した咀嚼力アッププロジェクト」. 日本咀嚼学会雑誌(0917-8090)33(1):11-22,2023.May
- 15) 重本 心平, 堀 一浩, 高橋 順子, 大川 純平, 小野高裕, 宮島 久: 嚥下障害が疑われた総合病院入院高齢者における舌口唇運動機能と栄養リスクおよび食形態との関連性. 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌(1343-8441)27(2):117-127,2023Aug.
- 16) Nishinari K, Zhang K, Yang N, Gao Z, Gamonpilas C,Turcanu M, Peyron MA,Fang Y, Nitta Y, Yao X, Zhao M, Ishihara S, Nakauma M, Funami T, Kohyama K, Moritaka H, Yoshimura M,Takemasa M, Hori K, Matsuo K, Michiwaki Y,Zhang Y, Singh N,Meng AGS : Rheology for Safe Swallowing 1. 日本レオロジー学会誌. 51(4):219-248, 2023Oct.
- 17) Nishinari K, Zhang K, Yang N, Gao Z, Gamonpilas C,Turcanu M, Peyron MA,Fang Y, Nitta Y, Yao X, Zhao M, Ishihara S, Nakauma M, Funami T, Kohyama K, Moritaka H, Yoshimura M,Takemasa M, Hori K,

Matsuo K, Michiwaki Y,Zhang Y, Singh N,Meng AGS: Rheology for Safe Swallowing 2, 日本レオロジー学会誌(2023), 51(5): 295-316,2024Jan.

- 18) Nishinari K,Zhang K, Yang N, Gao Z, Gamonpilas C, Bresson MT, Peyron MA, Fang Y, Nitta Y, Yao X, Zhao M, Ishihara S, Nakauma M, Funami T, Kohyama K, Moritaka H,Yoshimura M, Takemasa M, HoriK, Matsuo K, Michiwaki Y, Zhang Y, Singh N, Meng AGS, Rheology for Safe Swallowing 3, 日本レオロジー学会誌(2024), 52 (1):37-64, 2024Mar.
- 19) 重本 心平, 堀 一浩, 小野 高裕: 脳血管障害後の送り込み障害に対して舌接触補助床の適用が有効であった症例. 老年歯科医学(0914-3866)38(3):E74-E79, 2023Dec.
- 20) 小野 高裕, 堀 一浩: 「補綴難症例に対する補綴歯科専門医の解決策を共有する(その1)すれ違い咬合,高度顎堤吸収,摂食機能障害」 摂食嚥下障害に対する補綴的アプローチ. 日本補綴歯科学会誌(1883-4426),15(4):440-444, 2023Oct.
- 21) 村上和裕: 舌可動部全摘術後の無歯顎患者にピエゾグラフィーを応用して義歯を製作した症例. 日本補綴歯科学会誌(2023) 15(4): 591-594, 2023Oct.
- 22) 大川純平: すれ違い咬合に対して根面アタッチメントを用いた残根上義歯にて機能回復を行った症例. 日本補綴歯科学会誌(2024) 16(1): 107-110, 2024Feb.

【商業誌】

- 1) 長谷川陽子, 松香芳三: 新たに策定された『リラインとリベースの臨床指針 2023』と『軟質リライン材によるリラインのガイドライン 2023』. 日本歯科評論 976: 64-68, Feb 2024.

【研究費獲得】

- 1) 小野高裕 (代表), 堀 一浩 (分担), 長谷川 陽子 (分担), 村上和裕 (分担): 咀嚼行動変容による高齢者の高次脳機能の維持・改善. 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(B), 20H03877, 2020 年 4 月 - 2023 年 3 月.
- 2) 堀 一浩 (分担): 高齢者における低栄養防止の新戦略ー義歯指導に併せたテーラーメイド栄養指導法構築ー. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 20K10290, 2020 年 4 月 - 2023 年 3 月.
- 3) 堀 一浩 (分担): 高齢者のオーラルフレイルの進行阻止を目指した簡便なスクリーニング検査法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 22K11411, 2022 年 4 月 - 2027 年 3 月.

- 4) 堀 一浩 (分担) : 歯舌実測運動特性に基づく咀嚼ロボットシミュレーション. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B) , 20H02116, 2020 年 4 月 - 2024 年 3 月.
- 5) 堀 一浩 (代表), 村上和裕, 吉村将悟 : ウェアラブルデバイスを用いた咀嚼行動変容と歯周病改善による糖尿病コントロール. 科学研究費基盤研究 B, 21H03129, 2021 年 4 月 - 2025 年 3 月
- 6) 長谷川陽子 (代表) : 食生活の変容が認知機能に与える影響. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 、 23K09270 、 2023 年 4 月 - 2026 年 3 月
- 7) 長谷川陽子 (代表) : 機械学習を活用した骨密度の予後予測モデルの構築と検証. 8020 研究財団研究助成, 22-2-10, 2022 年 4 月～2023 年 3 月.
- 8) 長谷川陽子 (代表) : 個人の食品嗜好性を脳イメージングにより可視化できるか? 新潟大学令和 4 年度 U-go グラント 2022 年 4 月～2023 年 3 月. 研究助成.
- 9) 長谷川 陽子 (代表) : ライフスタイルの変化に応じたオーラルヘルスアプローチによる引きこもり予防. 三井住友海上福祉財団 2023 年度研究助成 (高齢者福祉), 2023～2024
- 10) 長谷川陽子(プロジェクト代表者: 平野浩彦・東京都健康長寿医療センター) : 咀嚼機能と安静時機能的結合との関連に関する探索的研究. LOTTE CO.,Ltd (研究費提供組織) .2023～2024.
- 11) 佐藤直子 (代表), 堀一浩 (分担) : 食事介助者の動作が摂食嚥下先行期・準備期における被介助者の挙動に及ぼす影響. 科学研究費補助金 基盤研究 C, 21K09974, 2021-2023 年度
- 12) 大川純平 (代表), 堀一浩 (分担), 岸本奈月 (分担) : 舌苔の付着や舌の乾燥は口腔機能および身体機能と関連するか? 深層学習を用いた舌の画像解析. 8020 財団 令和 5 年度 8020 研究事業, 23-4-09, 2023 年 4 月-2024 年 3 月
- 13) 大川純平 (代表) : 深層学習による画像認識技術を応用した舌評価法の開発. 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究, 20K18593, 2022-2023.
- 14) 大川純平 (代表) : レトロネーザルアロマは肥満と関連するか? 一口中香による咀嚼様相変調. 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究, 22K17107, 2022-2023.
- 15) 村上 和裕 (代表), 堀一浩 (分担) : グミ食品を用いた段階的咀嚼機能改善プログラムの構築. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (C), 23K09250, 2023 年 4 月 - 2026 年 3 月
- 16) 兒玉匠平 (代表) : 舌運動と舌圧の同時計測による咀嚼時の舌機能評価. 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究, 21K17036, 2021-2023 年度
- 17) 吉村 将悟 (代表) : 咀嚼行動は筋肉量、栄養に係るか? -自立高齢者における咀嚼、栄養、筋肉量の関連-. 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究, 23K16084, 2023-2025
- 18) 上原文子 (代表) : 食後血糖値に対する咀嚼回数、唾液量およびアミラーゼ活性の影響. 日本学術振興会 科学研究費用補助金 若手研究, 21K17062, 2021-2023 年度
- 19) 堀 頌子 (代表) : 咀嚼行動は肥満発症と関連するか? -レトロスペクティブスタディー-. 日本学術振興会 科学研究費用補助金 研究活動スタート支援, 22K21035, 2022-2024 年度
- 20) STA MARIA MA THERESE (代表) : Development of a Wearable Device Aimed at Changing Cognitive Functions of Older Adults by Masticatory Behavior Change (採択論文名), 公益財団法人 立石下顎技術振興財団 事務局 後期国際交流助成 (国際会議発表) , 2023 年度
- 21) 村上瞳 (戸川瞳) (代表) : ウェアラブルデバイスによる要介護高齢者の食事見守り. 日本学術振興会 科学研究費補助金若手研究, 22K17108, 2022～2024 年度

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 堀 一浩 : 咀嚼嚥下時の舌機能評価. 第69回日本顎口腔機能学会, 松戸, 2023年4月22日
- 2) 長谷川陽子 : 「軟質リライン材によるリラインのガイドライン2023」「リラインリベースの臨床指針2023」の概要. 日本補綴歯科学会第132回学術大会, 横浜, 2023年5月20日.
- 3) 堀 一浩 : Food Oral Processing と舌機能解析. 食品ニューテクノロジー研究会, オンライン, 2023 年 5 月 26 日
- 4) 長谷川陽子 : “食べること” と高次脳機能ーヒトを対象とした研究よりー. 認知症と口腔機能研究会第4回学術集会, 鹿児島, 2023年8月19日.
- 5) 長谷川陽子 : 口腔から始まる全身の健康ーフレイルとのつながりを理解するー. 第33回日本全身咬合学会学術大会, 東京, 2023年10月22日.
- 6) Yoshimoto T : Effects of Walking Training on Oral Health Status in Middle-Aged and Older Adults. IAGG Asia/Oceania Regional Congress satellite symposium 2023, 京都, 2023年10月26日
- 7) 新開瑞希, 李宙垣, 佐藤理加子 : 顎口腔機能セミナーを活かそう! 大学院生が研究者になるまでの第一歩ー嚥下時の舌運動をみるー. 第70回日本学口腔機能学会, 札幌, 2023年11月5日
- 8) 堀 一浩 : 咀嚼行動変容のためのアプローチ. 第5回嚥むこと健康研究会, 東京, 2023年11月10日

- 9) 堀 一浩：生涯を通じた咀嚼習慣. 日本咀嚼学会 2023年度（第29 回）咀嚼と健康ファミリーフォーラム, オンライン, 2023年11月15日-1月10日
- 10) 長谷川陽子. 咀嚼と栄養の科学：歯科の視点から. 令和5年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会生涯学習公開セミナー, 大阪, 2024年1月28日.
- 11) 長谷川陽子. 「Minds診療ガイドライン作成マニュアル」を活用した歯科領域における診療ガイドライン作成の実際ー軟質リライン材によるリラインのガイドライン2023ー. 公益財団法人日本医療機能評価機構第26回診療ガイドライン作成に関する意見交換会, オンライン, 2024年2月17日.

【学会発表】

<国際>

- 1) Yoshimoto T, Hasegawa Y, Furihata M, Yoshihara A, Morikawa M, Hori K, Nose H, Masuki S and Ono T : Effects of Interval Walking Training on Oral Function: A Case-Control Study. IAGG Asia/Oceania Regional Congress 2023, 横浜, 2023 年 6 月 13 日
- 2) Okawa J, Hori K, Izuno H, Fukuda M, Hatayama C, Ono T : Evaluation of Tongue Coating using Image Recognition with Deep Learning. IAGG Asia/Oceania Regional Congress 2023, 横浜, 2023 年 6 月 14 日
- 3) Shigemoto S, Hori K, Ohmizo H, Okawa J, Ono T, Miyajima H: Relationship between nutritional status, oral/swallowing function, and postoperative pneumonia in the older people after femoral fracture surgery. IAGG Asia/Oceania Regional Congress 2023, 横浜, 2023 年 6 月 14 日
- 4) Sato R, Kodama S, Okawa J, Murakami K, Ono T, Hori K : Tongue and Jaw Movement during Mastication. European College of Gerodontology (ECG) Congress 2023, Stockholm, 2023 年 9 月 14 日
- 5) Okawa J, Hori K, Izuno H, Fukuda M, Ujihashi T, Ono T : Assessment of Oral Dryness in Older Adults using Image Recognition with Deep Learning. European College of Gerodontology (ECG) Congress 2023, Stockholm, 2023 年 9 月 14 日
- 6) Uehara F, Izuno H, Ujihashi T, Fukuda N, Hori S, Yoshimura S, Takano H, Ono T and Hori K : The relationship between chewing habits and food preferences of the older people. European College of Gerodontology (ECG) Congress 2023, Stockholm, 2023 年 9 月 14 日
- 7) Suzuki T, Hasegawa Y, Yoshimura S, Shiramizu M, Maria M T S, Yamamura K, Ono T, Ono Y. Increased Dorsolateral Prefrontal Activity During Food Intake with Pleasant and Unpleasant Emotions. Society for

Neuroscience: SfN, Washington D.C., USA, 2023 年 11 月 11-15 日.

- 8) Miyazaki Y, Suzuki T, Hasegawa Y, Yoshimura S, Sta Maria MT, Hori K, Yamamura K, Ono T, Ono Y. Effect of Habituating Intentional Chewing on Brain Activity in Older Adults. Society for Neuroscience: SfN, Washington D.C., USA, 2023 年 11 月 11-15 日.
- 9) Sato R, Kodama S, Okawa J, Murakami K, Ono T, Hori K : Three-dimensional Analysis of Tongue and Mandibular Movement during Gum Chewing. European Society for Swallowing Disorders (ESSD) 2023 13th Annual Congress, Toulouse, 2023 年 12 月 1 日
- 10) Sta Maria MT, Hasegawa Y, Yoshimura S, Miyazaki Y, RyoTakehara, Suzuki T, Hori K, Ono Y, Yamamura K, Ono T. Cognitive Function-Related Changes Due to Masticatory Behavior Modification: Two Randomized Controlled Studies by Age. Alzheimer's and Parkinson's Diseases conference 2024, Lisbon, Portugal, 2024 年 3 月 5-9 日.
- 11) Hasegawa Y, Yoshimura S, Suzuki T, Shirasui M, Maria M T S, Yamamura K, Ono Y, Ono T. Effects of Emotional Changes in Brain Neural Activity in Relation to Food Intake. Alzheimer's and Parkinson's Diseases conference 2024, Lisbon, Portugal, 2024 年 3 月 5-9 日.
- 12) Sta Maria MT, Hasegawa Y, Yoshimura S, Miyazaki Y, RyoTakehara, Suzuki T, Hori K, Ono Y, Yamamura K, Ono T. Cognitive Function-Related Changes Due to Masticatory Behavior Modification: Two Randomized Controlled Studies by Age. 102nd General Session & Exhibition of the IADR, New Orleans, USA, 2024 年 3 月 13-16 日.

<国内>

- 13) Suwanarpa K, 長谷川陽子, 善本佑, 堀一浩, 小野高裕：可撤式義歯患者における摂取可能食品質問表を用いた咀嚼能力の予測は可能か？. 第 56 回新潟歯学会総会, 新潟, 2023 年 4 月 15 日.
- 14) 中川悠, 山口泰彦, 石丸智也, 服部佳功, 小野高裕, 荒井良明, 長谷川陽子, 志賀博, 玉置勝司, 田中順子, 津賀一弘, 阿部倉仁, 宮脇正一, 前田綾, 三上紗季, 後藤田章人, 佐藤華織: 日中覚醒時における咬筋活動回数の日間変動の検討. 第 69 回日本顎口腔機能学会学術大会, 松戸, 2023 年 4 月 22 日.
- 15) 宮崎透奈, 竹原遼, 鈴木達也, 長谷川陽子, 吉村将悟, Sta Maria MT, 堀一浩, 山村健介, 小野高裕, 小野弓絵: 咀嚼行動の変容を促した時の若年者と高齢者のガムチューイング中脳活動の変化. 第 62 回日本生体医工学会大会, 名古屋, 2023 年 5 月 19 日.

ポスター発表.日本生体医工学会大会プログラム・抄録集(Web) 62nd : 283 頁, 2023 年 5 月.

- 16) Aye Mya Mya Khaing, 善本 佑, 長谷川陽子, Sta Maria MT, 堀 一浩, 小野高裕: 高齢者の短縮歯列弓が口腔機能に及ぼす影響: 前向きコホート研究. 日本補綴歯科学会第 132 回学術大会, 横浜, ポスター発表, 2023 年 5 月 20 日, 日本補綴歯科学会誌(Web) 15 号 (132 回特別号) : 288 頁, 2023 年 5 月 20 日.
- 17) 三村俊平, 大川加奈子, 深町直哉, 長崎 司, 堀一浩, 大川純平, 竹山雅規, 小野高裕, 齋藤 功: ウェアラブルデバイスを用いた骨格性下顎前突症患者の性別による咀嚼行動の違い. 第 33 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2023 年 6 月 8 日, 日本顎変形症学会雑誌 33 (2) : 190 頁, 2023 年 5 月.
- 18) 小山重人, 石崎 憲, 大山哲生, 荻野洋一郎, 西脇恵子, 堀 一浩, 山内健介, 山下善弘, 菅野貴浩, 関谷秀樹, 高橋 哲, 堀江伸行, 松山美和, 柳井智恵, 山下佳雄: 広範囲顎骨支持型装置・広範囲顎骨支持型補綴装置に関する多機関研究の進捗状況. 日本顎顔面補綴学会第 40 回学術大会, 名古屋, 2023 年 6 月 3 日
- 19) Sta Maria MT, 長谷川陽子, 吉村将悟, 堀一浩, 山村健介, 小野高裕: Cognitive Function-Related Changes Due to Masticatory Behavior Modification: Two Randomized Controlled Studies by Age. 一般社団法人日本老年歯科医学会第 34 回学術大会, 横浜, 2023 年 6 月 16 日.
- 20) 氏橋 貴子, 泉野 裕美, 福田 昌代, 澤田 美佐緒, 堀頌子, 吉村 将悟, 重信 直人, 小野 高裕, 堀 一浩: 地域在住自立高齢者における口腔機能および咀嚼行動と歩行能力との関連. 一般社団法人日本老年歯科医学会第 34 回学術大会, 横浜, 2023 年 6 月 18 日.
- 21) 氏橋貴子, 泉野裕美, 福田昌代, 堀 頌子, 吉村将悟, 上原文子, 小野高裕, 堀 一浩: 地域在住自立高齢者の歩行能力と口腔機能および咀嚼行動との関係. 令和 5 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2023 年 7 月 8 日
- 22) 佐藤理加子, 兒玉匠平, 大川純平, 村上和裕, 小野高裕, 堀一浩: ガム咀嚼時の舌運動解析. 歯学会第 1 回例会, 新潟, 2023 年 7 月 8 日
- 23) 早川結樹, 和泉柚紀, 大川純平, 川上智美, 宮地一裕, 小野高裕, 堀 一浩: 異なるキシタンガム系とろみ調整食品の嚥下動態の比較. 令和 5 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2023 年 7 月 8 日
- 24) 石丸智也, 山口泰彦, 長谷川陽子, 荒井良明, 志賀博, 玉置勝司, 津賀一弘, 宮脇正一, 三上紗季, 後藤田章人, 佐藤華織, 齋藤大嗣: 日中覚醒時咬筋活動量と臨床所見の関連性の検討. 第 35 回日本顎関節学会総会・学術大会, 東京, 2023 年 7 月. 日本顎関節学会雑誌(Web) 35 号 : 36 回大会特別号(冊子) 104 頁. 2023 年 7 月.
- 25) 佐藤理加子, 兒玉匠平, 大川純平, 村上和裕, 小野高裕, 堀一浩: ガム咀嚼時の舌運動解析. 第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 横浜, 2023 年 9 月 2 日
- 26) 重本心平, 堀 一浩, 大溝裕史, 遠藤克哉, 高橋順子, 大川純平, 小野高裕, 宮島 久: 大腿骨骨折術後高齢者における口腔機能, サルコペニアと栄養状態との関連. 第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 横浜, 2023 年 9 月 2 日
- 27) 早川結樹, 和泉柚紀, 大川純平, 川上智美, 宮地一裕, 小野高裕, 堀 一浩: キサンタンガム系とろみ調整食品の嚥下動態における製品比較. 第 29 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 横浜, 2023 年 9 月 2 日
- 28) 阿部寿純, 山崎達也, 長谷川陽子, 岸本裕充, 新村健: 骨密度予測のための機械学習手法の比較. 2023 年度 IEICE 信越支部大会, オンライン, 2023 年 9 月 24 日.
- 29) 中川悠, 山口泰彦, 石丸智也, 服部佳功, 小野高裕, 荒井良明, 長谷川陽子, 志賀博, 玉置勝司, 田中順子, 津賀一弘, 阿部倉仁, 宮脇正一, 前田綾, 三上紗季, 後藤田章人, 佐藤華織: 日中覚醒時における咬筋活動回数の日間変動の検討. 令和 5 年度日本補綴歯科学会東北・北海道支部学術大会, 札幌, 2023 年 10 月 8 日. 日本補綴歯科学会東北・北海道支部総会・学術大会プログラム・抄録集(Web) 2023 : 32 頁, 2023 年 10 月.
- 30) 高野日南子, 村上和裕, 佐藤理加子, 小野高裕, 堀一浩: 咀嚼機能が低下した高齢者における半量グミゼリーを用いた咀嚼能力検査の有用性. 日本咀嚼学会第 34 回学術大会, 大阪, 2023 年 10 月 28 日
- 31) 大川 加奈子, 大川 純平, 丹原 惇, 高橋 功次朗, 堀 一浩, 長崎 司, 福井 忠雄, 小野 高裕, 齋藤 功: 嚥下時の舌圧発現様相および顎顔面筋群筋活動と口蓋形態との関係性. 第 82 回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023 年 11 月 2 日
- 32) 吉村将悟, 堀 一浩, 堀 頌子, 小野高裕: 肥満者におけるウェアラブル機器を用いた咀嚼行動変容の有効性の検討. 日本顎口腔機能学会第 70 回学術大会, 北海道, 2023 年 11 月 4 日
- 33) 安野綾夏, 村上和裕, 吉村将悟, 上原文子, 堀

頌子, 善本 佑, 翁 恩慈, 岸本奈月, 白鳥昇, 堀 一浩: CAD 技術が全部床義歯の技能教育におよぼす効果. 補綴歯科学会関越支部 新潟, 2023 年 11 月 5 日.

- 34) 楠博, 長谷川陽子, 辻翔太郎, 玉城香代子, 和田陽介, 森敬良, 永井宏達, 志水秀郎, 岸本裕充, 新村健: オーラルフレイル 5 項目(OF-5)と全身のフレイル・サルコペニア指標との関連. 第 34 回日本老年医学会近畿地方会, 神戸, 2023 年 11 月 18 日.
- 35) 佐藤理加子, 堀 一浩, 兒玉匠平, 大川純平, 小野高裕: モーションキャプチャを用いた水嚥下時三次元的舌運動の観察. 日本嚥下医学会第 47 回学術大会, 新潟, 2024 年 2 月 9 日.
- 36) Sta Maria MT, 長谷川陽子, 吉村将悟, 宮崎透奈, 鈴木達也, 堀一浩, 小野弓絵, 山村健介, 小野高裕: The influence of masticatory behavior on cognition. 日本嚥下医学会第 47 回学術大会 総会 (ポスター発表), 新潟, 2024 年 2 月 9 日.

【受賞】

- 1) 堀 一浩: 「咀嚼嚥下時の舌機能評価」. 学会賞, 日本顎口腔機能学会, 2023 年 4 月 22 日
- 2) Okawa J: Evaluation of Tongue Coating using Image Recognition with Deep Learning. Outstanding Poster Presentation Award. IAGG Asia/Oceania Regional Congress 2023, 2023 年 6 月 14
- 3) Shigemoto S, Hori K, Ohmizo H, Okawa J, Ono T, Miyajima H: Relationship between nutritional status, oral/swallowing function, and postoperative pneumonia in the older people after femoral fracture surgery. Outstanding Poster Presentation Award. IAGG Asia/Oceania Regional Congress 2023, 2023 年 6 月 14 日
- 4) STA MARIA MA THERESE, 長谷川 陽子, 吉村 将悟, 堀 一浩, 山村 健介, 小野 高裕: Cognitive function-related changes due to masticatory behavior modification: Two randomized controlled studies by age. 優秀演題賞 (第 33 回日本老年学会総会合同ポスター (老年歯科医学会部門)), 一般社団法人日本老年歯科医学会, 2023 年 6 月 16 日
- 5) 船見孝博, 石原清香, 中馬誠, 神山かおる, 小野高裕, 堀 一浩, 西成勝好, ヒトの摂食メカニズム考慮した力学測定およびヒト生理計測による食品テクスチャーの評価と加工食品の製品デザイン. 日本食品科学工学会技術賞, 2023 年 8 月 24 日
- 6) 吉村将悟: 肥満者におけるウェアラブル機器を用いた咀嚼行動変容の有効性の検討. 学術大会優秀

賞, 日本顎口腔機能学会第 70 回学術大会, 2023 年 11 月 5 日

- 7) 水野海渡, 兒玉匠平, 佐藤理加子, 大川純平, 堀一浩, 東森充: アレイ状配置チャンバを有する舌型空圧ソフトアクチュエータの設計. 研究奨励賞, 計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2022), 2023 年 12 月 15 日

【その他】

- 1) 堀 一浩, 西脇恵子: 日本顎顔面補綴学会第 1 回ハンズオンセミナー「PAP 治療ワークショップ」, 名古屋, 2023 年 6 月 3 日
- 2) 堀 一浩: 高校生アカデミックインターンシップ, 新潟, 2023 年 8 月 22 日-23 日
- 3) 村上和裕: 日本咀嚼学会市民公開講座「「咀嚼」を測る」, 吹田, 2023 年 10 月 28 日

組織再建口腔外科学分野

【著書】

- 1) 前田健康, 網塚憲生, 中村浩彰, 小林正治: 口腔組織・発生学 第 3 版 第 8 章 顎関節 IV 臨床的考察, 182-184 頁, 医歯薬出版, 東京, 2024.

【論文】

- 1) Asami E, Kitami M, Ida T, Kobayashi T, Saeki M. Anti-inflammatory activity of 2-methoxy-4-vinylphenol involves inhibition of lipopolysaccharide-induced inducible nitric oxidase synthase by heme oxygenase-1. Immunopharmacology and Immunotoxicology, Published online:2023.
- 2) Chan NN, Yamazaki M, Maruyama S, Abe T, Haga K, Kawaharada M, Izumi K, Kobayashi K, Tanuma JI. Cholesterol Is a Regulator of CAV1 Localization and Cell Migration in Oral Squamous Cell Carcinoma. Int. J. Mol. Sci., 24(7), 6035, 2023.
- 3) Katagiri W, Saito D, Maruyama S, Ike M, Nisiyama H, Hayashi T, Tanuma JI, Kobayashi T. Masticatory muscle tendon-aponeurosis hyperplasia that was initially misdiagnosed for polymyositis: a case report and review of the literature. Maxillofac Plast Reconstr Surg 45:18, 2023.
- 4) Haga K, Funayama A, Yamazaki M, Maruyama S, Hara T, Saito N, Saito D, Sotsuka Y, Hayashi T, Tanuma JI, Kobayashi T: Extensive ameloblastic fibroma of the mandible in an elderly woman: A case report and review of the literature. J Oral Maxillofac Surg Med Pathol.

Available online, 2023.

- 5) Yoshino T, Yoshizawa M, Aoyama S, Sugai-Toyama T, Niimi K, Kitamura N, Kobayashi T: Validation of a Cox prognostic model for tooth autotransplantation. Clin. Exp. Dent. Res.13, 1-14, 2023.
- 6) Nozawa-Kobayashi M, Sakuma H, Kanemaru H, Kurokawa A, Soga M, Yamashita M, Niimi K, Kobayashi T: Survey of the association between tooth extraction and development of medication-related osteonecrosis of the jaw in patients undergoing cancer treatment with bone-modifying agents. Oral and maxillofacial surgery. Published: 01 February 2024.
- 7) Zheng Z, Hasebe D, Suda D, Saito N, Saito D, Nihara J, Nohno K, Saito I, Kobayashi T: Investigation of orthognathic surgery indicators-combination with index of orthognathic functional treatment needs (IOFTN) and maxillofacial morphometric analysis. Oral Maxillofac Surg, Accepted date: 25 March.
- 8) 吉田智美, 竹山雅規, 網谷季莉子, 工藤武久, 長谷部大地, 小林正治, 齋藤功: 口腔内装置(OA)の長期使用によって閉塞性睡眠時無呼吸(OSA)患者で生じる形態学的副作用とその予測についての側面頭部エックス線規格写真を用いた研究. 睡眠口腔医学 10 (1): 16-24 頁, 2023. DOI: 10.24695/josm.10.1_16
- 9) 船山昭典, 三上俊彦, 新美奏恵, 芳澤享子, 羽賀健太, 齋藤大輔, 長谷部大地, 佐久間英伸, 齋藤直朗, 須田大亮, 竹内涼子, 原 太一, 小林 正治: 過去 20 年間に当科を受診した悪性腫瘍患者の動向と疾病病態. 新潟歯学会雑誌 53(1): 17-23 頁, 2023.
- 10) 齋藤直朗, 須田大亮, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 長谷部大地, 窪田道男, 小林正治: 幼児期の下顎骨関節突起骨折により発症した顔面非対称に対して外科的矯正治療を施行した 1 例. 日顎変形誌 33(4):268-274 頁, 2023

【商業誌】

- 1) 羽賀健太: 3次元培養技術を用いた口腔がん微小環境モデルの構築と新規治療標的の探索. BIO Clinica 38(10): 56-58 頁, 2023.

【科研費獲得】

- 1) 長谷部大地: 顎変形症患者における鼻咽腔領域における気道形態変化のシュミレーションモデルの考案(延長) 基盤研究 C: 20K10134 2020.
- 2) 船山昭典, 田沼順一, 柿原 嘉人: 口腔癌進展における癌関連線維芽細胞(CAFs)の TGF- β シグナル

の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 22K10143, 2022.

- 3) 葭原明弘, 成田一衛, 杉田典子, 宮本茜, 諏訪間加奈, 新美奏恵: 口腔および口蓋扁桃マイクロバイオームが慢性腎臓病に及ぼす包括的メカニズムの解明, 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 22K10337, 2022.
- 4) 羽賀健太: コストダウンと高機能化により費用対効果を向上させた新規培養真皮の開発. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 研究活動スタート支援, 22K20504, 2022.
- 5) 新美奏恵, 葭原明弘, 小林正治, 隅田好美: がん薬物療法を受ける患者の口腔環境, 口腔細菌叢と QOL の関連性の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 23K09455, 2023.
- 6) 羽賀健太: 3次元培養技術を用いた口腔がん微小環境モデルの構築と新規治療標的の探索. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 23K16143, 2023.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 小林正治: 下顎枝矢状分割術を安全確実に行うためのポイント. 特定非営利活動法人日本顎変形症学会第 19 回教育研修会, WEB, 2023.
- 2) 長谷部大地: OA 治療において歯科で行う検査および診断. 日本睡眠歯科学会睡眠歯科医学基礎講座 2023. 睡眠口腔医学 10 巻総会特別号: 39 頁, 2023.
- 3) 小林正治: シンポジウム 4『矯正歯科に関連した連携医療の現況と今後』, 顎変形を伴う閉塞型睡眠時無呼吸症に対する外科的矯正治療, 第 82 回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023.
- 4) 小林正治, 齋藤大輔: シンポジウム 1『顎矯正手術の継承 —いかにして伝えるか—』すべての顎変形症患者に満足してもらえる顎矯正手術を目指して 第 68 回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会, 大阪, 2023.

【学会発表】

- 1) 黒川亮, 金丸博子, 曾我麻里恵, 山下萌, 新美奏恵, 佐藤由美子, 田中恵子, 石山茉佑佳, 勝良剛詞, 富原圭, 佐久間英伸, 小林正治: 新潟大学医歯学総合病院における径カテーテル的大動脈弁置換術施行患者に対する周術期口腔管理の状況について: 第 32 回日本有病者歯科医療学会学術大会, 軽井沢, 2023 年 3 月 18 日-19 日, 同学術集会プログラム, 2023.
- 2) 橋爪孝介, 片桐渉, 竹内涼子, 須田大亮, 小林正治: 骨髄由来間葉系幹細胞培養上清による早期骨形成

- におけるマクロファージ極性転換因子の影響に関する検討. 第 22 回日本再生医療学会総会, 京都, 2023 年 3 月 23-25 日.
- 3) 鄭 琢揚, 長谷部大地, 竹内涼子, 須田大亮, 齋藤直朗, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 丹原惇, 齋藤功, 小林正治: IOFTN と顎顔面形態分析を併用した外科的矯正治療の適応に関する検証. 第 56 回新潟歯学会総会, 新潟, 2023 年 4 月 15 日.
 - 4) 新美奏恵, 黒川 亮, 曾我麻里恵, 山下萌, 金丸博子, 小林正治: 病院歯科における周術期等口腔管理, 口腔ケアの現状と課題. 第 20 回日本口腔ケア学会総会・学術大会, 第 3 回国際口腔ケア学会総会・学術大会, 東京, 2023 年 4 月 20, 21 日, 第 20 回日本口腔ケア学会総会・学術大会, 第 3 回国際口腔ケア学会総会・学術大会合同会議プログラム・抄録集: 185 頁, 2023.
 - 5) 黒川 亮, 金丸博子, 曾我麻里恵, 山下萌, 新美奏恵, 佐藤由美子, 田中恵子, 石山茉佑佳, 高野綾子, 植木麻有子, 井川愛, 沖津佳子, 倉又七海, 勝良剛詞, 富原 圭, 上野山敦, 齋藤夕子, 佐久間英伸, 小林正治: 当院の心臓弁膜症手術における周術期口腔機能管理中の術前抜歯に関する検討. 第 20 回日本口腔ケア学会総会・学術大会, 第 3 回国際口腔ケア学会総会・学術大会, 東京, 2023 年 4 月 20, 21 日, 第 20 回日本口腔ケア学会総会・学術大会, 第 3 回国際口腔ケア学会総会・学術大会合同会議プログラム・抄録集: 202 頁, 2023.
 - 6) 船山昭典, 羽賀健太, 齋藤大輔, 新國農, 西山秀昌, 林孝文, 丸山智, 山崎学, 田沼順一, 小林正治: 舌下腺に生じたアミロイドーシスの 1 例. 第 77 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 岡山, 2023 年 5 月 11-13 日, プログラム・抄録集 4-5 頁 2023.
 - 7) 浅見栄里, 北見恩美, 小林正治: 2-methoxy-4-vinylphenol の抗炎症活性には HO-1 による iNOS 産生抑制が関与する. 第 77 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 岡山, 2023 年 5 月 11-13 日, 2023.
 - 8) 笠原公輝: 多分割 Le Fort I 型骨切り術の術後安定性の検討. 第 77 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 岡山, 2023 年 5 月 11-13 日, プログラム・抄録集 118 頁, 2023.
 - 9) 早川里佳, 長谷部大地, 笠原公輝, 羽賀健太, 浅見栄里, 竹内涼子, 齋藤直朗, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 小林正治: 当科における顎変形症患者に対する外科的矯正治療後のアンケート調査. 第 61 回特定営利活動法人日本口腔科学会北日本支部会, 第 49 回公益社団法人日本口腔外科学会北日本支部学術集会総会, 新潟, 2023 年 5 月 20-21 日, プログラム・抄録集: 52 頁, 2023.
 - 10) 原太一, 齋藤大輔, 船山昭典, 須田大亮, 小林正治: 治療方針決定に苦慮した自殺企図転落による全身ならびに顔面多発骨折の 1 例. 第 49 回日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 新潟, 2023 年 5 月 20-21 日, プログラム・抄録集: 頁, 2023.
 - 11) 寺田愛希, 市川佳弥, 丹原惇, 宮田昌幸, 若槻華子, 児玉泰光, 小林正治, 齋藤功: 新潟大学医歯学総合病院において PNAM 治療を行った片側性唇顎口蓋裂児の治療効果に影響する因子の検討. 第 47 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2023 年 5 月 25-26 日, 日本口蓋裂学会雑誌 48(2)抄録号:頁, 2023.
 - 12) 市川佳弥, 丹原惇, 寺田愛希, 宮田 昌幸, 若槻華子, 児玉泰光, 新美奏恵, 小林正治, 齋藤 功: 片側性口唇口蓋裂患者の顎顔面形態に対する術前顎矯正治療の影響 — 5 歳時におけるセファログラム分析. 第 47 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2023 年 5 月 25, 26 日, 日本口蓋裂学会雑誌 48(2) 抄録号: 168 頁, 2023.
 - 13) 竹内涼子, 齋藤大輔, 新美奏恵, 丹原惇, 齋藤功, 小林正治: 口蓋裂患者に対する上下顎骨移動術後の顎骨安定性について. 第 47 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2023 年 5 月 26 日. 日本口蓋裂学会雑誌 48(2) 抄録号 148 頁, 2023.
 - 14) 長谷部大地, 羽賀健太, 竹内涼子, 齋藤直朗, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 小林正治: 下顎枝矢状分割術における術中異常骨折のリスク因子の検討. 第 33 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2023 年 6 月 8-9 日, 日本顎変形症学会雑誌 33(2): 200 頁, 2023.
 - 15) 齋藤直朗, 羽賀健太, 竹内涼子, 須田大亮, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 長谷部大地, 小林正治. 顎矯正手術後の三叉神経障害に関する検討. 第 33 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2023 年 6 月 8-9 日, 日本顎変形症学会雑誌 33 (2), 203 頁, 2023.
 - 16) Myo Maung Maung,, Daichi Hasebe, Masaki Kasahara, Zhuoyang Zheng,Ryoko Takeuchi, Hidenobu Sakuma, Daisuke Saito, Tadaharu Kobayashi: Stability after Maxillary Setback by Horseshoe Le Fort I Osteotomy in Skeletal Class II Cases. 第 33 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2023 年 6 月 8-9 日, 日本顎変形症学会雑誌 33 (2), 235 頁, 2023.
 - 17) 羽賀健太, 船山昭典, 新美奏恵, 小林正治: 舌癌患者における CONUT 法を用いた栄養評価の検討. 第 47 回 日本頭頸部癌学会総会・学術講演会, 大阪, 2023 年 6 月 16 日, 抄録集 220 頁, 2023.
 - 18) 寺田愛希, 市川佳弥, 丹原惇, 宮田昌幸, 若槻華子,

- 児玉泰光, 小林正治, 齋藤功: 新潟大学医歯学総合病院において PNAM 治療を行った片側性唇顎口蓋裂児の治療効果に影響する因子の検討. 第 38 回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 長野, 2023 年 6 月 25 日.
- 19) 山田貴大, 丹原惇, 西山秀昌, 小林正治, 齋藤 功: 下顎骨偏位を伴う下顎前突症者の外科的矯正治療後の顎関節形態の変化. 第 38 回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 長野, 2023 年 6 月 25 日.
 - 20) 小林(野澤)舞, 佐久間英伸, 金丸博子, 黒川亮, 曾我麻里恵, 山下萌, 新美奏恵, 小林正治: 骨修飾薬投与前抜歯は薬剤関連顎骨壊死発症を予防するかの検証. 令和 5 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2023 年 7 月 8 日, 同抄録集 11 頁, 2023.
 - 21) 寺田愛希, 市川佳弥, 丹原惇, 宮田昌幸, 若槻華子, 児玉泰光, 小林正治, 齋藤功: 新潟大学医歯学総合病院において PNAM 治療を行った片側性口唇口蓋裂児における外鼻形態変化の長期的評価と治療効果に影響を与える因子. 令和 5 年度新潟歯学会第 1 回例会新潟, 2023 年 7 月 8 日, 同抄録集 12 頁, 2023.
 - 22) 橋爪孝介, 片桐渉, 竹内涼子, 須田大亮, 小林正治: 骨髄由来間葉系幹細胞培養上清に含まれる MCP-1 はマクロファージ極性転換により骨形成を促進する. 令和 5 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2023 年 7 月 8 日, 同抄録集 11 頁, 2023.
 - 23) 齋藤大輔, 須田大亮, 新國 農, 林 孝文, 小林正治: 下顎偏位を呈した片側性下顎頭過形成の 1 例. 第 36 回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会, 東京, 2023 年 7 月 8-9 日.
 - 24) 小林正治, 齋藤直朗, 船山昭典, 新美奏恵: 高エネルギー外傷による顎骨骨折変形治療後の顎変形症に対する顎矯正手術. 第 24 回日本口腔顎顔面外傷学会総会・学術大会, 小倉, 2023 年 7 月 22 日, 抄録集 50 頁, 2023.
 - 25) 竹内涼子, 齋藤大輔, 新美奏恵, 丹原惇, 齋藤功, 小林正治: 口蓋裂患者に対する上下顎骨移動術後の顎骨安定性の検討. 関東形成外科学会第 114 回新潟地方会, 新潟, 2023 年 7 月 28 日. プログラム 1 頁, 2023.
 - 26) 松崎奈々香, 山崎裕太, 高嶋真樹子, 荒井良明, 小林正治. MPC ポリマーコーティングによるインプラントブリッジのバイオフィルム形成抑制効果: ランダム化二重盲検スプリットマウス臨床試験. 第 53 回公益社団法人日本日本口腔インプラント学会, 札幌, 2023 年 9 月 15-17 日, プログラム集, 2023.
 - 27) 羽賀健太, 山崎学, 丸山智, 阿部達也, 小林正治, 田沼順一: Quantitative analysis of cancer cell invasion on 3D in vitro oral cancer models using optical coherence tomography. 第 82 回 日本癌学会学術総会, 横浜, 2023 年 9 月 22 日, 抄録集 215 頁, 2023.
 - 28) 黒川亮, 金丸博子, 曾我麻里恵, 山下萌, 田中恵子, 石山茉祐佳, 佐久間英伸, 新美奏恵, 富原圭, 吉田謙介, 小林正治. 免疫チェックポイント阻害薬による口腔領域免疫関連有害事象の発症頻度. 第 33 回日本口腔内科学会他 4 学会合同学術大会, 宇都宮, 2023 年 9 月 22-24 日, プログラム集, 2023.
 - 29) 須田大亮, 船山昭典, 羽賀健太, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 新美奏恵, 小林正治: 上顎骨形成術後に生じた surgical ciliated cyst の 2 例. 第 33 回日本口腔内科学会他 4 学会合同学術大会, 宇都宮, 2023 年 9 月 22-24 日, プログラム集 42 頁, 2023.
 - 30) 吉田智美, 竹山雅規, 網谷季莉子, 工藤武久, 長谷部大地, 小林正治, 齋藤功: 口腔内装置(OA)を長期間用いた閉塞性睡眠時無呼吸(OSA)患者における形態学的変化とその予測について. 第 33 回日本口腔内科学会他 4 学会合同学術大会, 宇都宮, 2023 年 9 月 22-24 日, プログラム集, 2023.
 - 31) 須田大亮, 長谷部大地, 齋藤大輔, 竹山雅規, 齋藤功, 小林正治: 上下顎骨形成術と二次的オトガイ形成術を併用して重度 OSA の改善に至った顎変形症患者の 1 例. 第 22 回日本睡眠歯科学会総会学術集会, 京都, 2023 年 10 月 7-8 日, 睡眠口腔医学 10 巻総会特別号, 91 頁, 2023.
 - 32) 吉田智美, 竹山雅規, 網谷季莉子, 工藤武久, 長谷部大地, 小林正治, 齋藤功: 口腔内装置(OA)を長期間用いた閉塞性睡眠時無呼吸(OSA)患者における形態学的変化とその予測について. 第 22 回日本睡眠歯科学会総会学術集会, 京都, 2023 年 10 月 7-8 日, 睡眠口腔医学 10 巻総会特別号, 92 頁, 2023.
 - 33) 遠藤諭, 勝良剛詞, 阿部達也, 鈴木一郎, 高田佳之: 口腔底に発生した巨大な脂肪腫の 1 例. 2023 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2023 年 11 月 4 日. 同抄録集 16 頁, 2023.
 - 34) 曾我麻里恵, 金丸博子, 黒川亮, 山下萌, 新美奏恵, 田中 裕, 田中恵子, 石山茉祐佳, 山野井敬彦, 長谷川健二, 小林正治: 当院の周術期口腔機能管理における口腔内装置の有効性に関連する報告. 令和 5 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2023 年 11 月 4 日. 同抄録集 14 頁, 2023.
 - 35) 山田貴大, 丹原惇, 西山秀昌, 小林正治, 齋藤 功: 下顎偏位を伴う骨格性下顎前突症の顎矯正手術後における顎関節形態と顔面形態との関連. 令和 5 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2023 年 11 月 4 日. 同抄録集 13 頁, 2023.
 - 36) 松崎奈々香, 高嶋真樹子, 齋藤直朗, 荒井良明, 小

林正治：下顎区域切除術後の再建骨に対するインプラント補綴のための垂直的仮骨延長と GBR による 2 段階骨増生．令和 5 年度新潟歯学会第 2 回例会，新潟，2023 年 11 月 4 日．同抄録集 13 頁，2023.

- 37) 片桐涉，橋爪孝介，竹内涼子，須田大亮，山田陽一，小林正治：骨髓由来間葉系幹細胞培養上清による抗炎症環境構築はその後の早期骨形成を可能にする．第 68 回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会，大阪，2023 年 11 月 10-12 日，日本口腔外科学会誌 69（プログラム集）：94 頁，2023.
- 38) 齋藤直朗，船山昭典，長谷部大地，佐久間英伸，浅見栄里，竹内涼子，小林雅，小林正治：3D 積層造形下顎骨再建用プレートを用いて再建を行った下顎エナメル上皮腫の 1 例：第 68 回日本口腔外科学会学術大会，大阪，2023 年 11 月 10-12 日，日本口腔外科学会誌 69（プログラム集）：94 頁，2023.
- 39) 鄭 琢揚，齋藤 大輔，長谷部大地，丹原 惇，齋藤 功，小林 正治：非対称を伴う顎変形症患者の顎矯正手術による顎顔面形態の三次元的評価．第 68 回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会，大阪，2023 年 11 月 10 日，日本口腔外科学会誌 69（プログラム集）：94 頁，2023.
- 40) ミョーマウンマウン，竹内涼子，羽賀健太，齋藤大輔，佐久間英伸，長谷部大地，丹原 惇，齋藤 功，小林 正治：顎変形症患者におけるウェアラブルデバイスをを用いた咀嚼行動の定量的評価．第 68 回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会，大阪，2023 年 11 月 11 日，日本口腔外科学会誌 69（プログラム集）：94 頁，2023.
- 41) 小林（野澤）舞，佐久間英伸，金丸博子，黒川亮，曾我麻里恵，新美奏恵，小林正治：投与目的別にみた骨修飾薬投与患者における薬剤関連顎骨壊死に関する調査報告．第 68 回日本口腔外科学会総会・学術大会，大阪，2023 年 11 月 12 日，日本口腔外科学会誌 69（プログラム集）：94 頁，2023.
- 42) 伊藤多市，長谷部大地，齋藤直朗，佐久間英伸，船山昭典，小林正治：3D 積層造形下顎骨再建用プレートを用いて再建を行った下顎エナメル上皮腫の 1 例．第 115 回関東形成外科学会新潟地方会，新潟，2023 年 11 月 24 日．
- 43) 須田大亮，船山昭典，長谷部大地，齋藤直朗，竹内涼子，小林正治：外科的治療によりインプラントの温存を試みた Apical peri-implantitis の 1 例．第 27 回日本顎顔面インプラント学会，東京，2023 年 12 月 2-3 日，日本顎顔面インプラント学会雑誌 22(3)，：264 頁，2023.
- 44) 黒川 亮，金丸博子，曾我麻里恵，山下 萌，新美奏恵，田中恵子，石山茉佑佳，富原 圭，佐久間英伸，

小林正治：ステロイド療法中に象牙質知覚過敏様疼痛が出現した 20 例についての臨床的検討．第 33 回（一社）日本有病者歯科医療学会学術大会，新潟市，2024 年 3 月 8～10 日，2024 年．

【研究会発表】

- 1) Takeuchi R, Ominato R, Niimi K, Hihara J, Takeyama M, Saito I, Kobayashi T: Influence of orthognathic surgery on velopharyngeal function in patients with cleft palate. The 13th Joint Scientific Meeting of NAOMS and JSOMS and PG Convention, Nepal, 2023.2.4. Program p.7, 2023
- 2) 伊藤多市：3D 積層造形下顎骨再建用プレートにより再建を行った下顎エナメル上皮腫の 2 症例．第 91 回新潟口腔外科麻酔科集談会，新潟，2023 年 11 月 16 日．同抄録集 3-4 頁．

【受賞】

- 1) 浅見栄里．2-methoxy-4-vinylphenol の RAW264.7 細胞における抗炎症活性には HO-1 による iNOS 転写抑制が関与する．2022 年度新潟歯学会賞，2023 年 4 月 15 日．
- 2) 笠原公輝．多分割 Le Fort I 型骨切り術の術後安定性の検討．日本口腔科学会 2022 年度新人賞，2023 年 5 月 13 日．
- 3) 新美奏恵：Orthognathic Quality of Life Questionnaire (OQLQ) 日本語版の信頼性と妥当性の研究．令和 4 年度顎変形症学会賞，2023 年 6 月 9 日．
- 4) Myo Maung Maung. Stability after Maxillary Setback by the horseshoe Le Fort I Osteotomy in Skeletal Class II cases. 第 33 回 日本顎変形症学会総会・学術大会 優秀ポスター賞，2023 年 6 月 9 日

顎顔面放射線学分野

【著書】

- 1) 林 孝文：口腔癌の画像診断．口腔癌（桐田忠昭，原田浩之 編）．89-113 頁，医歯薬出版，東京，2023.
- 2) 林 孝文：口腔外科治療における画像診断 歯科口腔外科領域における超音波診断 最新情報．一般臨床家、口腔外科医のための口腔外科ハンドマニュアル'23（日本口腔外科学会編），200-208 頁，クインテッセンス出版，東京，2023.
- 3) 勝良剛詞：放射線治療患者の口腔健康管理．歯科衛生学シリーズ 歯科放射線学 第 2 版（岡野友宏 編），108-115 頁，医歯薬出版，東京，2024.
- 4) 林 孝文：超音波検査法（US），口腔・頸部の軟組織疾患，口腔領域の悪性腫瘍．第 7 版歯科放射線学（岡

野友宏, 小林 馨, 有地榮一郎, 勝又明敏, 林 孝文 編), 193-202 頁, 319-334 頁, 335 - 343 頁, 医歯薬出版, 東京, 2024.

- 5) 勝良剛詞: 放射線治療に伴う有害事象と患者の管理. 第7版歯科放射線学,(岡野友宏, 小林 馨, 有地榮一郎, 勝又明敏, 林 孝文 編), 475-482, 医歯薬出版, 東京, 2024.

【論文】

- 1) Katsura K, Tanabe S, Nakano H, Sakai M, Ohta A, Kaidu M, Soga M, Kobayashi T, Takamura M, Hayashi T: The relationship between the contouring time of the metal artifacts area and metal artifacts in head and neck radiotherapy. Tomography 9(1):98-104.2023.
- 2) Hayashi-Sakai S, Kobayashi T, Hayashi T, Shimomura-Kuroki J, Sakai J, Sakamoto M: Visual evaluation for the elasticity of suprahyoid muscles using sonographic elastography during tongue pressure measurement: A pilot study. Biomed Mater Eng 34(2): 159-168, 2023.
- 3) Tanaka R, Lau K, Yeung AW, Leung WK, Hayashi T, Bornstein MM, Tonetti MS, Pelekos G: Diagnostic application of intraoral ultrasonography to assess furcation involvement in mandibular first molars. Dentomaxillofac Radiol: 2023.
- 4) Yoshida K, Watanabe S, Hoshino N, Pak K, Hidaka N, Konno N, Nakai N, Ando C, Yabuki T, Suzuki N, Katsura K, Tomihara K, Toyama A: Hospital pharmacist interventions for the management of oral mucositis in patients with head and neck cancer receiving chemoradiotherapy: a multicenter, prospective cohort study. Support Care Cancer 31(5):316, 2023.
- 5) Takamura M, Nikkuni Y, Hayashi T, Katsura K, Nishiyama H, Yamazaki M, Maruyama S, Tanuma J: Comparing the diagnostic accuracy of ultrasonography, CT, MRI, and PET/CT in cervical lymph node metastasis of oral squamous cell carcinoma. Biomedicines 11:3119, 2023.
- 6) Katagiri W, Saito D, Maruyama S, Ike M, Nishiyama H, Hayashi T, Tanuma J, Kobayashi T: Masticatory muscle tendon-aponeurosis hyperplasia that was initially misdiagnosed for polymyositis: a case report and review of the literature. Maxillofac Plast Reconstr Surg 45(1), 18.
- 7) 西山秀昌: 歯学教育における人工知能(AI), 機械学習および深層学習についてー形式(的)情報と意味(的)情報の視点からー. 新潟歯学会誌 53(1): 1-15, 2023.
- 8) 林 孝文: 舌癌原発巣と頸部リンパ節転移の超音

波診断. 日口外誌 69(12):536-542, 2023.

- 9) 林 孝文, 新國 農, 西山秀昌: 頸部リンパ節腫脹の画像診断: 超音波診断を中心として. 日口外誌 70(2), 42-48. 2024

【商業誌】

- 1) 勝良剛詞: 第1回 歯科放射線科医を目指して. 歯科放射線科医から見た「がん口腔支持療法」ー令和時代の病院歯科を考えるー. 新聞 QUINT 2月号, クインテッセンス出版, 東京, 2024.
- 2) 勝良剛詞: 第2回 チーム医療での歯科の役割. 歯科放射線科医から見た「がん口腔支持療法」ー令和時代の病院歯科を考えるー. 新聞 QUINT 3月号, クインテッセンス出版, 東京, 2024.
- 3) 勝良剛詞: 第3回 研究での連携を円滑にする3つの心得. 歯科放射線科医から見た「がん口腔支持療法」ー令和時代の病院歯科を考えるー. 新聞 QUINT 4月号, クインテッセンス出版, 東京, 2024.

【研究費獲得】

- 1) 曾我麻里恵: 放射線性う蝕の発生リスク因子の特定と適正な歯科管理方法の構築. 学術研究助成基金助成金 若手研究, 23K16111, 2023-2026.
- 2) 小林太一: アーチファクトを低減した口腔内超音波走査用音響カップリング材の開発. 学術研究助成基金助成金 若手研究, 23K16112, 2023-2024.
- 3) 勝良剛詞: 歯の線量に着目した放射線う蝕のリスク因子解析およびリスク予測モデルの確立. 学術研究助成基金助成金 基盤(C), 23K09454, 2021-2023.
- 4) 林 孝文, 小林太一: モバイルオーラルエコーによる舌癌深達度診断精度の多施設共同研究. 学術研究助成基金助成金 基盤(C), 21K10064, 2021-2023.
- 5) 清水真弓(九州大学), 林 孝文: IgG4 関連涙腺・唾液腺炎の診断基準への超音波診断導入のための多施設共同研究. 学術研究助成基金助成金 基盤(C), 21K10075, 2021-2023.
- 6) 坂井幸子(日本歯科大学新潟生命歯学部), 林 孝文: 画像工学に基づく口輪筋弾性挙動の可視化ー包括的口腔機能管理ツールの創出ー. 学術研究助成基金助成金 基盤(C), 21K10204, 2021-2023.
- 7) 林 孝文: 歯科用小型超音波画像診断装置の開発. 共同研究(新潟大学・デントロケミカル), J21K0060, 2021-2023.
- 8) 勝良剛詞, 曾我麻里恵: 放射線治療後の歯槽骨密度変化と線量との関係ー硬組織定量解析による放射線顎骨壊死のリスク予測の創出を目指してー. 一般社団法人日本歯科医学会連合 令和4年度研究課題, JDSF-FPC1-2022-01, 2022-2024.

- 9) 林 孝文: 歯科医療の超音波診断が広く実施される未来を、一緒に目指しませんか?, クラウドファンディング, 2023 年 4 月 28 日成立.
- 10) 前田健康, 佐々木啓一, 中村誠司, 斎藤隆史, 林 孝文: ICT を活用した歯学生の評価手法確立のための研究. 令和 5 年度厚生労働科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業, 23IA1901, 2023.
- 7) 新國 農, 高村真貴, 小林太一, 曾我麻里恵, 池真樹子, 勝良剛詞, 西山秀昌, 林 孝文: 18F-FDG PET テクスチャ解析を用いた口腔癌における転移/非転移リンパ節の術前評価. NPO 法人日本歯科放射線学会第 63 回学術大会, 福岡, 2023 年 5 月 27 日-28 日.
- 8) 新國 農, 高村真貴, 小林太一, 曾我麻里恵, 池真樹子, 勝良剛詞, 西山秀昌, 林 孝文: 18F-FDG PET テクスチャ解析を用いた早期口腔扁平上皮癌のリンパ節後発転移予測. NPO 法人日本歯科放射線学会第 63 回学術大会, 福岡, 2023 年 5 月 27 日-28 日.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 勝良剛詞: 新潟大学で行っている頭頸部放射線治療の口腔管理. プロフェッショナルに学ぶ. 日本がん口腔支持療法学 第 9 回学術大会, 京都, 2023 年 11 月 18 日.
- 9) 西山秀昌, 小林太一, 高村真貴, 池真樹子, 新國 農, 勝良剛詞, 曾我麻里恵, Prakoeswa Beshlina, 林 孝文: 同一の結果を提示するように訓練された深層学習システムにおける内部パラメータの空間分布と安定性について. 日本歯科放射線学会第 63 回学術大会, 福岡, 2023 年 5 月 27-28 日.

【学会発表】

- 1) Katsura K, Yoshida K, Yamazaki K, Soga M, Tanaka Y, Tanaka K, Shodo R, Ueki Y, Takahashi T, Kobayashi T, Ishiyama M, Kanemaru H, Hayashi T: The effect of prophylactic use of Episil oral liquid on oral mucositis in head and neck cancer patients undergoing concurrent chemoradiotherapy. The MASCC/JASCC/ISOO 2023 Annual Meeting on Supportive Care in Cancer, Nara, June 22-24.
- 2) 船山昭典, 羽賀健太, 齋藤大輔, 新國 農, 西山秀昌, 林 孝文, 丸山 智, 山崎 学, 田沼順一, 小林正治: 舌下腺に生じたアミロイドーシスの 1 例. 第 77 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 岡山, 2023 年 5 月 12 日-13 日.
- 3) 勝良剛詞, 曾我麻里恵, 小林太一, 高村真貴, 池真樹子, 新國 農, 西山秀昌, 林 孝文: 歯科用合金とマウスピースの材質の違いによる重粒子線の線量分布変化. NPO 法人日本歯科放射線学会第 63 回学術大会, 福岡, 2023 年 5 月 27 日-28 日.
- 4) 林 孝文, 高村真貴, 小林太一, 曾我麻里恵, 池真樹子, 新國 農, 勝良剛詞, 西山秀昌: CT における顎関節円板前方転位の診断精度の再評価. NPO 法人日本歯科放射線学会第 63 回学術大会, 福岡, 2023 年 5 月 27 日-28 日.
- 5) 高村真貴, 西山秀昌, 新國 農, 池真樹子, 林 孝文: 2つのコーンビーム CT 装置におけるガッタパーチャポイントの描出能の比較. NPO 法人日本歯科放射線学会第 63 回学術大会, 福岡, 2023 年 5 月 27 日-28 日.
- 6) 新國 農, 高村真貴, 小林太一, 曾我麻里恵, 池真樹子, 勝良剛詞, 西山秀昌, 林 孝文: 18F-FDG PET テクスチャ解析を用いた早期口腔扁平上皮癌の組織型の評価. NPO 法人日本歯科放射線学会第 63 回学術大会, 福岡, 2023 年 5 月 27 日-28 日.
- 10) 坂井由紀, 小竹正晃, 勝良剛詞, 西條康夫, 外山 聡: 外来がん薬物療法施行患者における口腔関連有害事象「発症頻度と医療者による介入の必要性」. 第 8 回日本がんサポーターズケア学会学術集会, 奈良, 2023 年 6 月 22 日-24 日.
- 11) 齋藤大輔, 須田大介, 新國 農, 林 孝文, 小林正治: 下顎偏位を呈した片側性下顎頭過形成の 1 例. 第 36 回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会, 東京, 2023 年 7 月 8-9 日.
- 12) 新國 農, 高村真貴, 小林太一, 曾我麻里恵, 池真樹子, 勝良剛詞, 西山秀昌, 林 孝文: 口腔癌の術前造影 CT における頸部リンパ節の転移/非転移の鑑別を目的とした radiomics 解析の試み. NPO 法人日本歯科放射線学会 第 236 回関東地方会・第 42 回北日本地方会 第 30 回合同地方会大会, 盛岡, 2023 年 8 月 26 日.
- 13) 西山秀昌, 小林太一, 高村真貴, 池真樹子, 新國 農, 勝良剛詞, 曾我麻里恵, Prakoeswa Beshlina, 林 孝文: 多義性の高い X 線透過像・重積像での深層学習における内部パラメータの集約とスピングラス状態との関連性について. NPO 法人日本歯科放射線学会第 236 回関東地方会・第 42 回北日本地方会・第 30 回合同地方会, 盛岡, 2023 年 8 月 26 日.
- 14) 曾我麻里恵, 金丸博子, 黒川 亮, 山下 萌, 新美奏恵, 田中 裕, 田中恵子, 石山茉佑佳, 山野井敬彦, 長谷川健二, 小林正治: 当院の周術期口腔機能管理における口腔内装置の有効性に関連する報告. 令和 5 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2023 年 11 月 4 日.
- 15) 遠藤 諭, 勝良剛詞, 阿部達也, 鈴木一郎, 高田佳之: 口腔底部に発生した巨大な脂肪腫の 1 例. 令和 5 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2023 年 11 月 4

日.

- 16) 児玉泰光, 林 孝文, 小林亮太, 上野山敦士, 高村真貴, 新國 農, 山崎 学, 田沼順一, 富原 圭, 鶴巻 浩: 超音波診断法を用いて周術期画像評価を行った咀嚼筋腱・腱膜過形成症の1例. 第68回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会, 大阪, 2023年11月10日-12日.
- 17) 隅田賢正, 児玉泰光, 山崎 学, 田沼順一, 林 孝文, 富原 圭: 上唇に発生した好酸球増多を伴う硬化性粘表皮癌の1例. 第68回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会, 大阪, 2023年11月10日-12日.
- 18) 田中恵子, 勝良剛詞, 正道隆介, 曾我麻里恵, 曾我麻里恵, 石山茉佑佳, 手嶋謡子, 金丸博子, 田中雄介, 吉田謙介, 後藤早苗: 頭頸部化学放射線療法における口腔ケア用ジェル ヒノーラ®ENの口腔粘膜炎予防効果. 日本がん口腔支持療法学 第9回学術大会, 京都, 2023年11月18日-19日.

【その他】

- 1) 林 孝文, 河津俊幸, 竹下洋平, 小林太一, 高村真貴: 顎顔面頸部超音波診断ハンズオンセミナー. 第77回NPO法人日本口腔科学会学術集会, 岡山, 2023年5月12日.
- 2) 林 孝文, 高村真貴, 小林太一, 曾我麻里恵, 池 真樹子, 新國 農, 勝良剛詞, 西山秀昌: 顎顔面口腔領域における画像診断の進歩. リフレッシュセミナー及び日本口腔科学会教育研修会, 第61回日本口腔科学会北日本地方部会・第49回日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 新潟市, 2023年5月21日.
- 3) 曾我麻里恵: 若手が考える口腔支持療法の未来. 日本がん口腔支持療法学会第9回学術大会, 京都, 2023年11月19日.
- 4) 勝良剛詞: 適切な看護介入・口腔衛生管理のための頭頸部放射線治療の基礎と実際. 第42回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 札幌, 2024年1月26日.
- 5) 新國 農: 放射線画像診断学を刷新する Radiomics の概念・応用と口腔腫瘍治療への貢献の可能性. ワークショップ1 口腔がんにおける Radiomics の可能性, 第42回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 札幌, 2024年1月25日・26日.
- 6) 林 孝文, 有地淑子, 中山英二, 小西 勝, 新國 農: 口腔・頸部超音波診断ハンズオンセミナー. 第42回口腔腫瘍学会総会・学術大会, 札幌, 2024年1月25日.
- 7) 勝良剛詞: 頭頸部放射線治療の口腔管理 適切に行うための基本から最新の知見まで. 第33回日本有

病者歯科医療学会 共催セミナー, 新潟, 2024年3月9日.

- 8) 勝良剛詞: 頭頸部化学放射線治療における口腔粘膜炎管理を適切に行うための基礎知識. Otsuka Nutrition Webinar 化学放射線療法の口腔ケア・栄養管理を考える, Web開催, 2024年3月21日.

歯科麻酔学分野

【著 書】

- 1) 瀬尾憲司: 歯科医院のためのAHAガイドライン 2020に沿った一時救命処置, 医歯薬出版, 東京, 2023.

【論 文】

- 1) Naotaka Kishimoto, Yutaka Tanaka, Shigenobu Kurata, Kenji Seo. Unexpected Airway Foreign Body during General Anesthesia. Journal of Dental Anesthesia and Pain Medicine. 2024. In press
- 2) Naotaka Kishimoto, Tomoaki Ujita, Simon D. Tran, Takuro Sanuki, Kenji Seo. Simulation training for medical emergencies: Evaluation of dentists' long-term learning skills and confidence. European Journal of Dental Education. 2024. In press.
- 3) Atsuki Yamaguchi, Shota Tsukimoto, Hidetaka Kuroda, Uno Imaizumi, Norika Katagiri, Tomomi Katayama, Naotaka Kishimoto, Kanta Kido, Takahiro Abe, Takuro Sanuki. Survey on the Awareness of the Use of Oropharyngeal Throat Packs in Dental Anesthesia: An International Online Survey. Cureus. 16(1), e52320, 2024.
- 4) Keita Kagawa, Hidetaka Kuroda, Dai Kaneko, Miki Imura, Uno Imaizumi, Kanta Kido, Shota Tsukimoto, Shinji Kurata, Naotaka Kishimoto, Takuro Sanuki. Safety of COVID-19 vaccine delivery by dentists: An observational cohort study. Journal of Dental Sciences. 18 (2), 613-617, 2023.
- 5) Takuro Sanuki, Naotaka Kishimoto, Hidetaka Kuroda, Kanta Kido. Hypotension Without Skin Symptoms at Local Anesthesia in Dental Treatment: Anaphylaxis? Or Vasovagal Reaction? Anesthesia Progress. 70 (2), 91-92, 2023.
- 6) Takutoshi Inoue, Toru Yamamoto. Rectus Sternalis (Sternalis muscle): a rare variant with surgical Importance. Asian Journal of Medical Case Reports, 5(1): 9-14, 2023.

- 7) Toru Yamamoto, Tatsuru Tsurumaki, Hiroko Kanemaru, Kenji Seo. Tracheal bronchus detected during general anesthesia: A case report. *Anesthesia Progress*, 70(4):173-177, 2023.
 - 8) Toru Yamamoto, Yuhei Koyama, Yutaka Tanaka, Kenji Seo. Delayed Rocuronium Onset in a Patient Taking Levetiracetam for Epilepsy. *Anesthesia Progress*, 2023. in press.
 - 9) Toru Yamamoto, Shigenobu Kurata, Tomoaki Ujita, Naotaka Kishimoto, Yuzo Imai, Emi Sawada, Hiroko Kanemaru, Yutaka Tanaka, Kenji Seo. Anesthetic Management of a Patient with a Giant Hemangioma Who Required Urgent Embolization for Bleeding During Third Molar Extractions. *Anesthesia Progress*, 2023. in press.
 - 10) Yuhei Koyama, Toru Yamamoto, Junrong Qi, Kei Tomihara, Kenji Seo: A Transient Sinus Arrest Caused by Intraoral Disinfection Maneuver in Maxillofacial and Oral Surgery Under General Anesthesia: A Case Report, *J. Maxillofac. Oral Surg.*, 2023.
<https://doi.org/10.1007/s12663-023-01955-y>
 - 11) Tomoaki Ujita, Toru Yamamoto, Yutaka Tanaka, Kurata Yukishige, Seo Kenji: Tracheal Stenosis Detected during Endotracheal Intubation: A Case Report, *Anesth Prog*, Brief Communication, 9/22/2023 accepted.
 - 12) Yuzo IMAI, Naotaka KISHIMOTO, Shigenobu KURATA, Yutaka TANAKA, Tatsuru Tsurumaki, Hiroko KANEMARU, Toru YAMAMOTO, Kenji SEO: An Automatic Cuff Pressure Controller (SmartCuff) Detected Cuff Damage in a Tracheal Tube: A Case Report, *Anesth Prog*, Brief Communication, 11/27/2023 accepted.
 - 13) Mai Nozawa-Kobayashi, Hidenobu Sakuma, Hiroko Kanemaru, Akira Kurokawa, Marie Soga, Moe Yamashita, Kanae Niimi, Tadaharu Kobayashi: Survey of the association between tooth extraction and development of medication-related osteonecrosis of the jaw in patients undergoing cancer treatment with bone-modifying agents, *Oral and Maxillofacial Surgery*, Accepted: 29 January 2024
 - 14) 氏田 倫章, 山本 徹, 田中 裕, 倉田 行伸, 瀬尾 憲司: 気管挿管時に気管狭窄が認められたダウン症候群患者の全身麻酔経験, 日本歯科麻酔学会, 51(2):30-32, 2023.
 - 15) 沢田 詠見, 山本 徹, 岸本直隆, 田中 裕, 瀬尾憲司: パルスオキシメータプローブの過圧迫により手指が虚血になったと思われる小児の1症例, 日歯麻誌, 51 (4) , 127-129, 2023.
 - 16) 田中 裕, 瀬尾憲司, 倉田行伸, 村松公美子, 村松芳幸: GAD-7 による口腔顔面痛患者の不安の調査, 慢性疼痛, 42 (1) , 50-56, 2023.
 - 17) 倉田行伸, 岸本直隆, 田中 裕, 金丸博子, 山本徹佐藤由美子, 今井有蔵, 小山祐平, 氏田倫章, 沢田詠見, 瀬尾憲司: 新潟大学医歯学総合病院歯科麻酔科における最近4年間の外来新患者の動向. 新潟歯学会雑誌, 53(2) : 13-19, 2023.
- 【研究費】**
- 1) 岸本 直隆: 科学研究費 基盤研究 (C) , 令和元年度～令和5年度, 課題番号 19K10261, 研究代表者 岸本直隆, 新しい顔面神経麻痺治療への脱分化脂肪細胞由来 cell extract の応用
 - 2) 山本徹: 科学研究費 基盤(C), 令和5年度～令和7年度, 課題番号 23K09350, 研究代表者 山本徹, 神経障害性疼痛における過分極活性化サイクリックヌクレオチド依存チャネルの機能検索
 - 3) 山本徹: 科学研究費 基盤(C), 令和5年度～令和7年度, 課題番号 23K09353, 研究代表者 吉田充広, 慢性咀嚼筋痛発症過程での BDNF-TrkB 経路と下行性疼痛制御系の関係性の解明
 - 4) 氏田倫章: 日本歯科麻酔学会学術研究助成 若手研究助成, 令和4年5月～令和6年5月, 研究代表者 氏田倫章 瀬尾憲司, 末梢神経損傷部における異所性興奮発生機序と, それに影響する因子の多元的解析
 - 5) 沢田 詠見: 人工シナプスオーガナイザーを使用した末梢神経再生の可能性の解明. 科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業, 2023, 継続
 - 6) 金丸博子: 科学研究費 若手研究, 令和3年度～令和5年度, 課題番号 21K17109, 研究代表者 金丸博子, 末梢組織損傷部位のスフィンゴシン1リン酸は神経障害性疼痛の発生に関与するか
 - 7) 佐藤由美子: シグナル抑制機構から解明するシュワン細胞機能の調節メカニズム. 日本学術振興会 科学研究補助金, 基盤研究(C), 22K10116. 2022-2024.
- 【招待講演・シンポジウム】**
- 1) 瀬尾憲司: 歯科治療中のモニターとして求められるもの、その近未来系, 第34回日本臨床モニター学会総会, 2023年4月30日, 高知市.
 - 2) 瀬尾憲司: 「再現映像作成により見えてきたもの」, (五泉市歯科医師会 講演会, 2023年10月22日, 五泉市)
 - 3) 瀬尾憲司: 「歯科診療中に発生する緊急事態の再現映像作成より得たもの」 新潟市北区歯科医師会

- 学術講演会, 11 月 17 日、新潟市
- 4) 瀬尾憲司：神経障害性疼痛関連歯科学会合同シンポジウム「外科的治療の予後」2024 年 3 月 10 日（日）、web 開催
 - 5) Kenji Seo：「Educating Japanese Dentists on Medical Emergencies」(IFDAS), 2024.03. 16, Las Vegas.
 - 6) 岸本直隆：歯科診療におけるモニタリング講座 遠隔モニタリングを活用した歯科麻酔科医による歯科治療時の全身管理, 第 34 回日本臨床モニター学会総会, 2023 年 4 月 30 日, 高知市.
 - 7) 岸本直隆：遠隔麻酔と歯科麻酔における遠隔医療, 第 37 回日本歯科麻酔学会リフレッシュコース, 2023 年 7 月～8 月, オンライン開催
 - 8) 岸本直隆：局所麻酔時に注意すべき全身的偶発症, 一般社団法人 泉佐野泉南歯科医師会 令和 5 年度第 1 回学術講演会, 2023 年 8 月 26 日, 泉佐野市.
 - 9) 岸本直隆：脂肪組織に由来する細胞源の歯科再生医療への応用, 第 51 回日本歯科麻酔学会総会・学術大会 学術委員会指定講演, 2023 年 10 月 7 日, 長崎市, 抄録集 ; 87, 2023.
 - 10) 岸本直隆：局所麻酔時に注意すべき全身的偶発症, 須賀川歯科医師学術講演会, 2024 年 1 月 20 日, 須賀川市.
 - 11) 岸本直隆：遠隔モニタリングを活用した歯科麻酔科医による全身管理, 新潟県歯科医師会 令和 5 年度在宅歯科医療支援事業「基本研修」, 2024 年 2 月 18 日, 新潟市.

【学会発表】

- 1) Yutaka Tanaka, Toru Yamamoto, Shigenobu Kurata, Naotaka Kishimoto, Kenji Seo: Trial of sensory evoked potential measurement in the trigeminal nerve for diagnosing nerve injury, The 14th Annual Meeting of the Federation of Asian Dental Anesthesiology Societies, October 6 (Fri) - 8 (Sun) , 2023, Abstract ; 237, 2023.
- 2) Toru Yamamoto, Naotaka Kishimoto, Yutaka Tanaka , Shigenobu Kurata, Hiroko Kanemaru, Yumiko Sato, Yuhei Koyama, Yuzo Imai, Tomoaki Ujita, Emi Sawada, Kenji Seo : Tracheal bronchus detected during general anesthesia : A case report, The 14th Annual Meeting of the Federation of Asian Dental Anesthesiology Societies, October 6 (Fri) - 8 (Sun) , 2023, Abstract ; 241, 2023.
- 3) Emi Sawada, Kosei Takeuchi, Sato-Yamada Yurie, Miho Terunuma, Hiroyuki Sasakura, Yuki Morioka, Takeyasu

- Maeda, Kenji Seo: Possible involvement of synthetic synapse organizer protein in the restoration of injured trigeminal nerve, neuroscience 2023, Nov 11-15, 2023.
- 4) Mitsuhiko Yoshida, Toru Yamamoto, Eiji Imado, Yuhei Koyama, Yatendra Mulpuri, Serika Imamura, Hisanobu Kamio, Aya Oda, Tamayo Takahashi, Yuzo Imai, Tomoaki Ujita, Emi Sawada, Naotaka
 - 5) Kishimoto, Kenji Seo. Meloxicam Prevents Carrageenan-induced Chronic Hyperalgesia And Microglial Activation. IADR / AADOCR / CADR General Session & Exhibition, New Orleans, LA, USA, 2024.
 - 6) 黒川亮, 金丸博子, 曾我麻里恵, 山下萌, 新美奏恵, 佐藤由美子, 田中恵子, 石山茉佑佳, 高野綾子, 植木麻有子, 井川愛, 沖津佳子, 倉又七海, 勝良剛詞, 富原圭, 上野山敦, 齋藤夕子, 佐久間英伸, 小林正治: 当院の心臓弁膜症手術における周術期口腔機能管理中の術前抜歯に関する検討, 第 21 回日本口腔ケア学会 2023 年 4 月 27-28 日, 東京, 17 (3) 202, 2023
 - 7) 新美奏恵, 黒川亮, 曾我麻里恵, 山下萌, 金丸博子, 小林正治: 病院歯科における周術期口腔管理, 口腔ケアの現状と課題, 第 21 回日本口腔ケア学会 2023 年 4 月 27-28 日, 東京, 17 (3) 185, 2023
 - 8) 田中 裕, 村松芳幸, 村松公美子, 真島一郎, 藤村健夫, 清水夏恵, 清野 洋, 吉嶺文俊, 片桐敦子, 櫻井浩治, 瀬尾憲司: 口腔顔面痛患者における睡眠と身体症状の関連性についての検討, 第 64 回日本心身医学会総会・学術大会, 2023 年 7 月 1-2 日, 横浜市, 抄録集; 171, 2023.
 - 9) 小林 (野澤) 舞, 佐久間英伸, 金丸博子, 黒川亮, 曾我麻里恵, 山下萌, 新美奏恵, 小林正治, 骨修飾薬投与前抜歯は薬剤関連顎骨壊死発症予防するかの検証, 令和 5 年度新潟歯学会第 1 回例会, 2023 年 7 月 8 日, 新潟市, 抄録集 2, 2023
 - 10) 今井有蔵, 岸本直隆, 小山祐平, 山本 徹, 氏田倫章, 沢田詠見, 瀬尾憲司: 脂肪組織由来幹細胞内における末梢神経再生に影響する因子の検討 (in vitro) , 第 51 回日本歯科麻酔学会総会・学術大会, 2023 年 10 月 6-8 日, 長崎市, 抄録集 ; 124, 2023.
 - 11) 氏田倫章, 山本 徹, 山田友里恵, 今井有蔵, 小山祐平, 沢田詠見, 岸本直隆, 瀬尾憲司: 膜電位感受性色素を用いた光学的イメージングによる刺激応答の解析, 第 51 回日本歯科麻酔学会総会・学術大会, 2023 年 10 月 6-8 日, 長崎市, 抄録集 ; 125, 2023.
 - 12) 田中 裕, 倉田行伸, 山本 徹, 今井有蔵, 小山祐平, 氏田倫章, 沢田詠見, 佐藤由美子, 金丸博子, 岸本直隆, 瀬尾憲司: 局所麻酔薬の 1 型アレルギー

診断への白血球遊走試験 (LMT-chamber 法) 応用の試み, 第 51 回日本歯科麻酔学会総会・学術大会, 2023 年 10 月 6-8 日, 長崎市, 抄録集 ; 145, 2023.

- 13) 倉田行伸, 岸本直隆, 田中 裕, 金丸博子, 山本 徹, 佐藤由美子, 今井有蔵, 小山祐平, 氏田倫章, 沢田詠見, 瀬尾憲司: 上下顎骨形成術後の鎮痛薬使用状況に関する後方視的研究, 第 51 回日本歯科麻酔学会総会・学術大会, 2023 年 10 月 6-8 日, 長崎市, 抄録集 ; 156, 2023.
- 14) 沢田詠見, 山本 徹, 岸本直隆, 田中 裕, 瀬尾憲司: パルスオキシメータプローブの過圧迫な装着により遅発的に急激な動脈血酸素飽和度が変動した小児の 1 症例, 第 51 回日本歯科麻酔学会総会・学術大会, 2023 年 10 月 6-8 日, 長崎市, 抄録集 ; 197, 2023.
- 15) 爲ヶ谷早紀, 大島 遼, 人見雅代, 小山祐平, 螺良恭広, 橘川芳明, 長谷川智則, 博多研文, 小宮山雄介, 福本正知, 泉 さや香, 和久井崇大, 川又 均: 当科における口腔顎顔面領域に症状を呈するウイルス感染の診断・治療プロトコルの作製, 第 76 回栃木県歯科医学会, 2023 年 11 月 3 日, 宇都宮市, 2023.
- 16) 沢田詠見, 岸本直隆, 山本 徹, 佐藤友理恵, 小山祐平, 今井有蔵, 氏田倫章, 瀬尾憲司: 人工的なシナプス形成が損傷した三叉神経の感覚機能を回復させる可能性の検討, 令和 5 年度新潟歯学会第 2 回例会, 2023 年 11 月 4 日, 新潟市, 抄録集, 9, 2023.
- 17) 曾我麻里恵, 金丸博子, 黒川亮, 山下萌, 新美奏恵, 田中裕, 山野井敬彦, 田中恵子, 石山茉佑佳, 小林正治: 当院の周術期口腔機能管理における口腔内装置の有効性に関連する報告, 令和 5 年度新潟歯学会第 2 回例会, 2023 年 11 月 4 日, 新潟市, 抄録集, 14, 2023.
- 18) 小林(野澤)舞, 佐久間英伸, 金丸博子, 黒川亮, 曾我麻里恵, 山下萌, 新美奏恵, 小林正治, 投与目的別にみた骨修飾薬投与患者における薬剤関連顎骨壊死に関する調査報告, 第 68 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 2023 年 11 月 10-12 日, 大阪市, 抄録集 82, 2023.
- 19) 田中恵子, 勝良剛詞, 正道隆介, 曾我麻里恵, 石山茉佑佳, 手嶋謠子, 金丸博子, 田中雄介, 吉田謙介, 後藤早苗: 頭頸部化学放射線療法における口腔粘膜炎に対する口腔ケア用ジェル ヒノーラ EN の予防 効果, 第 9 回日本がん口腔支持療法学会, 2023 年 11 月 18-19 日, 京都市, 2023
- 20) 田中 裕, 村松芳幸, 村松公美子, 真島一郎, 藤村健夫, 清水夏恵, 清野 洋, 吉嶺文俊, 片桐敦子, 櫻井浩治, 瀬尾憲司: 口腔顔面痛患者の不安状態につ

いての検討, 第 27 回日本心療内科学会総会・学術大会, 2023 年 12 月 9-10 日, 東京, 抄録集: 126, 2023.

- 21) 田中恵子, 勝良剛詞, 正道隆介, 曾我麻里恵, 石山茉佑佳, 手嶋謠子, 金丸博子, 田中雄介, 吉田謙介, 後藤早苗: 頭頸部化学放射線療法における口腔粘膜炎に対する口腔ケア用ジェル ヒノーラ EN の予防 効果, 第 42 回口腔腫瘍学会, 2024 年 1 月 25-26 日, 札幌市, 2024.
- 22) 田中 裕, 瀬尾憲司, 倉田行伸, 村松芳幸: PHQ-15 による口腔顔面痛に合併する身体症状の調査, 第 53 回日本慢性疼痛学会, 2024 年 2 月 23-24 日, 足利市, 抄録集: 156, 2024.
- 23) 古賀雅良, 吉田謙介, 黒川亮, 星野直人, 齋藤千愛, 田中恵子, 石山茉佑佳, 曾我麻理恵, 山下 萌, 金丸博子, 朴慶純, 富原圭, 外山聡: 後ろ向き研究によるがん化学療法患者の口腔粘膜炎発症及び重症度と血液検査値との関連性の調査, 2024 年 3 月 2-3 日, 神戸市, 抄録集 64, 2024
- 24) 黒川亮, 金丸博子, 曾我麻里恵, 山下 萌, 新美奏恵, 田中恵子, 石山茉佑佳, 富原 圭, 吉田謙介, 佐久間英伸, 小林正治: ステロイド療法中に象牙質知覚過敏様疼痛が出現した 20 例についての臨床的検討, 第 33 回日本有病者歯科医療学会, 2024 年 3 月 9-10 日, 新潟市
- 25) 佐久間英伸, 金丸博子, 黒川亮, 曾我麻里恵, 山下萌, 新美奏恵, 小林正治: グルココルチコイド誘発性骨粗鬆症に対する骨修飾薬投与後の薬剤関連顎骨壊死の発症状況 第 33 回日本有病者歯科医療学会, 2024 年 3 月 9, 10 日, 新潟市
- 26) 今井有蔵, 岸本直隆, 小山祐平, 山本徹, 氏田倫章, 沢田詠見, 瀬尾憲司: 脂肪組織由来幹細胞から抽出した細胞抽出物中の末梢神経再生に影響する因子の探索, 第 23 回日本再生医療学会総会, 2024 年 3 月 21 日~3 月 23 日, 新潟市, 抄録集, 611, 2024.
- 27) 小山祐平, 岸本直隆, 山本徹, 今井有蔵, 氏田倫章, 沢田詠見, 瀬尾憲司: 脂肪組織由来幹細胞 cell extract による末梢神経再生の組織透明化による三次元画像を用いた評価, 第 23 回日本再生医療学会総会, 2024 年 3 月 21 日~3 月 23 日, 新潟市, 抄録集, 612, 2024.
- 28) 大貫真, 清海杏奈, 吉田謙介, 黒川亮, 山崎京祐, 星野直人, 齋藤千愛, 古賀雅良, 金丸博子, 外山聡, 杉浦宗敏: がん患者の口腔粘膜炎と唾液中炎症性メディエーター及び口腔内水分量の関連性に関する 検討, 2024 年 3 月 28-31 日, 横浜市, 2024

【研究会発表】

- 1) 氏田倫章, 山本徹, 瀬尾憲司: 三叉神経刺激によ

- る三叉神経節細胞興奮の光学的解析, 第 94 回新潟麻醉科懇話会/第 73 回新潟ショックと蘇生・集中治療研究会, 2023 年 6 月 17 日, 新潟市, 2023.
- 2) 今井有蔵, 岸本直隆, 田中裕, 倉田行伸, 金丸博子, 佐藤由美子, 山本徹, 氏田倫章, 沢田詠見, 瀬尾憲司: 左室補助人工心臓装着患者の全身麻酔管理経験, 第 39 回関東臨床歯科麻酔懇話会学術集会, 2023 年 6 月 24 日, 東京都, 抄録集; 11, 2023.
 - 3) 岸本直隆: 全身麻酔導入後に判明した気道異物により呼吸管理に難渋した症例, 第 91 回新潟口腔外科歯科麻酔科集談会, 2023 年 11 月 16 日, 新潟市.
 - 4) 沢田詠見, 武内恒成, 瀬尾憲司: 人工的なシナプス形成により損傷した三叉神経の感覚機能を回復できる可能性の検討, 第 95 回新潟麻醉科懇話会-第 74 回新潟ショックと蘇生・集中治療研究会, 2023 年 12 月 2 日, 新潟市.
 - 5) 田中 裕: 病状の変化に環境要素が関与していたと考えられた顎関節症の 1 例, 令和 5 年度新潟県慢性疼痛人材育成研修会「歯科口腔領域の慢性疼痛に関する人材育成研修会」, 2023 年 12 月 3 日, 新潟市, 2023.

【社会貢献、教育活動、など】

- 1) 瀬尾憲司: 「再現! 歯科診療中の緊急事態とその対応」(DVD), 2023 年 4 月 1 日, 新潟大学.
- 2) 瀬尾憲司: 学外講義(歯科麻酔学), 2023 年 4 月 24-25 日、北海道医療大学歯学部
- 3) 瀬尾憲司: 学外講義(歯科麻酔学), 2023 年 5 月 22-23 日, 鹿児島大学歯学部
- 4) 瀬尾憲司: 学外講義(歯科麻酔学), 2023 年 12 月 20 日、九州大学歯学部
- 5) 瀬尾憲司, 岸本直隆, 田中 裕, 倉田行伸, 今井有蔵, 氏田倫章, 沢田詠見: 徳真会主催救急蘇生講習会, 2023 年 8 月 5 日, 新潟市.
- 6) 瀬尾憲司: 「新潟大学クラウドファンディング参加報告」, 新潟大学医歯学総合病院手術部主催 金曜の会, 2023 年 4 月 28 日.
- 7) 岸本直隆, 田中 裕, 倉田行伸, 山本 徹, 今井有蔵, 氏田倫章, 金丸博子: 新潟大学医歯学総合病院職員対象 新型コロナワクチン接種業務, 2024 年 1 月 15-26 日.
- 8) 田中 裕: 学外講義(北都健勝リハビリテーション大学 大学院講義, 「リスク管理学」), 2023 年 6-7 月, 村上市.
- 9) 田中 裕, 松井 宏, 木村慎二: 令和 5 年度新潟県慢性疼痛人材育成研修会「歯科口腔領域の慢性疼痛に関する人材育成研修会」 主催, 2023 年 12 月 3 日, 新潟市, 2023.
- 10) 田中 裕: 「本学におけるデンタルコールの現状」, 新潟大学医歯学総合病院手術部主催 金曜の会, 2023 年 4 月 28 日.
- 11) 氏田倫章: 「三叉神経刺激による三叉神経節細胞興奮の光学的解析」, 新潟大学医歯学総合病院手術部主催 金曜の会, 2023 年 6 月 23 日.
- 12) LI CHI: 「Investigation the effect of sphingosine lipids on the promotion of peripheral nerve regeneration」, 新潟大学医歯学総合病院手術部主催 金曜の会, 2023 年 10 月 12 日.
- 13) 沢田詠見: 「人工的なシナプス形成が損傷した三叉神経の感覚機能を回復させる可能性の検討」, 新潟大学医歯学総合病院手術部主催 金曜の会, 2024 年 2 月 1 日.
- 14) 川又均, 泉さや香, 小宮山雄介, 越地千佳子, 合田啓之, 栗林伸行, 國分伸一, 小山祐平, 吉田美結: モンゴル国国際医療支援(モンゴル国ウランバートル市 国立母子保健センター, 2023 年 10 月 1 日～10 月 8 日
- 15) 金丸博子: The Social Services for Cleft Lips and Palate by the Oral and Maxillofacial Surgery Study Program, インドネシア国マカッサル市 ハサヌデイン大学, 2024 年 2 月 18 日～24 日

【学会賞受賞, 資格取得, その他】

- 1) 金丸博子: 日本歯科麻酔学会専門医取得(第 465 号), 2023 年 7 月 1 日
- 2) 金丸博子: 令和 5 年度歯科麻酔専門医試験最優秀賞(阿波藍賞)受賞, 2023 年 10 月 7 日.
- 3) 今井有蔵: 日本歯科麻酔学会認定医取得(第 1828 号), 2023.08.27.
- 4) 今井有蔵: 令和 5 年度日本歯科麻酔学会最優秀発表賞(デンツプライシロナ賞)受賞, 第 51 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 2023 年 10 月 7 日.
- 5) 小山祐平: 日本歯科麻酔学会認定医取得(第 1846 号), 2023.08.27.
- 6) 小山祐平: 日本口腔ケア学会 4 級認定(第 2244A004394 号), 2024.02.15
- 7) 氏田倫章: 日本歯科麻酔学会認定医取得(第 1847 号), 2023.08.27.
- 8) 氏田倫章: 令和 5 年度日本歯科麻酔学会最優秀発表賞(デンツプライシロナ賞)受賞, 第 51 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 2023 年 10 月 7 日
- 9) 沢田詠見: 人工的なシナプス形成により損傷した三叉神経の感覚機能を回復できる可能性の検討. 2023 年度新潟歯学会奨励賞, 令和 5 年度新潟歯学会第 2 回例会, 2023 年 11 月 4 日.
- 10) 沢田詠見: AHA BLS provider 取得, 2024 年 3 月 10

日。

高度口腔機能教育研究センター・歯学教育開発室 【著 書】

- 1) 前田健康：歯科衛生士になるためのオリエンテーション 2023（一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会監修），5-6 頁，医歯薬出版，東京，2022 年。
- 2) 前田健康：I 編 人体の構造と機能. ポイントチェック歯科衛生士国家試験対策第 6 版（歯科衛生士国家試験対策①編），医歯薬出版，2-39 頁，東京，2023 年。
- 3) 前田健康：II 編 歯・口腔の構造と機能. ポイントチェック歯科衛生士国家試験対策第 6 版（歯科衛生士国家試験対策①編），医歯薬出版，72-102 頁，東京，2023 年。
- 4) 前田健康，脇田稔：第 1 章 口腔と歯の概説. 口腔組織発生学第 3 版（前田健康，網塚憲生，中村浩彰編），医歯薬出版，2-9 頁，東京，2023 年。
- 5) 前田健康：第 6 章 歯と歯周組織の神経と脈管. 口腔組織発生学第 3 版（前田健康，網塚憲生，中村浩彰編），医歯薬出版，122-142 頁，146-147 頁，東京，2023 年。
- 6) 前田健康，井上佳世子：第 8 章 顎関節. 口腔組織発生学第 3 版（前田健康，網塚憲生，中村浩彰編），医歯薬出版，168-182 頁，東京，2023 年。
- 7) 前田健康：第 5 章 軟骨，ジュンケイラ組織学第 6 版，丸善出版，141-150 頁，東京，2023 年。
- 8) 前田健康：第 6 章 骨，ジュンケイラ組織学第 6 版，丸善出版，151-174 頁，東京，2023 年。
- 9) 前田健康：第 1 章 解剖学用語，口腔解剖学第 3 版（前田健康，阿部伸一，天野修，馬場麻人編），医歯薬出版，東京，2023 年。
- 10) 前田健康：第 5 章 心臓，口腔解剖学第 3 版（前田健康，阿部伸一，天野修，馬場麻人編），医歯薬出版，東京，2023 年。
- 11) 前田健康：第 7 章 感覚器学総論，口腔解剖学第 3 版（前田健康，阿部伸一，天野修，馬場麻人編），医歯薬出版，東京，2023 年。
- 12) 前田健康：第 14 章 末梢神経系，口腔解剖学第 3 版（前田健康，阿部伸一，天野修，馬場麻人編），医歯薬出版，東京，2023 年。
- 13) 前田健康：第 15 章 感覚器系，口腔解剖学第 3 版（前田健康，阿部伸一，天野修，馬場麻人編），医歯薬出版，東京，2023 年。

- 14) 前川知樹：第 5 章 歯の支持組織 IV. 臨床的考察 1. 歯周病と免疫. 口腔組織発生学第 3 版（前田健康，網塚憲生，中村浩彰編），医歯薬出版，112-115 頁，東京，2023 年。
- 15) 佐藤友里恵，前田健康：第 6 章 歯と歯周組織の神経と脈管 VI. 臨床的考察 3. 末梢神経の再生. 口腔組織発生学第 3 版（前田健康，網塚憲生，中村浩彰編），医歯薬出版，152-156 頁，東京，2023 年。
- 16) 井上佳世子：I 編 人体の構造と機能 1 章 解剖学. 歯科衛生士 書き込み式学習ノート① 専門基礎科目編第 3 版，医歯薬出版，4-47 頁，東京，2023 年。

【編 集】

- 1) 前田健康，網塚憲生，中村浩彰：口腔組織発生学第 3 版，医歯薬出版，東京，2023 年。
- 2) 前田健康，阿部伸一，天野修，馬場麻人：口腔解剖学 3 版，医歯薬出版，東京，2023 年。
- 3) 寺尾豊，前田健康，佐藤聡，遠藤圭子，石川裕子：歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 2 微生物学 第 2 版，医歯薬出版，東京，2023 年。

【原 著】

- 1) Sirisereephap K, Tamura H, Lim JH, Surboy MDC, Isono T, Hiyoshi T, Rosenkranz AL, Sato-Yamada Y, Domon H, Ikeda A, Hirose T, Sunazuka T, Yoshida N, Okada H, Terao Y, Maeda T, Tabeta K, Chavakis T, Hajishengallis G, Maekawa T: A novel macrolide-del-1 axis to regenerate bone in old age. iScience., 27(2):108798, 2024.
- 2) Yasui Y, Hirayama S, Hiyoshi T, Isono T, Domon H, Maekawa T, Tabeta K, Terao Y: The Pneumococcal Protein SufC Binds to Host Plasminogen and Promotes Its Conversion into Plasmin. Microorganisms., 11(12):2969, 2023.
- 3) Akimori T, Yamazaki M, Abé T, Maruyama S, Tomihara K, Maeda T, Tanuma J: Searching for early detection markers of oral epithelial dysplasia and oral squamous cell carcinoma using oral liquid-based cytology. J Oral Maxillofac Surg. Med., Pathol., Available online 25 November 2023.
- 4) Kudo T, Kawasaki M, Kawasaki K, Meguro F, Nihara J, Honda I, Kitamura M, Fujita A, Osawa K, Ichikawa K, Nagai T, Ishida Y, Sharpe PT, Maeda T, Saito I, Ohazama A.: Ift88 regulates enamel formation via

- involving Shh signaling. *Oral Dis.*, 29(4):1622-1631, 2023.
- 5) Domon H, Hirayama S, Isono T, Sasagawa K, Takizawa F, Maekawa T, Yanagihara K, Terao Y: Macrolides Decrease the Proinflammatory Activity of Macrolide-Resistant *Streptococcus pneumoniae*. *Microbiol Spectr.*, 11(3):e0014823, 2023.
 - 6) Isono T, Hirayama S, Domon H, Maekawa T, Tamura H, Hiyoshi T, Sirisereephap K, Takenaka S, Noiri Y, Terao Y: Degradation of EGFR on lung epithelial cells by neutrophil elastase contributes to the aggravation of pneumococcal pneumonia. *J Biol Chem.*, 299(6):104760, 2023.
 - 7) Takizawa F, Domon H, Hiyoshi T, Tamura H, Shimizu K, Maekawa T, Tabeta K, Ushida A, Terao Y: Ozone ultrafine bubble water exhibits bactericidal activity against pathogenic bacteria in the oral cavity and upper airway and disinfects contaminated healthcare equipment. *PLoS One*, 18(4):e0284115, 2023.
 - 8) Hirayama S, Hiyoshi T, Yasui Y, Domon H, Terao Y.; C-terminal lysine residue of pneumococcal triosephosphate isomerase contributes to its binding to host plasminogen. *Microorganisms*, 11(5) 1198, 2023.
 - 9) Sato-Yamada Y, Strickland A, Sasaki Y, Bloom AJ, DiAntonio A, Milbrandt J: A SARM1/mitochondrial feedback loop drives neuropathogenesis in a Charcot-Marie-Tooth disease type 2A rat model. *J Clin Invest.*, 132(23): e161566, 2022.
 - 10) Dingwall CB, Strickland A, Yum SW, Yim A K-Y, Zhu J, Wang PL, Yamada Y, Schmidt RE, Sasaki Y, Bloom AJ, DiAntonio A, Milbrandt J: Macrophage depletion blocks congenital SARM1-dependent neuropathy. *J Clin Invest.*, 132(23): e159800, 2022.
 - 11) Tamura H, Maekawa T, Domon H, Sirisereephap K, Isono T, Hirayama S, Hiyoshi T, Sasagawa K, Takizawa F, Maeda T, Terao Y, Tabeta K.: Erythromycin Restores Osteoblast Differentiation and Osteogenesis Suppressed by *Porphyromonas gingivalis* Lipopolysaccharide. *Pharmaceuticals (Basel)*, 16(2):303, 2023.
 - 12) Zeng L, Herdman DS, Lee SM, Tao A, Das M, Bertin S, Eckmann L, Mahata SK, Wu P, Hara M, Byun JW, Devulapalli S, Patel HH, Molina AJA, Osborn O, Corr M, Raz E, Webster NJG. Loss of cAMP Signaling in CD11c Immune Cells Protects Against Diet-Induced Obesity. *Diabetes*, 72(9):1235-1250, 2023.
 - 13) Yamaguchi H, Li M, Kitami M, Swaminathan S, Mishina Y, Komatsu Y.: Enhanced BMP signaling in Cathepsin K-positive tendon progenitors induces heterotopic ossification. *Biochem Biophys Res Commun.* 688:149147, 2023.
 - 14) Asami E, Kitami M, Ida T, Kobayashi T, Saeki M.: Anti-inflammatory activity of 2-methoxy-4-vinylphenol involves inhibition of lipopolysaccharide-induced inducible nitric oxidase synthase by heme oxygenase-1. *Immunopharmacol Immunotoxicol.* 45(5):589-596, 2023.
 - 15) Kitami M, Kaku M, Thant L, Maeda T. A loss of primary cilia by a reduction in mTOR signaling correlates with age-related deteriorations in condylar cartilage. *Geroscience*. 2024 Mar 25. doi: 10.1007/s11357-024-01143-x. Online ahead of print.
 - 16) Kantaputra P, Leelaadisorn N, Hatsadaloi A, Quarto N, Intachai W, Tongsimma S, Kawasaki K, Ohazama A, Ngamphiw C, Wiriyaakijja P. A Mutation in CACNA1S Is Associated with Multiple Supernumerary Cusps and Root Maldevelopment. *Diagnostics (Basel)*. 13(5):895, 2023.
 - 17) Kantaputra P, Butali A, Eliason S, Chalkley C, Nakornchai S, Bongkochwilawan C, Kawasaki K, Kumchiang A, Ngamphiw C, Tongsimma S, Ketudat Cairns JR, Olsen B, Intachai W, Ohazama A, Tucker AS, Amendt BA. CACNA1S mutation-associated dental anomalies: A calcium channelopathy. *Oral Dis*. 2023 Feb 24. doi: 10.1111/odi.14551. Online ahead of print.

【その他】

- 1) 市川哲雄, 西村理行, 村上伸也, 塙 隆夫, 朝田芳信, 東みゆき, 石丸直澄, 岩田隆紀, 岩本勉, 古谷野潔, 佐々木啓一, 中村誠司, 馬場一美, 前田健康, 森山啓司, 山口朗, 山城 隆ほか: 歯学・口腔科学の分野の課題と展望 2023, 日本学術会議報告, 2023.
- 2) 市川哲雄, 西村理行, 村上伸也, 塙 隆夫, 朝田芳信, 東みゆき, 石丸直澄, 岩田隆紀, 岩本勉, 古谷野潔, 佐々木啓一, 中村誠司, 馬場一美, 前田健康, 森山啓司, 山口朗, 山城 隆ほか: コロナ禍における口腔に関連した諸問題とその対応, 日本学術会議報告, 2023.
- 3) 光石 衛, 丹下 健, 日比谷潤子, 山崎 典子, 前川 知樹, 大山 耕輔ほか: 未来の学術振興構想 (2023年版), 日本学術会議提言, 2023.
- 4) 岩崎 渉, 安田 仁奈, 小野 悠, 松中 学, 石川 麻乃, 前川 知樹, 入江 直樹ほか: 2040 年の科学・学術と社会を見据えていま取り組むべき 10 の課題, 日本学術会議見解,

2023.

- 5) 前川知樹：歯科医学の分野でトピックとなっている論文のレビュー，日本骨粗鬆症学会雑誌，2023年11月 Vol.9, No.4. 95-98

【科学研究費補助金等】

- 1) 前田健康（研究代表者）：ICTを活用した歯学生の評価手法確立のための研究．令和5年度厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業），229.7万（うち直接経費208.8万），課題番号23IA017
- 2) 前田健康（研究代表者）：新たに同定した線維芽細胞様細胞の末梢神経再生における役割．令和4年度（継続）日本学術振興会科学研究費助成事業（基盤(B)），507万円（うち直接経費390万），課題番号22H03287
- 3) 前田健康（研究分担者）：末梢神経損傷により途切れた神経回路の人工シナプスコネクタによる感覚再生への挑戦．令和4年度（継続）日本学術振興会科学研究費助成事業（挑戦的(萌芽)），（研究代表者：瀬尾憲司），169万円（うち直接経費130万，うち分担金5万），課題番号23K19615
- 4) 前田健康（研究分担者）：マクロファージの表現型に影響する細胞外基質ラミニンの機能解析．令和4年度（継続）日本学術振興会科学研究費助成事業（基盤(B)「一般」），（研究代表者：吉羽永子），442万円（うち直接経費340万，うち分担金50万），課題番号22H03259
- 5) 前田健康（研究分担者）：シグナル抑制機構から解明するシェワン細胞機能の調節メカニズム研究課題．令和4年度（継続）日本学術振興会科学研究費助成事業（基盤(C)「一般」），（研究代表者：佐藤由美子），104万円（うち直接経費80万，うち分担金25万），課題番号22K10116
- 6) 前田健康（研究分担者）：皮膚の付属器官発生における老化活性の機能解明．令和4年度（継続）日本学術振興会科学研究費助成事業（基盤(B)「一般」），（研究代表者：大峽 淳），455万円（うち直接経費350万，うち分担金5万），課題番号21H03122
- 7) 前川知樹（研究代表者）：口腔幹細胞ニッチに着目した口腔老化メカニズム解明．令和5年度（新規）日本学術振興会科学研究費助成事業（国際共同研究加速基金（海外連携研究）），650万円（うち直接経費500万），課題番号23KK0160
- 8) 前川知樹（研究代表者）：骨再生および骨粗鬆

症治療を目的とした DEL-1 誘導薬剤開発．令和5年度（新規）AMED-橋渡し研究プログラム・シーズ A，330万円（うち直接経費300万），課題番号 JP23ym0126801j

- 9) 前川知樹（研究代表者）：口腔幹細胞ニッチに着目した再生能力賦活化機構の解明．令和5年度（新規）持田記念医薬薬学振興財団研究助成，300万円．
- 10) 前川知樹（研究代表者）：DEL-1による口腔組織修復および再生機構の解明．令和4年度（継続）日本学術振興会科学研究費助成事業（基盤(B)），507万円（うち直接経費390万），課題番号22H03267
- 11) 前川知樹（研究代表者）：骨再生および骨粗鬆症治療を目的とした DEL-1 誘導薬剤開発．令和5年度（継続）日本学術振興会科学研究費助成事業（基盤(B)），507万円（うち直接経費390万），課題番号22H03267
- 12) 前川知樹（研究代表者）：DEL-1による口腔の組織修復と再生機構解明．令和4年度（継続）内藤記念科学振興財団 次世代育成支援研究助成金，600万円．
- 13) 前川知樹（研究分担者）：肺炎球菌性肺炎の統合的な検査/予防/治療に向けた開発研究．令和5年度（新規）日本学術振興会科学研究費助成事業（基盤(A)），（研究代表者：寺尾 豊），1,807万円（うち直接経費1,390万，うち分担金150万），課題番号23H00445
- 14) 前川知樹（研究分担者）：好中球老化マーカーの同定と抗加齢研究への挑戦．令和5年度（新規）日本学術振興会科学研究費助成事業（挑戦的(萌芽)），（研究代表者：土門久哲），325万円（うち直接経費250万，うち分担金10万），課題番号23K018355
- 15) 前川知樹（研究分担者）：マクロファージの表現型に影響する細胞外基質ラミニンの機能解析．令和4年度（継続）日本学術振興会科学研究費助成事業（基盤(B)「一般」），（研究代表者：吉羽永子），442万円（うち直接経費340万，うち分担金30万），課題番号22H03259
- 16) 前川知樹（研究分担者）：ナノバブル化ネオマクロライドを用いたワクチン副反応の予防薬の開発研究．令和4年度（継続）日本学術振興会科学研究費助成事業（挑戦的(萌芽)），（研究代表者：寺尾 豊），273万円（うち直接経費210万，うち分担金10万），課題番号22K19614
- 17) 佐藤友里恵（研究代表者）：Hedgehog シグナル制御による軸索伸長と感覚回復機構の関連の解

- 明. 令和 5 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (若手), 221 万円 (うち直接経費 170 万円), 課題番号 19K19225
- 18) 佐藤友里恵 (研究分担者) 新たに同定した線維芽細胞様細胞の末梢神経再生における役割. 令和 5 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(B)) (研究代表者: 前田健康), 507 万円 (うち直接経費 390 万), 課題番号 22H03287
- 19) 佐藤友里恵 (研究分担者) シグナル抑制機構から解明するシュワン細胞機能の調節メカニズム 令和 5 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(C)) (研究代表者: 佐藤由美子) 104 万円 (うち直接経費 80 万円) 課題番号 22K10116
- 20) 佐藤友里恵 (研究分担者) 新しい顔面神経麻痺治療への脱分化脂肪細胞由来 cell extract の応用. 令和 5 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(C)) (研究代表者: 岸本直隆) 156 万円 (うち直接経費 120 万円) 課題番号 19K10261
- 21) 川崎勝盛 (研究代表者): 上顎正中過剰歯の発生メカニズムの解明. 令和 4 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(C)), 91 万円 (うち直接経費 70 万円), 課題番号 21K10182
- 22) 石田陽子 (研究代表者): 下顎骨形成メカニズムの解明. 令和 4 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(C)), 104 万円 (うち直接経費 80 万), 課題番号 21K10088
- 23) 北見恩美 (研究代表者): 歯根膜恒常性維持メカニズムの理解にもとづく予知性の高い自家歯牙移植術の開発. 令和 5 年度 (新規) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤 (C)), 338 万円 (うち直接経費 260 万円), 課題番号 23K09293
- 24) Thant Lay: Characterization of ROCK inhibitor-treated extracellular vesicles and analysis of their effect on osteogenesis. 令和 4 年度 (新規) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (若手), 221 万円 (うち直接経費 170 万), 課題番号 22K17135

【講演・シンポジウム】

- 1) Maeda T: Introduction of Niigata University Faculty of Dentistry. Kathmandu University, Kathmandu, Nepal, 2023.2.3.
- 2) 前田健康: 科研費採択率向上に向けた新潟大学歯学部 of 取組, 徳島大学歯学部 FD, 徳島,

2023.2.17.

- 3) Maeda T: Morphological basis on dental innervation. Science Seminar, Universitas Hasanuddin, Makassar, Indonesia, 2023.3.15
- 4) Maeda T: Regeneration of pulpal and periodontal nerves. 12th International Scientific Meeting and 8th International conference on Biophysical Technology in Dentistry, Claro Hotel, Makassar, Indonesia, 2023.3.16.
- 5) 前川知樹: 歯周病の発症および進展の制御から骨再生への展開. シンポジウム「歯周病研究者が語る疾患病態～基礎研究の成果と将来展望～」. 第 66 回春季日本歯周病学会学術大会, 香川, 2023.5.25.
- 6) Maekawa T: Elucidation of Oral Aging Mechanisms and Development of Aging-Related Oral Disease Treatments Focusing on the DEL-1. 3rd international conference on Oral Mucosal Immunity and Microbiome, Greece, Sep 25-Oct 1st, 2023
- 7) 前川知樹: 口腔老化に伴う幹細胞ニッチの制御と骨再生への展開. 第 82 回日本矯正歯科学会サテライトセミナー 2, 新潟, 2023.11.1.

【国際学会発表】

- 1) Siresereephap K, Maekawa T, Tamura H, Surboyo M, Maeda T, Tabeta K.: The DEL-1-mediated Macrolides Impact on Bone Metabolism in a Ligature-Induced Periodontitis and Aging Mouse Model. The FDCU International Symposium 2023 (Bangkok, Thailand). 23 May 2023.
- 2) Surboyo M, Siresereephap K, Rosenkranz A, Maeda T, Maekawa T.: The DEL-1-mediated Macrolides Impact on Bone Metabolism in a Ligature-Induced Periodontitis and Aging Mouse Model. The FDCU International Symposium 2023 (Bangkok, Thailand). 23 May 2023.
- 3) Siresereephap K, Maekawa T, Tamura H, Surboyo M, Maeda T, Tabeta K. Macrolide-Mediated DEL-1 Expression Impacts Bone Metabolism in Ligature-Induced Periodontitis and Aged Mouse Models. The 3rd International Conference on Oral Mucosal Immunity and Microbiome. (Heraklion, Crete, Greece). 27 Sep – 1 Oct 2023.
- 4) Sawada E, Takeuchi K, Sato-Yamada Y, Terunuma M, Sasakura H, Morikawa Y, Maeda T, Seo K: Possible involvement of synthetic synapse organizer protein in the restoration of injured trigeminal nerve. Neuroscience 2023. Washington DC, USA,

2023.11.15.

【国内学会発表】

- 1) 平山 悟, 土門久哲, 日吉 巧, 磯野俊仁, 田村 光, 笹川花梨, 滝澤史雄, 寺尾 豊: 肺炎球菌トリオースリン酸イソメラーゼは宿主プラスミノーゲンに結合し活性化を促進する, 第 95 回日本細菌学会総会, Web 開催, 令和 4 年 3 月 29~31 日.
- 2) 土門久哲, 磯野俊仁, 日吉 巧, 田村 光, 笹川花梨, 前川知樹, 平山 悟, 柳原克紀, 寺尾 豊: 肺炎球菌ニューモリシンの発現に対するマクロライドの作用解析, 第 95 回日本細菌学会総会, Web 開催, 令和 4 年 3 月 29~31 日.
- 3) 齋藤 瑠郁, 土門 久哲, 日吉 巧, 寺尾 豊, 免疫調節作用を有するエリスロマイシン誘導体の検索, 第 66 回春季日本歯周病学会学術大会, 2023 年 5 月 26 日.
- 4) 安井 惟人, 平山 悟, 磯野 俊仁, 日吉 巧, 土門久哲, 寺尾 豊, 肺炎球菌タンパク SufC は宿主プラスミノーゲンと結合しプラスミンへの変換を促進する, 第 66 回春季日本歯周病学会学術大会, 2023 年 5 月 26 日.
- 5) 滝澤 史雄, 土門 久哲, 前川 知樹, 日吉 巧, 田村 光, 三好 智博, 吉田 明弘, 寺尾 豊, オゾンウルトラファインバブル水の口腔細菌に対する殺菌作用の解析, 第 66 回春季日本歯周病学会学術大会, 2023 年 5 月 26 日.
- 6) 保 莉 崇大, 野中 由香莉, 松川 由実, 佐藤圭祐, 原 実生, 竹内 麻衣, 高見澤 圭, 山崎恭子, 都野 隆博, 田村 光, 日吉 巧, 目黒 史也, 干川 絵美, 松岸 葵, 金子 千尋, 峯尾 修平, 山下 萌, 多部田 康一, 高齢者に対する歯肉剥離搔爬術の有効性についての後ろ向き研究, 第 66 回春季日本歯周病学会学術大会, 2023 年 5 月 26 日.
- 7) 湊 裕佳子, 野中 由香莉, 日吉 巧, 松岸 葵, ニン ユールウィン, 多部田 康一, 歯周病原細菌 LPS 由来炎症応答に対するアリルイソチオシアネートの抑制作用, 第 66 回春季日本歯周病学会学術大会, 2023 年 5 月 26 日.
- 8) 川崎 勝盛, 川崎 真依子, 大峽 淳: 耳小骨形成における Shh の時間的量的重要性の解明, 第 111 回日本解剖学会関東支部学術集会, 新潟, 2023 年 9 月 3 日
- 9) 平山 悟, 日吉 巧, 安井 惟人, 土門 久哲, 寺尾 豊, 肺炎球菌トリオースリン酸イソメラーゼの感染関連機能の解析, 第 65 回歯科基礎医学会学

術大会, 2023 年 9 月 17 日

- 10) サリ フィンサ, ヴァネッサ ウタマ, 川崎勝盛, 川崎真依子, 丹原 惇, 大澤知朗, 工藤武久, 北村 円, 前田健康, 大峽 淳: マイクロ RNA は顎顔面形成において老化シグナルを抑制している, 令和 5 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2023 年 11 月 4 日.
- 11) Surboy M, Siresereephap K, Rosenkranz A, Maeda T, Maekawa T.: Novel macrolide mitigate alveolar bone loss and enhance bone regeneration in periodontitis. 第 71 回国際歯科学研究学会(IADR)日本部会(JADR)学術大会, 仙台, 2023 年 11 月 25, 26 日.
- 12) 佐藤友里恵, 前川知樹, 前田健康: 軸索変性分子 SARM1 活性はシャルコー・マリー・トゥース病の病態を悪化させる, 第 129 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 那覇, 2024 年 3 月 21-23 日.

【研究会発表】

- 1) 川崎 勝盛: 表皮発生における一次繊毛と Reptin の関連性について, 第 13 回繊毛研究会, 東京, 2023 年 10 月 23 日

【受賞・その他】

- 1) 佐藤友里恵 令和 5 年度新潟大学優秀論文表彰
- 2) Siresereephap Kridtapat, Travel award, 3rd international conference on Oral Mucosal Immunity and Microbiome
- 3) Siresereephap Kridtapat, Best presentation award, 2023 FDCU in Thailand
- 4) Surboy M, Best presentation Award, 2023 FDCU in Thailand

【非常勤講師】

- 1) Maeda T: Adjunct Professor. Faculty of Dental Medicine, Universitas Airlangga, Indonesia.
- 2) 前田健康: 朝日大学歯学部客員教授.
- 3) 前田健康: 神奈川歯科大学歯学部客員教授.

【公的委員】

- 1) 前田健康: 令和 5 年度医学/歯学教育指導者のためのワークショップコーディネーター. 文部科学省.
- 2) 前田健康: 医道審議会歯科医師分科会共用試験部会委員.厚生労働省.
- 3) 前田健康: 科学技術政策研究所専門調査委員. 文部科学省科学技術政策研究所.

- 4) 前田健康：研究支援事業事前評価外部専門家，科学技術振興機構。
- 5) 前田健康：日本学術会議第 25 期連携会員（歯学委員会）（9 月まで）。
- 6) 前田健康：日本学術会議第 25 期連携会員（基礎系歯学分科会）（9 月まで）。
- 7) 前田健康：全国歯科大学学長歯学部長会議常置委員会委員（3 月まで）。
- 8) 前田健康：新潟警察歯科医会顧問（3 月まで）。
- 9) 前田健康：スチューデントデンティスト運営協議会座長（6 月まで）。
- 10) 前田健康：日本学術会議第 26 期連携会員（10 月から）。
- 11) 前川知樹：日本学術会議第 25 期連携会員（基礎系歯学分科会）。
- 12) 前川知樹：日本学術会議第 25 期連携会員（臨床系歯学分科会）。
- 13) 前川知樹：日本学術会議第 25 期連携会員（病態系歯学分科会）。
- 14) 前川知樹：日本学術会議第 25, 26 期連携会員（若手アカデミー）。
- 15) 前川知樹：日本学術会議第 25 期連携会員（科学者委員会 学術研究振興分科会）。
- 16) 前川知樹：日本学術会議第 26 期連携会員。

【Editorial Board】

- 1) Maeda T: Archives of Histology and Cytology
- 2) Maeda T: Anatomical Science International
- 3) Maeda T: Biomedical Research
- 4) Maeda T: Journal of Oral Tissue Engineering
- 5) Maeda T: Frontiers in Dental Medicine
- 6) Maeda T: Journal of Clinical Medicine
- 7) Maekawa T: Frontiers in Oral Health

【その他委員】

- 1) 前田健康：新潟歯学会（会頭）（3 月まで）
- 2) 前田健康：歯科衛生学シリーズ編集委員会委員
- 3) 前川知樹：日本骨代謝学会 評議員
- 4) 前川知樹：日本骨代謝学会 将来構想委員
- 5) 前川知樹：歯科基礎医学会 評議員

口腔生命福祉学科

【著 書】

- 1) 米澤大輔：歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学。一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会監修（植田耕一郎 他編），328-332 頁，医歯薬出版，東京，2023。

- 2) 中村健：組織的運営管理と PDCA サイクルの推進。季刊公的扶助研究 第 270 号(中村健 他),15-19 頁,萌文社,東京,2023。

【論 文】

- 1) Baldeon-Gutierrez R, Ohkura N, Yoshiba K, Yoshiba N, Tohma A, Takeuchi R, Belal RS, Edanami N, Takahara S, Gomez-Kasimoto S, Ida T, Noiri Y: Wound-healing Processes After Pulpotomy in the Pulp Tissue of Type 1 Diabetes Mellitus Model Rats. J Endod. 50(2):196-204, 2024.
- 2) Edanami N, Takenaka S, Ibn Belal RS, Yoshiba K, Takahara S, Yoshiba N, Ohkura N, Noiri Y: In Vivo Assessment of the Apatite-Forming Ability of New-Generation Hydraulic Calcium Silicate Cements Using a Rat Subcutaneous Implantation Model. J Funct Biomater. 2023 Apr 11;14(4):213. doi: 10.3390/jfb14040213.
- 3) Ohkura N, Yoshiba K, Yoshiba N, Oda Y, Edanami N, Ohshima H, Takenaka S, Okiji T, Noiri Y: Prostaglandin E2-Transporting pathway and its roles via EP2/EP4 in cultured human dental pulp. J Endod. 49(4):410-418, 2023.
- 4) Sirisereephap K, Tamura H, Lim J-H, Surboy MD, Isono T, Hiyoshi T, Rosenkranz AL, Sato-Yamada Y, Domon H, Ikeda A, Hirose T, Sunazuka T, Yoshiba N, Okada H, Terao Y, Maeda T, Tabeta K, Chavakis T, Hajishengallis G, Maekawa T: A novel macrolide-Del-1 axis to regenerate bone in old age. iScience: 108798, 2024.
- 5) Kiswanjaya B, Bachtiar-Iskandar HH, Yoshihara A: Correlations of the Osteoporosis Self-Assessment Tool for Asians (OSTA) and Three Panoramic Indices Using Quantitative Ultrasound (QUS) Bone Densitometry. Dent J, 11(2): 34, 2023.
- 6) Iwasaki M, Yoshihara A, Zaitu T, Ihira H, Sawada N, Aida J: A cross-sectional study of the association between periodontitis and physical activity in the Japanese population. J Periodontal Res, 58(2): 350-359, 2023.
- 7) Miyamoto A, Minagawa K, Nohno K, Kaneko N, Ichikawa Y, Hoshino T, Ito H, Yoshihara A: Prevalence and Cause of Enamel Hypoplasia in Primary Teeth among 1-year-old Japanese Children. Open Dent J, 17, e187421062303021, 2023.
- 8) Ayu S, Koichiro M, Sekimoto Y, Hidaka R, Yoshihara A: Changes in oral health status with dental intervention during the acute to subacute stages of stroke.

- Gerodontology, in press.
- 9) Hoshino T, Kaneko N, Yoshihara A, Iwasaki M, Suwama K, Ito Y, Tanaka J, Narita I, Ogawa H: Associations between Plasma Antibody Levels against Porphyromonas gingivalis and Atrial Fibrillation among Community-Dwelling Older Individuals in Japan: A Cross-Sectional Study. Oral Health Prev Dent, 27;21(1): 339-346, 2023.
 - 10) NCD Risk Factor Collaboration: Global variations in diabetes mellitus based on fasting glucose and haemoglobin A1c. Nature Medicine, 1038/s41591-023-02610-2, 2023.
 - 11) NCD Risk Factor Collaboration: Diminishing benefits of urban living for children and adolescents' growth and development. Nature 615, 874-883, 2023.
 - 12) Takashima M, Arai Y, Matsuzaki N, Yamazaki Y, Nishiyama H, Nohno K: Masseter muscle crosssectional area and late implant failure: A case-control study. Clin Implant Dent Relat Res. 25(2):313-320, 2023.
 - 13) Ito K, Izumi N, Funayama S, Nohno K, Katsura K, Kaneko N, Inoue M: Characteristics of medication-induced xerostomia and effect of treatment PLoS One. 18(1):e0280224, 2023.
 - 14) Thwin KM, Kaneko N, Okubo H, Yamaga T, Suwama K, Yoshihara A, Iwasaki M, Ito Y, Tanaka J, Narita I: Association between dry eye and periodontal disease in community-dwelling Japanese adults: data from the Uonoma cohort study. BMC Oral Health. 24(1): 339-346, 2024.
 - 15) 吉羽邦彦：ケイ酸カルシウム系セメントの生体機能性と歯髄創傷治癒。日本歯科保存学雑誌 67(1): 1-9, 2024.
 - 16) 増澤美有, 葭原明弘, 山賀孝之：70 歳地域在住高齢者の口腔保健に関する信念および行動と歯数との関連。口腔衛生会誌, 73: 112-121, 2023.
 - 17) 諏訪間加奈, 岩崎正則, 伊藤由美, 葭原明弘：アルコール摂取状況と歯の喪失との関連についての研究：魚沼コホート研究ベースライン調査。口腔衛生会誌, 73: 177-184, 2023.
 - 18) 筒井紀子, 諏訪間加奈, 柴田佐都子, 長谷川優, 葭原明弘：歯科診療所通院患者における不安の要因に関する研究－Modified Dental Anxiety Scale 日本語版 (MDAS-J) を用いた分析－。新潟歯学会誌, 53(2) 5-11, 2023.
 - 19) 齋藤夕子, 黒川 亮, 永井孝宏, 上野山敦士, 池田順行, 児玉泰光, 濃野 要, 富原 圭：当科における過去 10 年間の入院加療を要した顎口腔領域の感染性疾患症例の臨床的検討。有病者歯科医療。32(2): 66-71, 2023.
 - 20) 吉田歩未, 中村由紀, 大島邦子, 中島 努, 笹川祐輝, 濃野 要, 早崎治明：定期的歯科介入が行われている施設利用知的障害者の支援必要度と口腔保健支援状況との関連性。口腔衛生学会雑誌。73(4): 260-269, 2023.
 - 21) 濃野 要, 永島和裕：【思春期における歯科口腔保健の重要性】思春期における口臭の問題(解説)。思春期学。41(2): 280-285, 2023.
 - 22) 中村健：生活困窮者支援の現場から見た外部委託。貧困研究 30：54-64, 2023.
 - 23) 鈴鹿 祐子, 大川 由一, 諏訪間 加奈, 黒川 孝一, 葭原 明弘：歯科衛生士養成校学生の臨床実習におけるストレス反応の実態と関連要因。日本歯科衛生学会雑誌。18(2)：26-37, 2024
- 【科研費・研究費獲得】**
- 1) 吉羽邦彦, 吉羽永子, 枝並直樹, 細矢明宏, 入江一元：歯髄の創傷治癒・再生過程における Gli1 陽性幹細胞の動態と分化誘導機構の解明。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) 21K09914, 2023.
 - 2) 吉羽永子, 吉羽邦彦, 前田健康, 前川知樹：マクロファージの表現型に影響する細胞外基質ラミニンの機能解析。科学研究費助成事業(科学研究費補助金) 基盤研究 (B) 22H03259, 2023.
 - 3) 細矢明宏, 吉羽邦彦, 荒川俊成, 建部廣明, 溝口利英：株歯根膜幹細胞の樹立と骨芽細胞分化メカニズムの解明。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) 22K10019, 2023.
 - 4) 大倉直人, 吉羽永子, 吉羽邦彦, 柿原嘉人, 大島勇人：アスコルビン酸輸送担体を介した象牙芽細胞分化を促進させる歯髄再生メカニズムの解明。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) 19K10147, 2023.
 - 5) 佐藤幸平, 細矢明宏, 建部廣明, 伊藤修一, 吉羽邦彦：ビタミン D 受容体応答性象牙芽細胞分化機構の解明。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) 23K09185, 2023.
 - 6) Stegaroiu Roxana, 荒井良明, 黒川孝一, 田中茂雄：骨梁三次元有限要素モデルの応力からインプラント過重負担と辺縁骨吸収との関連を探索, 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 20K10031, 2023.
 - 7) 柴田 佐都子, Stegaroiu Roxana, 池田 吉史, 大内章嗣：知的障害者の口腔保健行動を支援する包括的

アセスメントツールの開発, 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 22K10288, 2023.

- 8) 葭原明弘 (代表): 口腔および口蓋扁桃マイクロバイオームが慢性腎臓病に及ぼす包括的メカニズムの解明, 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 22K10337, 2023.
- 9) 小坂健, 葭原明弘 (分担): 成人期における口腔の健康と全身の健康の関係性の解明のための研究令和3年度厚生労働科学研究費補助金, 21FA1013.
- 10) 成田一衛, 葭原明弘 (分担): 腎性老化現象における粘膜免疫の役割, 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤 (B), 19H03674H, 2023.
- 11) 新美奏恵, 葭原明弘 (分担): がん薬物療法を受ける患者の口腔環境, 口腔細菌叢と QOL の関連性の解明 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 2023 年
- 12) 小野和宏 (代表), 井上誠, 真柄仁, 伊藤加代子: 生体と食品へのアプローチによる新たな咀嚼嚥下機能の理解. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (一般), 22K10073, 2022-2024.
- 13) 松下佳代, 小野和宏 (分担), 斎藤有吾, 伊藤通子, 平山朋子, 丹原惇: コンピテンシーの形成・評価の検討ー統合性・分野固有性・エージェンシーに着目してー. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (B), 22H00965, 2022-2025.
- 14) 大湊麗, 小野和宏 (分担), 佐藤真由美: 二段階口蓋形成手術法における硬口蓋閉鎖時期の検討ー鼻腔共鳴の定量評価の確率ー. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (一般), 23K10517, 2023-2027.
- 15) 米澤大輔 (代表): 医療人材不足のへき地における少人数で実践可能な地域包括ケアシステムモデルの構築, 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 23K01871, 2023.
- 16) 濃野要 (代表): 超高齢期における口腔機能低下を栄養摂取と身体的フレイルから考える. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 22K10287, 2023.
- 17) 小川祐司, 濃野要 (分担): 糖尿病の心筋梗塞リスクに対する抗菌の歯周治療の有用性に関するランダム化比較試験. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09478, 2023
- 18) 金子昇, 濃野要 (分担): 口腔細菌叢のメタゲノム解析によるドライマウスの病態解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 22K10338, 2023
- 19) 伊藤加代子, 濃野要 (分担): エクオールは口腔乾燥症, 味覚障害, 舌痛症の新たな治療法となりうる

か? . 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 22K10310, 2023.

- 20) 葭原明弘: 新潟県 (受託研究障害児者歯科保健医療実態調査の集計・分析 新潟県 2023 年
- 21) 葭原明弘: 新潟県 (受託研究要介護者歯科保健医療実態調査の集計・分析 新潟県 2023 年
- 22) 葭原明弘: 新潟市 (受託研究歯周病の見えるか事業の集計・分析 新潟市 2023 年
- 23) 小田島あゆ子: 高齢者における頭頸部の機能維持による平衡機能低下の抑制効果. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 19K19327, 2019-2023.
- 24) 小田島あゆ子: 独居高齢者における栄養摂取状況および口腔健康状態の実態調査. 令和5年度新潟市医師会地域医療研究助成, GC04320232, 2023.
- 25) 諏訪間加奈: 大規模前向き調査によるアルコール摂取と歯科疾患・口腔健康状態との関連の解明. 日本学術振興会科学研究費助成事業, 若手研究, 22K17286, 2023.
- 26) 小澤薫, 中村健, 小池由佳: 低所得世帯の子どもに対する子育て支援環境の整備に関する実証的研究. 基盤研究 (C), 21K01976, 2023
- 27) 中村健, 米澤大輔, 小澤薫: 生活保護利用をためらわない政策モデルの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 22K01973, 2023.
- 28) 28) 松本明日香: 実行機能評価を活用した知的障害者の歯磨き改善支援の試み. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 22K17287, 2022-2024.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Stegaroiu Roxana: Implant overload and bone resorption: clinical reasoning based on biomechanical analyses. The 11th Edition of the Carol Davila University of Medicine and Pharmacy Congress, Bucharest (Romania), October 27, 2023.
- 2) 濃野 要: 「フッ化物洗口マニュアル (2022 年版)」の紹介と解説. 第 72 回口腔衛生学会学術大会, 大阪府大阪市, 2023 年 5 月 19 日.
- 3) 濃野 要: 弥彦村大人のむし歯調査の意義と限界. 第 72 回口腔衛生学会学術大会, 大阪府大阪市, 2023 年 5 月 19 日.

【学会発表】

- 1) Gomez-Kashimoto S, Ohkura N, Yoshida K, Yoshida N, Baldeon-Gutierrez R, Edanami N, Takahara S, Ida T, Takenaka S, Noiri Y. Impact of glutamine-transporter during wound-healing in rat pulpotomized model. The 71st Annual Meeting of JADR. November 25-26, 2023, Sendai.

- 2) Baldeon-Gutierrez R, Ohkura N, Yoshiba K, Yoshiba N, Edanami N, Takahara S, Gomez-Kashimoto S, Ida T, Takenaka S, Noiri Y. Wound-healing mechanism after pulpotomy in Type 1 and 2 Diabetes-mellitus-rats. The 71st Annual Meeting of JADR. November 25-26, 2023, Sendai.
- 3) Han L, Sugita N, Yoshihara A, Kobayashi T, Yoshie H, Tabeta K: UCP2 polymorphisms, teeth number and daily step count associated with mortality in Sado City, 第 66 回春期日本歯周病学会学術大会, 香川県, 2023 年 5 月 25-27 日.
- 4) Han L, Sugita N, Yoshihara A, Kobayashi T, Yoshie H, Tabeta K: The associations between teeth number and daily step count with mortality through energy metabolism regulator gene UCP2 in Sado City. 令和 5 年度新潟歯学会例会. 新潟市, 2023 年 7 月 9 日.
- 5) Yoshimoto T, Hasegawa Y, Furihata M, Yoshihara A, Nohno K, Kaneko N, Nose H, Masuki S, Ono T: Effects of interval walking training on oral function: A case-control study. IAGG-AOR 2023, 横浜市, 2023 年 6 月 12-14 日.
- 6) Hoshino T, Kaneko N, Yoshihara A, Iwasaki M, Suwama K, Ito Y, Tanaka J, Ichiei Narita, Hiroshi Ogawa: Antibody Levels against Porphyromonas gingivalis and Isolated Systolic Hypertension in Japanese Older Adults, 15th International Conference of the Asian Academy of Preventive Dentistry, Hong Kong, 2023/11/8-11
- 7) Stegaroiu R, Kurokawa K, Arai Y, Yamazaki Y, Tanaka S: Analysis of Principal Strains in Peri-implant Bone Under Occlusal Loads. 第 71 回国際歯科学研究学会日本部会 (JADR) 学術大会, 仙台, 2023 年 11 月 25-26 日. The 71st Annual Meeting of the Japanese Association for Dental Research Program and Abstracts of Papers: "Explore the Radiant Future of Dental Research", p. 92, 2023.
- 8) Ogawa Y, Shibata S, Ishiguro-Matsumoto A, Ikeda Y, Stegaroiu R, Nohno K, Ohuchi A: Oral Hygiene Intervention Using Picture Cards to Strengthen Executive Function of People with Intellectual Disabilities. The 15th International Conference of the Asian Academy of Preventive Dentistry, Hong Kong SAR, 2023.11.9.
- 9) Fania C, Takehara S, Nohno K, Ogawa H: Periodontal Condition and Liver Serum Marker Levels Among Japanese Population Older Adults. 15th International Conference of the Asian Academy of Preventive Dentistry. Hong Kong, 2023 年 11 月 10 日.
- 10) 高原信太郎, 大倉直人, 吉羽永子, 竹中彰治, 枝並直樹, 吉羽邦彦, 野村由一郎: 再生歯内療法後の治癒過程初期における各種間葉系幹細胞マーカー陽性細胞の局在性. 日本歯科保存学会 2023 年秋季学術大会 (第 159 回). 2023 年 11 月 11-12 日, 浜松市.
- 11) 大倉直人, 吉羽永子, 高原信太郎, Rosa Edith Baldeon-Gutierrez, Susan Gomez-Kashimoto, 井田貴子, 枝並直樹, 竹中彰治, 吉羽邦彦, 野村由一郎: 歯根形成時における Tissue nonspecific alkaline phosphatase の機能解析. 日本歯科保存学会 2023 年秋季学術大会 (第 159 回). 2023 年 11 月 11-12 日, 浜松市.
- 12) 高原信太郎, 大倉直人, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 竹中彰治, 枝並直樹, 庭野和明, 野村由一郎: 歯髄再生療法モデルラットを用いた歯根成長段階による治癒形態の比較解析. 日本歯科保存学会 2023 年春季学術大会 (第 158 回). 2023 年 6 月 22-23 日, 松江市.
- 13) 石山茉佑佳, 濃野要, 伊藤加代子, 船山さおり, 米澤大輔, 小川祐司, 葭原明弘: 地域在住超高齢期における舌圧と低栄養リスクの関連, 令和 5 年度新潟歯学会例会. 新潟市, 2023 年 7 月 9 日.
- 14) 小川友理奈, 柴田佐都子, 松本明日香, 池田吉史, ステガロユロクサーナ, 濃野要, 大内章嗣: 障害者福祉施設通所知的障害者の実行機能の計画的遂行を支援する恵カードを用いた歯磨き指導の効果, 令和 5 年度新潟歯学会例会. 新潟市, 2023 年 7 月 9 日.
- 15) 宮本茜, 葭原明弘, 藤井規孝: 日本人の 1 歳児におけるエナメル質形成不全の頻度とその原因について, 令和 5 年度新潟歯学会例会. 新潟市, 2023 年 7 月 9 日.
- 16) 島村陽南子, 小田島あゆ子, 笹嶋真嵩, 江邊真奈美, 葭原明弘: 成人期における歯科保健行動の実態と関連する要因について, 甲信越北陸口腔保健研究会, 第 34 回総会・学術大会, 富山市, 2023 年 11 月 18 日.
- 17) 赤平愛華, 諏訪間加奈, 宮本茜, 田村浩平, 笹嶋真嵩, 葭原明弘: 新潟県の障害者施設における施設形態ごとの歯科保健の実態, 甲信越北陸口腔保健研究会, 第 34 回総会・学術大会, 富山市, 2023 年 11 月 18 日.
- 18) Stegaroiu Roxana, 黒川孝一, 荒井良明, 山崎裕太, 田中茂雄: デジタル技術を応用したインプラント症

例の咬合負荷解析用3次元有限要素モデルの構築.
令和5年度 公益社団法人 日本補綴歯科学会 関越
支部学術大会. 新潟市, 2023年11月5日. 日本補
綴歯科学会雑誌 15 巻関越支部学術大会特別号令和
5年11月: 16頁、2023.

- 19) 大湊麗, 小野和宏, 児玉泰光, 結城龍太郎, 永井孝
宏, 小林亮太, 市川佳弥, 丹原惇, 佐藤真由美, 濃
野要, 飯田明彦, 若槻華子, 宮田昌幸, 小林正治,
齋藤功, 高木律男, 富原圭: 二段階口蓋形成手術法
における軟口蓋形成術後の後方裂幅と乳歯列期咬
合関係の関連. 第47回日本口蓋裂学会総会・学術
集会, 東京(一橋講堂), 2023年5月25-26日.
- 20) 石山茉佑佳, 伊藤加代子, 船山さおり, 小川祐司,
濃野 要: 地域在住超高齢者における舌圧と栄養状
態の関連. 第72回口腔衛生学会学術大会, 大阪府
大阪市, 2023年5月19日.
- 21) 田中梓, 皆川久美子, 濃野 要, 竹原祥子, 小川祐
司: 2型糖尿病患者における脳梗塞危険因子に対す
る歯周治療の効果. 令和5年度歯学会第二回例会,
新潟市 2023年11月4日.
- 22) 永島和裕, 高 昇将, 濃野 要, 小川祐司: シクロ
デキストリンと活性炭によるアセトン濃度の減少.
第34回甲信越北陸口腔保健研究会, 富山県富山市,
2023年11月18日.
- 23) 伊藤加代子, 船山さおり, 濃野 要, 金子 昇, 井
上 誠: 口腔乾燥症の臨床統計および自覚症状改善
に関する因子探索. 日本老年歯科医学会第34回学
術大会, 神奈川県横浜, 2023年6月16日.
- 24) 小川友里奈, 柴田佐都子, 松本明日香, 池田吉史,
ステガロユロクサーナ, 濃野 要, 大内章嗣: 施設
通所知的障害者の歯磨きの計画的遂行を支援する
絵カードによる指導効果. 日本歯科衛生学会第17
回学術大会, 静岡県, 2023年9月16-18日.
- 25) 小林 彩加, 米澤 大輔, 小川 祐司, 濃野 要: 地域
在住高齢者における歯周疾患の進行に対する TNF
 α 遺伝子多型と唾液量減少の関連, 口腔衛生学会
雑誌 73(増刊) 185頁, 大阪府, 2023年5月19-21日.

【その他】

- 1) Stegaroiu Roxana: Research in Biomechanics applied to
Prosthodontics, 新潟大学歯学部(SS短期留学生向け
講義), 2023年9月4日.
- 2) Stegaroiu Roxana: Dental Hygiene Education at the
Department of Oral Health and Welfare: Training Dental
Hygienists as Valuable Work Partners of Dentists, 新潟

大学歯学部(SS短期留学生向け講義), 2024年3月
14日.

- 3) 濃野要: 研修会講師, 令和5年度歯科保健事業従事
者研修会, 新潟市保健所主催, 新潟市, 2023.
- 4) 濃野要: 研修会講師, 令和5年度上越市歯科医師会
地域保健研修会, 上越市歯科医師会主催, 上越市,
2023.
- 5) 中村健: 令和5年度生活保護就労支援員全国研修
会, 厚生労働省, 2023.
- 6) 中村健: 厚生労働省令和5年度社会福祉推進事業
「福祉事務所における新たな支援に係るケースワ
ーカーと関係機関との効果的な連携方策のあり方
に向けた調査研究事業」委員, PwC コンサルティ
ング合同会社, 2023-2024.
- 7) 中村健: 生活保護世帯の子育て世帯への訪問型事業
等に関する調査・研究等一式審査, 厚生労働省, 2023.
- 8) 中村健: 生活保護就労支援員全国研修・広報啓発一
式審査, 厚生労働省, 2023.
- 9) 中村健: 救護施設等における個別支援計画策定に係
る広報啓発一式審査, 厚生労働省, 2023.
- 10) 中村健: 江戸川区生活保護業務不適切事案の検証及
び再発防止対策検討委員会, 江戸川区, 2023-2024.
- 11) 中村健: 新潟県子どもの貧困対策推進検討委員会,
新潟県, 2024.
- 12) 中村健: 新潟県ヤングケアラー支援検討会議, 新潟
県, 2024.
- 13) 中村健: 新潟市障がい者デイサポートセンター指定
管理者選定委員会, 新潟市, 2023.
- 14) 中村健: 新潟市老人憩の家なごさ荘指定管理者申請
者評価会議, 新潟市, 2023.
- 15) 中村健: 新潟市教育委員会学校教育課サポートチ
ームスーパーバイザー, 新潟市, 2023-2024.
- 16) 中村健: 新潟市若者自立支援のための関係機関・
団体情報交換会, 新潟市社会福祉協議会, 2023.
- 17) 中村健: 新潟で一番よくわかるケースワーカー講座,
新潟県, 2023.
- 18) 中村健: 新潟で一番よくわかる査察指導の話, 新潟
県, 2023.
- 19) 中村健: 令和5年度新潟県における居住支援に係る
勉強会, 新潟県, 2024.
- 20) 中村健: ソーシャルワーカーデイにいがた 2023,
公益社団法人新潟県社会福祉士会, 2023.
- 21) 中村健: 千葉県新任ケースワーカー研修会よくわか
るケースワーク講座, 千葉県社会福祉協議会, 2023.
- 22) 中村健: 千葉県ケースワーカー研修会よくわかるケ
ースワーク講座, 千葉県社会福祉協議会, 2023.
- 23) 中村健, 令和5年度日常生活自立支援事業専門員・
福祉事務所職員研修会, 新潟県社会福祉協議会,

2024.

- 24) 中村健：新潟市市民後見人養成研修，新潟市社会福祉協議会，2023.
- 25) 中村健：令和5年度関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会，関東ブロック民生委員児童委員連合協議会，2023.
- 26) 中村健：令和5年度生活援護部会研修会，新潟市民生委員児童委員協議会連合会，2023.
- 27) 中村健：令和5年度第2回黒埼地域ケア会議，新潟市地域包括支援センター黒埼，新潟，2023.
- 28) 中村健：ひきこもり支援講習会，柏崎市，2024.
- 29) 中村健：関川村ひきこもりフォーラム，関川村，2024.
- 30) 中村健：新潟県医療ソーシャルワーカー協会令和5年度公開講座，新潟県医療ソーシャルワーカー協会，2024.
- 31) 中村健：生活保護 ゆらぐ生存権 続く訴訟，新潟日報 風の案内人，2023年6月5日
- 32) 中村健：居住支援 県の相談体制縮小，新潟日報，2023年8月17日
- 33) 中村健：孤立防止住民全体で 他地域への広がり期待，新潟日報，2023年8月28日
- 34) 中村健：ウェルビーイング 福祉は人を幸せにする，新潟日報 風の案内人，2023年12月6日
- 35) 中村健：「住まい」支えて 市町村の動きを注視，新潟日報，2024年3月22日

【受賞】

- 1) Yurina Ogawa: Oral Hygiene Intervention Using Picture Cards to Strengthen Executive Function of People with Intellectual Disabilities. The 15th International Conference of the Asian Academy of Preventive Dentistry Best Country-Research Award, 2023.11.9.
- 2) 小田島あゆ子：地域在住高齢者を対象とした口腔機能訓練が与える頸部可動域の改善効果，第72回日本口腔衛生学会 2023年度論文奨励賞.
- 3) 柴田佐都子：新潟県の通所型障害者福祉施設における歯科との連携状況ー連携状況および従事者の連携必要性認識との関連因子ー，日本歯科衛生学会 学術論文優秀賞・サンスター財団賞，2023年9月17日.

歯科臨床教育学/歯科総合診療科

【著書】

- 1) 岡本 圭一郎，長谷川 真奈：口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック 第3版. 第2部 7.ストレスと痛み

第4部 6.運動療法-4)全身運動と痛み. 75-8, 177-8頁，医歯薬出版，東京，2023.

【論文】

- 1) Piriyaprasath K, Kakihara Y, Kurahashi A, Taiyoji M, Kodaira K, Aihara K, Hasegawa M, Yamamura K, Okamoto K: Preventive Roles of Rice-koji Extracts and Ergothioneine on Anxiety- and Pain-like Responses under Psychophysical Stress Conditions in Male Mice. *Nutrients* 15(18): Doi: 10.3390/nu15183989, 2023.
- 2) Piriyaprasath K, Hasegawa M, Kakihara Y, Iwamoto Y, Kamimura R, Saito I, Fujii N, Yamamura K, Okamoto K: Effects of stress contagion on anxiogenic- and orofacial inflammatory pain-like behaviors with brain activation in mice. *Eur J Oral Sci* : e12942, Doi: 10.1111/eos.12942, 2023.
- 3) 長澤 伶，佐藤 拓実，中村 太，長谷川 真奈，都野 さやか，野村 みずき，宮本 茜，田島 稜子，藤井 規孝：研修歯科医と指導歯科医の上顎右側中切歯に対するミラーテクニックを用いた切削技能の比較. *日本総合歯科学会雑誌* 15: 14-23, 2023.
- 4) 岩本 佑耶，佐藤 拓実，長谷川 真奈，中村 太，都野 さやか，藤井 規孝：分割抜去された上顎右側第一大臼歯の根面板に義歯の安定性を求めた一症例. *日本総合歯科学会雑誌* 15: 37-43, 2023.
- 5) 長谷川 真奈，中村 太，佐藤 拓実，都野 さやか，野村 みずき，長澤 伶，藤井 規孝：基礎と臨床の融合科目「早期臨床実習Ⅱ」の教育効果に関する検証. *日本歯科医学教育学会雑誌* 39(1): 17-24, 2023.

【研究費獲得】

- 1) 中村 太：モーションキャプチャ・システムを用いた歯科臨床教育の検討. *日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究*, 23K16219, 2023.
- 2) 藤井 規孝：“視野の共有＝プロの目の借用”が歯科治療技術向上に与える影響の解明. *日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)*, 22K02281, 2022.
- 3) 長谷川 真奈：運動療法が顎顔面部のストレス誘発痛を改善する脳神経メカニズムの解明. *日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究*, 21K17133, 2021.
- 4) 佐藤 拓実：歯科治療における invisible technical tips の科学的分析. *日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究*, 21K13639, 2021.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 藤井 規孝：歯学系 PX の現状と今後について. 第42回日本歯科医学教育学会学術大会，Web 開催，

2023 年 7 月 16 日.

【学会発表】

- 1) 岩本 佑耶, Kajita Piriyaarasath, 長谷川 真奈, 柿原 嘉人, 藤井 規孝, 山村 健介, 岡本 圭一郎: 雄マウスの咬筋持続的炎症モデルにおける不安および後肢痛様反応に対するアグマチンの予防的役割. 第 101 回日本生理学会大会, 小倉, 2024 年 3 月 28-30 日.
- 2) Kajita Piriyaarasath, Yuya Iwamoto, Mana hasegawa, Yoshihito Kakihara, Noritaka Fujii, Kensuke Yamamura, Keiichiro Okamoto: Effects of Rice-koji extraxts and ergothioneine on anxiety- and pain-like responses under psychophysical stress conditions in mice. 第 101 回日本生理学会大会, 小倉, 2024 年 3 月 28-30 日.
- 3) 長谷川 真奈, 岡本 圭一郎: ストレス伝染による咬筋侵害応答の増大と下行性疼痛制御系の変調について. 第 28 回日本口腔顔面痛学会総会・学術大会, 筑紫野, 2023 年 11 月 17-19 日.
- 4) 奥村 暢旦, 佐藤 拓実, 中村 太, 長谷川 真奈, 都野 さやか, 藤井 規孝: 開業歯科医院における臨床推論の有効性. 第 16 回日本総合歯科学会学術大会, 東京, 2023 年 10 月 28 日.
- 5) 岩本 佑耶, 長谷川 真奈, 佐藤 拓実, 中村 太, 都野 さやか, 宮本 茜, 野村 みずき, 田島 稜子, 長澤 伶, 藤井 規孝: 研修歯科医師に実施した技工研修と診療に関するアンケート調査. 第 16 回日本総合歯科学会学術大会, 東京, 2023 年 10 月 28 日.
- 6) 野村 みずき, 宮本 茜, 田島 稜子, 長谷川 真奈, 佐藤 拓実, 中村 太, 都野 さやか, 長澤 伶, 岩本 佑耶, 藤井 規孝: 器械結びにおける術者視点動画の教育効果に関する検討. 第 16 回日本総合歯科学会学術大会, 東京, 2023 年 10 月 28 日.
- 7) 小林 航大, 佐藤 拓実, 長谷川 真奈, 中村 太, 都野 さやか, 藤井 規孝: 治療用義歯を用いて適正な下顎位模索を経て全顎的な歯冠補綴を行った一症例. 第 16 回日本総合歯科学会学術大会, 東京, 2023 年 10 月 28 日.
- 8) 佐藤 宏樹, 中村 太, 長谷川 真奈, 佐藤 拓実, 都野 さやか, 藤井 規孝: 義歯による咬合挙上を行い歯冠修復に必要なクリアランスを確保した一症例. 第 16 回日本総合歯科学会学術大会, 東京, 2023 年 10 月 28 日.
- 9) 高橋 士穂, 都野 さやか, 宮本 茜, 長谷川 真奈, 中村 太, 佐藤 拓実, 藤井 規孝: 歯科治療恐怖症を有する患者への治療計画立案の経験. 第 16 回日本総合歯科学会学術大会, 東京, 2023 年 10 月 28 日.
- 10) 高橋 侑里, 長谷川 真奈, 中村 太, 佐藤 拓実, 都

野 さやか, 藤井 規孝: 根分岐部病変に対して歯肉剥離搔把術 (FOP) と人工骨移植術を併用し, 疼痛の改善を図った症例. 第 16 回日本総合歯科学会学術大会, 東京, 2023 年 10 月 28 日.

- 11) 佐藤 耕作, 今村 孝, 佐藤 拓実, 長澤 伶, 藤井 規孝: 3 次元動作計測と主観調査による歯科切削動作の基礎計測と分析. 第 66 回自動制御連合講演会, 宮城, 2023 年 10 月 8 日.
- 12) Kajita Piriyaarasath, 長谷川 真奈, 柿原 嘉人, 藤井 規孝, 山村 健介, 岡本 圭一郎: ストレス伝染は吻側延髄腹側部を変調させる. 第 65 回歯科基礎医学学会学術大会, 東京, 2023 年 9 月 16-18 日.
- 13) 佐藤 拓実, 長澤 伶, 中村 太, 長谷川 真奈, 都野 さやか, 野村 みずき, 藤井 規孝: デンタルミラーの位置がミラーテクニックを用いた切削技能に与える影響の検討. 第 42 回日本歯科医学教育学会学術大会, Web 開催, 2023 年 7 月 15-16 日.
- 14) 長澤 伶, 佐藤 拓実, 中村 太, 長谷川 真奈, 都野 さやか, 野村 みずき, 藤井 規孝: フィンガーレストの位置がミラーテクニックを用いた切削技能に与える影響の検討. 第 42 回日本歯科医学教育学会学術大会, Web 開催, 2023 年 7 月 15-16 日.
- 15) 宮本 茜, 葭原 明弘, 藤井 規孝: 日本人の 1 歳児におけるエナメル質形成不全の頻度とその原因について. 新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2023 年 7 月 8 日.

【受賞】

- 1) 野村 みずき, 宮本 茜, 田島 稜子, 長谷川 真奈, 佐藤 拓実, 中村 太, 都野 さやか, 長澤 伶, 岩本 佑耶, 藤井 規孝: 器械結びにおける術者視点動画の教育効果に関する検討. 優秀口演賞. 第 16 回日本総合歯科学会学術大会, 東京, 2023 年 10 月 28 日.
- 2) 佐藤 宏樹, 中村 太, 長谷川 真奈, 佐藤 拓実, 都野 さやか, 藤井 規孝: 義歯による咬合挙上を行い歯冠修復に必要なクリアランスを確保した一症例. 若手ポスター発表最優秀賞. 第 16 回日本総合歯科学会学術大会, 東京, 2023 年 10 月 28 日.

2023.4:R5.4~2024.3:R6.3

顎口腔インプラント治療部

【論文】

- 1) 高嶋真樹子. 上顎左側臼歯部中間欠損に対しインプラント治療を行った 1 症例. 日本口腔インプラント

学会誌, 2023; 36(1): E37.

- 2) 河村篤志. 下顎右側第二小臼歯先天性欠損を有する若年者に対してインプラント治療を行った1例. 日本口腔インプラント学会誌, 2023; 36(1): E71
- 3) 高木律男, 上野山敦士, 池田順行. 小児期における顎関節症. 2023 年 35 卷 2 号 p. 61-68
- 4) 荒井良明. オクルーザルアライアンス療法における補綴学的ストラテジー. 日本顎関節学会雑誌, 2023 年 35 卷 2 号 70-76
- 5) Tomoya Ishimaru, Taihiko Yamaguchi, Taishi Saito, Yoshinori Hattori, Takahiro Ono, Yoshiaki Arai, Yoko Hasegawa, Hiroshi Shiga, Katsushi Tamaki, Junko Tanaka, Kazuhiro Tsuga, Hitoshi Abekura, Shouichi Miyawaki, Aya Maeda-lino, Saki Mikami, Akihito Gotouda, Kaoru Satoh, Koichi Shimizu, Yuji Kato, Takeshi Namita. Actual state of the diurnal masseteric electromyogram: Differences between awareness and non-awareness of awake bruxism. J Prosthodont Res. 2024 Jan 12. doi: .2186/jpr.JPR_D_23_00072.
- 6) Suliman M, Nagasawa M, Al-Omari FA, Uoshima K: The effects of collagen cross-link deficiency on osseointegration process of pure titanium implants. J Prosthodont Res. 2023 Oct 5; 1-7, 2023.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 荒井良明. 顎関節障害に起因する咬合機能障害患者の補綴治療. 令和5年度 公益社団法人日本補綴歯科学会第3回補綴歯科専門医研修会. WEB 開催, 9月10日.

【学会発表】

- 1) 高嶋真樹子, 松崎奈々香, 山崎裕太, 荒井良明. 小さなゴニアルアングルはインプラント後期喪失の予測因子である: 後向き観察研究. 日本補綴歯科学会第132回学術大会, 日本補綴学会雑誌132回特別号146項. 2023年5月19~21日, 横浜.
- 2) 永井孝宏, 園辺 悠, 祁 君容, 小林亮太, 笠原 映, 木口哲朗, 山田 葵, 永田昌毅, 富原圭: 当科における培養自家骨膜細胞移植を用いた上顎洞底挙上術. 第61回日本口腔科学会北日本地方会部会・第49回日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 2023 年 5 月 20-21 日. 第61回日本口腔科学会北日本地方会部会・第49回日本口腔外科学会北日本支部学術集会プログラム抄録集 50 頁, 2023.
- 3) 池田順行, 野山敦士, 高木律男, 小林孝憲, 西山秀昌, 富原 圭. 下顎頭切除を行った陳旧性両側顎関節脱臼の1例. 第36回日本顎関節学

会総会・学術大会. 東京都, 2023 年 7 月 8-9 日. 第36回日本顎関節学会総会学術大会プログラム抄録集 123 頁, 2023.

- 4) 松崎奈々香, 山崎裕太, 高嶋真樹子, 荒井良明, 小林正治. 光反応性ポリマーコーティングによるインプラントブリッジのバイオフィルム形成抑制効果: ランダム化二重盲検スプリットマウス臨床試験第53回日本口腔インプラント学会学術大会, 第36巻特別号124項. 2023年9月15~17日, 札幌.
- 5) 林 孝文, 高村真貴, 小林太一, 曾我麻里恵, 池真樹子, 新國 農, 勝良剛詞, 西山秀昌: CTにおける顎関節円板前方転位の診断精度の再評価. NPO 法人日本歯科放射線学会第63回学術大会, 福岡, 2023 年 5 月 27 日-28 日.
- 6) 小出耀, 長澤麻沙子, Kooanantkul Chuta, 魚島勝美: 異なるジョイント様式におけるアバットメントの繰り返し締結がスクリュー形態に及ぼす影響. 第53回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会, 札幌, 2023 年 9 月 15-17 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 61頁, 2023.
- 7) 中川 悠, 山口泰彦, 石丸智也, 服部佳功, 小野高裕, 荒井良明, 長谷川陽子, 志賀 博, 玉置勝司, 田中順子, 津賀一弘, 安部倉仁, 三上紗季, 後藤田章人, 佐藤華織, 齋藤大嗣. 日中覚醒時における咬筋活動回数の日間変動の検討. 令和5年度 東北・北海道支部学術大会, プログラム・抄録集32項. 2023年10月7~8日, 札幌.
- 8) 松崎奈々香, 高嶋真樹子, 齋藤直朗, 荒井良明, 小林正治. 下顎骨切除後の再建骨に対するインプラント補綴のための垂直的仮骨延長とGBRによる2段階骨増生. 令和5年度新潟歯学会第2回例会 2023年11月4日, 新潟.
- 9) 小出耀, 長澤麻沙子, Kooanantkul Chuta, 魚島勝美: 繰り返し締結がアバットメントスクリューの形態および除去トルクに及ぼす影響-異なるアバットメント/フィクスチャー結合様式における比較-. 令和5年度 新潟歯学会 第2回例会, 新潟, 2023 年 11 月 4 日, 新潟歯学会雑誌 53(2): 47 頁, 2023.
- 10) Stegaroiu Roxana, 黒川孝一, 荒井良明, 山崎裕太, 田中茂雄. デジタル技術を応用したインプラント症例の咬合負荷解析用3次元有限要素モデルの構築. 令和5年度日本補綴歯科学会関越支部学術大会, 抄録集11項. 2023年11月5日, 新潟.
- 11) 児玉泰光, 林 孝文, 小林亮太, 上野山敦士, 高村真貴, 新國 農, 山崎 学, 田沼順一, 富原 圭, 鶴巻 浩: 超音波診断法を用いて周術期画像評価を行った咀嚼筋腱・腱膜過形成症の1例. 第68回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会, 大

阪, 2023 年 11 月 10 日-12 日.

- 12) Roxana Stegaroiu, Koichi Kurokawa, Arai Yoshiaki Yuta Yamazaki, Shigeo Tanaka. Analysis of Principal Strains in Peri-implant Bone Under Occlusal Loads. 第 71 回国際歯科学研究学会日本部会[JADR]学術大会, 抄録集19項. 2023年11月25-26日, 仙台.
- 13) 今上修一, 立浪秀剛, 櫻井航太郎, 高塚団貴, 石戸克尚, 高市真由, 藤原久美子, 富原圭, 池田篤司, 山田慎一, 野口誠: 頬脂肪体移植とミリングバーを応用したインプラントオーバーデンチャーを用いて機能回復を行った高齢上顎歯肉癌患者の4例, 第27回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 2023 年 12 月 2, 3 日, 東京
- 14) 今上修一, 立浪秀剛, 櫻井航太郎, 高塚団貴, 石戸克尚, 高市真由, 藤原久美子, 富原圭, 池田篤司, 山田慎一, 野口誠: 広範囲顎骨切除後の機能回復に用いたデンタルインプラントの予後に関する臨床的検討, 第27回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 2023 年 12 月 2, 3 日, 東京
- 15) 須田大亮, 船山昭典, 長谷部大地, 齋藤直朗, 竹内涼子, 小林正治: 外科的治療によりインプラントの温存を試みた Apical peri-implantitis の1例. 第27回日本顎顔面インプラント学会, 東京, 2023 年 12 月 2-3 日, 日本顎顔面インプラント学会雑誌 22(3), : 264 頁, 2023.
- 16) 高田翔. 3次元インビトロモデルを用いた化学療法誘発性口内炎の組織学的検討. 第23回日本再生医療学会総会, 抄録集139項. 2024年3月21-23日, 新潟.

【その他】

【研究費獲得】

- 1) 荒井良明: 日本学術振興会科学研究費補助金研究, 基盤研究(C), 2022-2024 年度, 計千円. 課題番号
- 2) 荒井良明: 顎口腔インプラント治療に関する研究助成. サンメディカル(株) 寄付金 2023 年 5 月 300 千円.

【受賞】

- 1) 高嶋真樹子, 松崎奈々香, 山崎裕太, 荒井良明. 小さなゴニアルアングルはインプラント後期喪失の予測因子である: 後向き観察研究. 日本補綴歯科学会第132回学術大会, 課題口演賞, 2023年5月 19~21日.
- 2) 小出耀: 異なるジョイント様式におけるアバットメントの繰り返し締結がスクリー形態に及ぼす

影響. 第 53 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会, 優秀ポスター賞, 2023 年 9 月 17 日.

医療連携口腔管理治療部

【研究費】

- 1) 金丸博子: 科学研究費 若手研究 令和3年度~令和5年度, 課題番号 21K17109, 研究代表者 金丸博子, 末梢組織損傷部位のスフィンゴシン1リン酸は神経障害性疼痛の発生に関与するか.
- 2) 曾我麻里恵: 科学研究費 若手研究 令和4年度~6年度, 課題番号 23K1611, 研究代表者 曾我麻里恵, 放射線性う蝕の発生リスク因子の特定と適正な歯科管理方法の構築.
- 3) 山下萌: 科学研究費 研究活動スタート支援 令和4年度~令和5年度, 課題番号 22K21010, 研究代表者 山下萌, 鎮痛薬としてのプレガバリンによる歯肉増殖症誘発の可能性の検討.

【論文】

- 1) Toru Yamamoto, Tatsuru Tsurumaki, Hiroko Kanemaru, Kenji Seo. Tracheal bronchus detected during general anesthesia: A case report. Anesthesia Progress, 2023.
- 2) Yuzo Imai, Naotaka Kisimoto, Shigenobu kurata, Yutaka tanaka, Tatsuru Tsurumaki, Hiroko Kanemaru, Toru Yamamoto, Kenji Seo, An Automatic Cuff Pressure Controller (SmartCuff) Detected Cuff Damage in a Tracheal Tube: A Case Report, Anesth Prog, Brief Communication, 11.27.2023.
- 3) 倉田行伸, 岸本直隆, 田中裕, 金丸博子, 山本徹, 佐藤由美子, 今井有蔵, 小山祐平, 氏田倫章, 沢田詠見, 瀬尾憲司: 新潟大学医歯学総合病院歯科麻酔科における最近4年間の外来新患者の動向. 新潟歯学会雑誌, 53(2): 49-55, 2023.
- 4) Katsura K, Tanabe S, Nakano H, Sakai M, Ohta A, Kaidu M, Soga M, Kobayashi T, Takamura M, Hayashi T. The relationship between the contouring time of the metal artifacts area and metal artifacts in head and neck radiotherapy. Tomography 2023;9(1):98-104.
- 5) Mai Nozawa - Kobayashi, Hidenobu Sakuma, Hiroko Kanemaru, Akira Kurokawa, Marie Soga, Moe Yamashita, Kanae Niimi, Tadaharu Kobayashi: Survey of the association between tooth extraction and development of medication - related osteonecrosis of the jaw in patients undergoing cancer treatment with bone - modifying agents, Oral and Maxillofacial Surgery, Accepted: 29 January 2024

- 6) 齋藤夕子, 黒川 亮, 永井孝宏, 上野山敦士, 池田順行, 児玉泰光, 濃野 要, 富原 圭: 当科における過去 10 年間の入院加療を要した顎口腔領域の感染性疾患症例の臨床的検討. 有病者歯科医療 32(2):66-71, 2024.

【学会発表】

- 1) 黒川亮, 金丸博子, 曾我麻里恵, 山下萌, 新美奏恵, 佐藤由美子, 田中恵子, 石山茉佑佳, 高野綾子, 植木麻有子, 井川愛, 沖津佳子, 倉又七海, 勝良剛詞, 富原圭, 上野山敦, 齋藤夕子, 佐久間英伸, 小林正治: 当院の心臓弁膜症手術における周術期口腔機能管理中の術前抜歯に関する検討, 第 21 回日本口腔ケア学会 2023 年 4 月 27-28 日, 東京, 17 (3) 202.
- 2) 新美奏恵, 黒川亮, 曾我麻里恵, 山下萌, 金丸博子, 小林正治: 病院歯科における周術期口腔管理, 口腔ケアの現状と課題, 第 21 回日本口腔ケア学会 2023 年 4 月 27-28 日, 東京, 17 (3) 185.
- 3) 勝良剛詞, 曾我麻里恵, 小林太一, 高村真貴, 池真樹子, 新國 農, 西山秀昌, 林 孝文. 歯科用合金とマウスピースの材質の違いによる重粒子線の線量分布変化. NPO 法人日本歯科放射線学会第 63 回学術大会, 2023 年 5 月 27 日-28 日, 福岡市.
- 4) 林 孝文, 高村真貴, 小林太一, 曾我麻里恵, 池真樹子, 新國 農, 勝良剛詞, 西山秀昌. CT における顎関節円板前方転位の診断精度の再評価. NPO 法人日本歯科放射線学会第 63 回学術大会, 2023 年 5 月 27 日-28 日, 福岡市.
- 5) 新國 農, 高村真貴, 小林太一, 曾我麻里恵, 池真樹子, 勝良剛詞, 西山秀昌, 林 孝文. 18F-FDG PET テクスチャ解析を用いた早期口腔扁平上皮癌の組織型の評価. NPO 法人日本歯科放射線学会第 63 回学術大会, 2023 年 5 月 27 日-28 日, 福岡市.
- 6) 新國 農, 高村真貴, 小林太一, 曾我麻里恵, 池真樹子, 勝良剛詞, 西山秀昌, 林 孝文. 18F-FDG PET テクスチャ解析を用いた口腔癌における転移/非転移リンパ節の術前評価. NPO 法人日本歯科放射線学会第 63 回学術大会, 2023 年 5 月 27 日-28 日, 福岡市.
- 7) 新國 農, 高村真貴, 小林太一, 曾我麻里恵, 池真樹子, 勝良剛詞, 西山秀昌, 林 孝文. 18F-FDG PET テクスチャ解析を用いた早期口腔扁平上皮癌のリンパ節後発転移予測. NPO 法人日本歯科放射線学会第 63 回学術大会, 2023 年 5 月 27 日-28 日, 福岡市.
- 8) 西山秀昌, 小林太一, 高村真貴, 池真樹子, 新國 農, 勝良剛詞, 曾我麻里恵, Prakoeswa Beshlina, 林 孝文. 同一の結果を提示するように訓練された深層学習システムにおける内部パラメータの空間分布と

安定性について. 日本歯科放射線学会第 63 回学術大会, 2023 年 5 月 27-28 日, 福岡市.

- 9) Katsura K, Yoshida K, Yamazaki K, Soga M, Tanaka Y, Tanaka K, Shodo R, Ueki Y, Takahashi T, Kobayashi T, Ishiyama M, Kanemaru H, Hayashi T. The effect of prophylactic use of Episil oral liquid on oral mucositis in head and neck cancer patients undergoing concurrent chemoradiotherapy. The MASCC/JASCC/ISOO 2023 Annual Meeting on Supportive Care in Cancer. June 22-24, 2023. Nara.
- 10) 小林(野澤)舞, 佐久間英伸, 金丸博子, 黒川亮, 曾我麻里恵, 山下萌, 新美奏恵, 小林正治: 骨修飾薬投与前抜歯は薬剤関連顎骨壊死発症予防するかの検証, 令和 5 年度新潟歯学会第 1 回例会, 2023 年 7 月 8 日, 新潟市, 抄録集 2.
- 11) 新國 農, 高村真貴, 小林太一, 曾我麻里恵, 池真樹子, 勝良剛詞, 西山秀昌, 林 孝文. 口腔癌の術前造影 CT における頸部リンパ節の転移/非転移の鑑別を目的とした radiomics 解析の試み. NPO 法人日本歯科放射線学会 第 236 回関東地方会・第 42 回北日本地方会 第 30 回合同地方会大会, 2023 年 8 月 26 日, 盛岡市.
- 12) 西山秀昌, 小林太一, 高村真貴, 池真樹子, 新國 農, 勝良剛詞, 曾我麻里恵, Prakoeswa Beshlina, 林 孝文. 多義性の高い X 線透過像・重積像での深層学習における内部パラメータの集約とスピニングラス状態との関連性について. NPO 法人日本歯科放射線学会第 236 回関東地方会・第 42 回北日本地方会・第 30 回合同地方会, 2023 年 8 月 26 日, 盛岡市.
- 13) Toru Yamamoto, Naotaka Kishimoto, Yutaka Tanaka, Shigenobu Kurata, Hiroko Kanemaru, Yumiko Sato, Yuhei Koyama, Yuzo Imai, Tomoaki Ujita, Emi Sawada, Kenji Seo: Tracheal bronchus detected during general anesthesia: A case report, The 14th Annual Meeting of the Federation of Asian Dental Anesthesiology Societies, October 6 (Fri) - 8 (Sun), 2023, Abstract; 241, 2023.
- 14) 曾我麻里恵, 金丸博子, 黒川亮, 山下萌, 新美奏恵, 田中裕, 田中恵子, 石山茉佑佳, 山野井敬彦, 長谷川健二, 小林正治: 当院の周術期口腔機能管理における口腔内装置の有効性に関連する報告令和 5 年度新潟歯学会第 2 回例会, 2023 年 11 月 4 日, 新潟市, 抄録集 3.
- 15) 小林(野澤)舞, 佐久間英伸, 金丸博子, 黒川亮, 曾我麻里恵, 山下萌, 新美奏恵, 小林正治: 投与目的別にみた骨修飾薬投与患者における薬剤関連顎骨壊死に関する調査報告, 第 68 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 2023 年 11 月 10-12 日, 大阪市,

抄録集 82.

- 16) 田中恵子, 勝良剛詞, 正道隆介, 曾我麻里恵, 石山茉佑佳, 手嶋謡子, 金丸博子, 田中雄介, 吉田謙介, 後藤早苗: 頭頸部化学放射線療法における口腔粘膜炎に対する口腔ケア用ジェル ヒノーラ®EN の予防効果, 第9回日本がん口腔支持療法学会, 2023年11月18-19日, 京都市.
- 17) 田中恵子, 勝良剛詞, 正道隆介, 曾我麻里恵, 石山茉佑佳, 手嶋謡子, 金丸博子, 田中雄介, 吉田謙介, 後藤早苗: 頭頸部化学放射線療法における口腔粘膜炎に対する口腔ケア用ジェル ヒノーラ®EN の予防効果, 第42回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 2024年1月25-26日, 札幌市.
- 18) 古賀雅良, 吉田謙介, 黒川亮, 星野直人, 齋藤千愛, 田中恵子, 石山茉佑佳, 曾我麻理恵, 山下 萌, 金丸博子, 朴慶純, 富原圭, 外山聡: 後ろ向き研究によるがん化学療法患者の口腔粘膜炎発症及び重症度と血液検査値との関連性の調査, 2024年3月2-3日, 神戸市, 抄録集 64.
- 19) 黒川亮, 金丸博子, 曾我麻里恵, 山下 萌, 新美奏恵, 田中恵子, 石山茉佑佳, 富原 圭, 吉田謙介, 佐久間英伸, 小林正治: ステロイド療法中に象牙質知覚過敏様疼痛が出現した20例についての臨床的検討, 第33回日本有病者歯科医療学会, 2024年3月9-10日, 新潟市, 抄録集 94.
- 20) 齋藤夕子, 黒川 亮, 小林亮太, 木口哲郎, 上野山敦士, 池田順行, 富原 圭: 舌の異常出血を契機にアルコール性肝硬変と診断された1例, 第33回日本有病者歯科医療学会, 2024年3月9-10日, 新潟市, 抄録集 108.
- 21) 佐久間英伸, 金丸博子, 黒川亮, 曾我麻里恵, 山下萌, 新美奏恵, 小林正治: グルココルチコイド誘発性骨粗鬆症に対する骨修飾薬投与後の薬剤関連顎骨壊死の発症状況 第33回日本有病者歯科医療学会, 2024年3月9,10日, 新潟市, 抄録集 164.
- 22) 大貫真, 清海杏奈, 吉田謙介, 黒川亮, 山崎京祐, 星野直人, 齋藤千愛, 古賀雅良, 金丸博子, 外山聡, 杉浦宗敏: がん患者の口腔粘膜炎と唾液中炎症性メディエーター及び口腔内水分量の関連性に関する検討, 2024年3月28-31日, 横浜市.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 曾我麻里恵: 若手が考える口腔支持療法の未来, 第9回日本がん口腔支持療法学会, 2023年11月18-19日, 京都市.

【資格取得・受賞】

- 1) 曾我麻里恵: 日本歯科放射線学会 口腔放射線腫瘍

認定医取得 (第26号) 2023年1月1日

- 2) 山下 萌: 日本歯周病学会 認定医取得 (第1652号) 2023年5月25日
- 3) 金丸博子: 日本歯科麻酔学会専門医取得 (第465号) 2023年7月1日
- 4) 金丸博子: 令和5年度歯科麻酔専門医試験最優秀賞 (阿波藍賞) 受賞, 2023年10月7日.
- 5) 黒川 亮: 日本有病者歯科医療学会指導医取得(登録申請中) 認定期間(2024年4月1日~2029年3月31日)
- 6) 黒川亮, 金丸博子, 曾我麻里恵, 山下 萌, 新美奏恵, 田中恵子, 石山茉佑佳, 富原 圭, 吉田謙介, 佐久間英伸, 小林正治: ステロイド療法中に象牙質知覚過敏様疼痛が出現した20例についての臨床的検討, 第33回日本有病者歯科医療学会, 2024年3月9-10日, 新潟市, プログラム 32 頁. 一般演題 優秀発表賞受賞.